平成２４年度町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
閲覧特記事項書

１．工事実績情報登録

工事実績情報の登録について、契約締結後１０日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

２．かし担保：特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律の手続については本工事の範囲として請負者の負担にて行うこと。

３．官庁その他への手続き関係

イ）工事施工に必要な諸手続き（建築確認申請手続きを除く）、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ）本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

４．下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷町内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

５．建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

６．諸検査等について

建築確認検査、消防検査、役場検査等の諸検査も工期に含むものとする。

７．縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（二つ折りＡ－４版製本）３部を提出すること。

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

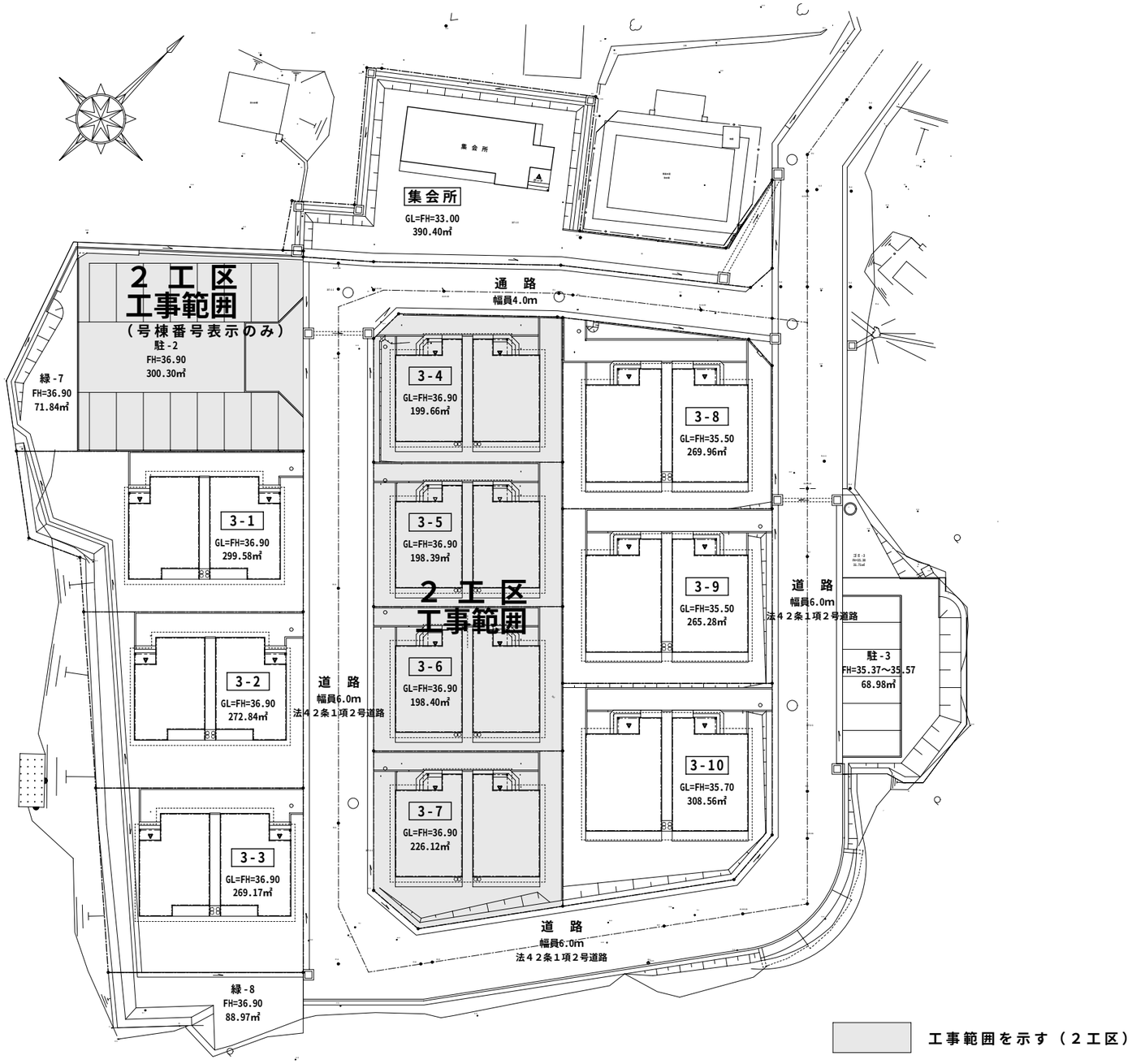
設　計　図

図　面　リ　ス　ト											
(区画3-4 2DK-B)		(区画3-5 2DK-B)		(区画3-6 2DK-B)		(区画3-7 2DK-B)		(屋外整備工事)		(屋外照明設備)	
図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容
	（建　築　図）		（建　築　図）		（建　築　図）		（建　築　図）		（外　構）		（屋外照明設備）
Ａ－１	特記仕様書（１）	Ａ－１	特記仕様書（１）	Ａ－１	特記仕様書（１）	Ａ－１	特記仕様書（１）	Ｇ－１	外構平面図・リスト	ＧＥ－１	外灯配置図・姿図
Ａ－２	特記仕様書（２）	Ａ－２	特記仕様書（２）	Ａ－２	特記仕様書（２）	Ａ－２	特記仕様書（２）	Ｇ－２	外構詳細図		
Ａ－３	特記仕様書（３）	Ａ－３	特記仕様書（３）	Ａ－３	特記仕様書（３）	Ａ－３	特記仕様書（３）				
Ａ－４	特記仕様書（４）	Ａ－４	特記仕様書（４）	Ａ－４	特記仕様書（４）	Ａ－４	特記仕様書（４）				
Ａ－５	特記仕様書（５）	Ａ－５	特記仕様書（５）	Ａ－５	特記仕様書（５）	Ａ－５	特記仕様書（５）				
Ａ－６	配置図・案内図	Ａ－６	配置図・案内図	Ａ－６	配置図・案内図	Ａ－６	配置図・案内図				
Ａ－７	面積計算表	Ａ－７	面積計算表	Ａ－７	面積計算表	Ａ－７	面積計算表				
Ａ－８	仕上表	Ａ－８	仕上表	Ａ－８	仕上表	Ａ－８	仕上表				
Ａ－９	平面図・屋根伏図	Ａ－９	平面図・屋根伏図	Ａ－９	平面図・屋根伏図	Ａ－９	平面図・屋根伏図				
Ａ－１０	立面図・断面図	Ａ－１０	立面図・断面図	Ａ－１０	立面図・断面図	Ａ－１０	立面図・断面図				
Ａ－１１	矩計詳細図	Ａ－１１	矩計詳細図	Ａ－１１	矩計詳細図	Ａ－１１	矩計詳細図				
Ａ－１２	平面詳細図	Ａ－１２	平面詳細図	Ａ－１２	平面詳細図	Ａ－１２	平面詳細図				
Ａ－１３	展開図	Ａ－１３	展開図	Ａ－１３	展開図	Ａ－１３	展開図				
Ａ－１４	天井伏図・建具キープラン	Ａ－１４	天井伏図・建具キープラン	Ａ－１４	天井伏図・建具キープラン	Ａ－１４	天井伏図・建具キープラン				
Ａ－１５	建具表	Ａ－１５	建具表	Ａ－１５	建具表	Ａ－１５	建具表				
Ａ－１６	基礎伏図・１階床伏図	Ａ－１６	基礎伏図・１階床伏図	Ａ－１６	基礎伏図・１階床伏図	Ａ－１６	基礎伏図・１階床伏図				
Ａ－１７	小屋伏図	Ａ－１７	小屋伏図	Ａ－１７	小屋伏図	Ａ－１７	小屋伏図				
Ａ－１８	軸組図	Ａ－１８	軸組図	Ａ－１８	軸組図	Ａ－１８	軸組図				
Ａ－１９	耐力壁配置チェック図	Ａ－１９	耐力壁配置チェック図	Ａ－１９	耐力壁配置チェック図	Ａ－１９	耐力壁配置チェック図				
	（電気設備図）		（電気設備図）		（電気設備図）		（電気設備図）				
Ｅ－１	電気設備特記仕様書	Ｅ－１	電気設備特記仕様書	Ｅ－１	電気設備特記仕様書	Ｅ－１	電気設備特記仕様書				
Ｅ－２	配置図・案内図	Ｅ－２	配置図・案内図	Ｅ－２	配置図・案内図	Ｅ－２	配置図・案内図				
Ｅ－３	照明器具姿図	Ｅ－３	照明器具姿図	Ｅ－３	照明器具姿図	Ｅ－３	照明器具姿図				
Ｅ－４	電灯幹線・火災報知設備　平面図	Ｅ－４	電灯幹線・火災報知設備　平面図	Ｅ－４	電灯幹線・火災報知設備　平面図	Ｅ－４	電灯幹線・火災報知設備　平面図				
Ｅ－５	照明･コンセント･弱電設備 平面図	Ｅ－５	照明･コンセント･弱電設備 平面図	Ｅ－５	照明･コンセント･弱電設備 平面図	Ｅ－５	照明･コンセント･弱電設備 平面図				
	（機械設備図）		（機械設備図）		（機械設備図）		（機械設備図）				
Ｍ－１	機械設備特記仕様書	Ｍ－１	機械設備特記仕様書	Ｍ－１	機械設備特記仕様書	Ｍ－１	機械設備特記仕様書				
Ｍ－２	給排水設備　配置図	Ｍ－２	給排水設備　配置図	Ｍ－２	給排水設備　配置図	Ｍ－２	給排水設備　配置図				
Ｍ－３	衛生・換気設備　平面図	Ｍ－３	衛生・換気設備　平面図	Ｍ－３	衛生・換気設備　平面図	Ｍ－３	衛生・換気設備　平面図				

富谷町都市整備課

日新設計株式会社

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）工事範囲



一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　団 地 全 体 図 縮尺　S=1:300	図面番号　A — 00　枚ノ内 設計番号

特　記　仕　様　書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事番号・名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）【区画3-4 2DK-B】

2 工 事 場 所　宮城県黒川郡富谷町富谷字清水沢地内

3 用途地域等　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）用途地域（第一種低層住居専用地域）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条）
その他の地域・地区（　　）

4 主 要 用 途　1）共 同 住 宅

5 敷 地 面 積　１９９．６６㎡

6 工 事 の 概 要　Ⅰ，共同住宅　木 造　平屋建て　新築一棟
建築面積：９８．１８㎡
延床面積：８６．１３㎡
Ⅱ，電気設備工事　新設一式
Ⅲ，機械設備工事　新設一式
Ⅳ，外 構 工 事　新設一式

7 別 途 工 事

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 解体工事特記仕様書
⊙ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の「公営住宅建設工事共通仕様書（平成19年度版）」による。ただし、「標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」(以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築工事監理指針」(平成22年版）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一 般 事 項	⊙ 工事施工中に予期せず事態や疑義が生じた生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②．適 用 基 準 等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成19年4月1日土木部通知） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成17年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版） ・ 建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成10年版）
	３．概 成 工 期	工事工期より　日前　(1.1.2)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない
	５．発生材の処理等	発生剤の処理　(1.3.8) ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種　類	受入れ施設名	所在地（Km）
・ ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ 建設発生木材		
・ ガラス屑		
・ 建設汚泥		

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型)(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・建設混合廃棄物)
受入れ施設名･所在地(km)
建設混合廃棄物　～
その他　～
・その他の廃棄物（特別管理型)(非飛散アスベスト)
非飛散アスベスト　～
上記の処理、処分は設計積算　上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

⑥ 電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない	
⑦ 事 故 報 告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。	(1.3.10)
⑧ 建 築 材 料 等	※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 ※ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。 ※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆☆ パーティクルボード，ＭＤＦ(中質繊維板)：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ クロス類　：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ 内装工事に使用する塗料及び接着剤　：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの	(1.4.2) (1.4.1) (1.5.9)
⑨ 室内の空気中の化学濃度の測定	・ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 測定は,測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるものの他,以下のとおりとする。 測定対象物質：※ ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm） ※ スチレン　（濃度指針値0.05ppm） ※ トルエン　（濃度指針値0.07ppm） ※ エチルベンゼン　（濃度指針値0.88ppm） ※ キシレン　（濃度指針値0.20ppm） 測定する室等：（和室、ＤＫ：２ヵ所） 採取方法 30分間換気後、対象室内を5時間以上密閉した後、吸引方式では30分間、拡散方式では8時間以上採取する。 測定方法 ホルムアルデヒド DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法 トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し，ガスクロマトグラフィー質量分析法 測定結果等報告書の提出 測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外，室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面を当該施設に掲示する。 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引き渡しを受けないない。	(1.5.9)
10. 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
11. 建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)	

適　用　工　事	建 築 基 準 法 の 指 定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※ ３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・ Ⅱ　・ Ⅲ
・ ガラスブロック　・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・ 有　・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

⑫ 設 計 Ｇ．Ｌ	※ 図 示　⊙ 現状平均地盤高	
⑬ 技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。	(1.5.2)

適用工事種別	適 用 技 能 士 検 定 職 種（作 業）
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	⊙ 鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業）
コンクリート工事	⊙ 型枠施工
鉄骨工事	・ とび
ブロック・ALCパネル工事	・ ブロック建築　・ ＡＬＣパネル施工
防水工事	・ アスファルト防水工事作業　・ シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　⊙ シーリング防水工事作業
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り
木工事	⊙ 建築大工作業
屋根及びとい工事	⊙ 建築板金（内外装建築板金作業）　・ かわらぶき
金属工事	・ 内装仕上げ施工（銅製下地工事作業）
左官工事	⊙ 左官作業
建具工事	・ ビルサッシ施工作業　⊙ ガラス施工　・ 自動ドア施工
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工　・ ビル用サッシ施工　・ ガラス施工
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ ボード仕上げ工事作業 ・ 内装床仕上げ施工（銅製下地工事作業）　・タイル張り ・ 左官　⊙表装（壁装作業）　⊙ 建築大工　⊙ 畳製作
植栽工事	・ 造園

技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。
ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。

⑭ 完 成 図 等	営繕工事完成引渡要領（平成９年11月14日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により作成する。 ※ 完成原図　１部 ・ マイクロフィルム（県指定様式）　部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚 ・	
⑮ 完 成 写 真	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。	

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提　出　様　式
※ カラー	※ Ｌ	※ 宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※ ３部	※ 工事用アルバムA4版ポケット式程度
・ 白黒	・ ２Ｌ	・ 箇所　枚	・ 部	・ フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）
	・ 六切り			・

・ 作成しない

⑯ 設備工事との取　合　い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。 ⊙ 屋内外設備機器の基礎は建築工事で行う。	
⑰ 火 災 保 険 等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・	
⑱ 住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ⊙あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）	
2 仮設工事 1．仮　囲　い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長：敷地４方向 ・ 万能鋼板（H=　）　・ 波形鉄板（H=　）　・ 単管シート（H=3.0） ・ シートゲート（H=　，W=　）×　箇所	
② 危 害 防 止	⊙ 設けない ※ シート張り　・ 金網養生	
3．交 通 誘 導 員	・ 配置する　・ 配置しない	
4．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　(2.3.1) ・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否） 備品（　　）	
5．工 事 表 示 板	※ 設置する。　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。 ・ 設置しない	
6．事業コスト表示板	・ 設置する。　設置枚数　※ １枚　・　枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。 ※ 設置しない	
⑦．工 事 用 水	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
⑧．工 事 用 電 力	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
9．工 事 用 通 路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）	
10．足　場　等	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。	
11．その他の仮設		
3 土工事 ①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)(表3.2.1) C種の場合　建設発生土受入数量 発生場所	
②．建設発生土の処理	⊙ 構外に搬出し適切に処理する。（場外自由処分）　(3.2.5) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。	
3．山　留　め	(3.3.1)(3.3.3)	
4 地業工事 1．既成コンクリート杭地業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭(JIS規格品)　・ A種　・ B種　・ C種 ・　(4.3.2)	

記号	杭径（㎜）	長さ（m）及び種別	設計支持力	セット数	備　考

ＴＰ１：試験堀り
※ 杭長については試験堀りの結果により最終決定する。
※ 杭孔掘削による発生土は建設汚泥あつかいとし適性に処分すること。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士事務所
日新設計
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤　剛
日付	H21 ・ 3 ・ 10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 特記仕様書（１）
縮尺	
図面番号	Ａ — １ 枚ノ内
設計番号	

4 地業工事

継　手　※ アーク溶接継手又は旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　・ 閉塞平坦型　・ 開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法　(4.4.3)
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－50㎜程度
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法(旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)　(4.3.5)

杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業　コンクリートの種別　・ A種　・ B種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．地盤改良　工法(　　)

④．床下防湿層　※ 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15㎜重ね幅縦横とも250㎜以上とし、地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。(4.6.5)
・ 設けない

⑤．土間スラブ(土間コン)下断熱材　※ 設ける　A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による　(4.6.5)
・ 設けない

⑥．砂利地業　※ 再生クラッシャラン　・ (　　)　(4.6.2～3)

5 鉄筋工事

①．鉄筋の種別　(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

②．溶接金網　※ JIS G 3551規格品　線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100　(5.2.2)
使用箇所(　　)

③．鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※ 重ね継手	D16以下	
※ ガス圧接	D19以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋の被り厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

5．杭頭の補強　・ A形　・ B形　・ 図示　(別図1.1)(図1.1)

6．柱の帯筋　※ H形　(別図2.2)(図2.2)

7．はり貫通孔の補強　補強形式　※ H3形以上　・ M型　・ MH型　(別図7.1)(表7.1～7.3)

8．圧接完了後の抜取試験　試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)

6 コンクリート工事

①．設計基準強度　普通コンクリート（JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)　(6.1.4)

Fc (N/mm²)	適用箇所
・ 24	
※ 21	基礎，基礎梁，土間スラブ
⊙ 18	捨てコン

②．レディーミックスコンクリート　種別　※ I類　・ II類　<6.1.5>(表6.1.1)

・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)
(アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験)
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③．スランプ　基礎，基礎梁，土間スラブ　※ 15㎝　・ 18㎝　(6.2.3)(表6.1.2)
柱，梁，スラブ，壁　※ 18㎝

④．打放し仕上げの種類　(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ A種	
※ B種	外部巾木
・ C種	

⑤．セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2)

⑥．型枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所
※ 合板	※ 12　・	
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する
・ ひび割れ誘発目地
目地寸法　※ 図示
位置　※ 図示

7 鉄骨工事

7．軽量コンクリート　(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量(t/m³)

8．寒中コンクリート　適用期間　コンクリート圧縮強度が5N/㎟に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9．無筋コンクリート　適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)
適用範囲

10．流動化コンクリート　(6.17.1)(6.17.3)

種別	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	流動化ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10　・12　・15	・18　・21	

1．鉄骨の製作工場　※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通省の認定を受けた工場　(7.1.3)
・ S　・ H　・ M　・ R　・ J
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者　・ 適用する　※ 適用しない　(7.1.4)

3．鋼材の種別　(7.2.1)

材質	規格
・SS400　・SSC400　・STKR400　・STKR400	JIS規格品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4．高力ボルト　※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(S10T)　・　(7.2.2)
・ JIS形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※ 1種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験　完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※6　・	
現場溶接			

6．錆止め塗装　※ 適用する　(標仕18章3節による)　(7.8.3)(7.8.4)(表18.3.1)
・ 適用しない

7．耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※ 半乾式　・ 湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

9．柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A種		※無収縮モルタル
・ B種		7.2.9(a)

10．溶融亜鉛めっき　(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A種	

8 コンクリートブロック・ALCパネル押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造　ブロックの種類　(8.3.2)
※ 空洞ブロック 16　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀　ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック 16(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック 08とすることができる)

3．ALCパネル　(8.4.2)(8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種　・C種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種　・D種 ・E種　・F種		
・屋根及び床パネル工法						

3．押し出し成形セメント板　(8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種		

9 防水工事

1．アスファルト防水・改質アスファルトシート防水　(9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種別	施工箇所
・ A－1	
・ B－1	
・ D－1	
・ E－1	室内(便所・浴室)
・ AS－1	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品　※ 4種

押さえ金物（※ アルミ製L－30×15×2.0　・　　）
・ 断熱材 ※A種押出法ポリスチレンフォーム3種b　厚さ(mm) ・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　　) 適用防水種別(・　　)
・ 溶接金網(規格　　)
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　　)
製造所(　　)

2．合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ (mm)	施工箇所	保護塗料(露出)
・S－F1	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・S－F2	※2　・		※カラー　・シルバー
・S－M1	※1.5　・		
・S－M2	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・S－M3	※1.2　・		

・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料(　　)

3．塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	・X－1	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・X－2	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Y－1	地下外壁	
	・Y－2	室内(便所・浴室)	

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製　・　)
(設置数量：　箇所)

④．シーリング　※ 被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。

5．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1．石材　(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止　床のワックスかけ　・ 行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1．タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ			うわ薬		役物		色	
		磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う　(11.2.1)

2．タイル下地コンクリート　後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う(下記のいずれかとする)　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
MCR工法	共仕15.2.5(C)	
MCR工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。

共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度　(表11.1.2)

適用	引張り接着強度　(単位:N／㎟)
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3．陶磁器質タイル貼り　内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 改良積上げ張り　施工箇所(　　)
※ 接着剤張り　施工箇所(流し前・便所腰壁　　)

外装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所(　　)
・ 改良積上げ張り　施工箇所(　　)

ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

図面内容　(区画3-4 2DK-B)
特記仕様書（2）

縮尺

図面番号　A－2
枚ノ内

設計番号

12 木工事

①. 木材

含水率 (12.2.1)(表12.2.1)
構造材 （⊙ A種 ・B種 ）
下地材 （⊙ A種 ・B種 ）
造作材 （⊙ A種 ・B種 ）
代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※ なし ・ あり（ ）

②. 集成材

造作用集成材12.2.2.(2)による (12.2.2)

等級	見掛かり	その他
	※ 1等 ・ 2等	※ 1等 ・ 2等
単材の樹種	スプルース、タモ程度	
単材の厚さ(㎜)	１０～１５	１０～１５

③. 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。 (12.2.6)

④. 木材保存剤

木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。 (12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，
加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺

(13.2.2)(表13.2.1)

材種	厚さ(㎜)	屋根葺形式	備考
・ JIS G 3312 カラー亜鉛鉄板 （※片面塗装 ・両面塗装）	※0.4 ・	※瓦棒葺 （心木なし）	
・ JIS G 3321 ガルバリウム鋼板 （※無塗装 ）	※0.4 ・	・	AL55%
⊙ JIS G 3322 ガルバリウム鋼板 （※カラー ）	※0.4 ・	⊙横葺き（ＡＴ式）	AL55%
・	・	・	

※監督員の承認する業者とする。

②. 折板葺

JIS A 6514の規格品 (13.3.2)(表13.2.1)

材種	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・ JIS G 3312の屋根用規格品 （ｶﾗｰ亜鉛鉄板）	※ 0.8	・ 0920	・ 有	・ 有
・ JIS G 3302の屋根用規格品 （ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板）	・ 0.5	・ 1525	（ 6mm）	（30分耐火）
・ JIS K 6744のSGのA種規格品 （ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ被覆）		・ 1730	・ 無	・ 無
・		・ ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ H=88		

・形 式 （・ 重ね形 ・ はぜ締め形）
・軒先面戸 （ ）

③. 粘土瓦葺

(13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する
				・ 提出しない

④. とい

(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.4)(表13.5.5)

材種	防露
・ 配管用銅管（ＳＧＰ）	※ 表13.6.5により行う ・行わない
・ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
⊙ 塩化ビニル管（住宅用）60φ	

銅管製といの防露巻き工法
※ 標仕 表１３．５．５による
・ 樋受石（材質・規格 ）
※ 第一桝まで接続

⑤. ルーフドレン

※ 鋳鉄製 (13.5.3)
※ 縦型 ・ 横型

14 金属工事

1. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験 ・ 行う ※ 行わない (14.1.3)

2. ステンレス表面処理

※ ＨＬ ・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・ － 種		
・ － 種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

種別	施工箇所	
・ 種		
・ 種		

溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ・ 行う

5. 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋内 ※ １９型 ・ ２５型（ ）
屋外 ・ １９型 ※ ２５型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強（※図示 ） (14.4.3)
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。
耐震性を考慮した補強を行う室（ ）
補強方法 ※ 図示

6. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。 (14.5.3)

7. 金属成形板張り

種別 (14.6.2)
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手 ・ 設ける ・ 設けない

8. アルミニウム製笠木

表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種 (14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用※ 使用する
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9. 手すり及びタラップ

(14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519 の規格品

15 左官工事

1. セルフレベリング材

・ せっこう系 ・ セメント系 (15.4.2)

2. 仕上げ塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ※複層塗材 E ・複層塗材 RS ・複層塗材 RS ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性 ・ １種 ・ ２種 ※ ３種

3. ロックウール吹付け

（耐火被覆は,7章による）

吹付け厚さ（㎜） ※ １０ ・ (15.7.3)

16 建具工事

①. 一般事項

防火戸の指定 (16.1.3)
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号の二ロの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない
防火戸との連動
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 (16.1.3)
※ 適用しない
見本の作成等 (16.1.4)
製作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）
仮組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）

防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する（建具表による） (16.1.6)

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(㎜)
⊙ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合では性能が確保されない場合は１００）
・ Ｂ種	Ｓ－５			
・ Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

⊙ 耐風圧性：Ｓ－３、気密性：Ａ－４、水密性：Ｗ－３、遮音性Ｔ－１（防犯補助錠付き）
※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種 ・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合 ・ブロンズカラー（※標準色 ・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２
追随性の等級

3. 網戸

使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・内部納まりの開き式 (16.2.3)
防虫網(線径0.25㎜ 16-18ﾒｯｼｭ)
・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂 ※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316) ⊙合成樹脂
防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5㎜ ピッチ15㎜

4. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.1)(表16.3.2)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５
建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (㎜)
窓	枠類	枠，方立，無目	表１６．３．２に同じ
出入口	枠類	一般部分	２．３
	戸	中骨	２．３
上記以外			表１６．３．２に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2～4)(表16.4.1)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
・ 使用しない
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～5)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５
表面処理 ・ ＨＬ
銅板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦. 木製建具

かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度 (16.6.2～4)
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ・
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧. 建具用金物

(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JISによる。
レバーハンドル	アルミ合金	錠前類と同一製造所
	レバー長さ L=130程度	とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、
シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ⊙ 要 ・ 不要 (16.7.4)
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9. 自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1,2)
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3)(表16.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
・ 補助センサ併用

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10. 重量シャッター

(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	（JIS A 4705による強さの区分）	※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 特記仕様書（３）
縮尺	
図面番号	A — 3 枚ノ内
設計番号	

11. 軽量シャッター

(16.11.2)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50	※ インターロッキング型	障害物感知装置(自動閉鎖型)
・ 上部電動式(手動併用)	・ 設けない	・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ オーバーラッピング型	※ 設ける ・ 設けない

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない

⑬. ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 (16.13.2)(16.13.3)

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ－１類 ・ Ⅱ－２類 ・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能 ・ １類 ・ ２類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン

複層ガラス
性能 ・ １種 ・ ２種
・ ３種 (・ U３－１ ・U３－２)
・ ４種 ・ ５種

封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性 ・ １種 ・ ２種 ・ ３種
耐久性 ・ A類 ・ B類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー
反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側
映像調整 ・ 行う ・ 行わない

ガラスの止め材
※ シーリング ⊙ ガスケット(可動アルミ建具に限る)

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、
合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

14. ガラスブロック(中空)

ＪＩＳによる区分 (16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ 160×160	・ 200×200	・ 80
	・ 320×320		・ 95
長方形	・ 250×125	・ 320×160	・ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製(表面処理) ・ ステンレス製(表面仕上)	・ 規定しない ・ 有 ・ (分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (18.1.3)

②. 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

木部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗り）
鉄鋼面	・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ※B種 ・C種
モルタル・プラスター面	・A種 ※B種
コンクリート・ALC面	※A種 ・B種
ボード面	※A種（継目処理工法） ※B種（その他）

３. 錆止め塗料塗り

塗料の種別 (18.3.2)

鉄鋼面	※A種（屋外） ※B種（屋内） ・C種（標仕１９節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具） ・B種 ・C種（標仕１９節の場合）

錆止め塗料塗り (18.3.3)

鉄鋼面	※A種（見え掛り） ※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種 ※C種

４. 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別 ※１種 ・２種 (18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3～5)

鉄鋼面	・A種 ※B種

⑤. クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り ・A種 ※B種 (18.5.2)

６. フタル酸樹脂エナメル塗り

フタル酸エナメル樹脂塗り (18.6.2～3)

木部	・A種 ※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面	・A種 ※B種

７. アクリル樹脂非分系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り (18.7.2)
コンクリート・モルタル面
・A種 ※B種

８. アクリル樹脂エナメル塗り(屋外)（ＡＥ）

アクリル樹脂エナメル塗り (18.8.2)
コンクリート・モルタル面
・A種 ※B種

⑨. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (18.12.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種 ※B種

⑩. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り (18.13.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種 ※B種

11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り (18.15.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種 ※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面 ・A種 ※B種

⑫. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り (18.16.2)
・A種 ※B種

13. マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (18.18.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・A種 ・B種 ・C種

⑭. 木材保護着色塗料塗り

木材保護着色塗料塗り（自然塗料２回塗り） ～ 素地ごしらえ＋中塗り＋上塗り
〔玄々化学工業㈱ ＡＵＲＯ（NP-0129）同等品〕

19 内装工事

①. ビニル床シート

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ ・	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
※ 発泡層のあるもの	⊙ ＰＦ	・	⊙ 2.3	・	※熱溶接

２. 化粧ビニル床シート

JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＮＣ又はＮＦ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

３. ビニル床タイル

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※CT(半硬質) ・CTS(軟質)	※300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・HT	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・ 2.0又は4.5	・帯電防止 ・帯動荷重

４. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離
強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の
試験後異常がないこと

５. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	３００×３００

６. ビニル幅木

(19.2.2)

材種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接	
高さ(mm)	・ ６０	※ ７５	・ １００	
厚さ(mm)	・ １.５	※ ２.０		

７. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧. フローリング張り

・ 単層フローリング (19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

類別	材種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	・ナラ	・１５ 幅７５ 長さ500以上	・ モルタル埋込み工法 ※ 釘留工法 ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
・ フローリングブロック	・ナラ	・１５ 303×303		
・ モザイクパーケット	・ナラ	・１５		

⊙ 複層フローリング

類別	材種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング(ｸﾗｯｸﾚｽﾀｲﾌﾟ) ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング ・ 大型積層フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ⊙接着工法 ・特殊張り工法(体育館床)	・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ⊙ 既塗装品

⑨. 畳敷き

畳の種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 (19.6.2)(表19.6.1)

⑩. 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種類又は記号	種別など		厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8 (不燃) ・ 10 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6 (不燃) ・ 12 (不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25 (不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁	12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 (色 ※ 白 ・ 黄)		9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	

せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑫. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
居室～壁	塩化ﾋﾞﾆﾙ（ｶﾀﾛｸﾞ掲載価格1000円/㎡程度）	・ １級 ⊙ ２級
		・ １級 ・ ２級
		・ １級 ・ ２級
		・ １級 ・ ２級

品質は参考商品名である。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付 H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容 (区画3-4 2DK-B) 特記仕様書（４）
縮尺

図面番号 A — 4 枚ノ内
設計番号

20 ユニット及びその他の工事

⑬. 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

			厚さ(mm)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511の規格品
	※A種押出法 3種b（スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
⊙グラスウールマット	⊙ 24Kg/m3品	外気に接する壁・天井	⊙ 100	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)7-01-1よる

⑭. 防火サイディング

腰壁：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）
（ニチハ㈱ ﾓｴﾝｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ14 木目調 同等品）
壁 ：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）の上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付け

付柱・幕板・窓ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ：木目調繊維強化セメント板

※ 外壁材の取り付けは通気胴縁工法とする

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は第6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし ・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 合板下地ビニルクロス貼りt＝0．5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6．床目地棒 (20.2.7)

ステンレスFB（SUS304） 5～6×12 ⊙ 6×9
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式 ・ 平面 ・ 曲面

8．鏡 (20.2.9)

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

⑨. 表示（棟名称板） (20.2.10)

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札 （壁付）アクリル製 80×300
⊙各戸表示板 （平付）ステンレス製 80×250程度

10.煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式 ・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

12.ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
相談・静養室カーテン	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

⑭. カーテンレール (20.2.14)

材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

⑯. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

※ 床点検口：床下収納庫兼用形（断熱材充填タイプ）

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱. ステンレス流し台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）水切、トラップ付
⊙ 図示

⑲. コンロ台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）バックガード（※ 有 ・ 無）
⊙ 図示

⑳. つり戸棚

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）
⊙ 図示

㉑. 水切棚

※ 1段 ・ 2段 （タオル掛け付き）

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※ 100角 ・ 150角）

26. 出隅面取材

材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱

市販品 フック数（本）・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100 ・

28. 身障者用可動手すり

材種：樹脂被覆タイプ 34φ

29. 消火器ボックス

鋼製 既製品（半埋め込みタイプ） 消火器：ABC10型（※1本は強化液型）

30. ピクチャーレール

アルミ製 既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

㉛. ライニング腰板

腰板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板(7)19

32. 館名文字板

ステンレス製箱文字 200×200 8文字

㉝. ユニットバス

・1216（高齢者対応型）

㉞. 洗濯物干金物

アルミ製 （二段階調整型） ｱﾙﾏｲﾄ･ｱｸﾘﾙ焼付塗装品

㉟. 郵便受け

壁付け型 SUS304 ﾍｱﾗｲﾝ

21 排水工事

1．グレーチング (21.2.2)

※ 鋼製 ・ ステンレス製

2．鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

22 舗装工事

①. 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

②. 盛土材料

路床の盛土材料 （ B ）種 (22.2.2)(22.2.3)(表3.2.1)

3．遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理

路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 生石灰特号 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

5．路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6．路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7．砂の粒度試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧. 路盤材料

※ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く） (22.3.3)(表22.3.1)
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9．路盤の締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11．コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

⑫. ブロック系舗装

⊙ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 (22.8.2)(表22.8.1)
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬. 縁石及び側溝

(22.9.2)

14．砂利敷き

・ A種 ※ B種 (22.10.2)

15．区画線

駐車場 号棟番号マーキング 300角程度
※ JISK5665 3種1号白 溶融式 白線

23 植栽工事

1．植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2．植栽基盤

・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3．植込み用土

※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4．土壌改良材

※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たりバーク堆肥で50リットル，発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5．芝

種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (22.11.1)(表22.11.1)

6．屋上緑化

(23.5.2)(23.5.3)

工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

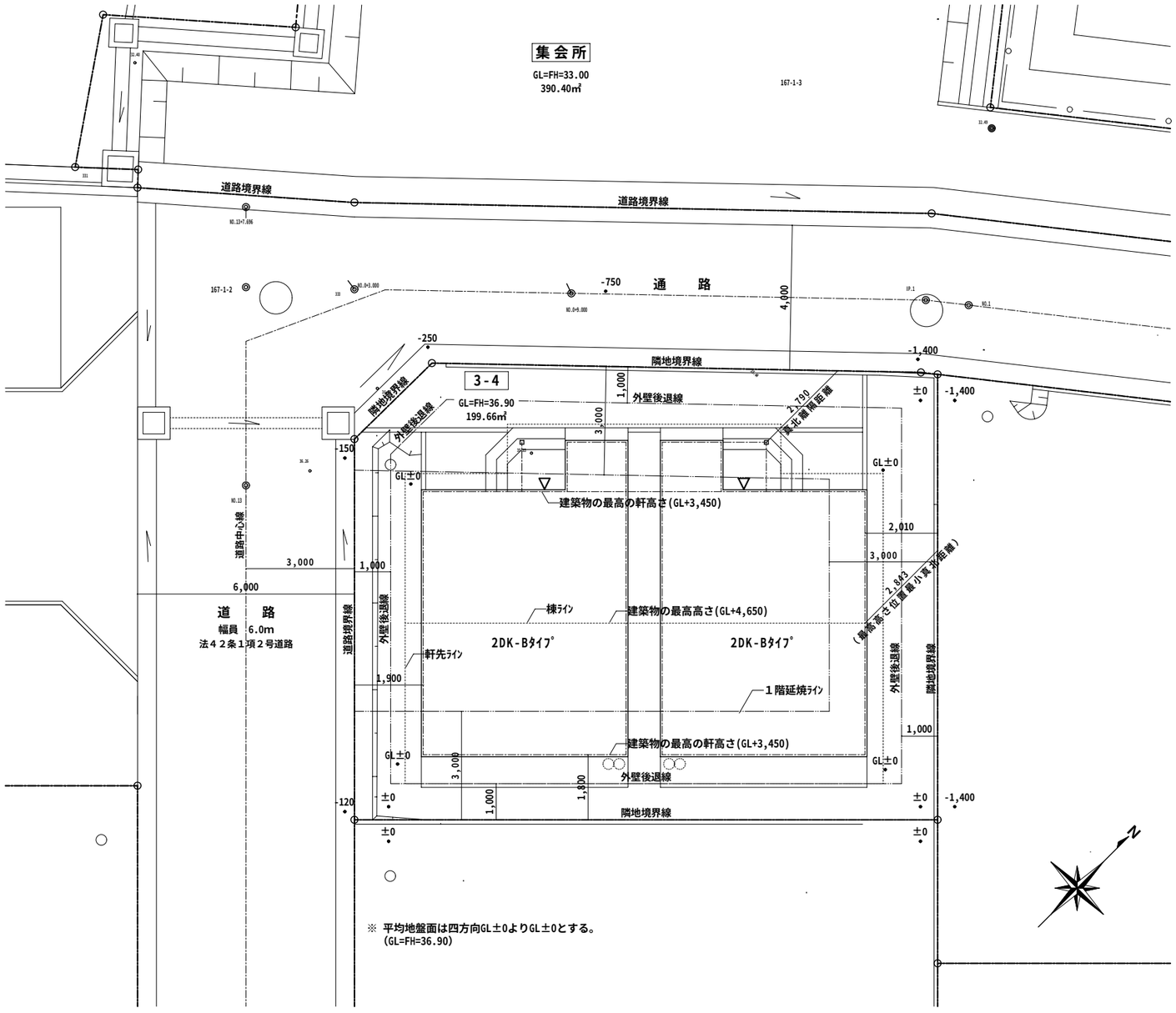
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付 H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

図面内容 (区画3-4 2DK-B) 特記仕様書（5）
縮尺

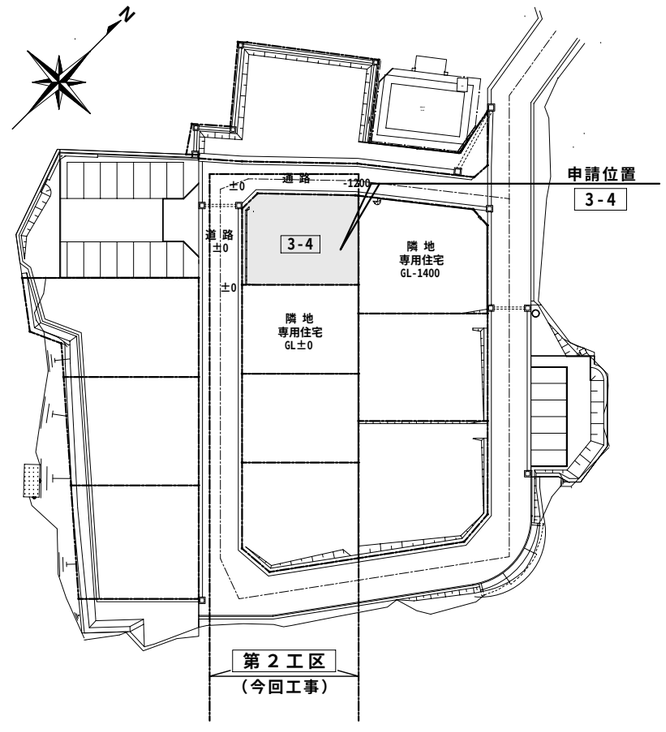
図面番号 A — 5 枚ノ内
設計番号



配　置　図　　S=1:100

申請地：富谷町富谷字宮ノ沢地内

案　内　図

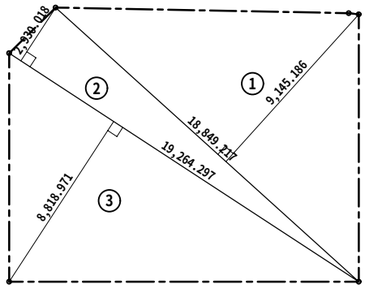


宮ノ沢住宅

団地内案内図

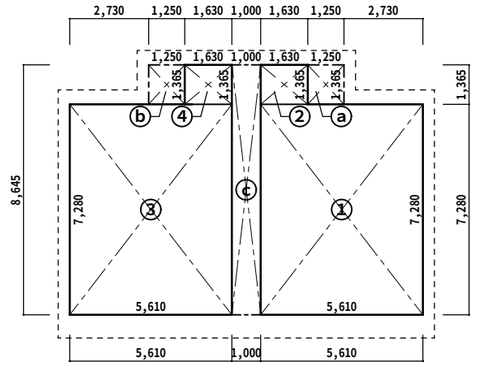
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画3-4 2DK-B) 配置図・案内図 縮尺　A２　S=1:100 A４　S=1:200	図面番号　A — 6 枚ノ内 設計番号		

■ 敷地面積計算表　【3-4】



区画 3-4　敷地面積求積表		
符号	計 算 式	計
①	18.849 × 9.145	172.374105
②	19.264 × 2.963	57.079232
③	19.264 × 8.818	169.869952
倍面積	① ～ ③	399.323289
面　積	倍面積 × 1/2	199.661644
地　積		199.66 ㎡

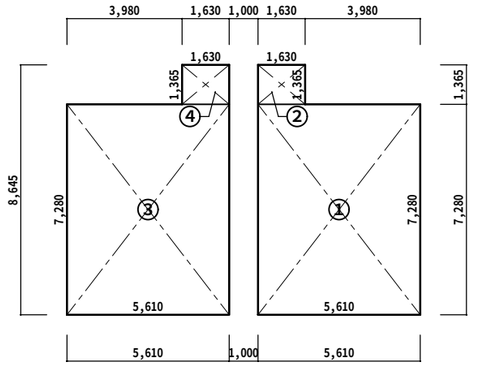
■ 建築基準法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 ＝ 40.840800
② ④	1.63 × 1.365＝ 2.224950
ⓐ ⓑ	1.25 × 1.365＝ 1.706250
ⓒ	1.00 × 8.645＝ 8.645000

	計　算　根　拠　式	
建築面積	①＋②＋③＋④＋ⓐ＋ⓑ＋ⓒ	98.18 ㎡
延床面積	①＋②＋③＋④	86.13 ㎡
１住戸当りの床面積	①＋②	43.06 ㎡

■ 公営住宅法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 ＝ 40.840800
② ④	1.63 × 1.365＝ 2.224950

	計　算　根　拠　式		
住戸専用面積	①	１住戸当り	40.840800 ㎡
		改め	40.84 ㎡
物置面積	②	１住戸当り	2.224950 ㎡
		改め	2.22 ㎡
公営住宅法面積			43.06 ㎡

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 面積求積図
縮尺	A２ S＝1：150 A４ S＝1：300
図面番号	A — 7 枚ノ内
設計番号	

外部仕上げ

屋根	屋根：木小屋組の上、野地板 耐水合板t=12下地、アスファルトルーフィング(940)下貼、ガルバリューム鋼板t=0.4（カラー）横葺 勾配3/10 雪止め金物：専用雪止め金物@900 2段チドリ 軒先・ケラバ水切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 破風、鼻隠し：杉板材(ｱ)21の上ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 軒樋：塩ビ製角型(ｶﾗｰ) W=110×76（落葉よけﾈｯﾄ付き）　縦樋：塩ビ製丸型(ｶﾗｰ)60φ	軒天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透かし張り（一部有効）ＥＰ塗装
		基礎廻り	巾木：コンクリート打放し仕上げ（Ｂ種）補修、　土台スペーサーｔ=20
		ポーチ テラス	ポーチ床：モルタル金ゴテ仕上げ　段鼻：磁器質段鼻タイル150×60貼り テラス床：モルタル金ゴテ仕上げ
外壁	外壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、窯業系サイディング(ｱ)14の上アクリル系リシン吹付け 腰壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品) 付柱、付梁：窯業系不燃外装装飾部材（塗装品） 土台水切・壁取合見切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工（取合い：ｼｰﾘﾝｸﾞ：ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系10×10） ※ 外壁内通気措置は住宅金融公庫融資住宅の木造住宅共通仕様書による（外壁取付ヨコ胴縁組）	開口部	建　具：カラーアルミ（網戸レール付きペアガラス仕様、S-3、A-4、W-3、H-1、T-1） ガラス：ﾍﾟｱFL3+A10+FL3、ﾍﾟｱFL3+A9+F4
		断熱材 防湿材	（断熱材） ・玄関土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(B-2)t=30 ・木床組部分　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ成形品(3種)t=55 ・外気に接する壁　：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） ・外気に接する天井：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） （防湿材） ・ベタ基礎下・玄関土間下　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室内側）：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室外側）：透湿防水シート(ｱ)0.2 ・外気に接する天井　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15

内部仕上げ

室名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	廻り縁	天井高	備考
玄関	ｺﾝｸﾘｰﾄ	モルタル金ゴテ仕上げ	床材立上げ ＭＤＦ	100 60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,560	手摺（集成材 φ32塗装品） 上框（150×90 塗装品）
廊下	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	手摺（集成材 φ32塗装品）
ＤＫ	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12 ﾀﾞｲｹﾝ ｷｯﾁﾝﾀﾌ　同等品	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止) (流し前)抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧坂貼り(ｱ)3.0	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	流台、コンロ台、吊戸棚、水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ 流し廻り立上りｽﾃﾝﾚｽ(ｱ)0.8 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
和室	構造用合板(ｱ)24	タタミ敷き(ｱ)55	タタミ寄せ 米ツガ ＣＬ	55×30	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り（ｼﾞｭﾗｸ調）	木製野縁組	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 30×24ＣＬ	CH=2,400	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
押入 物入	構造用合板(ｱ)24	ラワン合板(ｱ)12張り	雑巾ズリ 米ツガ	55×30	木製胴縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（押入用） (ｱ)9.5張り	木製野縁組	ラワン合板(ｱ)2.5張り	塩ビ製	CH=2,400	中棚・枕棚
便所	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	樹脂製Ｌ型手摺
洗面・脱衣室	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	洗面化粧台(W=750) 樹脂製Ｉ型手摺
浴室	ユニットバス　1612（片開折戸ﾀｲﾌﾟ） 一般型ＢＬユニット（高齢者対応型） JISA4416同等品					（手摺取付部裏面補強材入）				CH=2,000	フリーサイズ額縁キット　風呂蓋　換気開口240角 樹脂製Ｌ型手摺、Ｉ型手摺　各１組 非常開口付折戸W=800　水栓 Nｼﾞｮｲｻｰﾓ(寒)
物置 納戸		コンクリート金ゴテ仕上げ	ﾓﾙﾀﾙ金ゴテ	100	木製胴縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	木製野縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	塩ビ製	CH=2,400	棚、給湯ｼｽﾃﾑ（機械設備工事）

既製ユニット

取付位置及び名称	参考メーカー（同等品以上）		数量
ﾃﾗｽ　物干金物(ｱﾙﾐ)	杉田ｴｰｽ	ｻﾝﾋﾞｰﾑ 450	各3ヶ所
共通　暖房及び多目的ｽﾘｰﾌﾞ（キャップ付き）	杉田ｴｰｽ	ｽﾘｰﾌﾞ VU107×114 ｷｬｯﾌﾟ 311-147・311-162	各3組
台所　流し台(ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-S120N	各1ヶ所
台所　コンロ台	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-K-60BG	各1ヶ所
台所　ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(ｼﾛｯｺﾌｧﾝ)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	BH639(H,K)	各1ヶ所
台所　吊戸棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-A-120F	各1ヶ所
台所　水切棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	NSR-120-1	各1ヶ所
洗面　洗面化粧台	ＩＮＡＸ	FTN-755SN/P1GW MFT-751H	各1ヶ所
便所　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-320(500)	各1ヶ所
洗面　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-310(400)	各1ヶ所
浴室　ユニットバス	ＴＯＴＯ	(1216ﾀｲﾌﾟ)JJV1216US	各1ヶ所
台所　風量調整型換気口	杉田ｴｰｽ	KRP100BW	各1ヶ所
ﾎﾟｰﾁ　郵便受け	杉田ｴｰｽ	ｶﾗｰﾎﾟｽﾄ SGT-2000	各1ヶ所

共通事項

特記事項

(1) 木材接合部金物は、Ｚ金物及び同等耐力認定該当品とする。（監督職員の承諾の事）
(2) ＧＬより＋1,000の木部を木材防腐防蟻塗装材塗布する。
（防蟻措置は(社)日本しろあり対策協会仕様書による）
(3) 外部建具廻り、ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾞｮｲﾝﾄ目地等漏水のおそれのある箇所及び図示の箇所にはｼｰﾘﾝｸﾞ材を充填する。
(4) 特記無き限り仕上げの異なる箇所には木製床見切りを設ける。
(5) ビニールクロス用石膏ボードはジョイントボードとする。
(6) 防火区画の貫通部分は令112条15項、16項及び令129条の2の1に従い施工の事
(7) クロス類；防火種別 2-2とする。
(8) 特記無き限り外部木部の仕上げは木材保護着色塗料塗りとする。
(9) 特記無き限り内部木部の仕上げはＯＳ塗りとする。

防火性能認定品

木目調サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造	第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
無地サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造	第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(ｱ)14)	防火構造	第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
界壁　４５分準耐火構造	告示第１３５８号第１ー項ロ(1)	

凡例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント（低ＶＯＣ仕様）
ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント
ＣＬ	クリアラッカー
ＯＳ	オイルステイン塗り
ＵＶ	着色ウレタン樹脂ワニス
２-ＵＣ	２液形着色ポリウレタン樹脂ワニス塗り

不燃性能認定品

ビニルクロス（石膏ボード下地）	準不燃	第ＱＭ－９４４１号
石膏ボード GB-R(ｱ) 9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２８号
石膏ボード GB-R(ｱ)12.5	不　燃	第ＮＭ－８６１９号
防水石膏ボード GB-S(ｱ)9.5･12.5	準不燃	第ＱＭ－２０１８号
化粧石膏ボード GB-NC(ｱ)9.5	不　燃	第ＮＭ－８６１３号
化粧柾目石膏ボード(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
化粧石膏ボード(押入用)(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
ケイ酸カルシウム板 FK(ｱ)6～12	不　燃	第ＮＭ－８５７８号
抗菌メラミン不燃化粧板 (ｱ)3.0	不　燃	第ＮＭ－９３００号
化粧ケイ酸カルシウム板	不　燃	第ＮＭ－８２１７号

シックハウス対策 建築材料（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量）

【設計条件】
１）換気回数０．５回／ｈとする。
２）接着剤はＦ☆☆☆☆とする。
３）小屋裏の使用建築材料はＦ☆☆☆☆とする。

【化学物質室内測定】
○ホルムアルデヒド
（DNPH-HPLC法）　１項
○ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ
（固相吸着-溶媒抽出法）４項
測定箇所　各棟　１住戸
測定数　１住戸あたり 各項目毎 ２ヵ所測定
（ＤＫ、和室）

ＣＬ	(JIS K 5531)Ｆ☆☆☆☆	合板	(Ｆ☆☆☆☆)
ＥＰ	(JIS K 5663)Ｆ☆☆☆☆	集成材	(Ｆ☆☆☆☆)
防腐	(JIS K 1570)Ｆ☆☆☆☆	ＭＤＦ	(Ｆ☆☆☆☆)
		ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	(Ｆ☆☆☆☆)
タタミ	(JIS A 5902)Ｆ☆☆☆☆	建具用でんぷん系接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	t=12　JIS　Ｆ☆☆☆☆	油性調合ペイント	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	家庭用木部金属部塗料	(Ｆ☆☆☆☆)
同上接着材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ＧＷ断熱材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)

木材仕様

【床組】
・土台　米ツガ(防腐防蟻処理材)120×120
・大引　松１等　90×90　@910
・床束　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ床束
・床下地　耐水合板(ｱ)24

【軸組】
・柱　杉(１等洋 上小節) 105×105
・柱　集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 105×105
和室見え掛り柱
・隅柱 杉(１等洋 上小節) 120×120
・間柱 杉 １等 105×45 75×45 @455
・筋違 杉 １等　90×45
・胴縁(内壁) 杉 １等 24×45 @455
・胴縁(外壁) 杉 １等 18×45 @455

【天井下地】
・野縁 杉 １等 45×45 @455
・吊木 杉 １等 27×36 @455

【小屋組】
・梁 棟木 松 １等 105×120～180
・母屋　松 １等 90×90 @910
・小屋束　松 １等 105×105 90×90
・火打梁　火打金物(ﾀﾀﾅ ﾋﾞｽ止めﾊﾟｲﾌﾟ火打)
・雲筋違　松 １等 90×18
・垂木　松 １等 60×45 @455

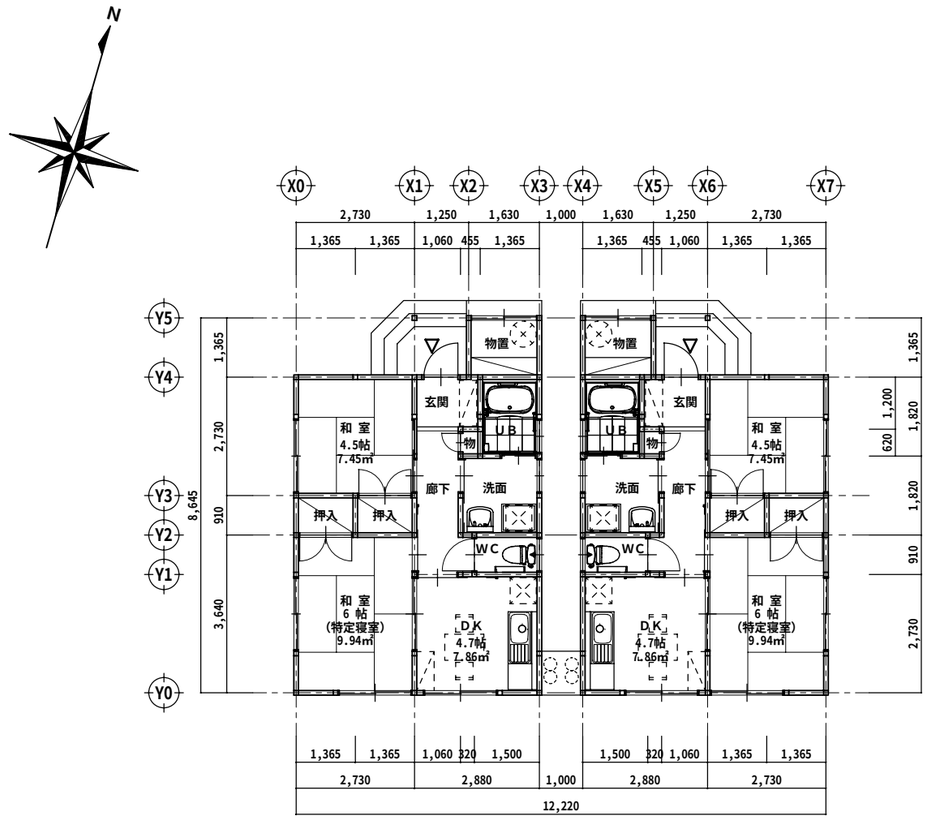
【造作材】米ツガ 無節
○米ツガ 無節(和室:ＣＬ、その他:ＯＳ)
・天井廻縁(和室)42×40
・雑巾ｽﾞﾘ　20×34
・タタミ寄 50×40、50×60
・鴨居 45×100
・付鴨居 40×45
・敷居 60×100
○ＭＤＦ
・天井廻縁(洋室)　36×32
・巾木　H=60
・長押　24×90

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

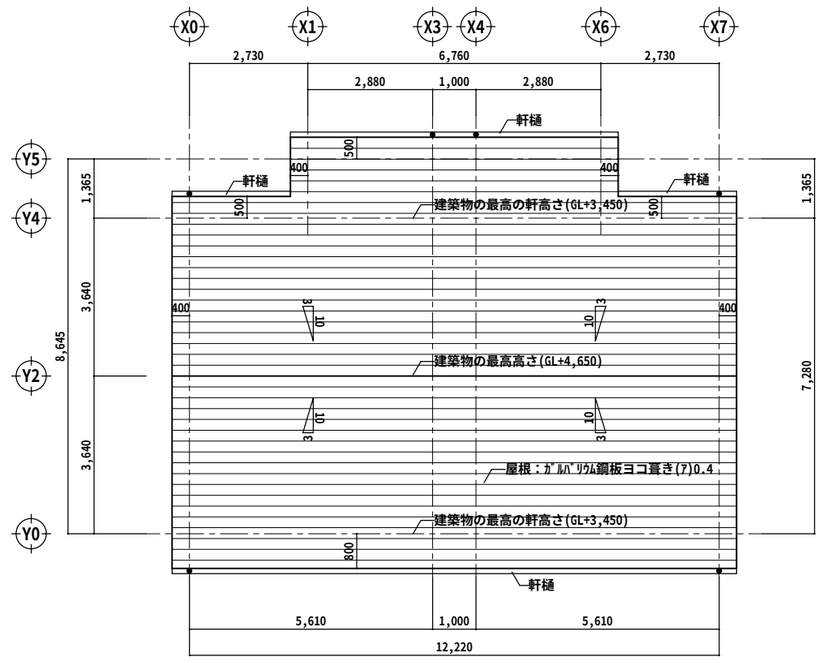
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 仕上表
縮尺	
図面番号	Ａ－８ 枚ノ内
設計番号	

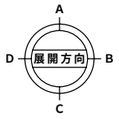


平　面　図　S=1:100



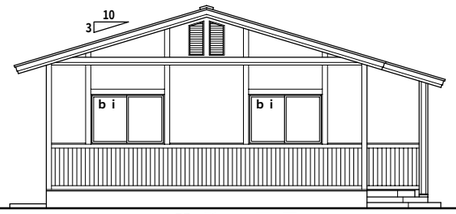
屋　根　伏　図　S=1:100

※　小屋裏利用は無い。

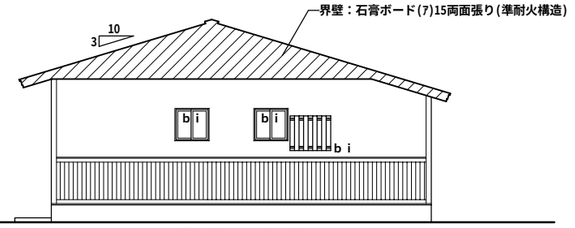


一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-4 2DK-B) 平面図・屋根伏図	図面番号 A — 9 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A２ S=1:100 A４ S=1:200	設計番号
		日付 H24・3・10			

南 側 立 面 図

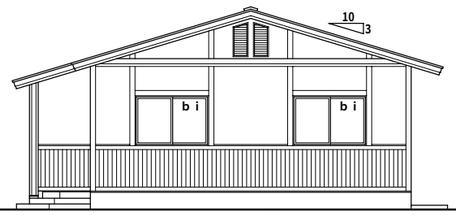


東 側 立 面 図



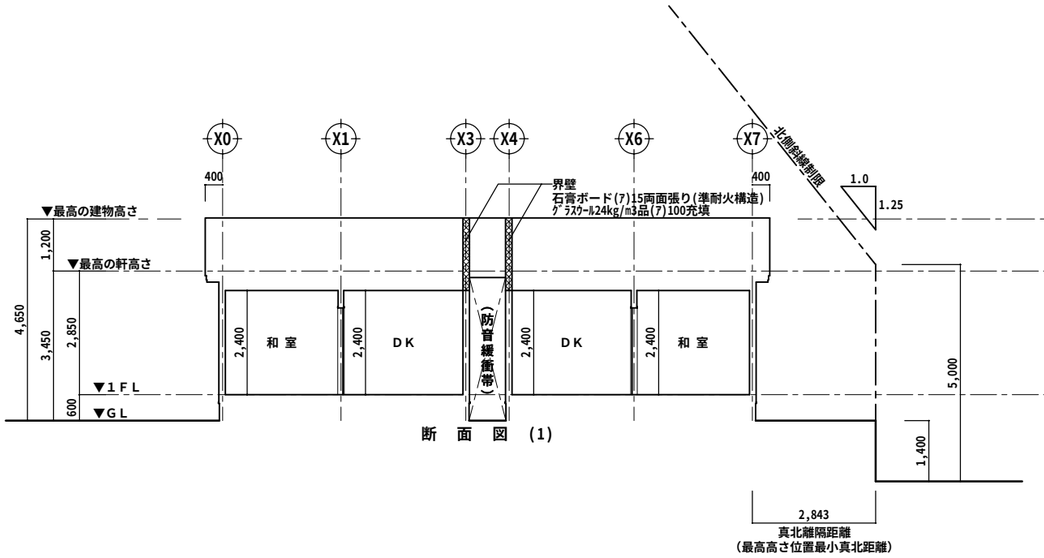
東 側 立 面 図

北 側 立 面 図

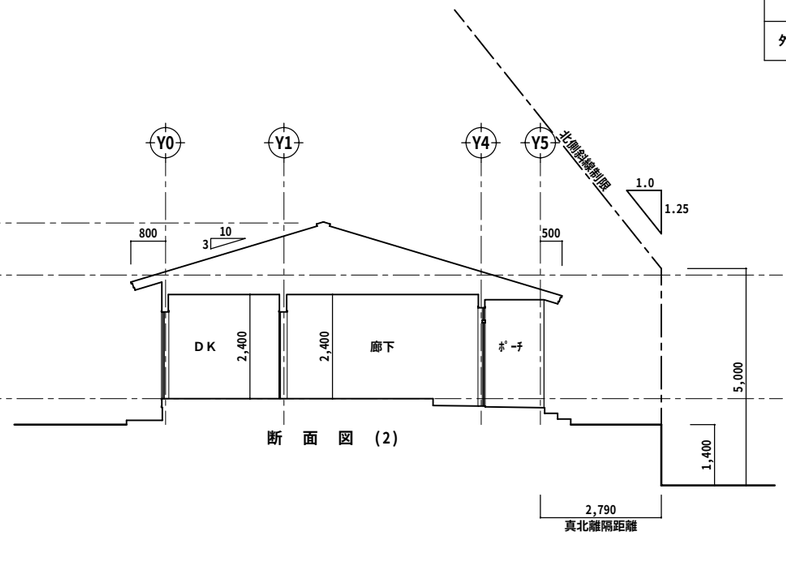


西 側 立 面 図

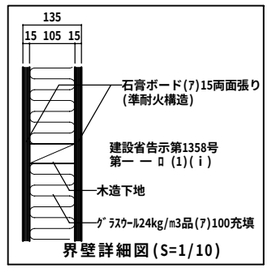
外 部 仕 上 表	
部 位	仕 上
屋 根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ヨコ葺き (ｱ)0.4 (AT式)
軒 天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0張り ＥＰ (一部有孔板)
外 壁	窯業系サイディング(ｱ)14の上 アクリル系リシン吹付け
腰 壁	木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品)
付 柱	窯業系サイディング出隅材(ｱ)18(塗装品)
幕 板	窯業系サイディング(ｱ)18(塗装品)
外部巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修(Ｂ種)



断 面 図 (1)



断 面 図 (2)



界壁詳細図(S=1/10)

※ 界壁部分を貫通する配線・配管は
法112条第15項及び告示第1422号の規定による。

（高さ制限の検討（図示以外））
○西側道路斜線制限の検討　X0通りの高さ(1.50+6.0+1.50)×1.25＝11.25m＞建物最高高さ4.65m‥‥ＯＫ
○法５５条による高さ制限の検討　法定高さ10.0m＞建物最高高さ4.65m‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ＯＫ

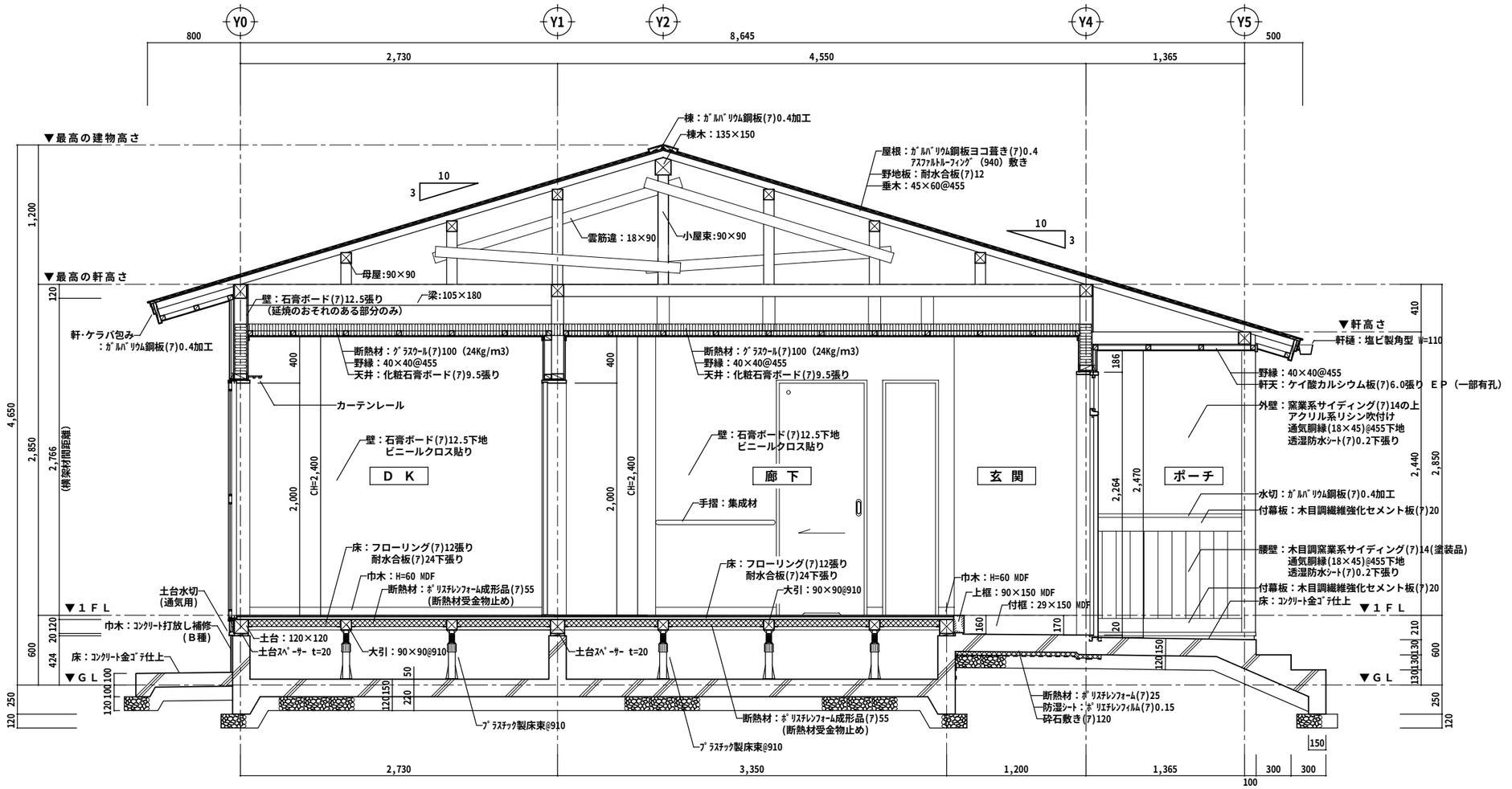
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

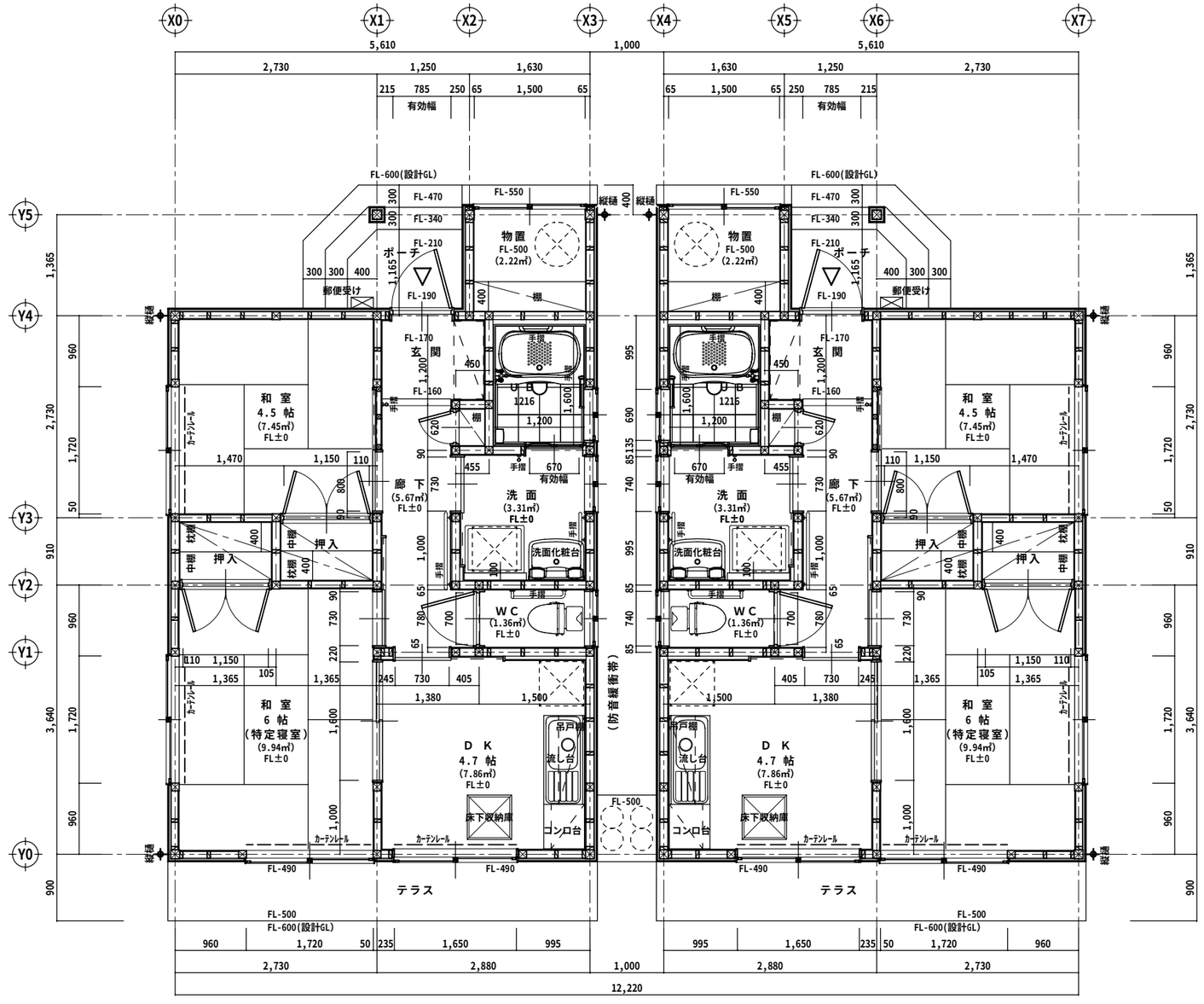
工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 立 面 図・断 面 図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	Ａ － １０ 枚ノ内
設計番号	



矩 計 図　S=1:30

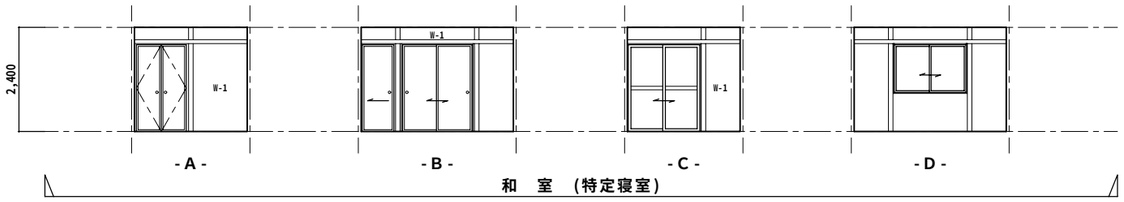
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-4 2DK-B) 矩 計 図 縮尺 A2 S=1:30 A4 S=1:60	図面番号 A－11 枚ノ内 設計番号

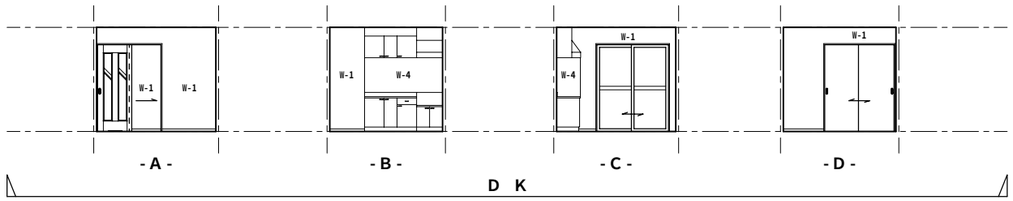


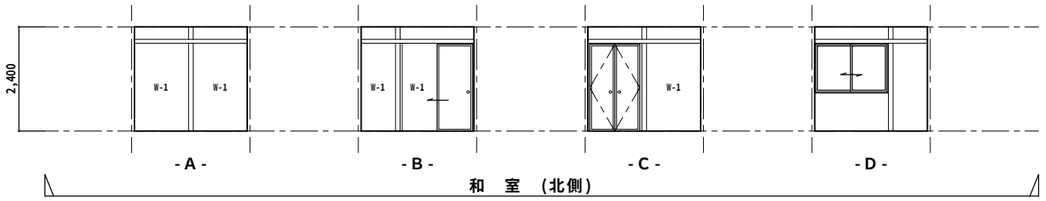
平面詳細図　S=1:50

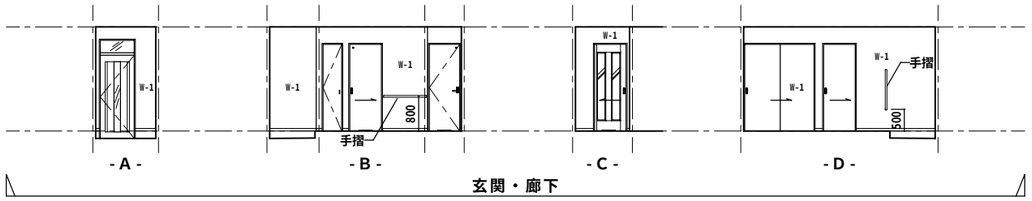
A
D 展開方向 B
C

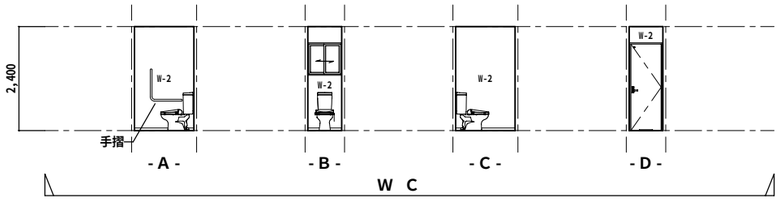
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-4 2DK-B) 平面詳細図	図面番号 A－12 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	設計番号
		日付 H24・3・10			

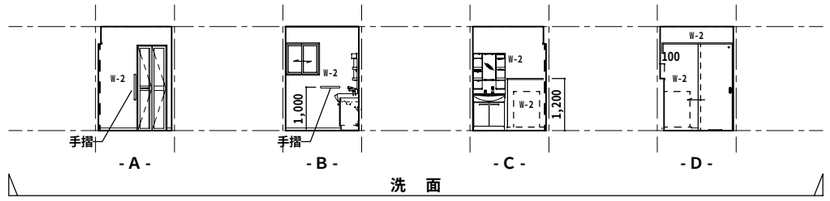


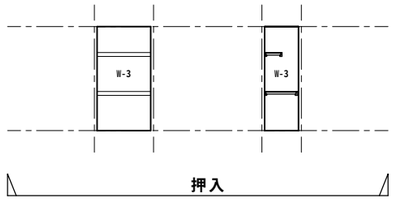


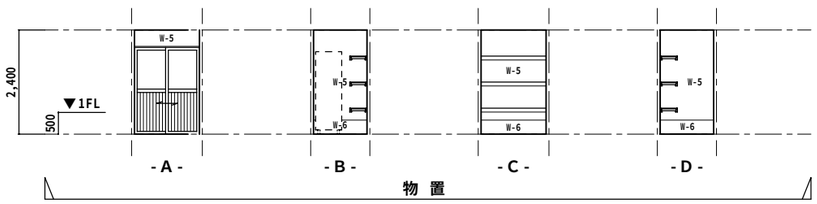












仕　上　表	
符　号	仕　　上
W-1	ビニルクロス張り(ＰＢ下地)
W-2	ビニルクロス張り(防水ＰＢ下地)
W-3	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(押入用)(7)9.5張り
W-4	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(7)3.0張り
W-5	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り　ＥＰ
W-6	モルタル金ごて仕上げ
	巾木　ＭＤＦ　Ｈ＝60

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

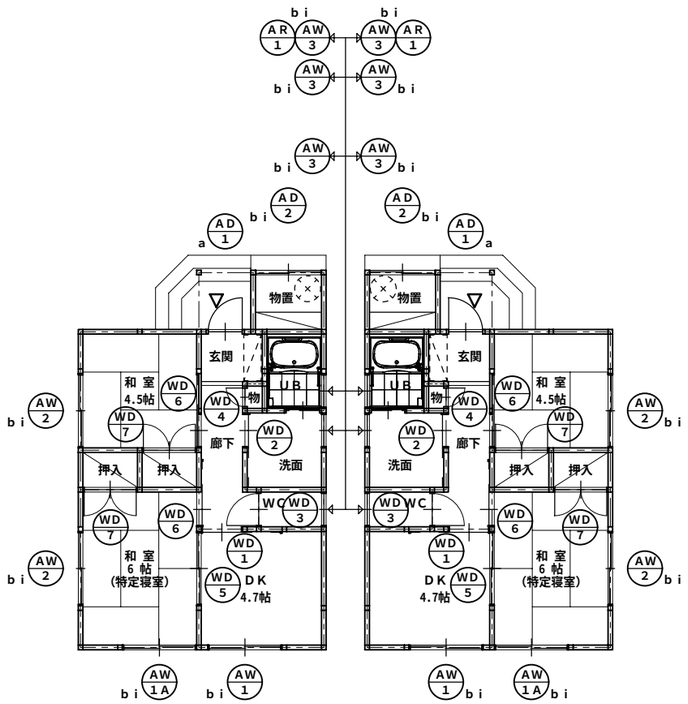
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

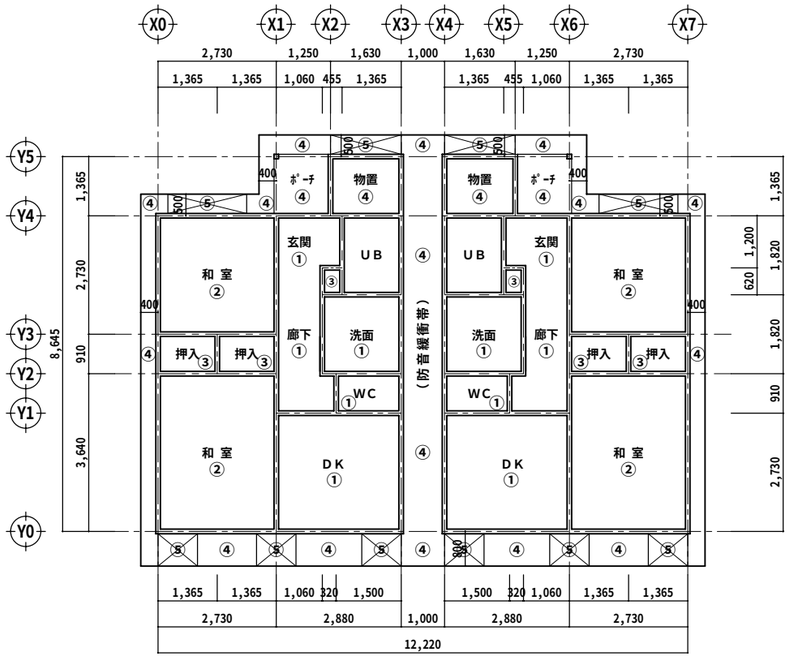
工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 展　開　図
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：100 Ａ４　Ｓ＝1：200
図面番号	Ａ — １３ 枚ノ内
設計番号	



キ ー プ ラ ン　S=1:100



天 井 伏 図　S=1:100

天 井 仕 上 表	
符 号	仕　上
①	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
②	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
③	ラワン合板(7)2.5張り
④	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ
⑤	有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ　（開口率：11%）

小屋裏換気計算表（１住戸当り）		
天井面積	5.61×7.28＋2.88×1.365	44.7720㎡
必要換気面積	44.7720㎡×1/250＝0.179㎡	0.179㎡
有効換気面積	1.63 ×0.3×8/100(開口率) ×2＝0.078㎡ 0.91 ×0.7×8/100(開口率) ×3＝0.152㎡	0.230㎡
判　定	必要換気面積：0.179㎡＜有効換気面積：0.230㎡‥‥ＯＫ	

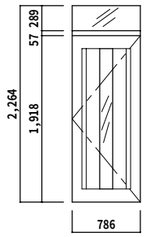
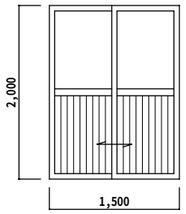
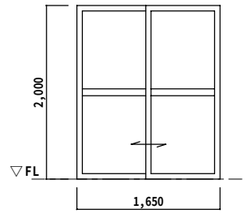
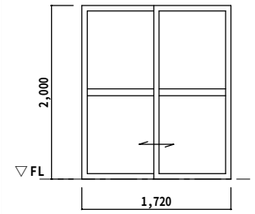
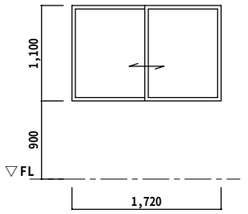
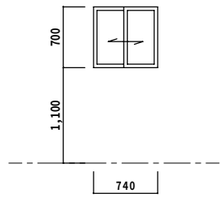
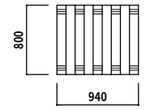
（住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書8.9.1-ロ適用）
※有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0　開口率：８％
(参考) ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ ﾊｲﾗｯｸ吸音板１号　不燃NM-8576、NM-8578同等品

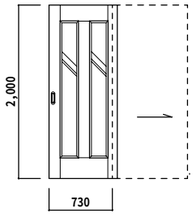
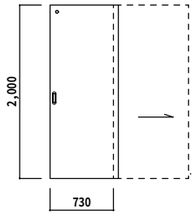
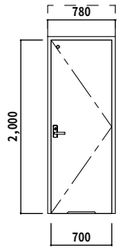
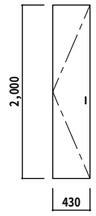
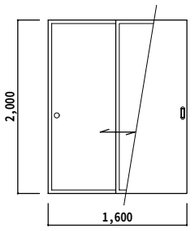
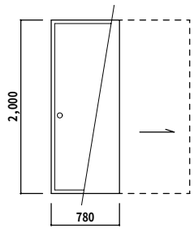
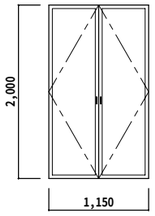
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-4 2DK-B)　キープラン・天井伏図
縮尺　A２ S=1:100　A４ S=1:200
図面番号　A ― １４　枚ノ内
設計番号

符号・個数	AD 1	2	AD 2	2	AW 1	2	AW 1A	2	AW 2	4	AW 3	6	AR 1	2
位　　置	玄 関		物 置		ＤＫ		和室		和 室		洗面脱衣室、ＷＣ、ＵＢ		洗面脱衣室	
姿　　図														
種別・見込	片開き玄関ドア（ランマ付き）		引違い戸	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	アルミルーバー	
仕　　上	ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）	
ガ　ラ　ス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4		片板ｶﾞﾗｽ 4mm		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4			
金　　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
その他備考	断熱ｻｯｼｭIII地域用（断熱材充填）ﾒｰｶｰ仕様		ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、半外付け		網戸レール、半外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、半外付け			

符号・個数	WD 1	2	WD 2	2	WD 3	2	WD 4	2	WD 5	2	WD 6	4	WD 7	4
位　　置	ＤＫ		洗面化粧室		ＷＣ		物 入		和 室		和 室		和室（押入）	
姿　　図														
種別・見込	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３０	片開きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片開き収納扉	建具見込１８	引違いﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	片違ﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	両開き押入れ襖	建具見込３０
仕　　上	樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		片面襖紙貼り	
ガ　ラ　ス	片板ｶﾞﾗｽ 4mm													
金　　物	ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ		取手		引手		引手		引手	
その他備考	Ｖﾚｰﾙ		Ｖﾚｰﾙ		ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ				敷居ｽﾍﾟｰｽ		敷居ｽﾍﾟｰｽ			

符号・個数														
位　　置														
姿　　図														
種別・見込														
仕　　上														
ガ　ラ　ス														
金　　物														
その他備考														

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 建 具 表
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：50 Ａ４　Ｓ＝1：100

図面番号	Ａ ― １５ 枚ノ内
設計番号	

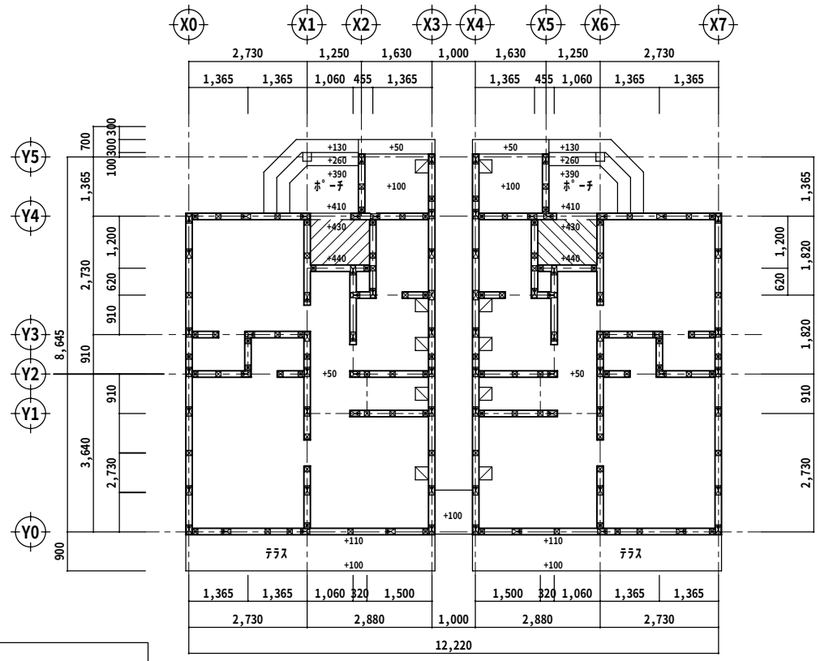
○敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
ｑａ＝30.0kN／㎡
・凍結深度：２５cm

○特 記 事 項
・土間下：砕石(7)120
防湿土間ｼｰﾄ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15

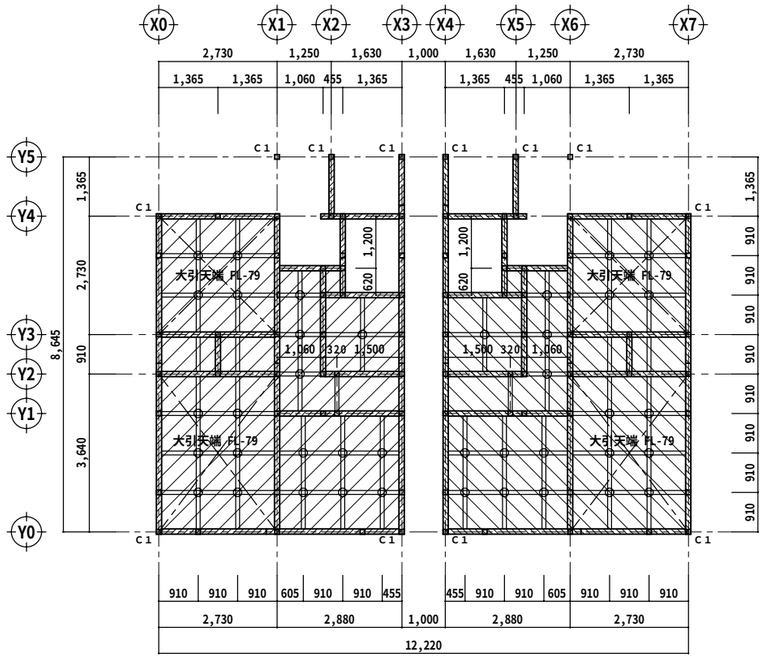
○凡 例
• ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ：M12-L400 @2,000以内
（Ｚﾏｰｸ表示品）
土台ｽﾍﾟｰｻｰ：120×120×20、120×214×20
（土台ｽﾍﾟｰｻｰは１m以内に設置する）
配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ枡：300×300×450
床断熱材敷込み：発砲ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(7)25

床下換気 １m当り
土台ｽﾍﾟｰｻｰ圧縮時厚 2.0cm
2.0cm(厚)×(100cm－24.4cm(ｽﾍﾟｰｻｰ長さ))
＝151.2cm2/m

維持管理
1.配管は基礎立上り部分等の貫通を除き、ｺﾝｸﾘｰﾄ内に埋め込まない事。
2.地中埋設管の上にｺﾝｸﾘｰﾄを打設しないこと（防湿ｺﾝｸﾘｰﾄは除く）
3.排水管は内面が円滑井である事。
4.排水管は継手により高低差が生じない事。肉厚の異なる継手が無い事。
5.排水管は溶接継手等とし支持金物等にて固定する事。



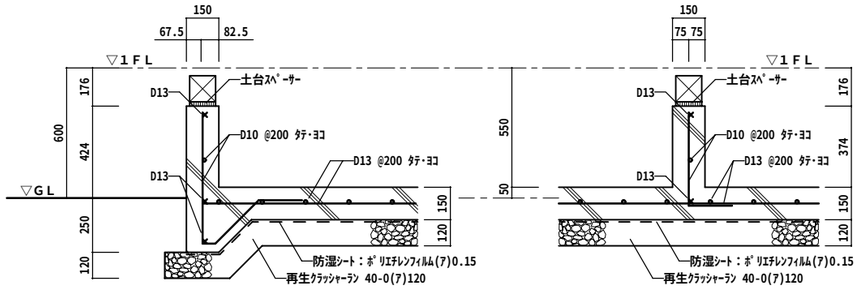
基 礎 伏 図 S=1:100



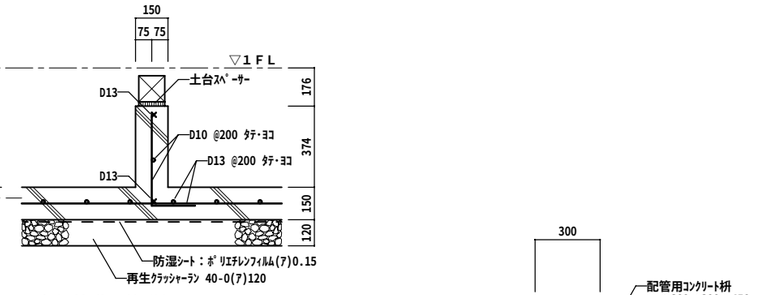
床 伏 図 S=1:100

○特 記 事 項
・特記なき柱は105×105
・ＧＬ+１m以内の部分は防腐防蟻処理を行う。

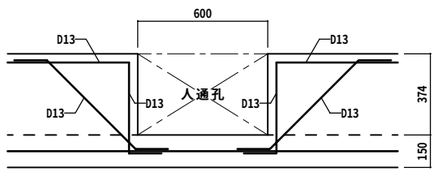
○凡 例
C1 隅柱：120×120
床束：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床束
土台：米ツガ 120×120（防腐防蟻処理材）
大引：米ツガ 90×90（防腐防蟻処理材）
床下地合板：構造用合板(7)24（4周釘打ち N75 @150）



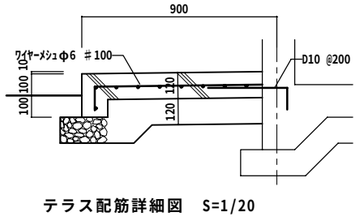
外周基礎配筋詳細図 S=1/20



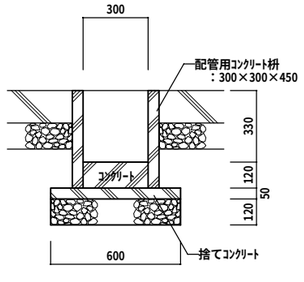
内部基礎配筋詳細図 S=1/20



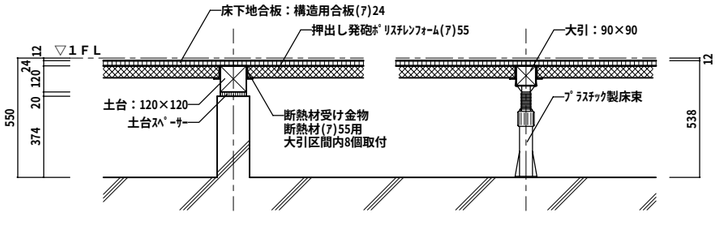
人通孔配筋詳細図 S=1/20



テラス配筋詳細図 S=1/20

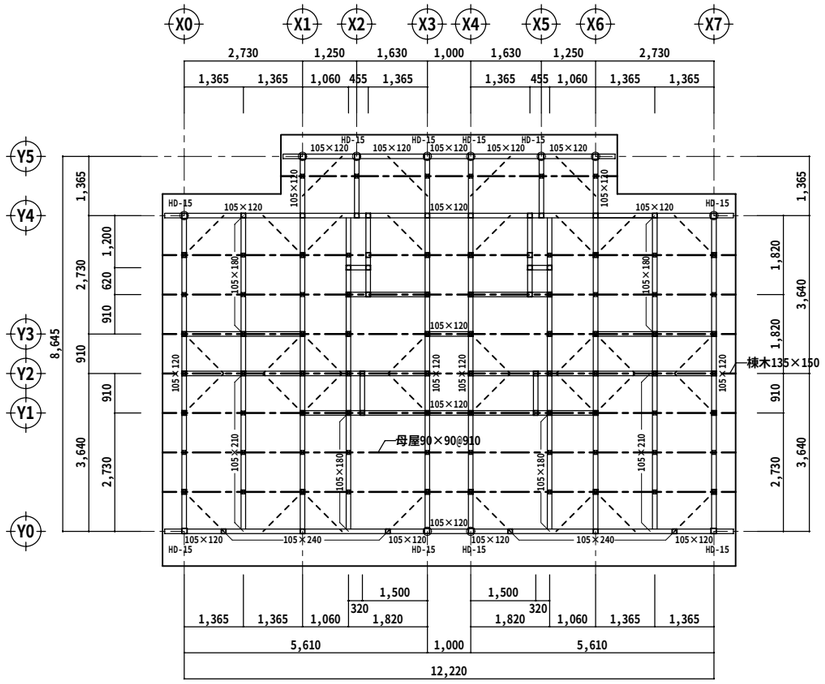


配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ桝詳細図 S=1/20
※配管は上記枡を利用し基礎立上り部にて貫通する事。



床下地組詳細図 S=1/20

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図	工事名称	図面内容	(区画3-4 2DK-B) 基礎伏図・床伏図	図面番号	A — 16 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺	A２ S=1:20・100 A４ S=1:40・200	設計番号	
		日付 H24・3・10					



小　屋　伏　図　　S=1:100

○凡　　例

- ○　隅柱：120×120
- □HD-25　引き寄せ金物

※特記なき頭ツナギ、梁は105×105とする。

小屋組・間仕切部材表	
頭ツナギ・梁	105×105～105×240（米松１等）
母　屋	90×90（米松１等）@910
小屋束	90×90 @910 杉
火打ち梁	火打ち金物
雲筋違い	90×18（杉１等）
垂　木	60×45 @455（米松１等）
棟　木	135×150（米松１等）
隅　柱	120×120 杉
その他の柱	105×105 杉
間　柱	105×45､75×45（赤松１等）
胴　縁	45×24 @455（杉１等）
筋違い	45×90（赤松１等）
外壁横胴縁	18×45（赤松１等）
野地板	耐水合板(7)12　釘止め N50 @150

建築基準法施行令　令４３条の確認

（１階）　柱の小径105／最大の横架材間距離2766＝1／26　＞　法定1／33

・・・・・・OK

（有効細長比）

断面二次半径＝30.31　最大の座屈長さ＝2766

有効細長比＝91.25＜150

・・・・・・OK

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

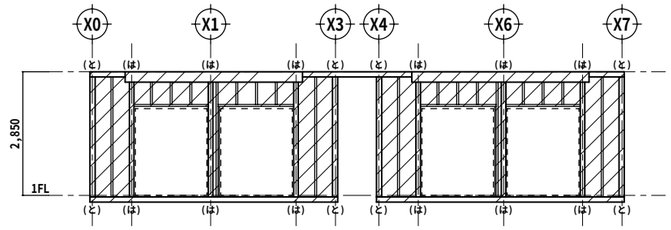
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

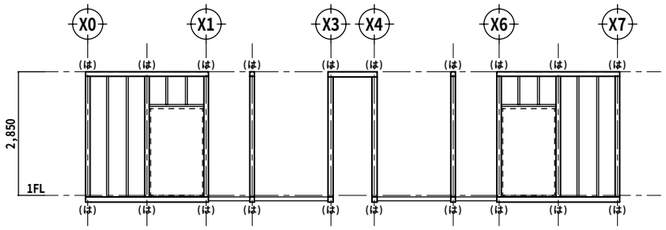
工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

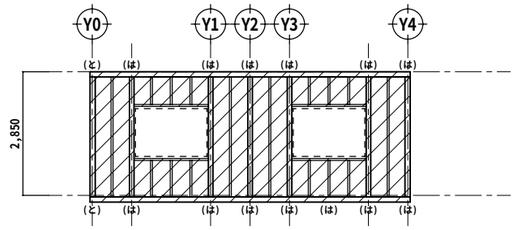
図面内容	(区画3-4 2DK-B) 小屋伏図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	A — １７ 枚ノ内
設計番号	



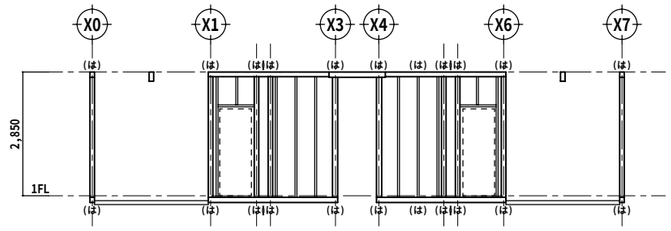
Y0通り軸組み図　S=1:100



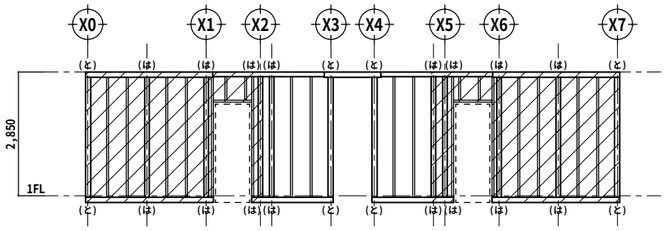
Y3通り軸組み図　S=1:100



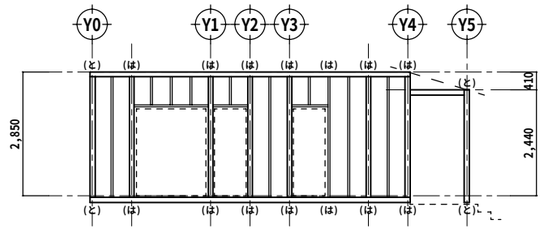
X0･X7通り軸組み図　S=1:100



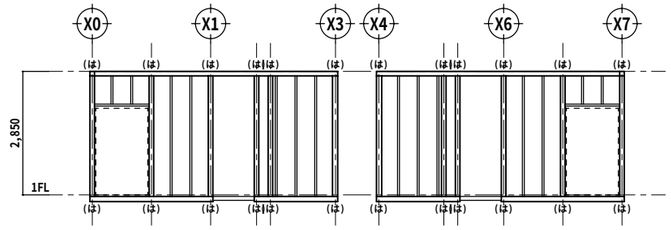
Y1通り軸組み図　S=1:100



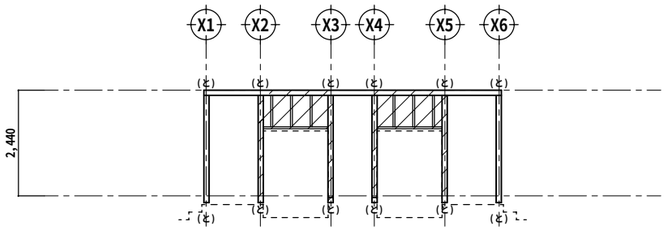
Y4通り軸組み図　S=1:100



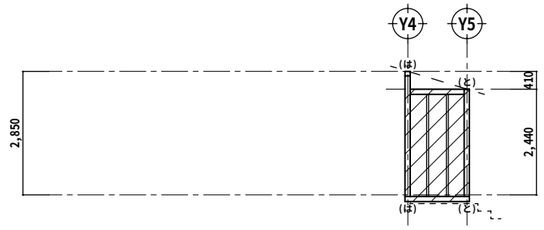
X1･X6通り軸組み図　S=1:100



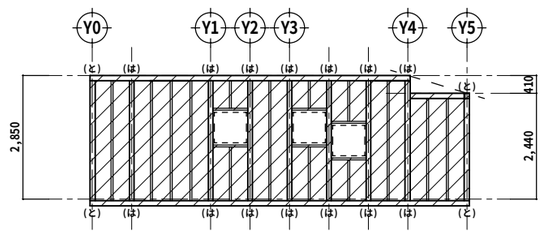
Y2通り軸組み図　S=1:100



Y5通り軸組み図　S=1:100



X2･X5通り軸組み図　S=1:100



X3･X4通り軸組み図　S=1:100

接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※ 柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※ 使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする
（Ｚマーク適合品同等）

構造用合板(7)9（釘打ち N50 @150）
（ＪＡＳ ２級適合品）

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

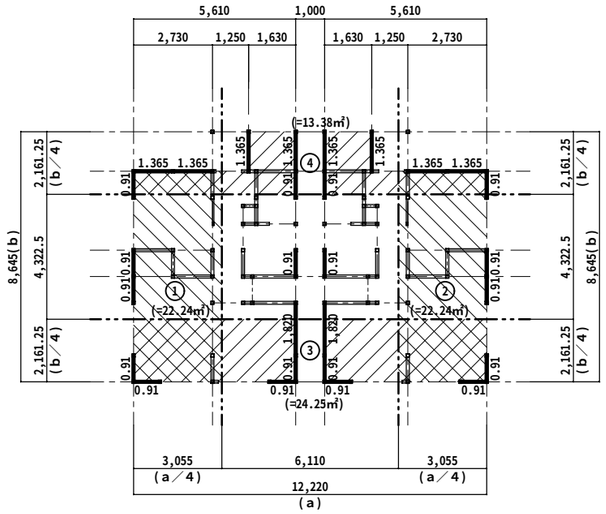
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-4 2DK-B)　軸　組　図
縮尺　A２　S=1:100　A４　S=1:200

図面番号　A ― １８　枚ノ内
設計番号

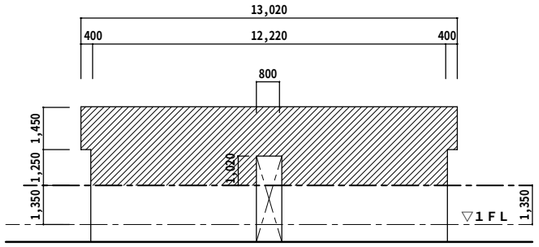


耐力壁配置チェック図　S=1:150

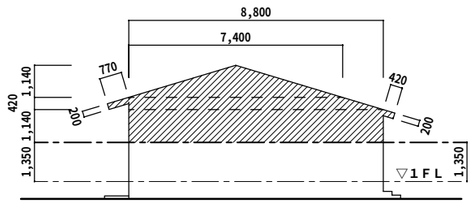
凡　例

構造用合板(7)9㎜張り

（国土交通省告示1100号別表1(1)壁倍率：2.5倍）



桁行方向見付面積求積図　S=1:150



妻側見付面積求積図　S=1:150

（F）桁行方向見付面積

12.22×1.25－0.80×1.02＋13.02×1.45 ＝ 33.34 ㎡

（E）梁間方向見付面積

8.80×1.14＋(7.40＋8.80)×0.42×1/2＋7.40×1.14×1/2

＋0.77×0.2＋0.42×0.2 ＝ 17.89 ㎡

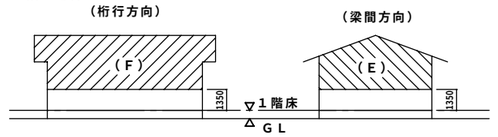
■ 建築基準法施工令第４６条第３項による軸組計算表

		床面積により必要とされる長さ	見付面積に必要とされる軸組の長さ							
	必要軸組長さ	床面積 86.13 ㎡ × 0.11（軽い屋根）／0.15（重い屋根） ＝(ト) 9.474 m	梁間方向に必要とされる軸組の長さ 桁行方向の見付面積で計算する 桁行方向の見付面積（F） 33.34㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(チ) 16.670 m				桁行方向に必要とされる軸組の長さ 梁間方向の見付面積で計算する 梁間方向の見付面積（E） 17.89㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(リ) 8.945 m			
1階部分	有効軸組長さ		１階梁間方向に入れる軸組 軸組の長さ x 個所 x 倍率 x 有効軸組の長さ				１階桁行方向に入れる軸組 軸組の長さ x 個所 x 倍率 x 有効軸組の長さ			
			1.82 m	2 カ所	2.5 倍	9.10 m	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 m
			1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃	1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃
			0.91 〃	14 〃	2.5 〃	31.85 〃				
	判定		(ト) m 又は (チ) 16.670 m ≦ 合計 54.60 m				(ト) 9.474 m 又は (リ) m ≦ 合計 22.75 m			

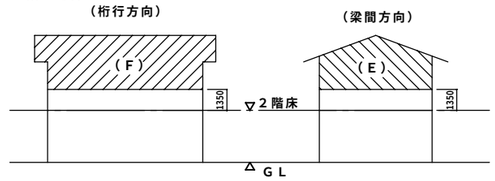
（イ）、（ニ）、（ト）:床面積により必要とされる軸組の長さ
（ロ）、（ハ）、（ホ）、（ヘ）、（チ）、（リ）:見付面積により必要とされる軸組の長さ
判定は有効軸組の合計の長さが、法により必要とされる長さ（床面積によるものと、見付面積によるもの）より大きければよい。
屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。

重い屋根:日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根 :トタン、スレート等で葺いた屋根

■１階の場合



■２階の場合



■ 耐力壁バランス計算表

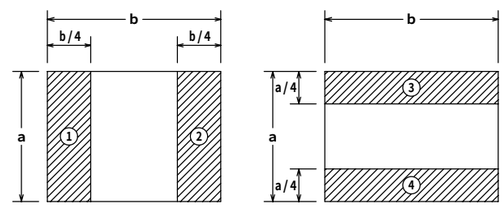
	耐力壁バランスの算定方法	存在壁量（梁間方向に必要とされる軸組の長さ）					存在壁量（桁行方向に必要とされる軸組の長さ）				
	(算定式) 0.11（軽い屋根） 必要壁量＝側端部分面積 x 0.15（重い屋根） 壁量充足率 ＝ 存在壁量 ／ 必要壁量 壁量充足率 ＞ 1.0 の場合 OK！ NO!の場合次へ 壁率比 ＝ 壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大) 壁率比 ＞ 0.5 の場合 OK！ NO!の場合、再検討		軸組の長さ	x 個所 x 倍率 x	有効軸組の長さ			軸組の長さ	x 個所 x 倍率 x	有効軸組の長さ
1階部分		①	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m	③	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m
		②	0.91 〃	4 〃	2.5 〃	9.10 9.10 m	④	1.365 m	4 カ所	2.5 倍	13.65 13.65 m

		必要壁量				壁量充足率				壁率比			
			面積	x 地震力	= 必要壁量	存在壁量 ／	必要壁量	= 壁量充足率	(壁量充足率 ＞ 1.0) の場合 OK！	壁量充足率 (小) ／	壁量充足率 (大)	= 壁率比	(壁 率 比 ＞ 0.5) の場合 OK！
梁間方向	①	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720	O.K				
	②	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720	O.K				
桁行方向	③	24.25 ㎡	0.11	2.667 m	9.10 m	2.667 m	3.412	O.K				
	④	13.38 ㎡	0.11	1.471 m	13.65 m	1.471 m	9.279	O.K				

屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。

重い屋根・・・・・日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根・・・・・トタン、スレート等で葺いた屋根

軸　組　の　種　類	倍　率
（１）土塗り壁又は木ずり柱、間柱の片面	0.5
（２）厚1.5cm巾9cmの木材、φ９㎜の鉄筋又は木ずり柱、間柱の両面	1.0
（３）厚3cm巾9cmの木材	1.5
（４）厚4.5cm巾9cmの木材	2.0
（５）9cm角の木材	3.0
（６）（２）～（４）の筋交い　タスキ掛け	各々の倍率の２倍
（７）（５）の筋交い　タスキ掛け	5.0
（８）構造用合板(7)9㎜張り（国土交通省告示1100号別表1(1)）	2.5
（９）その他建設大臣が定める軸組で（１）～（７）と同等の耐力を有するもの	0.5～5.0
(10)（１）～（２）の壁、（２）～（６）の筋交い併用の場合は各々の数値の和	



一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 耐力壁配置チェック図(1)
縮尺	A２　S＝1：150 A４　S＝1：300
図面番号	A ― １９ 枚ノ内
設計番号	

特　記　仕　様　書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事番号・名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）【区画3-5 2DK-B】

2 工 事 場 所　宮城県黒川郡富谷町富谷字清水沢地内

3 用途地域等　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）用途地域（ 第一種低層住居専用地域 ）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
その他の地域・地区（ ）

4 主 要 用 途　1) 共 同 住 宅

5 敷 地 面 積　１９８．３９㎡

6 工 事 の 概 要　Ⅰ，共同住宅　木 造　平屋建て　新築一棟
建築面積：９８．１８㎡
延床面積：８６．１３㎡
Ⅱ，電気設備工事　新設一式
Ⅲ，機械設備工事　新設一式
Ⅳ，外 構 工 事　新設一式

7 別 途 工 事

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 解体工事特記仕様書
⊙ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版)」（以下、「標準仕様書」という。）及び国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の「公営住宅建設工事共通仕様書（平成19年度版）」による。ただし、「標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」(以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築工事監理指針」(平成22年版）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一 般 事 項	⊙ 工事施工中に予期せず事態や疑義が生じた生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②．適 用 基 準 等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成19年4月1日土木部通知） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成17年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版） ・ 建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成10年版）
	３．概 成 工 期	工事工期より　日前　(1.1.2)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない
	５．発生材の処理等	発生剤の処理　(1.3.8) ・引渡しを要するもの（ ） ・特別管理産業廃棄物（ ） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種　類	受入れ施設名	所在地（Km）
・ ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ 建設発生木材		
・ ガラス屑		
・ 建設汚泥		

・現場において再利用を図るもの（ ）
・その他の廃棄物（安定型)(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・建設混合廃棄物)
受入れ施設名･所在地(km)
建設混合廃棄物　～
その他　～
・その他の廃棄物（特別管理型)(非飛散アスベスト)
非飛散アスベスト　～
上記の処理、処分は設計積算　上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

⑥ 電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない	
⑦ 事 故 報 告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。	(1.3.10)
⑧ 建 築 材 料 等	※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。	(1.4.2)
	※ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。	(1.4.1)
	※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆☆ パーティクルボード，ＭＤＦ(中質繊維板)：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ クロス類　：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ 内装工事に使用する塗料及び接着剤　：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの	(1.5.9)
⑨ 室内の空気中の化学濃度の測定	・ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 測定は,測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるものの他,以下のとおりとする。 測定対象物質：※ ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm） ※ スチレン　（濃度指針値0.05ppm） ※ トルエン　（濃度指針値0.07ppm） ※ エチルベンゼン　（濃度指針値0.88ppm） ※ キシレン　（濃度指針値0.20ppm） 測定する室等：（和室、ＤＫ：２ヵ所） 採取方法 30分間換気後、対象室内を5時間以上密閉した後、吸引方式では30分間、拡散方式では8時間以上採取する。 測定方法 ホルムアルデヒド DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法 トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し，ガスクロマトグラフィー質量分析法 測定結果等報告書の提出 測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外，室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面を当該施設に掲示する。 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引き渡しを受けないない。	(1.5.9)
10. 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
11. 建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)	

適　用　工　事	建 築 基 準 法 の 指 定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※ ３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・ Ⅱ　・ Ⅲ
・ ガラスブロック　・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・ 有　・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

⑫ 設 計 Ｇ．Ｌ	※ 図 示　⊙ 現状平均地盤高	
⑬ 技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。	(1.5.2)

適用工事種別	適 用 技 能 士 検 定 職 種（作 業）
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	⊙ 鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業）
コンクリート工事	⊙ 型枠施工
鉄骨工事	・ とび
ブロック・ALCパネル工事	・ ブロック建築　・ ＡＬＣパネル施工
防水工事	・ アスファルト防水工事作業　・ シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　⊙ シーリング防水工事作業
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り
木工事	⊙ 建築大工作業
屋根及びとい工事	⊙ 建築板金（内外装建築板金作業）　・ かわらぶき
金属工事	・ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	⊙ 左官作業
建具工事	・ ビルサッシ施工作業　⊙ ガラス施工　・ 自動ドア施工
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工　・ ビル用サッシ施工　・ ガラス施工
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ ボード仕上げ工事作業 ・ 内装床仕上げ施工（鋼製下地工事作業）　・タイル張り ・ 左官　⊙表装（壁装作業）　⊙ 建築大工　⊙ 畳製作
植栽工事	・ 造園

技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。
ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。

⑭ 完 成 図 等	営繕工事完成引渡要領（平成９年11月14日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により作成する。 ※ 完成原図　１部 ・ マイクロフィルム（県指定様式）　部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚 ・	
⑮ 完 成 写 真	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。	

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提　出　様　式
※ カラー	※ Ｌ	※ 宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※ ３部	※ 工事用アルバムA4版ポケット式程度
・ 白黒	・ ２Ｌ	・ 箇所　枚	・ 部	・ フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）
	・ 六切り			・

・ 作成しない

⑯ 設備工事との取　合　い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。 ⊙ 屋内外設備機器の基礎は建築工事で行う。	
⑰ 火 災 保 険 等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・	
⑱ 住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ⊙あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）	
2 仮設工事 1．仮　囲　い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長：敷地４方向 ・ 万能鋼板（H=　）　・ 波形鉄板（H=　）　・ 単管シート（H=3.0） ・ シートゲート（H=　，W=　）×　箇所	
⊙ 設けない		
② 危 害 防 止	※ シート張り　・ 金網養生	
3．交 通 誘 導 員	・ 配置する　・ 配置しない	
4．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　(2.3.1) ・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否） 備品（ ）	
5．工 事 表 示 板	※ 設置する。　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。	
・ 設置しない		
6．事業コスト表示板	・ 設置する。　設置枚数　※ １枚　・　枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。	
※ 設置しない		
⑦．工 事 用 水	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
⑧．工 事 用 電 力	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
9．工 事 用 通 路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）	
10．足　場　等	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。	
11．その他の仮設		
3 土工事 ①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)(表3.2.1) C種の場合　建設発生土受入数量 発生場所	
②．建設発生土の処理	⊙ 構外に搬出し適切に処理する。（場外自由処分）　(3.2.5) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。	
3．山　留　め		(3.3.1)(3.3.3)
4 地業工事 1．既成コンクリート杭地業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭(JIS規格品)　・ A種　・ B種　・ C種 ・　(4.3.2)	

記号	杭径（mm）	長さ（m）及び種別	設計支持力	セット数	備　考

TP1：試験堀り
※ 杭長については試験堀りの結果により最終決定する。
※ 杭孔掘削による発生土は建設汚泥あつかいとし適性に処分すること。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H21 ・ 3 ・ 10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 特記仕様書（１）
縮尺	
図面番号	Ａ — １ 枚ノ内
設計番号	

4 地業工事

継　手　※ アーク溶接継手又は旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　・ 閉塞平坦型　・ 開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法　(4.4.3)
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－50㎜程度
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法(旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)　(4.3.5)

杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業　コンクリートの種別　・ A種　・ B種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．地盤改良　工法(　　)

④．床下防湿層　※ 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15㎜重ね幅縦横とも250㎜以上とし、地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。　(4.6.5)
・ 設けない

⑤．土間スラブ(土間コン)下断熱材　※ 設ける　A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による　(4.6.5)
・ 設けない

⑥．砂利地業　※ 再生クラッシャラン　・ (　　)　(4.6.2～3)

5 鉄筋工事

①．鉄筋の種別　(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(㎜)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

②．溶接金網　※ JIS G 3551規格品　線径(㎜) 6.0 × 網目(㎜) 100　(5.2.2)
使用箇所(　　)

③．鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(㎜)	施工箇所
※ 重ね継手	D16以下	
※ ガス圧接	D19以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋の被り厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(㎜)

5．杭頭の補強　・ A形　・ B形　・ 図示　(別図1.1)(図1.1)

6．柱の帯筋　※ H形　(別図2.2)(図2.2)

7．はり貫通孔の補強　補強形式　※ H3形以上　・ M型　・ MH型　(別図7.1)(表7.1～7.3)

8．圧接完了後の抜取試験　試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)

6 コンクリート工事

①．設計基準強度　普通コンクリート（JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)　(6.1.4)

Fc (N/㎟)	適用箇所
・ 24	
※ 21	基礎，基礎梁，土間スラブ
⊙ 18	捨てコン

②．レディーミックスコンクリート　種別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　<6.1.5>(表6.1.1)

・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)
(アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験)
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③．スランプ　基礎，基礎梁，土間スラブ　※ 15㎝　・ 18㎝　(6.2.3)(表6.1.2)
柱，梁，スラブ，壁　※ 18㎝

④．打放し仕上げの種類　(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ A種	
※ B種	外部巾木
・ C種	

⑤．セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2)

⑥．型枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(㎜)	適用箇所
※ 合板	※ 12　・	
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する
・ ひび割れ誘発目地
目地寸法　※ 図示
位置　※ 図示

7．軽量コンクリート　(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量(t/m³)

8．寒中コンクリート　適用期間　コンクリート圧縮強度が5N/㎟に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9．無筋コンクリート　適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)
適用範囲

10．流動化コンクリート　(6.17.1)(6.17.3)

種別	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	流動化ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10　・12　・15	・18　・21	

7 鉄骨工事

1．鉄骨の製作工場　※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通省の認定を受けた工場　(7.1.3)
・ S　・ H　・ M　・ R　・ J
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者　・ 適用する　※ 適用しない　(7.1.4)

3．鋼材の種別　(7.2.1)

材質	規格
・SS400　・SSC400　・STKR400　・STKR400	JIS規格品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4．高力ボルト　※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(S10T)　・　(7.2.2)
・ JIS形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※ 1種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験　完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※6　・	
現場溶接			

6．錆止め塗装　※ 適用する　(標仕18章3節による)　(7.8.3)(7.8.4)(表18.3.1)
・ 適用しない

7．耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※ 半乾式　・ 湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

9．柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A種		※無収縮モルタル
・ B種		7.2.9(a)

10．溶融亜鉛めっき　(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A種	

8 コンクリートブロック・ALCパネル押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造　ブロックの種類　(8.3.2)
※ 空洞ブロック　16　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀　ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　16(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　08とすることができる)

3．ALCパネル　(8.4.2)(8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種　・C種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種　・D種 ・E種　・F種		
・屋根及び床パネル工法						

3．押し出し成形セメント板　(8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種		

9 防水工事

1．アスファルト防水・改質アスファルトシート防水　(9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種別	施工箇所
・ A－1	
・ B－1	
・ D－1	
・ E－1	室内(便所・浴室)
・ AS－1	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品　※ 4種

押さえ金物（※ アルミ製L－30×15×2.0　・　　）
・ 断熱材 ※A種押出法ポリスチレンフォーム3種b　厚さ(㎜) ・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　　) 適用防水種別(・　　)
・ 溶接金網(規格　　)
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　　)
製造所(　　)

2．合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ (㎜)	施工箇所	保護塗料(露出)
・S－F1	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・S－F2	※2　・		※カラー　・シルバー
・S－M1	※1.5　・		
・S－M2	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・S－M3	※1.2　・		

・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料(　　)

3．塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	・X－1	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・X－2	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Y－1	地下外壁	
	・Y－2	室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製　・　)
(設置数量：　箇所)

④．シーリング　※ 被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。

5．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1．石材　(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止　床のワックスかけ　・ 行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1．タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(㎜)	きじ			うわ薬		役物		色	
		磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う　(11.2.1)

2．タイル下地コンクリート　後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う(下記のいずれかとする)　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
MCR工法	共仕15.2.5(C)	
MCR工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。

共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度　(表11.1.2)

適用	引張り接着強度　(単位:N／㎟)
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3．陶磁器質タイル貼り　内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 改良積上げ張り　施工箇所(　　)
※ 接着剤張り　施工箇所(流し前・便所腰壁　　)

外装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所(　　)
・ 改良積上げ張り　施工箇所(　　)

ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

図面内容　(区画3-5 2DK-B)　特記仕様書（2）
縮尺

図面番号　A－2　枚ノ内
設計番号

12 木工事

①. 木　　材

含水率　(12.2.1)(表12.2.1)
構造材　（⊙ A種　・B種）
下地材　（⊙ A種　・B種）
造作材　（⊙ A種　・B種）
代用樹種を使用しない箇所　(12.2.1)(表12.2.3)
※　なし　・　あり（　　）

②. 集　成　材

造作用集成材12.2.2.(2)による　(12.2.2)

等級	見掛かり	その他
	※　1等　・2等	※　1等　・2等
単材の樹種	スプルース、タモ程度	
単材の厚さ(㎜)	１０～１５	１０～１５

③. 接　着　剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。　(12.2.6)

④. 木材保存剤

木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。　(12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
　工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，
加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺　(13.2.2)(表13.2.1)

材種	厚さ(㎜)	屋根葺形式	備考
・JIS G 3312 カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	※0.4　・	※瓦棒葺（心木なし）	
・JIS G 3321 ガルバリウム鋼板（※無塗装　　）	※0.4　・	・	AL55%
⊙ JIS G 3322 ガルバリウム鋼板（※カラー　　）	※0.4　・	⊙横葺き（ＡＴ式）	AL55%
・	・	・	

※監督員の承認する業者とする。

2．折　板　葺

JIS A 6514の規格品　(13.3.2)(表13.2.1)

材種	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・JIS G 3312の屋根用規格品（ｶﾗｰ亜鉛鉄板） ・JIS G 3302の屋根用規格品（ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板） ・JIS K 6744のSGのA種規格品（ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ被覆）	※　0.8 ・　0.5	・　0920 ・　1525 ・　1730 ・　ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ H=88	・有（　6mm） ・無	・有（30分耐火） ・無
・				

・形　式　（・　重ね形　　・　はぜ締め形）
・軒先面戸　（　　）

3．粘土瓦葺　(13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・提出する ・提出しない

④. と　　い　(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.4)(表13.5.5)

材種	防露
・配管用銅管（ＳＧＰ）	※　表13.6.5により行う　・行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
⊙ 塩化ビニル管（住宅用）60φ	

銅管製といの防露巻き工法
※　標仕　表１３．５．５による
・　樋受石（材質・規格　　）
※　第一桝まで接続

5．ルーフドレン

※　鋳鉄製　(13.5.3)
※　縦型　・　横型

14 金属工事

1．あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・　行う　※　行わない　(14.1.3)

2．ステンレス表面処理

※　ＨＬ　・　NO.2B　(14.2.1)

3．アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・　－　種		
・　－　種		

4.鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)(表14.2.2)

種別	施工箇所	
・　種		
・　種		

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※　行わない　・　行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験※　行わない　・　行う

5.軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類　(14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※　１９型　・　２５型（　　）
屋外　・　１９型　※　２５型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強（※図示　　）　(14.4.3)
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。
耐震性を考慮した補強を行う室（　　）
補強方法　※　図示

6．軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。　(14.5.3)

7．金属成形板張り

種　別　(14.6.2)
表面処理
※　割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手　・　設ける　・　設けない

8．アルミニウム製笠木

表面処理　※　B-1種　・　B-2種　(14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用※　使用する
※　使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9．手すり及びタラップ　(14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・　ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・　鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地

※　JIS A 6519　の規格品

15 左官工事

1．セルフレベリング材

・　せっこう系　・　セメント系　(15.4.2)

2．仕上げ塗材仕上げ　(15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ※複層塗材 E ・複層塗材 RS ・複層塗材 RS ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系　・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり　・メタリック 樹脂 ※アクリル系・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　・　１種　・　２種　※　３種

3．ロックウール吹付け（耐火被覆は,7章による）

吹付け厚さ（㎜）　※　１０　・　(15.7.3)

16 建具工事

①. 一般事項

防火戸の指定　(16.1.3)
・　適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※　建築基準法第２条第九号の二ロの規定に定められたもの
※　認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※　適用しない
防火戸との連動
・　適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・　自動閉鎖機構　・　ヒューズ装置　・　熱感知器　・　煙感知器　(16.1.3)
※　適用しない
見本の作成等　(16.1.4)
製　作　※　行わない　・　行う（建具表による）
仮　組　※　行わない　・　行う（建具表による）

防犯建物部品　※　使用しない　・　使用する（建具表による）　(16.1.6)

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等　(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(㎜)
⊙ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合では性能が確保されない場合は１００）
・Ｂ種	Ｓ－５			
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

⊙ 耐風圧性：Ｓ－３、気密性：Ａ－４、水密性：Ｗ－３、遮音性Ｔ－１（防犯補助錠付き）
※　適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種
	内部建具	※　Ｃ－１種　・　Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・　Ｄ－１　・　Ｄ－２
追随性の等級

3．網　　戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式　(16.2.3)

防虫網(線径0.25㎜　16-18ﾒｯｼｭ)
・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　⊙合成樹脂
防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5㎜　ピッチ15㎜

4．鋼製建具　(16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.1)(表16.3.2)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５
建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ（㎜）
窓	枠類	枠，方立，無目	表１６．３．２に同じ
出入口	枠類	一般部分	２．３
	戸	中骨	２．３
上記以外			表１６．３．２に同じ

標準型鋼製建具　※　使用する　・　使用しない

5．鋼製軽量建具　(16.4.2～4)(表16.4.1)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
・　使用しない
戸の鋼板　※　表面処理亜鉛めっき鋼板
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具　※　使用する　・　使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※　鋼製　・　アルミ製

6．ステンレス製建具　(16.5.2～5)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５
表面処理　・　ＨＬ
銅板の曲げ加工　※　普通曲げ　・　かど出し曲げ

⑦. 木製建具　(16.6.2～4)

かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※　新鳥の子程度又はビニル紙程度　・
ふすまの種類　※　戸ふすま　・　在来型　・　チップ型

⑧. 建具用金物　(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JISによる。
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成　⊙ 要　・　不要　(16.7.4)
・　不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9．自動ドア開閉装置

性　能　・　スライディングドア　(16.8.2)(表16.8.1,2)
・　スイングドア

センサーの種類　・　光線式（反射）スイッチ　(16.8.3)(表16.8.3)
・　マットスイッチ式
・　タッチスイッチ
・　補助センサ併用

凍結防止装置　・　要　※　不要
全半開装置　※　設ける（半開幅＝　　）
・　設けない

10. 重量シャッター　(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・一般シャッター	※　設ける ・　設けない	・　50 ・　80 ・　120 ・	※　上部電動式（手動併用） ・　上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※　設ける ・　設けない
・防火シャッター ・　外部用 ・　内部用	※　設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※　上部電動式（手動併用）	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。
・防煙シャッター				

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤　剛
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 特記仕様書（３）
縮尺	
図面番号	Ａ－３ 枚ノ内
設計番号	

11. 軽量シャッター

(16.11.2)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない			

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑬. ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。(16.13.2)(16.13.3)

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブラウン

複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種　(・ U３－１　・U３－２)
・ ４種　・ ５種

封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ A類　・ B類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ　・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない

ガラスの止め材
※ シーリング　⊙ ガスケット(可動アルミ建具に限る)

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、
合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

14. ガラスブロック(中空)

ＪＩＳによる区分　(16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ 160×160 ・ 320×320	・ 200×200	・ 80 ・ 95
長方形	・ 250×125	・ 320×160	・ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製 (表面処理　) ・ ステンレス製 (表面仕上　)	・ 規定しない ・ 有 (　分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)

②. 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

木部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗り）
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種　・C種
モルタル・プラスター面	・A種　※B種
コンクリート・ALC面	※A種　・B種
ボード面	※A種（継目処理工法）　※B種（その他）

３. 錆止め塗料塗り

塗料の種別(18.3.2)

鉄鋼面	※A種（屋外）※B種（屋内）・C種（標仕１９節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具）・B種　・C種（標仕１９節の場合）

錆止め塗料塗り(18.3.3)

鉄鋼面	※A種（見え掛り）※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種　※C種

４. 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別　※１種　・２種(18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り(18.4.3～5)

鉄鋼面	・A種　※B種

⑤. クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り　・A種　※B種(18.5.2)

６. フタル酸樹脂エナメル塗り

フタル酸エナメル樹脂塗り(18.6.2～3)

木部	・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種

７. アクリル樹脂非分系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り(18.7.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

８. アクリル樹脂エナメル塗り(屋外)（ＡＥ）

アクリル樹脂エナメル塗り(18.8.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

⑨. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り(18.12.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

⑩. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り(18.13.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り(18.15.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面　・A種　※B種

⑫. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り(18.16.2)
・A種　※B種

13. マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り(18.18.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・A種　・B種　・C種

⑭. 木材保護着色塗料塗り

木材保護着色塗料塗り（自然塗料２回塗り）～ 素地ごしらえ＋中塗り＋上塗り
〔玄々化学工業㈱ AURO（NP-0129）同等品〕

19 内装工事

①. ビニル床シート

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ ・	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
※ 発泡層のあるもの	⊙ ＰＦ	・	⊙ 2.3	・	※熱溶接

２. 化粧ビニル床シート

JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＮＣ又はＮＦ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

３. ビニル床タイル

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※CT(半硬質) ・CTS(軟質)	※300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・HT	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・ 2.0又は4.5	・帯電防止 ・帯動荷重

４. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離
強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の
試験後異常がないこと

５. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	３００×３００

６. ビニル幅木

(19.2.2)

材種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接		
高さ(mm)	・ ６０	※ ７５	・ １００		
厚さ(mm)	・ １.５	※ ２.０			

７. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット　(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット　(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧. フローリング張り

・ 単層フローリング　(19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

類別	材種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	・ナラ	・１５　幅７５ 長さ500以上	・ モルタル埋込み工法 ※ 釘留工法 ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
・ フローリングブロック	・ナラ	・１５　303×303		
・ モザイクパーケット	・ナラ	・１５		

⊙ 複層フローリング

類別	材種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング(ｸﾗｯｸﾚｽﾀｲﾌﾟ) ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング ・ 大型積層フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ⊙接着工法 ・特殊張り工法(体育館床)	・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ⊙ 既塗装品

⑨. 畳敷き

畳の種別　・ A種　・ B種　※ C種　・ D種(19.6.2)(表19.6.1)

⑩. 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種類又は記号	種別など		厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8　(不燃) ・ 10　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6　(不燃) ・ 12　(不燃)	
グラスウール吸音ボード (吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25　(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板 (吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12　(不燃) ・ 15　(不燃) ・ 19　(不燃)	
せっこうボード (せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15　(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
シージングせっこうボード (せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁	12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (準不燃)	
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 (色　※ 白 ・ 黄)		9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	

せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド(19.7.2)

⑫. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
居室～壁	塩化ﾋﾞﾆﾙ（ｶﾀﾛｸﾞ掲載価格1000円/㎡程度）	・ １級　⊙ ２級
		・ １級　・ ２級
		・ １級　・ ２級
		・ １級　・ ２級

品質は参考商品名である。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤　剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-5 2DK-B)　特記仕様書（４）
縮尺

図面番号　Ａ－４　枚ノ内
設計番号

20 ユニット及びその他の工事

⑬. 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

			厚さ(mm)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511の規格品
	※A種押出法 3種b （スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
⊙グラスウールマット	⊙ 24Kg/m3品	外気に接する壁・天井	⊙ 100	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)7-01-1よる

⑭. 防火サイディング

腰壁：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）
（ニチハ㈱ ﾓｴﾝｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ14 木目調 同等品）
壁 ：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）の上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付け

付柱・幕板・窓ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ：木目調繊維強化セメント板

※ 外壁材の取り付けは通気胴縁工法とする

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は第6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし ・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 合板下地ビニルクロス貼りt＝0．5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6．床目地棒 (20.2.7)

ステンレスFB（SUS304） 5～6×12 ⊙ 6×9
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式 ・ 平面 ・ 曲面

8．鏡 (20.2.9)

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

⑨. 表示（棟名称板） (20.2.10)

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札 （壁付）アクリル製 80×300
⊙各戸表示板 （平付）ステンレス製 80×250程度

10.煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式 ・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

12.ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
相談・静養室カーテン	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

⑭. カーテンレール (20.2.14)

材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

⑯. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

※ 床点検口：床下収納庫兼用形（断熱材充填タイプ）

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱. ステンレス流し台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）水切、トラップ付
⊙ 図示

⑲. コンロ台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）バックガード（※ 有 ・ 無）
⊙ 図示

⑳. つり戸棚

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）
⊙ 図示

㉑. 水切棚

※ 1段 ・ 2段 （タオル掛け付き）

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※ 100角 ・ 150角）

26. 出隅面取材

材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱

市販品 フック数（本）・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100 ・

28. 身障者用可動手すり

材種：樹脂被覆タイプ 34φ

29. 消火器ボックス

鋼製 既製品（半埋め込みタイプ） 消火器：ABC10型（※1本は強化液型）

30. ピクチャーレール

アルミ製 既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

㉛. ライニング腰板

腰板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板(7)19

32. 館名文字板

ステンレス製箱文字 200×200 8文字

㉝. ユニットバス

・1216（高齢者対応型）

㉞. 洗濯物干金物

アルミ製 （二段階調整型） ｱﾙﾏｲﾄ･ｱｸﾘﾙ焼付塗装品

㉟. 郵便受け

壁付け型 SUS304 ﾍｱﾗｲﾝ

21 排水工事

1．グレーチング (21.2.2)

※ 鋼製 ・ ステンレス製

2．鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

22 舗装工事

①. 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

②. 盛土材料

路床の盛土材料 （ B ）種 (22.2.2)(22.2.3)(表3.2.1)

3．遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理

路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 生石灰特号 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

5．路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6．路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7．砂の粒度試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧. 路盤材料

※ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く） (22.3.3)(表22.3.1)
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9．路盤の締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11．コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

⑫. ブロック系舗装

⊙ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 (22.8.2)(表22.8.1)
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬. 縁石及び側溝

(22.9.2)

14．砂利敷き

・ A種 ※ B種 (22.10.2)

15．区画線

駐車場 号棟番号マーキング 300角程度
※ JISK5665 3種1号白 溶融式 白線

23 植栽工事

1．植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2．植栽基盤

・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3．植込み用土

※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4．土壌改良材

※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たりバーク堆肥で50リットル，発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5．芝

種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (22.11.1)(表22.11.1)

6．屋上緑化

(23.5.2)(23.5.3)

工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

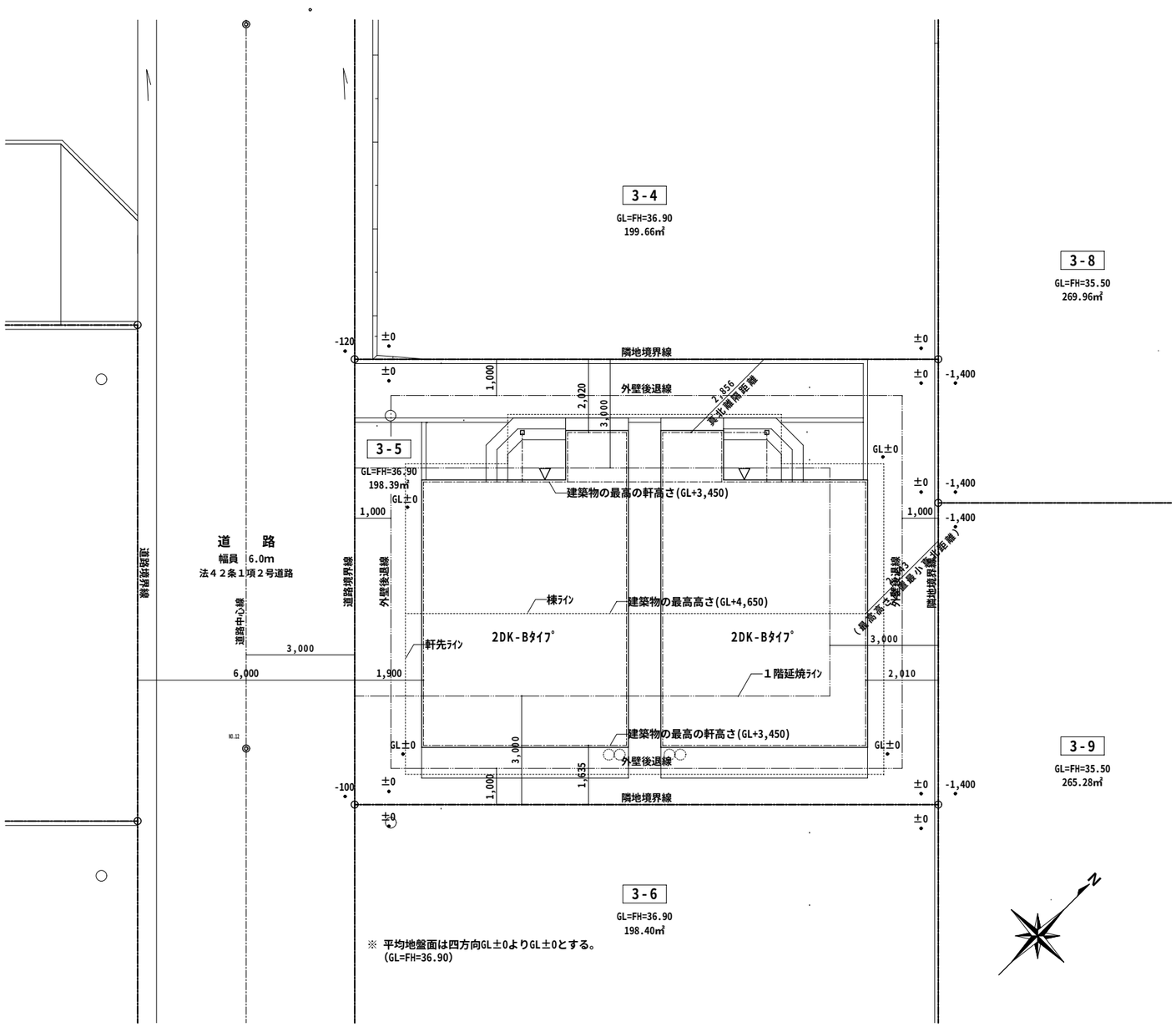
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付 H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

図面内容 (区画3-5 2DK-B) 特記仕様書（5）
縮尺

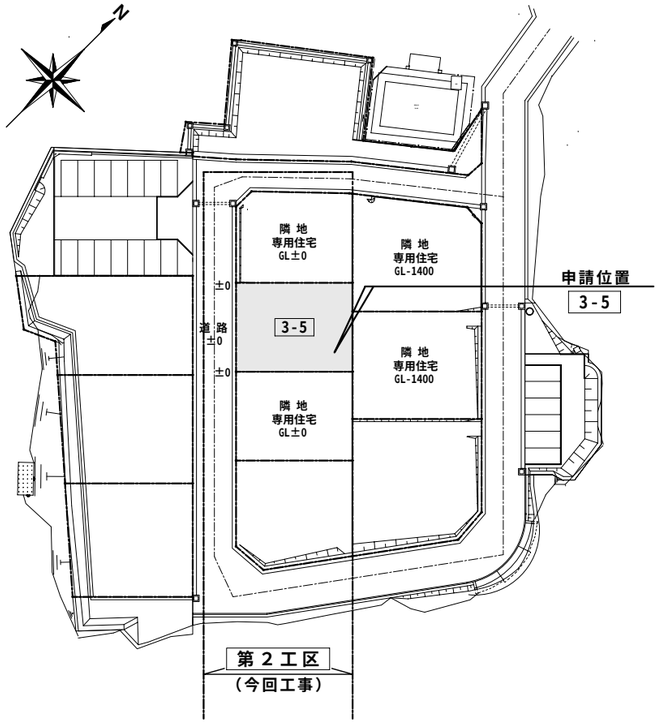
図面番号 A — 5 枚ノ内
設計番号



※ 平均地盤面は四方向GL±0よりGL±0とする。
(GL=FH=36.90)

配　置　図　　S=1:100

案　内　図

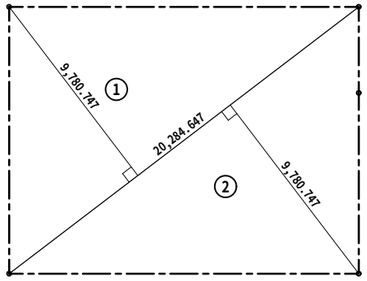


宮ノ沢住宅

団地内案内図

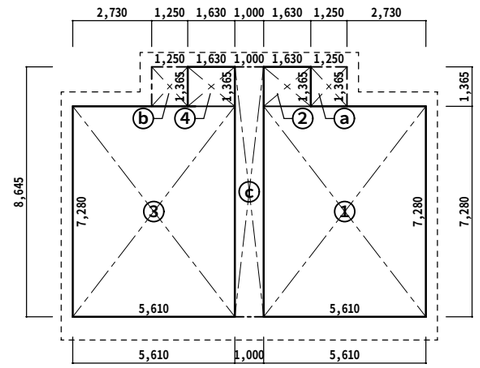
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　(区画3-5 2DK-B) 配置図・案内図 縮尺　A２　S＝1：100 A４　S＝1：200	図面番号　A — 6　枚ノ内 設計番号

■ 敷地面積計算表　【3-5】



区画 3-5　敷地面積求積表		
符号	計　算　式	計
①	20.284 ×　9.781	198.397804
②	20.284 ×　9.781	198.397804
倍面積	① ～ ②	396.795608
面　積	倍面積 ×　1/2	198.397804
地　積		198.39　㎡

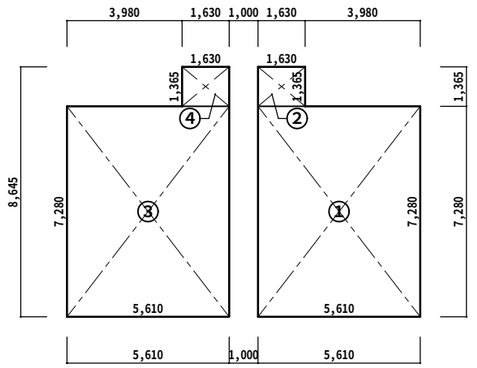
■ 建築基準法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 = 40.840800
② ④	1.63 × 1.365=　2.224950
ⓐ ⓑ	1.25 × 1.365=　1.706250
ⓒ	1.00 × 8.645=　8.645000

	計　算　根　拠　式	
建築面積	①＋②＋③＋④＋ⓐ＋ⓑ＋ⓒ	98.18 ㎡
延床面積	①＋②＋③＋④	86.13 ㎡
１住戸当りの床面積	①＋②	43.06 ㎡

■ 公営住宅法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 = 40.840800
② ④	1.63 × 1.365=　2.224950

	計　算　根　拠　式		
住戸専用面積	①	１住戸当り	40.840800 ㎡
		改め	40.84 ㎡
物置面積	②	１住戸当り	2.224950 ㎡
		改め	2.22 ㎡
公営住宅法面積			43.06 ㎡

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称：平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 面積求積図
縮尺	A２　S＝1：150 A４　S＝1：300
図面番号	A — 7　枚ノ内
設計番号	

外部仕上げ

屋根	屋根：木小屋組の上、野地板 耐水合板t=12下地、アスファルトルーフィング(940)下貼、ガルバリューム鋼板t=0.4（カラー）横葺 勾配3/10 雪止め金物：専用雪止め金物@900 2段チドリ 軒先・ケラバ水切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 破風、鼻隠し：杉板材(7)21の上ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 軒樋：塩ビ製角型(ｶﾗｰ) W=110×76（落葉よけﾈｯﾄ付き）　縦樋：塩ビ製丸型(ｶﾗｰ)60φ	軒天	ケイ酸カルシウム板(7)6.0 目透かし張り（一部有効）ＥＰ塗装
		基礎廻り	巾木：コンクリート打放し仕上げ（Ｂ種）補修、　土台スペーサーｔ=20
		ポーチ テラス	ポーチ床：モルタル金ゴテ仕上げ　段鼻：磁器質段鼻タイル150×60貼り テラス床：モルタル金ゴテ仕上げ
外壁	外壁：木軸組の上、透湿防水シート(7)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、窯業系サイディング(7)14の上アクリル系リシン吹付け 腰壁：木軸組の上、透湿防水シート(7)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、木目調窯業系サイディング(7)14(塗装品) 付柱、付梁：窯業系不燃外装装飾部材（塗装品） 土台水切・壁取合見切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工（取合い：ｼｰﾘﾝｸﾞ：ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系10×10） ※ 外壁内通気措置は住宅金融公庫融資住宅の木造住宅共通仕様書による（外壁取付ヨコ胴縁組）	開口部	建　具：カラーアルミ（網戸レール付きペアガラス仕様、S-3、A-4、W-3、H-1、T-1） ガラス：ﾍﾟｱFL3+A10+FL3、ﾍﾟｱFL3+A9+F4
		断熱材 防湿材	（断熱材） ・玄関土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(B-2)t=30 ・木床組部分　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ成形品(3種)t=55 ・外気に接する壁　：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） ・外気に接する天井：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） （防湿材） ・ベタ基礎下・玄関土間下　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15 ・外気に接する壁（室内側）：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15 ・外気に接する壁（室外側）：透湿防水シート(7)0.2 ・外気に接する天井　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15

内部仕上げ

室名	床 下地	床	巾木	巾木 H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	廻り縁	天井高	備考
玄関	ｺﾝｸﾘｰﾄ	モルタル金ゴテ仕上げ	床材立上げ ＭＤＦ	100 60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,560	手摺（集成材 φ32塗装品） 上框（150×90 塗装品）
廊下	構造用合板(7)24	複合フローリング張り(7)12	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	手摺（集成材 φ32塗装品）
ＤＫ	構造用合板(7)24	複合フローリング張り(7)12 ﾀﾞｲｹﾝ ｷｯﾁﾝﾀﾌ　同等品	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止) (流し前)抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧坂貼り(7)3.0	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	流台、コンロ台、吊戸棚、水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ 流し廻り立上りｽﾃﾝﾚｽ(7)0.8 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
和室	構造用合板(7)24	タタミ敷き(7)55	タタミ寄せ 米ツガ ＣＬ	55×30	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り（ｼﾞｭﾗｸ調）	木製野縁組	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 30×24ＣＬ	CH=2,400	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
押入 物入	構造用合板(7)24	ラワン合板(7)12張り	雑巾ズリ 米ツガ	55×30	木製胴縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（押入用） (7)9.5張り	木製野縁組	ラワン合板(7)2.5張り	塩ビ製	CH=2,400	中棚・枕棚
便所	構造用合板(7)24	クッションフロア(7)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	樹脂製Ｌ型手摺
洗面・脱衣室	構造用合板(7)24	クッションフロア(7)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	洗面化粧台(W=750) 樹脂製Ｉ型手摺
浴室	ユニットバス　1612（片開折戸ﾀｲﾌﾟ） 一般型ＢＬユニット（高齢者対応型） JISA4416同等品					（手摺取付部裏面補強材入）				CH=2,000	フリーサイズ額縁キット　風呂蓋　換気開口240角 樹脂製Ｌ型手摺、Ｉ型手摺　各１組 非常開口付折戸W=800　水栓 Nｼﾞｮｲｻｰﾓ(寒)
物置 納戸		コンクリート金ゴテ仕上げ	ﾓﾙﾀﾙ金ゴテ	100	木製胴縁組	ケイ酸カルシウム板(7)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	木製野縁組	ケイ酸カルシウム板(7)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	塩ビ製	CH=2,400	棚、給湯ｼｽﾃﾑ（機械設備工事）

既製ユニット

取付位置及び名称	参考メーカー（同等品以上）		数量
ﾃﾗｽ　物干金物(ｱﾙﾐ)	杉田ｴｰｽ	ｻﾝﾋﾟｰﾑ 450	各3ヶ所
共通　暖房及び多目的ｽﾘｰﾌﾞ（キャップ付き）	杉田ｴｰｽ	ｽﾘｰﾌﾞ VU107×114 ｷｬｯﾌﾟ 311-147・311-162	各3組
台所　流し台(ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-S120N	各1ヶ所
台所　コンロ台	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-K-60BG	各1ヶ所
台所　ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(ｼﾛｯｺﾌｧﾝ)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	BH639(H,K)	各1ヶ所
台所　吊戸棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-A-120F	各1ヶ所
台所　水切棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	NSR-120-1	各1ヶ所
洗面　洗面化粧台	ＩＮＡＸ	FTN-755SN/P1GW MFT-751H	各1ヶ所
便所　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-320(500)	各1ヶ所
洗面　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-310(400)	各1ヶ所
浴室　ユニットバス	ＴＯＴＯ	(1216ﾀｲﾌﾟ)JJV1216US	各1ヶ所
台所　風量調整型換気口	杉田ｴｰｽ	KRP100BW	各1ヶ所
ﾎﾟｰﾁ　郵便受け	杉田ｴｰｽ	ｶﾗｰﾎﾟｽﾄ SGT-2000	各1ヶ所

共通事項

特記事項

(1) 木材接合部金物は、Ｚ金物及び同等耐力認定該当品とする。（監督職員の承諾の事）
(2) ＧＬより＋1,000の木部を木材防腐防蟻塗装材塗布する。
（防蟻措置は(社)日本しろあり対策協会仕様書による）
(3) 外部建具廻り、ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾞｮｲﾝﾄ目地等漏水のおそれのある箇所及び図示の箇所にはｼｰﾘﾝｸﾞ材を充填する。
(4) 特記無き限り仕上げの異なる箇所には木製床見切りを設ける。
(5) ビニールクロス用石膏ボードはジョイントボードとする。
(6) 防火区画の貫通部分は令112条15項、16項及び令129条の2の1に従い施工の事
(7) クロス類；防火種別 2-2とする。
(8) 特記無き限り外部木部の仕上げは木材保護着色塗料塗りとする。
(9) 特記無き限り内部木部の仕上げはＯＳ塗りとする。

防火性能認定品

木目調サイディング(7)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
無地サイディング(7)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(7)14)	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
界壁　４５分準耐火構造	告示第１３５８号第１ー項ロ(1)

凡例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント（低ＶＯＣ仕様）
ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント
ＣＬ	クリアラッカー
ＯＳ	オイルステイン塗り
ＵＶ	着色ウレタン樹脂ワニス
２-ＵＣ	２液形着色ポリウレタン樹脂ワニス塗り

不燃性能認定品

ビニルクロス（石膏ボード下地）	準不燃	第ＱＭ－９４４１号
石膏ボード GB-R(7) 9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２８号
石膏ボード GB-R(7)12.5	不　燃	第ＮＭ－８６１９号
防水石膏ボード GB-S(7)9.5･12.5	準不燃	第ＱＭ－２０１８号
化粧石膏ボード GB-NC(7)9.5	不　燃	第ＮＭ－８６１３号
化粧柾目石膏ボード(7)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
化粧石膏ボード(押入用)(7)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
ケイ酸カルシウム板 FK(7)6～12	不　燃	第ＮＭ－８５７８号
抗菌メラミン不燃化粧板(7)3.0	不　燃	第ＮＭ－９３００号
化粧ケイ酸カルシウム板	不　燃	第ＮＭ－８２１７号

シックハウス対策 建築材料（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量）

【設計条件】
１）換気回数０．５回／ｈとする。
２）接着剤はＦ☆☆☆☆とする。
３）小屋裏の使用建築材料はＦ☆☆☆☆とする。

【化学物質室内測定】
○ホルムアルデヒド
（DNPH-HPLC法）　１項
○ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ
（固相吸着-溶媒抽出法）４項
測定箇所　各棟　１住戸
測定数　１住戸あたり 各項目毎 ２ヵ所測定
（ＤＫ、和室）

ＣＬ	(JIS K 5531)Ｆ☆☆☆☆	合板	(Ｆ☆☆☆☆)
ＥＰ	(JIS K 5663)Ｆ☆☆☆☆	集成材	(Ｆ☆☆☆☆)
防腐	(JIS K 1570)Ｆ☆☆☆☆	ＭＤＦ	(Ｆ☆☆☆☆)
		ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	(Ｆ☆☆☆☆)
タタミ	(JIS A 5902)Ｆ☆☆☆☆	建具用でんぷん系接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	t=12　JIS　Ｆ☆☆☆☆	油性調合ペイント	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	家庭用木部金属部塗料	(Ｆ☆☆☆☆)
同上接着材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ＧＷ断熱材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)

木材仕様

【床組】
・土台　米ツガ(防腐防蟻処理材)120×120
・大引　松１等　90×90　@910
・床束　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ床束
・床下地　耐水合板(7)24

【軸組】
・柱　杉(１等洋 上小節) 105×105
・柱　集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 105×105
和室見え掛り柱
・隅柱 杉(１等洋 上小節) 120×120
・間柱 杉 １等 105×45 75×45 @455
・筋違 杉 １等　90×45
・胴縁(内壁) 杉 １等 24×45 @455
・胴縁(外壁) 杉 １等 18×45 @455

【天井下地】
・野縁 杉 １等 45×45 @455
・吊木 杉 １等 27×36 @455

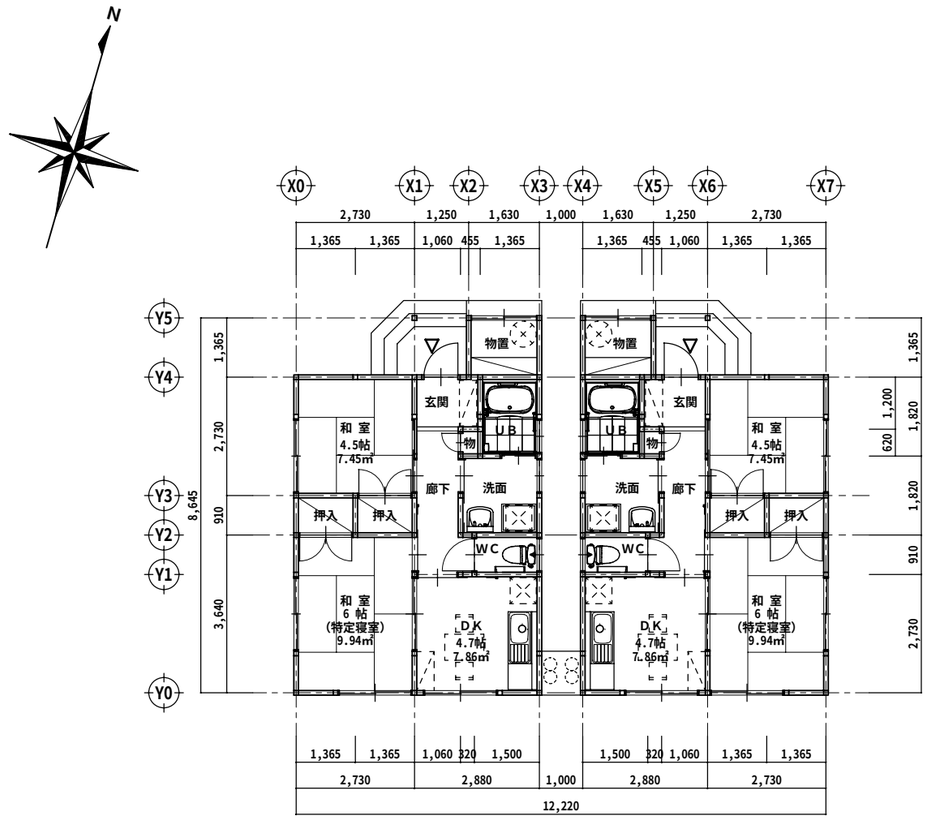
【小屋組】
・梁 棟木 松 １等 105×120～180
・母屋　松 １等 90×90 @910
・小屋束　松 １等 105×105 90×90
・火打梁　火打金物(ﾀﾀﾅ ﾋﾞｽ止めﾊﾟｲﾌﾟ火打)
・雲筋違　松 １等 90×18
・垂木　松 １等 60×45 @455
【造作材】米ツガ 無節
○米ツガ 無節(和室：ＣＬ、その他：ＯＳ)
・天井廻縁(和室)42×40
・雑巾ｽﾞﾘ　20×34
・タタミ寄 50×40、50×60
・鴨居 45×100
・付鴨居 40×45
・敷居 60×100
○ＭＤＦ
・天井廻縁(洋室)　36×32
・巾木　H=60
・長押　24×90

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

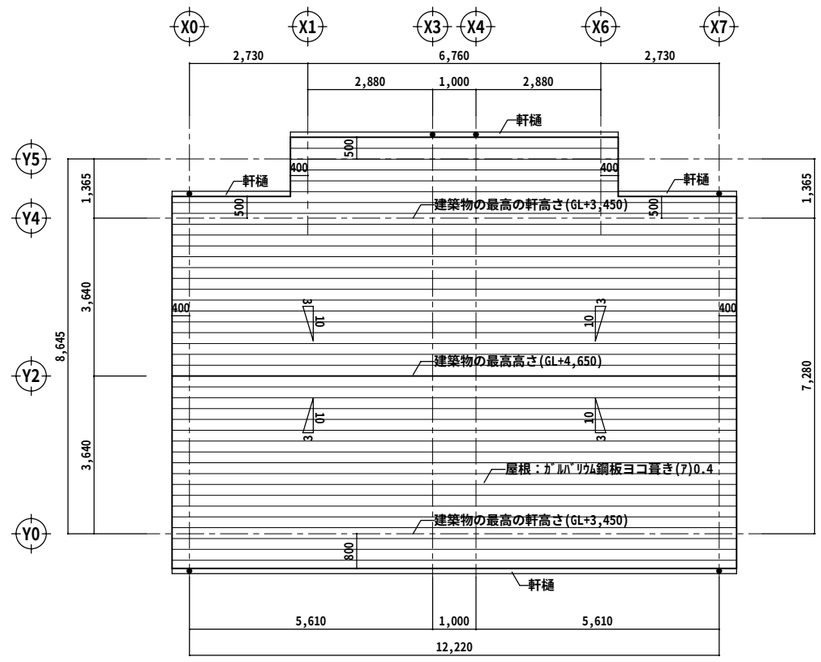
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 仕上表
縮尺	
図面番号	Ａ－８ 枚ノ内
設計番号	

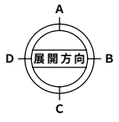


平　面　図　S=1:100

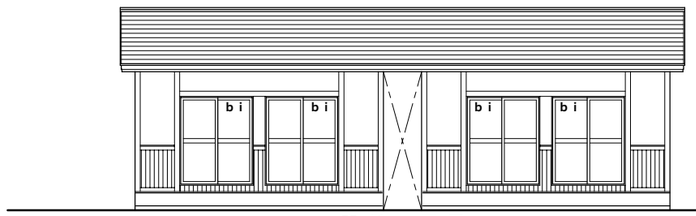


屋 根 伏 図　S=1:100

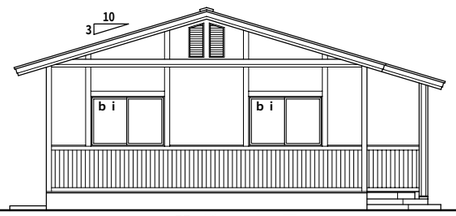
※　小屋裏利用は無い。



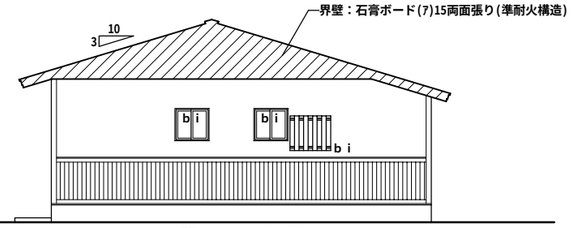
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 平面図・屋根伏図	図面番号 A — 9 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A２ S=1:100 A４ S=1:200	設計番号
		日付 H24・3・10			



南 側 立 面 図

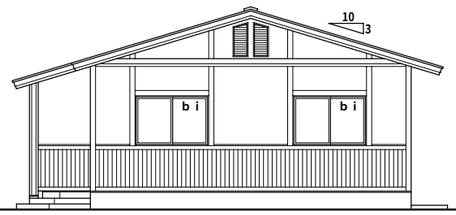


東 側 立 面 図



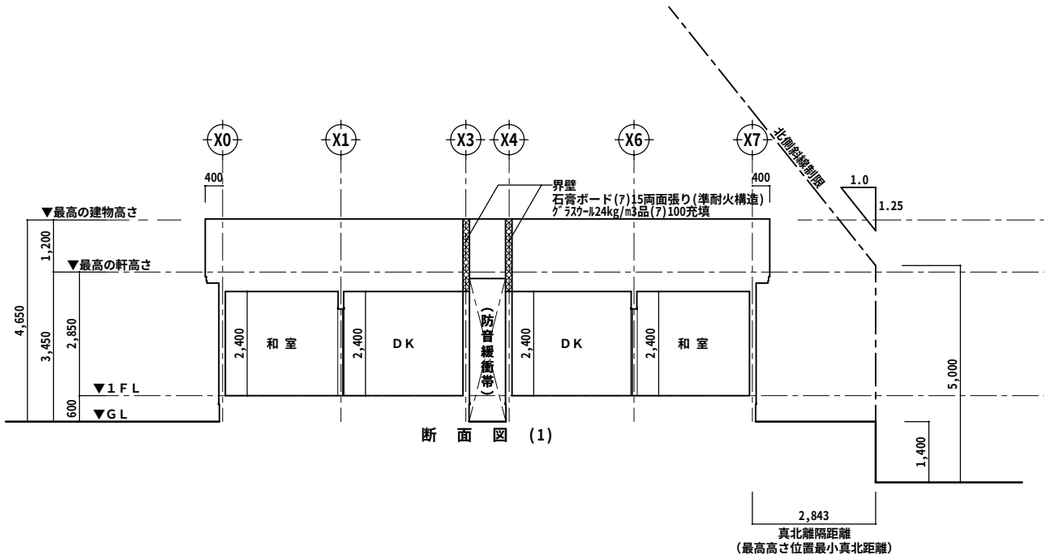
東 側 立 面 図

北 側 立 面 図

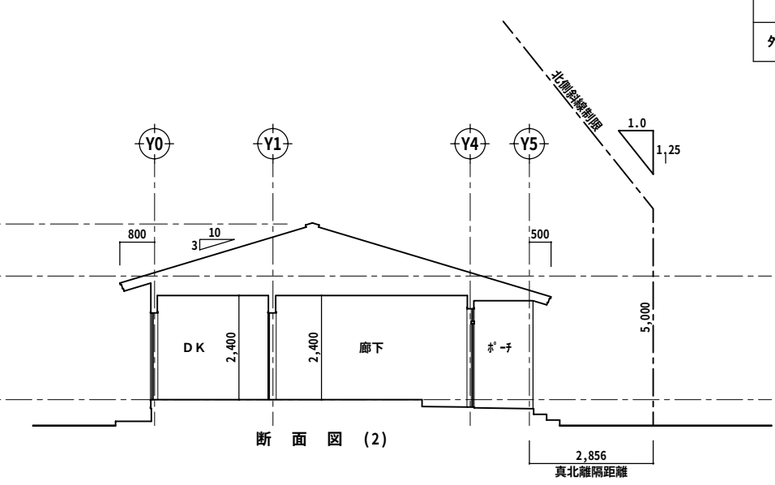


西 側 立 面 図

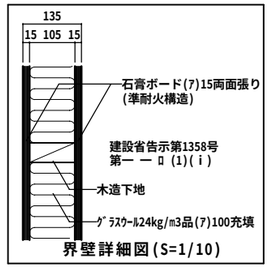
外 部 仕 上 表	
部 位	仕 上
屋 根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ヨコ葺き (ｱ)0.4 (AT式)
軒 天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0張り ＥＰ (一部有孔板)
外 壁	窯業系サイディング(ｱ)14の上 アクリル系リシン吹付け
腰 壁	木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品)
付 柱	窯業系サイディング出隅材(ｱ)18(塗装品)
幕 板	窯業系サイディング(ｱ)18(塗装品)
外部巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修(Ｂ種)



断 面 図 (1)



断 面 図 (2)



界壁詳細図(S=1/10)

※ 界壁部分を貫通する配管・配管は
法112条第15項及び告示第1422号の規定による。

(高さ制限の検討（図示以外）)
○西側道路斜線制限の検討　X0通りの高さ(1.50+6.0+1.50)×1.25＝11.25m＞建物最高高さ4.65m‥‥ＯＫ
○法５５条による高さ制限の検討　法定高さ10.0m＞建物最高高さ4.65m‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ＯＫ

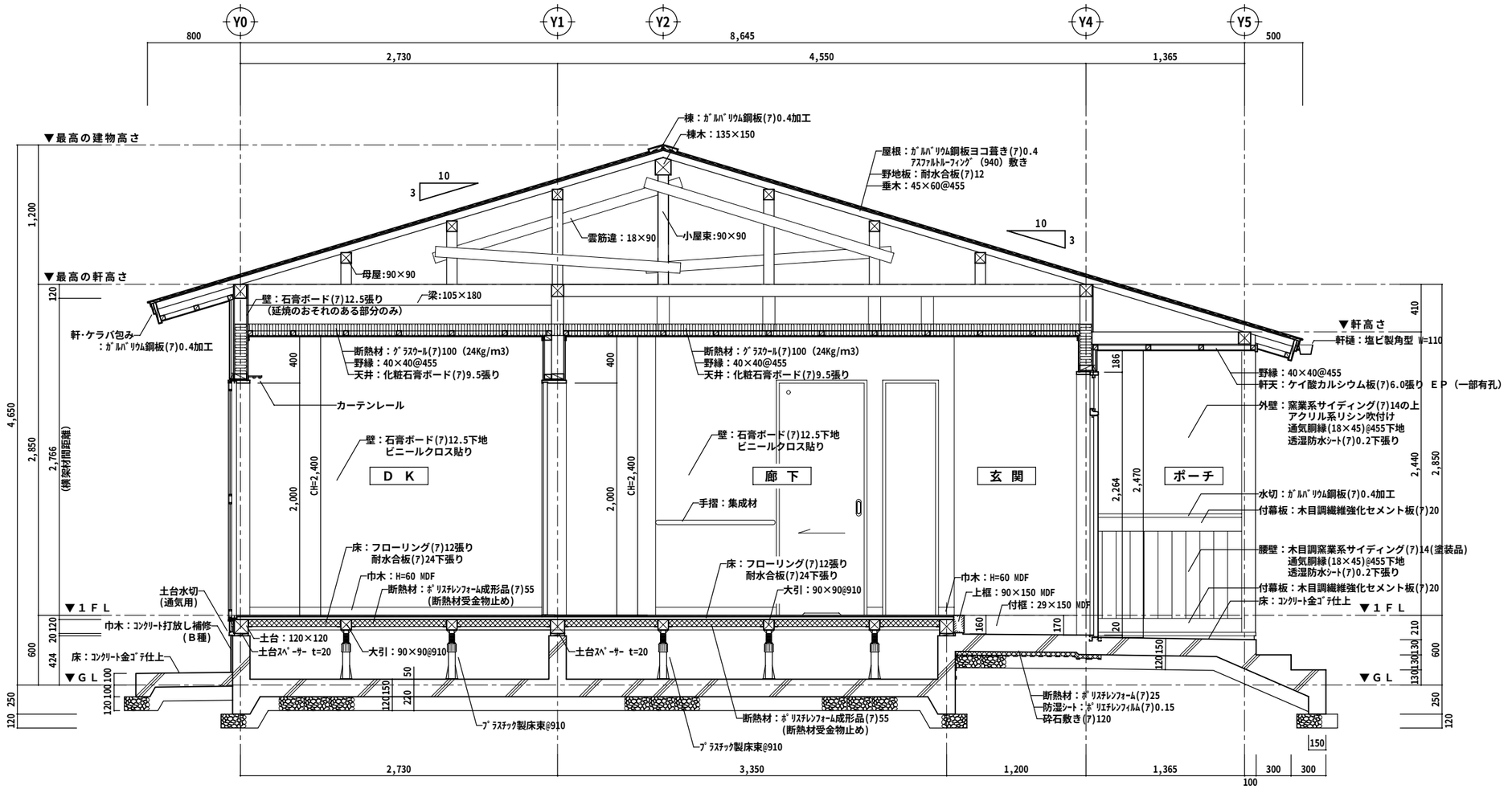
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

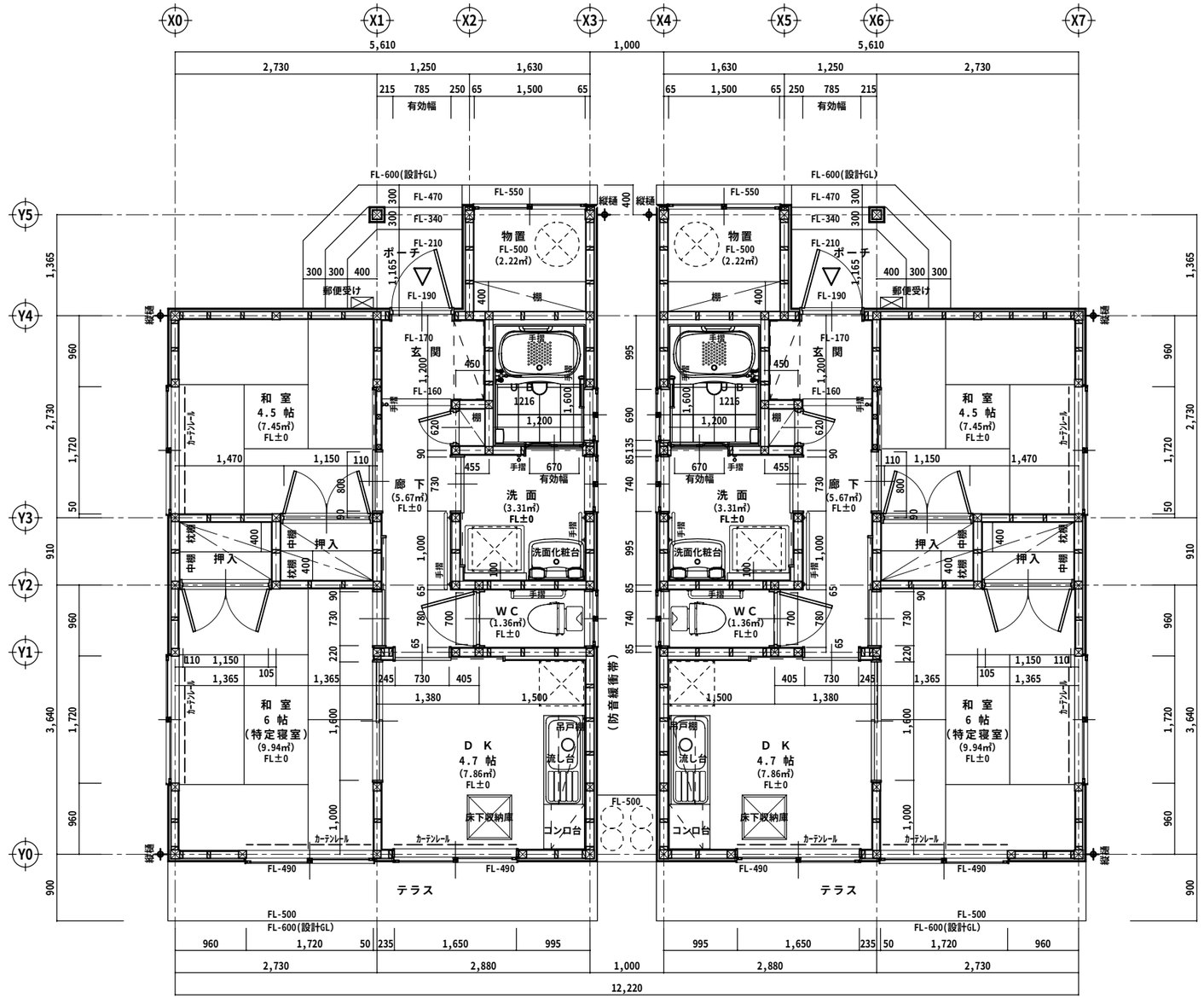
図面内容	(区画3-5 2DK-B) 立 面 図・断 面 図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	Ａ － １０ 枚ノ内
設計番号	



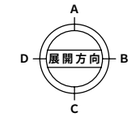
矩 計 図　S=1:30

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

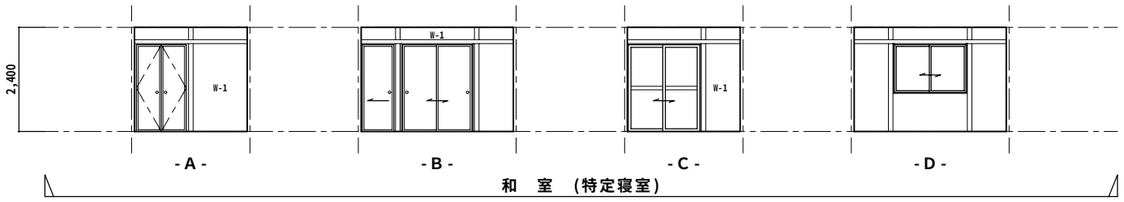
図面内容	(区画3-5 2DK-B) 矩 計 図	図面番号 A ― 11 枚ノ内
縮尺	A2 S=1:30 A4 S=1:60	設計番号

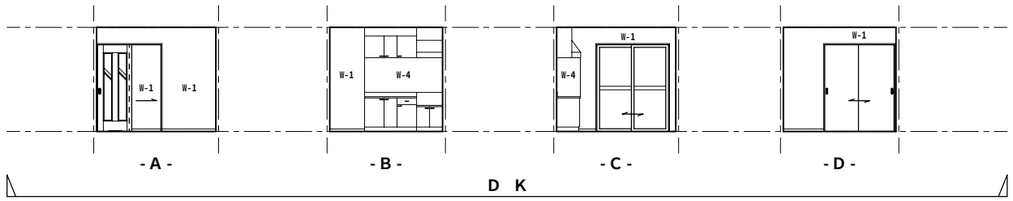


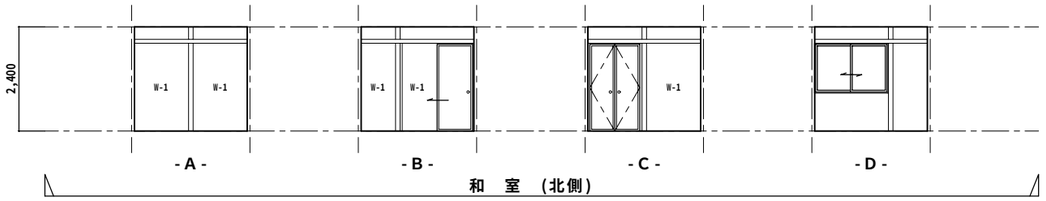
平面詳細図　S=1:50

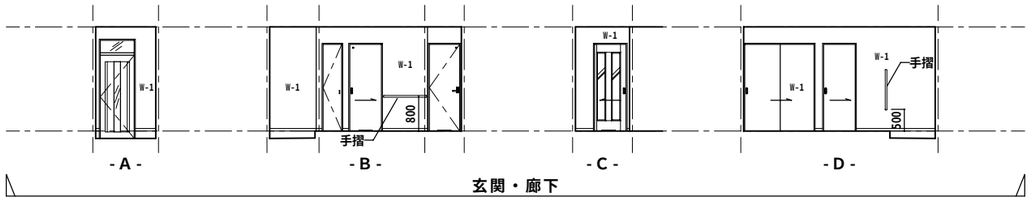


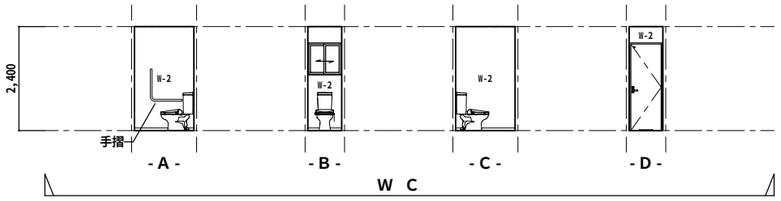
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 平面詳細図	図面番号 A－12 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	設計番号
		日付 H24・3・10			

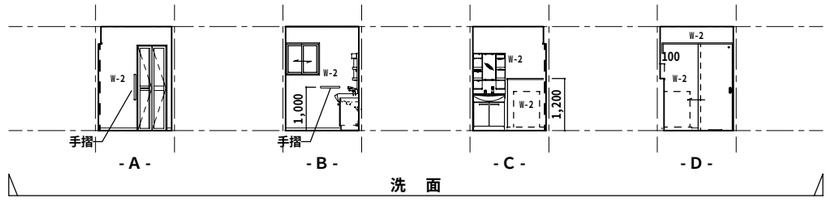


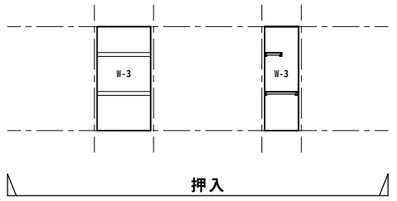


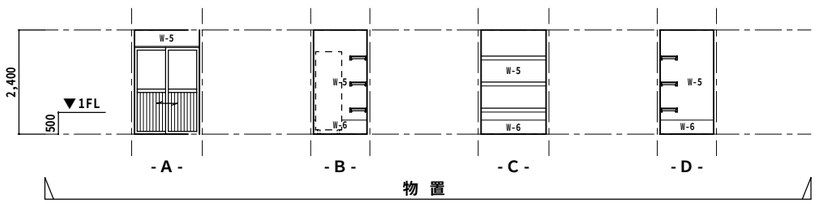












仕　上　表	
符　号	仕　　上
W-1	ビニルクロス張り(ＰＢ下地)
W-2	ビニルクロス張り(防水ＰＢ下地)
W-3	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(押入用)(7)9.5張り
W-4	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(7)3.0張り
W-5	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り　ＥＰ
W-6	モルタル金ごて仕上げ
	巾木　ＭＤＦ　Ｈ＝60

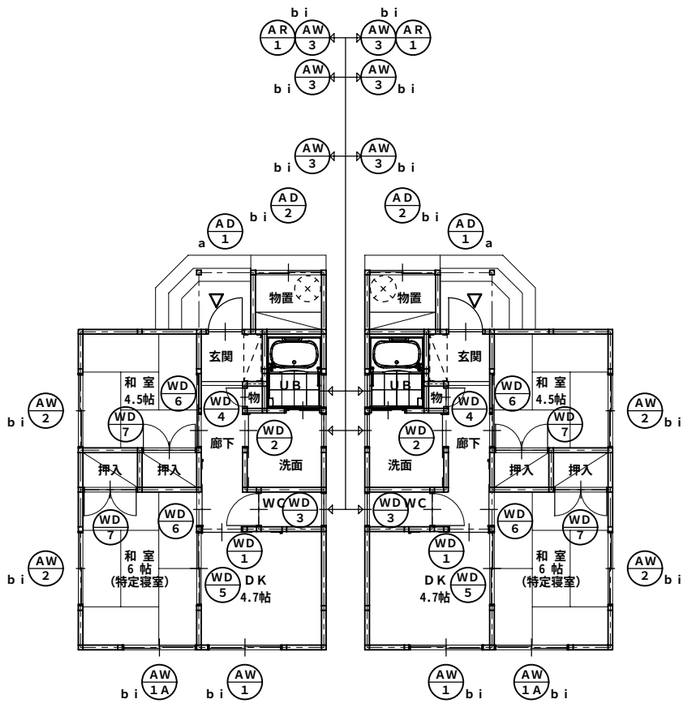
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

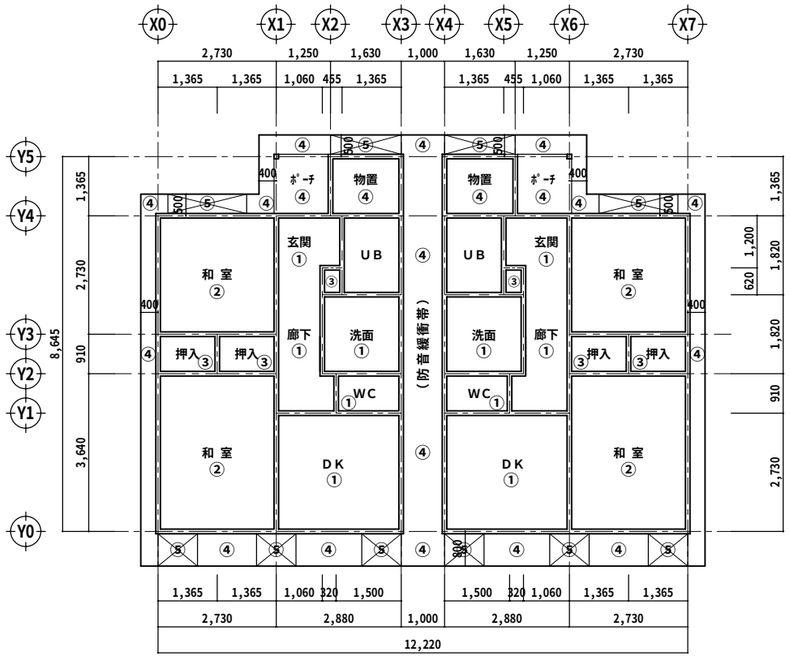
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号　伊　澤　剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B)　展　開　図
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：100 Ａ４　Ｓ＝1：200
図面番号	Ａ — １３　枚ノ内
設計番号	



キ ー プ ラ ン　S=1:100



天 井 伏 図　S=1:100

天 井 仕 上 表	
符 号	仕　上
①	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
②	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
③	ラワン合板(7)2.5張り
④	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ
⑤	有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ　（開口率：11%）

小屋裏換気計算表（１住戸当り）		
天井面積	5.61×7.28＋2.88×1.365	44.7720㎡
必要換気面積	44.7720㎡×1/250＝0.179㎡	0.179㎡
有効換気面積	1.63 ×0.3×8/100(開口率) ×2＝0.078㎡ 0.91 ×0.7×8/100(開口率) ×3＝0.152㎡	0.230㎡
判　定	必要換気面積：0.179㎡＜有効換気面積：0.230㎡‥‥ＯＫ	

（住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書8.9.1-ロ適用）
※有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0　開口率：８％
(参考) ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ ﾊｲﾗｯｸ吸音板１号　不燃NM-8576、NM-8578同等品

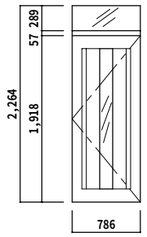
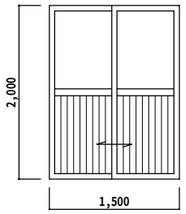
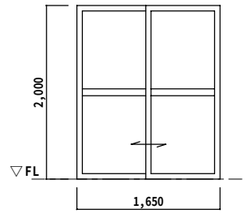
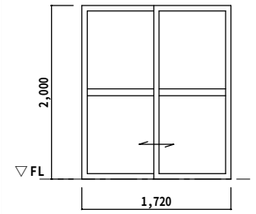
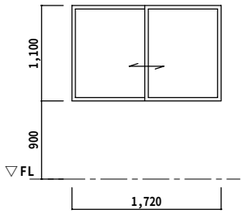
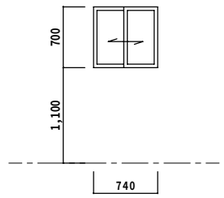
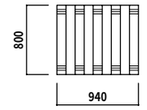
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

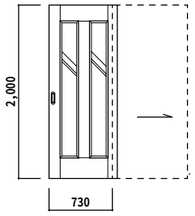
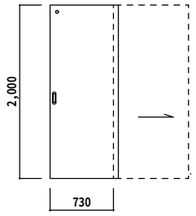
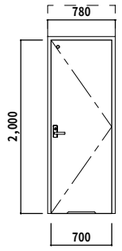
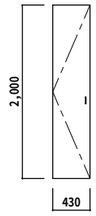
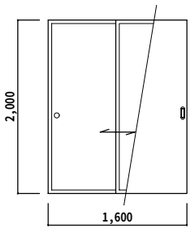
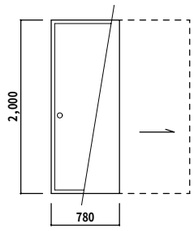
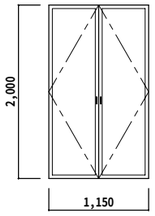
検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤　剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-5 2DK-B)　キープラン・天井伏図
縮尺　A２　S=1:100　A４　S=1:200

図面番号　A — １４　枚ノ内
設計番号

符号・個数	AD 1	2	AD 2	2	AW 1	2	AW 1A	2	AW 2	4	AW 3	6	AR 1	2
位　　置	玄 関		物 置		ＤＫ		和室		和 室		洗面脱衣室、ＷＣ、ＵＢ		洗面脱衣室	
姿　　図														
種別・見込	片開き玄関ドア（ランマ付き）		引違い戸	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	アルミルーバー	
仕　　上	ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）	
ガ　ラ　ス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4		片板ｶﾞﾗｽ 4mm		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4			
金　　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
その他備考	断熱ｻｯｼｭIII地域用（断熱材充填）ﾒｰｶｰ仕様		ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、半外付け		網戸レール、半外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、半外付け			

符号・個数	WD 1	2	WD 2	2	WD 3	2	WD 4	2	WD 5	2	WD 6	4	WD 7	4
位　　置	ＤＫ		洗面化粧室		ＷＣ		物 入		和 室		和 室		和室（押入）	
姿　　図														
種別・見込	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３０	片開きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片開き収納扉	建具見込１８	引違いﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	片違ﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	両開き押入れ襖	建具見込３０
仕　　上	樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		片面襖紙貼り	
ガ　ラ　ス	片板ｶﾞﾗｽ 4mm													
金　　物	ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ		取手		引手		引手		引手	
その他備考	Ｖﾚｰﾙ		Ｖﾚｰﾙ		ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ				敷居ｽﾍﾟｰｽ		敷居ｽﾍﾟｰｽ			

符号・個数		
位　　置		
姿　　図		
種別・見込		
仕　　上		
ガ　ラ　ス		
金　　物		
その他備考		

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 建 具 表
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：50 Ａ４　Ｓ＝1：100

図面番号	Ａ ― １５ 枚ノ内
設計番号	

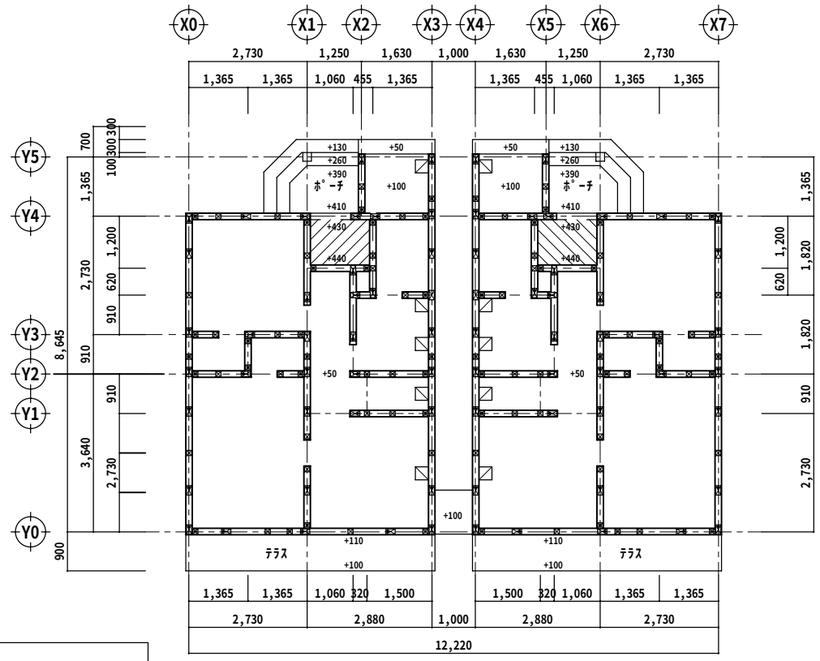
○敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
ｑａ＝30.0kN／㎡
・凍結深度：２５cm

○特 記 事 項
・土間下：砕石(7)120
防湿土間ｼｰﾄ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15

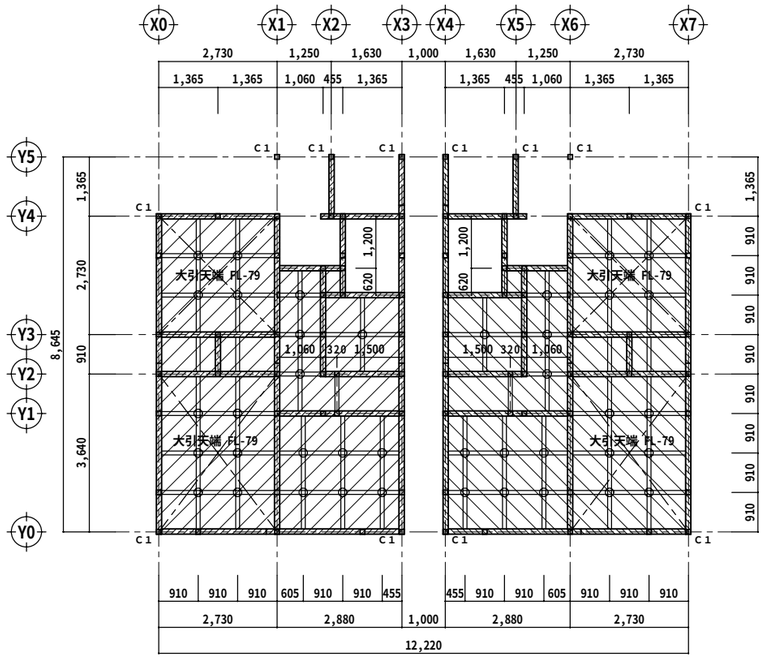
○凡 例
• ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ：M12-L400 @2,000以内
（Ｚﾏｰｸ表示品）
土台ｽﾍﾟｰｻｰ：120×120×20、120×214×20
（土台ｽﾍﾟｰｻｰは１m以内に設置する）
配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ枡：300×300×450
床断熱材敷込み：発砲ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(7)25

床下換気 １m当り
土台ｽﾍﾟｰｻｰ圧縮時厚 2.0cm
2.0cm(厚)×(100cm－24.4cm(ｽﾍﾟｰｻｰ長さ))
＝151.2cm2/m

維持管理
1.配管は基礎立上り部分等の貫通を除き、ｺﾝｸﾘｰﾄ内に埋め込まない事。
2.地中埋設管の上にｺﾝｸﾘｰﾄを打設しないこと（防湿ｺﾝｸﾘｰﾄは除く）
3.排水管は内面が円滑井である事。
4.排水管は継手により高低差が生じない事。肉厚の異なる継手が無い事。
5.排水管は溶接継手等とし支持金物等にて固定する事。



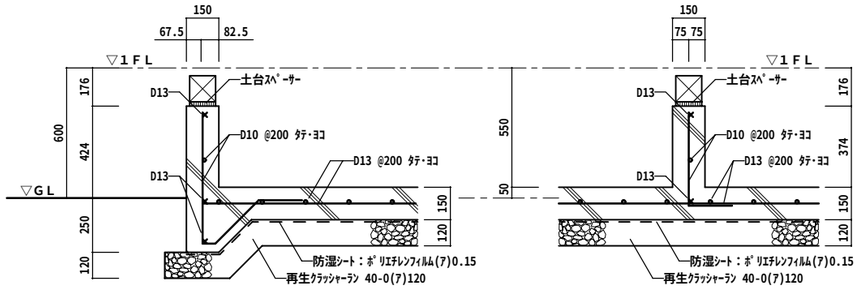
基 礎 伏 図 S=1:100



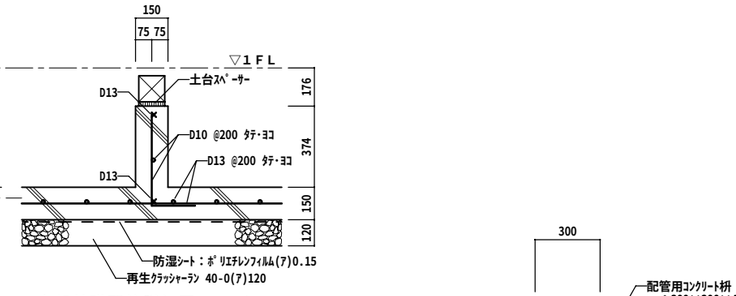
床 伏 図 S=1:100

○特 記 事 項
・特記なき柱は105×105
・ＧＬ+１m以内の部分は防腐防蟻処理を行う。

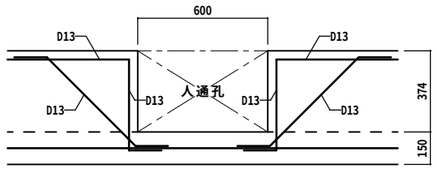
○凡 例
C1 隅柱：120×120
床束：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床束
土台：米ツガ 120×120（防腐防蟻処理材）
大引：米ツガ 90×90（防腐防蟻処理材）
床下地合板：構造用合板(7)24（4周釘打ち N75 @150）



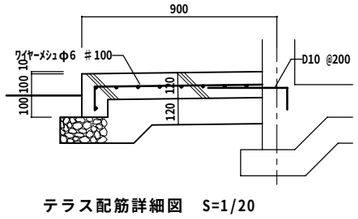
外周基礎配筋詳細図 S=1/20



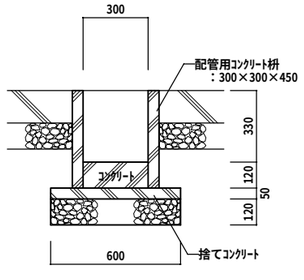
内部基礎配筋詳細図 S=1/20



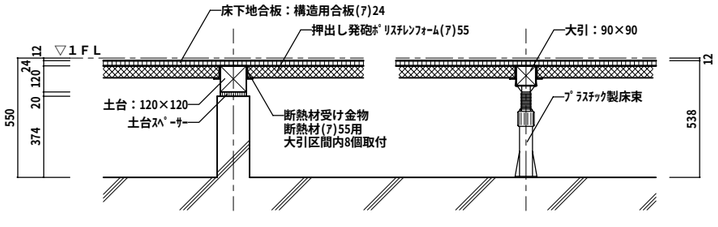
人通孔配筋詳細図 S=1/20



テラス配筋詳細図 S=1/20

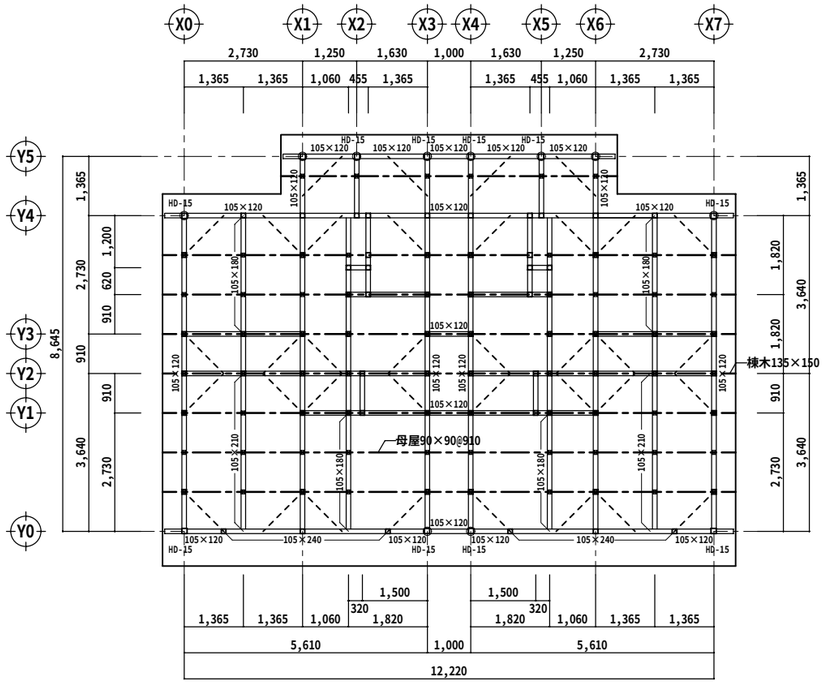


配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ桝詳細図 S=1/20
※配管は上記枡を利用し基礎立上り部にて貫通する事。



床下地組詳細図 S=1/20

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容 (区画3-5 2DK-B) 基礎伏図・床伏図	縮尺 A２ S=1:20・100 A４ S=1:40・200	図面番号 A — 16 枚ノ内	設計番号



小　屋　伏　図　　S=1:100

○凡　　例

- ○　隅柱：120×120
- □HD-25　引き寄せ金物

※特記なき頭ツナギ、梁は105×105とする。

小屋組・間仕切部材表	
頭ツナギ・梁	105×105～105×240（米松１等）
母　屋	90×90（米松１等）@910
小屋束	90×90 @910 杉
火打ち梁	火打ち金物
雲筋違い	90×18（杉１等）
垂　木	60×45 @455（米松１等）
棟　木	135×150（米松１等）
隅　柱	120×120 杉
その他の柱	105×105 杉
間　柱	105×45､75×45（赤松１等）
胴　縁	45×24 @455（杉１等）
筋違い	45×90（赤松１等）
外壁横胴縁	18×45（赤松１等）
野地板	耐水合板(7)12　釘止め N50 @150

建築基準法施行令　令４３条の確認

（１階）　柱の小径105／最大の横架材間距離2766＝1／26　＞　法定1／33

・・・・・・OK

（有効細長比）

断面二次半径＝30.31　最大の座屈長さ＝2766

有効細長比＝91.25＜150

・・・・・・OK

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

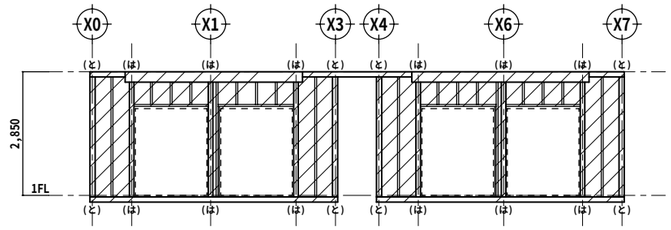
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

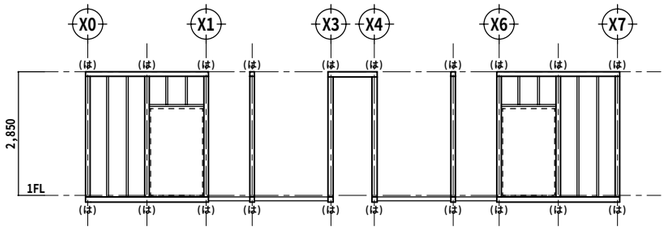
工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

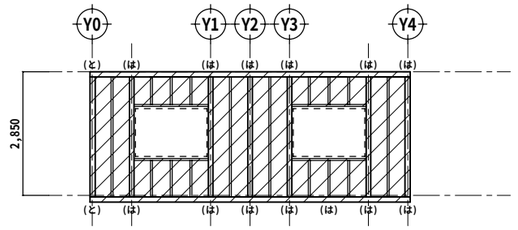
図面内容	(区画3-5 2DK-B) 小屋伏図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	A — １７ 枚ノ内
設計番号	



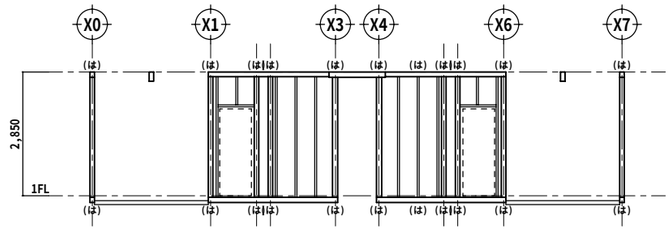
Y0通り軸組み図　S=1:100



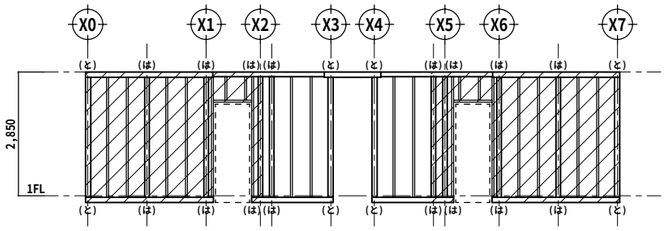
Y3通り軸組み図　S=1:100



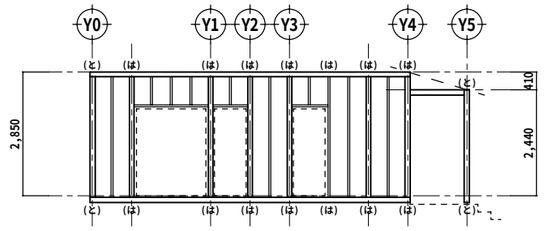
X0･X7通り軸組み図　S=1:100



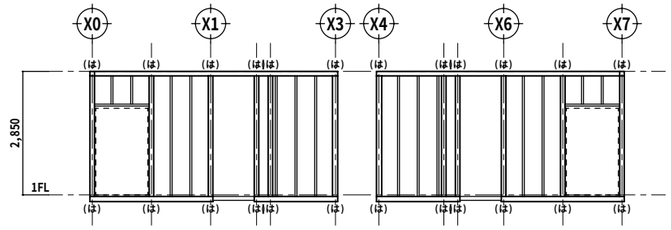
Y1通り軸組み図　S=1:100



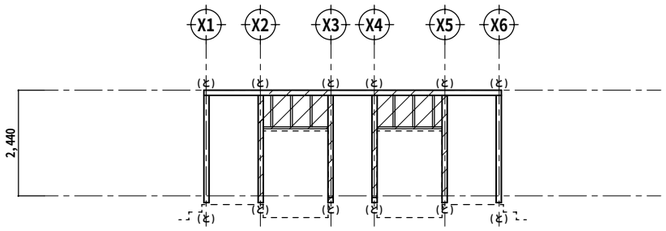
Y4通り軸組み図　S=1:100



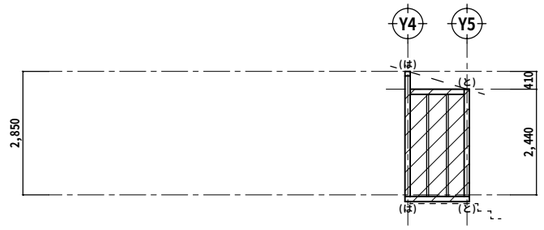
X1･X6通り軸組み図　S=1:100



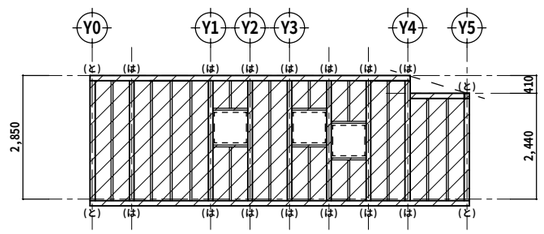
Y2通り軸組み図　S=1:100



Y5通り軸組み図　S=1:100



X2･X5通り軸組み図　S=1:100



X3･X4通り軸組み図　S=1:100

接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※ 柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※ 使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする
（Ｚマーク適合品同等）

構造用合板(7)9（釘打ち N50 @150）
（ＪＡＳ ２級適合品）

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

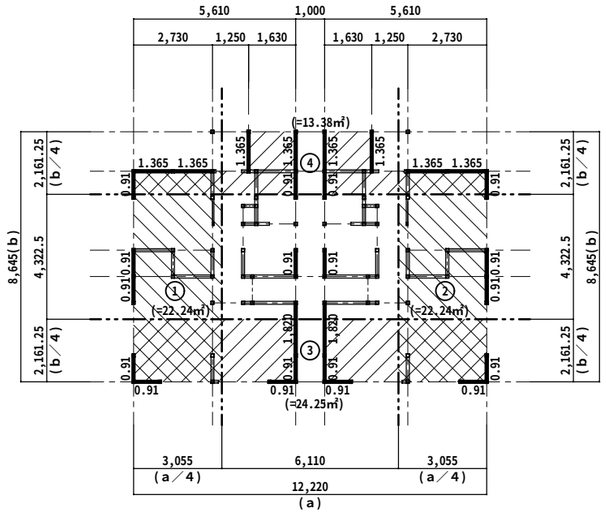
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-5 2DK-B)　軸　組　図
縮尺　A２　S=1:100　A４　S=1:200

図面番号　A ― １８　枚ノ内
設計番号

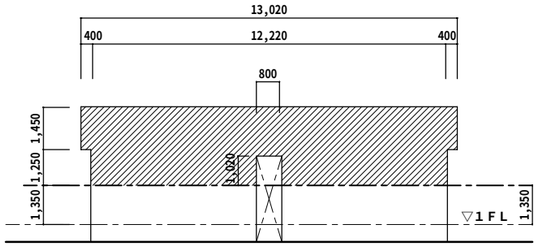


耐力壁配置チェック図　S=1:150

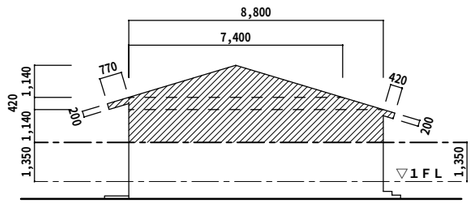
凡　例

構造用合板(7)9㎜張り

（国土交通省告示1100号別表1(1)壁倍率：2.5倍）



桁行方向見付面積求積図　S=1:150



妻側見付面積求積図　S=1:150

（Ｆ）桁行方向見付面積

12.22×1.25－0.80×1.02＋13.02×1.45 ＝ 33.34 ㎡

（Ｅ）梁間方向見付面積

8.80×1.14＋(7.40＋8.80)×0.42×1/2＋7.40×1.14×1/2

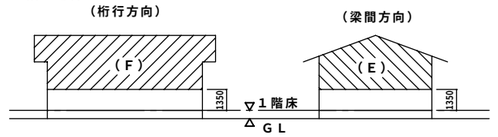
＋0.77×0.2＋0.42×0.2 ＝ 17.89 ㎡

■ 建築基準法施工令第４６条第３項による軸組計算表

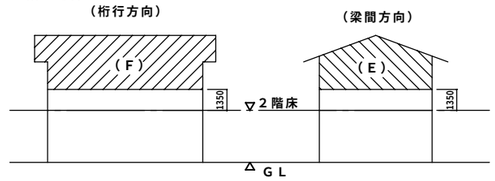
		床面積により必要とされる長さ	見付面積に必要とされる軸組の長さ							
1階部分	必要軸組長さ	床面積 86.13 ㎡ × (0.11)（軽い屋根） 0.15（重い屋根） ＝(ト) 9.474 m	梁間方向に必要とされる軸組の長さ 桁行方向の見付面積で計算する 桁行方向の見付面積（Ｆ） 33.34㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(チ) 16.670 m				桁行方向に必要とされる軸組の長さ 梁間方向の見付面積で計算する 梁間方向の見付面積（Ｅ） 17.89㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(リ) 8.945 m			
	有効軸組長さ		１階梁間方向に入れる軸組				１階桁行方向に入れる軸組			
			軸組の長さ	個所	倍率	有効軸組の長さ	軸組の長さ	個所	倍率	有効軸組の長さ
			1.82 m	2 カ所	2.5 倍	9.10 m	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 m
			1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃	1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃
			0.91 〃	14 〃	2.5 〃	31.85 〃				
	判定		(ト) m 又は (チ) 16.670 m ≦ 合計 54.60 m				(ト) 9.474 m 又は (リ) m ≦ 合計 22.75 m			

（イ）、（ニ）、（ト）:床面積により必要とされる軸組の長さ
（ロ）、（ハ）、（ホ）、（ヘ）、（チ）、（リ）:見付面積により必要とされる軸組の長さ
判定は有効軸組の合計の長さが、法により必要とされる長さ（床面積によるものと、見付面積によるもの）より大きければよい。
屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、(0.11) 、0.15)は該当する数値を○で囲む。
重い屋根:日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根 :トタン、スレート等で葺いた屋根

■１階の場合



■２階の場合



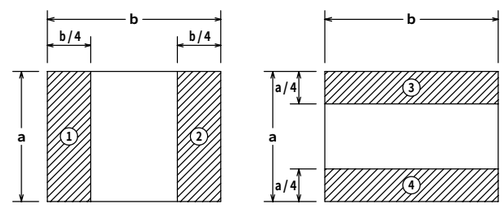
■ 耐力壁バランス計算表

	耐力壁バランスの算定方法	存在壁量（梁間方向に必要とされる軸組の長さ）					存在壁量（桁行方向に必要とされる軸組の長さ）				
1階部分	(算定式) (0.11)（軽い屋根） 必要壁量＝側端部分面積 x 0.15（重い屋根） 壁量充足率 ＝ 存在壁量 ／ 必要壁量 壁量充足率 ＞ 1.0 の場合 OK！ NO!の場合次へ 壁率比 ＝ 壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大) 壁率比 ＞ 0.5 の場合 OK！ NO!の場合、再検討		軸組の長さ	個所	倍率	有効軸組の長さ		軸組の長さ	個所	倍率	有効軸組の長さ
		①	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m	③	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m
		②	0.91 〃	〃	〃	9.10 9.10 m	④	1.365 m	4 カ所	2.5 倍	13.65 13.65 m

		必要壁量			壁量充足率				壁率比			
		面積	x 地震力	= 必要壁量	存在壁量 ／ 必要壁量	= 壁量充足率		(壁量充足率 ＞ 1.0) の場合 OK！	壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大)	= 壁率比		(壁 率 比 ＞ 0.5) の場合 OK！
梁間方向	①	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720		0.K			
	②	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720		0.K			
桁行方向	③	24.25 ㎡	0.11	2.667 m	9.10 m	2.667 m	3.412		0.K			
	④	13.38 ㎡	0.11	1.471 m	13.65 m	1.471 m	9.279		0.K			

屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、(0.11) 、0.15)は該当する数値を○で囲む。
重い屋根・・・・・日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根・・・・・トタン、スレート等で葺いた屋根

軸　組　の　種　類	倍　率
（１）土塗り壁又は木ずり柱、間柱の片面	0.5
（２）厚1.5cm巾9cmの木材、φ９㎜の鉄筋又は木ずり柱、間柱の両面	1.0
（３）厚3cm巾9cmの木材	1.5
（４）厚4.5cm巾9cmの木材	2.0
（５）9cm角の木材	3.0
（６）（２）～（４）の筋交い　タスキ掛け	各々の倍率の２倍
（７）（５）の筋交い　タスキ掛け	5.0
（８）構造用合板(7)9㎜張り（国土交通省告示1100号別表1(1)）	2.5
（９）その他建設大臣が定める軸組で（１）～（７）と同等の耐力を有するもの	0.5～5.0
(10)（１）～（２）の壁、（２）～（６）の筋交い併用の場合は各々の数値の和	



一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5 2DK-B) 耐力壁配置チェック図(1)
縮尺	A２　S＝1：150 A４　S＝1：300
図面番号	A ― １９ 枚ノ内
設計番号	

特　記　仕　様　書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事番号・名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）【区画3-6 2DK-B】

2 工 事 場 所　宮城県黒川郡富谷町富谷字清水沢地内

3 用途地域等　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）用途地域（ 第一種低層住居専用地域 ）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
その他の地域・地区（ ）

4 主 要 用 途　1) 共 同 住 宅

5 敷 地 面 積　１９８．４０㎡

6 工 事 の 概 要　Ⅰ，共同住宅　木 造　平屋建て　新築一棟
建築面積：９８．１８㎡
延床面積：８６．１３㎡
Ⅱ，電気設備工事　新設一式
Ⅲ，機械設備工事　新設一式
Ⅳ，外 構 工 事　新設一式

7 別 途 工 事

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
☉ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 解体工事特記仕様書
☉ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版)」（以下、「標準仕様書」という。）及び国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の「公営住宅建設工事共通仕様書（平成19年度版）」による。ただし、「標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」(以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築工事監理指針」(平成22年版）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一 般 事 項	⊙ 工事施工中に予期せず事態や疑義が生じた生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②．適 用 基 準 等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成19年4月1日土木部通知） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成17年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版） ・ 建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成10年版）
	３．概 成 工 期	工事工期より　日前　(1.1.2)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない
	５．発生材の処理等	発生剤の処理　(1.3.8) ・引渡しを要するもの（ ） ・特別管理産業廃棄物（ ） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの 種類 / 受入れ施設名 / 所在地（Km） ・ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ・ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ・ 建設発生木材 ・ ガラス屑 ・ 建設汚泥 ・現場において再利用を図るもの（ ） ・その他の廃棄物（安定型)(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・建設混合廃棄物) 受入れ施設名･所在地(km) 建設混合廃棄物　～ その他　～ ・その他の廃棄物（特別管理型)(非飛散アスベスト) 非飛散アスベスト　～ 上記の処理、処分は設計積算　上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

⑥ 電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない	
⑦ 事 故 報 告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。	(1.3.10)
⑧ 建 築 材 料 等	※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。	(1.4.2)
	※ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。	(1.4.1)
	※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆☆ パーティクルボード，ＭＤＦ(中質繊維板)：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ クロス類　：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ 内装工事に使用する塗料及び接着剤　：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの	(1.5.9)
⑨ 室内の空気中の化学濃度の測定	・ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 測定は,測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるものの他,以下のとおりとする。 測定対象物質：※ ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm） ※ スチレン　（濃度指針値0.05ppm） ※ トルエン　（濃度指針値0.07ppm） ※ エチルベンゼン　（濃度指針値0.88ppm） ※ キシレン　（濃度指針値0.20ppm） 測定する室等：（和室、ＤＫ：２ヵ所） 採取方法 30分間換気後、対象室内を5時間以上密閉した後、吸引方式では30分間、拡散方式では8時間以上採取する。 測定方法 ホルムアルデヒド DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法 トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し，ガスクロマトグラフィー質量分析法 測定結果等報告書の提出 測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外，室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面を当該施設に掲示する。 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引き渡しを受けない。	(1.5.9)
10. 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
11. 建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)	

適　用　工　事	建 築 基 準 法 の 指 定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※ ３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・ Ⅱ　・ Ⅲ
・ ガラスブロック　・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・ 有　・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

⑫ 設 計 Ｇ．Ｌ	※ 図 示　⊙ 現状平均地盤高	
⑬ 技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。	(1.5.2)

適用工事種別	適　用　技　能　士　検　定　職　種（作　業）
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	⊙ 鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業）
コンクリート工事	⊙ 型枠施工
鉄骨工事	・ とび
ブロック・ALCパネル工事	・ ブロック建築　・ ＡＬＣパネル施工
防水工事	・ アスファルト防水工事作業　・ シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　⊙ シーリング防水工事作業
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り
木工事	⊙ 建築大工作業
屋根及びとい工事	⊙ 建築板金（内外装建築板金作業）　・ かわらぶき
金属工事	・ 内装仕上げ施工（銅製下地工事作業）
左官工事	⊙ 左官作業
建具工事	・ ビルサッシ施工作業　⊙ ガラス施工　・ 自動ドア施工
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工　・ ビル用サッシ施工　・ ガラス施工
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ ボード仕上げ工事作業 ・ 内装床仕上げ施工（銅製下地工事作業）　・タイル張り ・ 左官　⊙表装（壁装作業）　⊙ 建築大工　⊙ 畳製作
植栽工事	・ 造園

技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。
ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。

⑭ 完 成 図 等	営繕工事完成引渡要領（平成９年11月14日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により作成する。 ※ 完成原図　１部 ・ マイクロフィルム（県指定様式）　部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚 ・	
⑮ 完 成 写 真	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。	

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提　出　様　式
※ カラー	※ Ｌ	※ 宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※ ３部	※ 工事用アルバムA4版ポケット式程度
・ 白黒	・ ２Ｌ	・ 箇所　枚	・ 部	・ フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）
	・ 六切り			・

・ 作成しない

⑯ 設備工事との取　合　い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。 ⊙ 屋内外設備機器の基礎は建築工事で行う。	
⑰ 火 災 保 険 等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・	
⑱ 住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ⊙あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）	
2 仮設工事 1．仮　囲　い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長：敷地４方向 ・ 万能鋼板（H=　）　・ 波形鉄板（H=　）　・ 単管シート（H=3.0） ・ シートゲート（H=　，W=　）×　箇所	
⊙ 設けない		
②．危 害 防 止	※ シート張り　・ 金網養生	
3．交 通 誘 導 員	・ 配置する　・ 配置しない	
4．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　(2.3.1) ・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否） 備品（ ）	
5．工 事 表 示 板	※ 設置する。　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。	
・ 設置しない		
6．事業コスト表示板	・ 設置する。　設置枚数　※ １枚　・　枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。	
※ 設置しない		
⑦．工 事 用 水	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
⑧．工 事 用 電 力	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない	
9．工 事 用 通 路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）	
10．足　場　等	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。	
11．その他の仮設		
3 土工事 ①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)(表3.2.1) C種の場合　建設発生土受入数量 発生場所	
②．建設発生土の処理	⊙ 構外に搬出し適切に処理する。（場外自由処分）　(3.2.5) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。	
3．山　留　め		(3.3.1)(3.3.3)
4 地業工事 1．既成コンクリート杭地業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭(JIS規格品)　・ A種　・ B種　・ C種 ・　(4.3.2)	

記号	杭径（㎜）	長さ（m）及び種別	設計支持力	セット数	備　考

TP1：試験堀り
※ 杭長については試験堀りの結果により最終決定する。
※ 杭孔掘削による発生土は建設汚泥あつかいとし適性に処分すること。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤　剛
日付　H21 ・ 3 ・ 10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-6 2DK-B)　特記仕様書（１）
縮尺
図面番号　Ａ — １　枚ノ内
設計番号

4 地業工事

継　手　※ アーク溶接継手又は旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　・ 閉塞平坦型　・ 開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法　(4.4.3)
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－50㎜程度
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法(旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)　(4.3.5)

杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業　コンクリートの種別　・ A種　・ B種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．地盤改良　工法(　　)

④．床下防湿層　※ 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15㎜重ね幅縦横とも250㎜以上とし、地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。(4.6.5)
・ 設けない

⑤．土間スラブ(土間コン)下断熱材　※ 設ける　A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による　(4.6.5)
・ 設けない

⑥．砂利地業　※ 再生クラッシャラン　・ (　　)　(4.6.2～3)

5 鉄筋工事

①．鉄筋の種別　(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

②．溶接金網　※ JIS G 3551規格品　線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100　(5.2.2)
使用箇所(　　)

③．鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※ 重ね継手	D16以下	
※ ガス圧接	D19以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋の被り厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

5．杭頭の補強　・ A形　・ B形　・ 図示　(別図1.1)(図1.1)

6．柱の帯筋　※ H形　(別図2.2)(図2.2)

7．はり貫通孔の補強　補強形式　※ H3形以上　・ M型　・ MH型　(別図7.1)(表7.1～7.3)

8．圧接完了後の抜取試験　試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)

6 コンクリート工事

①．設計基準強度　普通コンクリート(JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)　(6.1.4)

Fc (N/mm²)	適用箇所
・ 24	
※ 21	基礎，基礎梁，土間スラブ
⊙ 18	捨てコン

②．レディーミックスコンクリート　種別　※ I類　・ II類　<6.1.5>(表6.1.1)

・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)
(アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験)
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③．スランプ　基礎，基礎梁，土間スラブ　※ 15㎝　・ 18㎝　(6.2.3)(表6.1.2)
柱，梁，スラブ，壁　※ 18㎝

④．打放し仕上げの種類　(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ A種	
※ B種	外部巾木
・ C種	

⑤．セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2)

⑥．型枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所
※ 合板	※ 12　・	
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する
・ ひび割れ誘発目地
目地寸法　※ 図示
位置　※ 図示

7 鉄骨工事

7．軽量コンクリート　(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量(t/m³)

8．寒中コンクリート　適用期間　コンクリート圧縮強度が5N/㎟に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9．無筋コンクリート　適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)
適用範囲

10．流動化コンクリート　(6.17.1)(6.17.3)

種別	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	流動化ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10　・12　・15	・18　・21	

1．鉄骨の製作工場　※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通省の認定を受けた工場　(7.1.3)
・ S　・ H　・ M　・ R　・ J
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者　・ 適用する　※ 適用しない　(7.1.4)

3．鋼材の種別　(7.2.1)

材質	規格
・SS400　・SSC400　・STKR400　・STKR400	JIS規格品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4．高力ボルト　※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(S10T)　・　(7.2.2)
・ JIS形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※ 1種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験　完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※6　・	
現場溶接			

6．錆止め塗装　※ 適用する　(標仕18章3節による)　(7.8.3)(7.8.4)(表18.3.1)
・ 適用しない

7．耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※ 半乾式　・ 湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

9．柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A種		※無収縮モルタル
・ B種		7.2.9(a)

10．溶融亜鉛めっき　(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A種	

8 コンクリートブロック・ALCパネル押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造　ブロックの種類　(8.3.2)
※ 空洞ブロック　16　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀　ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　16(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　08とすることができる)

3．ALCパネル　(8.4.2)(8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種　・C種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種　・D種 ・E種　・F種		
・屋根及び床パネル工法						

3．押し出し成形セメント板　(8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種		

9 防水工事

1．アスファルト防水・改質アスファルトシート防水　(9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種別	施工箇所
・ A－1	
・ B－1	
・ D－1	
・ E－1	室内(便所・浴室)
・ AS－1	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品　※ 4種

押さえ金物(※ アルミ製L－30×15×2.0　・　)
・ 断熱材 ※A種押出法ポリスチレンフォーム3種b　厚さ(mm) ・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　)　適用防水種別(・　)
・ 溶接金網(規格　)
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　)
製造所(　)

2．合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ (mm)	施工箇所	保護塗料(露出)
・SF1	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・SF2	※2　・		※カラー　・シルバー
・SM1	※1.5　・		
・SM2	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・SM3	※1.2　・		

・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料(　)

3．塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	・X－1	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・X－2	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Y－1	地下外壁	
	・Y－2	室内(便所・浴室)	

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製　・　)
(設置数量：　箇所)

④．シーリング　※ 被着体との組み合わせは(表9.6.1)による。

5．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1．石材　(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止　床のワックスかけ　・ 行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1．タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う　(11.2.1)

2．タイル下地コンクリート　後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う(下記のいずれかとする)　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
MCR工法	共仕15.2.5(C)	
MCR工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法(高圧水洗)	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法(高圧水洗)	ポリマーセメントモルタル	

MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。

共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度　(表11.1.2)

適用	引張り接着強度　(単位:N／㎟)
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3．陶磁器質タイル貼り　内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 改良積上げ張り　施工箇所(　)
※ 接着剤張り　施工箇所(流し前・便所腰壁　)

外装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所(　)
・ 改良積上げ張り　施工箇所(　)

ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-6 2DK-B)
特記仕様書（２）

縮尺

図面番号　A — 2　枚ノ内

設計番号

12 木工事

①. 木　　材

含水率　(12.2.1)(表12.2.1)
構造材　（⊙ A種　・B種）
下地材　（⊙ A種　・B種）
造作材　（⊙ A種　・B種）
代用樹種を使用しない箇所　(12.2.1)(表12.2.3)
※　なし　・　あり（　　）

②. 集　成　材

造作用集成材12.2.2.(2)による　(12.2.2)

等級	見掛かり	その他
	※　1等　・2等	※　1等　・2等
単材の樹種	スプルース、タモ程度	
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

③. 接　着　剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。　(12.2.6)

④. 木材保存剤

木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。　(12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
　工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，
加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺　(13.2.2)(表13.2.1)

材種	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
・JIS G 3312 カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	※0.4　・	※瓦棒葺（心木なし）	
・JIS G 3321 ガルバリウム鋼板（※無塗装　　）	※0.4　・	・	AL55%
⊙ JIS G 3322 ガルバリウム鋼板（※カラー　　）	※0.4　・	⊙横葺き（ＡＴ式）	AL55%
・	・	・	

※監督員の承認する業者とする。

2．折　板　葺

JIS A 6514の規格品　(13.3.2)(表13.2.1)

材種	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・JIS G 3312の屋根用規格品（ｶﾗｰ亜鉛鉄板） ・JIS G 3302の屋根用規格品（ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板） ・JIS K 6744のSGのA種規格品（ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ被覆）	※　0.8 ・　0.5	・　0920 ・　1525 ・　1730 ・　ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ H=88	・有 （　6mm） ・無	・有 （30分耐火） ・無
・				

・形　式　（・　重ね形　　・　はぜ締め形）
・軒先面戸　（　　）

3．粘土瓦葺　(13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・提出する ・提出しない

④. と　　い　(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.4)(表13.5.5)

材種	防露
・配管用銅管（ＳＧＰ）	※　表13.6.5により行う　・行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
⊙ 塩化ビニル管（住宅用）60φ	

銅管製といの防露巻き工法
※　標仕　表１３．５．５による
・　樋受石（材質・規格　　）
※　第一桝まで接続

5．ルーフドレン

※　鋳鉄製　(13.5.3)
※　縦型　・　横型

14 金属工事

1．あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・　行う　※　行わない　(14.1.3)

2．ステンレス表面処理

※　ＨＬ　・　NO.2B　(14.2.1)

3．アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・　－　種		
・　－　種		

4.鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)(表14.2.2)

種別	施工箇所	
・　種		
・　種		

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※　行わない　・　行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験※　行わない　・　行う

5.軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類　(14.4.2)(表14.4.1)
屋内　※　１９型　・　２５型（　　）
屋外　・　１９型　※　２５型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強（※図示　　）　(14.4.3)
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。
耐震性を考慮した補強を行う室（　　）
補強方法　※　図示

6．軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。　(14.5.3)

7．金属成形板張り

種　別　(14.6.2)
表面処理
※　割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手　・　設ける　・　設けない

8．アルミニウム製笠木

表面処理　※　B-1種　・　B-2種　(14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用※　使用する
※　使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9．手すり及びタラップ　(14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・　ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・　鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地

※　JIS A 6519　の規格品

15 左官工事

1．セルフレベリング材

・　せっこう系　・　セメント系　(15.4.2)

2．仕上げ塗材仕上げ　(15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ※複層塗材 E ・複層塗材 RS ・複層塗材 RS ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系　・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり　・メタリック 樹脂 ※アクリル系・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　・　１種　・　２種　※　３種

3．ロックウール吹付け（耐火被覆は,7章による）

吹付け厚さ（mm）　※　１０　・　(15.7.3)

16 建具工事

①. 一般事項

防火戸の指定　(16.1.3)
・　適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※　建築基準法第２条第九号の二ロの規定に定められたもの
※　認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※　適用しない
防火戸との連動
・　適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・　自動閉鎖機構　・　ヒューズ装置　・　熱感知器　・　煙感知器　(16.1.3)
※　適用しない
見本の作成等　(16.1.4)
製　作　※　行わない　・　行う（建具表による）
仮　組　※　行わない　・　行う（建具表による）

防犯建物部品　※　使用しない　・　使用する（建具表による）　(16.1.6)

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等　(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合では性能が確保されない場合は１００）
・Ｂ種	Ｓ－５			
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

⊙　耐風圧性：Ｓ－３、気密性：Ａ－４、水密性：Ｗ－３、遮音性Ｔ－１（防犯補助錠付き）
※　適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種
	内部建具	※　Ｃ－１種　・　Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・　Ｄ－１　・　Ｄ－２
追随性の等級

3．網　　戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式　(16.2.3)

防虫網(線径0.25mm　16-18ﾒｯｼｭ)
・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　⊙合成樹脂
防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

4．鋼製建具　(16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.1)(表16.3.2)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５
建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠類	枠，方立，無目	表１６．３．２に同じ
出入口	枠類	一般部分	２．３
	戸	中骨	２．３
上記以外			表１６．３．２に同じ

標準型鋼製建具　※　使用する　・　使用しない

5．鋼製軽量建具　(16.4.2～4)(表16.4.1)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
・　使用しない
戸の鋼板　※　表面処理亜鉛めっき鋼板
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具　※　使用する　・　使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※　鋼製　・　アルミ製

6．ステンレス製建具　(16.5.2～5)

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない
外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５
表面処理　・　ＨＬ
銅板の曲げ加工　※　普通曲げ　・　かど出し曲げ

⑦. 木製建具　(16.6.2～4)

かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※　新鳥の子程度又はビニル紙程度　・
ふすまの種類　※　戸ふすま　・　在来型　・　チップ型

⑧. 建具用金物　(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JISによる。
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成　⊙ 要　・　不要　(16.7.4)
・　不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9．自動ドア開閉装置

性　能　・　スライディングドア　(16.8.2)(表16.8.1,2)
・　スイングドア

センサーの種類　・　光線式（反射）スイッチ　(16.8.3)(表16.8.3)
・　マットスイッチ式
・　タッチスイッチ
・　補助センサ併用

凍結防止装置　・　要　※　不要
全半開装置　※　設ける（半開幅＝　　）
・　設けない

10. 重量シャッター　(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・一般シャッター	※　設ける ・　設けない	・　50 ・　80 ・　120 ・	※　上部電動式（手動併用） ・　上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※　設ける ・　設けない
・防火シャッター ・　外部用 ・　内部用	※　設ける ・	（JIS A 4705による強さの区分）	※　上部電動式（手動併用）	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。
・防煙シャッター				

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤　剛
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 特記仕様書（３）
縮尺	
図面番号	A — 3 枚ノ内
設計番号	

11. 軽量シャッター

(16.11.2)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない			

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑬. ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。(16.13.2)(16.13.3)

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブラウン

複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種　(・ U３－１　・U３－２)
・ ４種　・ ５種

封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ A類　・ B類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ　・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない

ガラスの止め材
※ シーリング　⊙ ガスケット(可動アルミ建具に限る)

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、
合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

14. ガラスブロック(中空)

ＪＩＳによる区分　(16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ 160×160 ・ 320×320	・ 200×200	・ 80 ・ 95
長方形	・ 250×125	・ 320×160	・ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製 (表面処理　　) ・ ステンレス製 (表面仕上　　)	・ 規定しない ・ 有 (　　分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)

②. 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

木部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗り）
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種　・C種
モルタル・プラスター面	・A種　※B種
コンクリート・ALC面	※A種　・B種
ボード面	※A種（継目処理工法）　※B種（その他）

３. 錆止め塗料塗り

塗料の種別(18.3.2)

鉄鋼面	※A種（屋外）※B種（屋内）・C種（標仕１９節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具）・B種・C種（標仕１９節の場合）

錆止め塗料塗り(18.3.3)

鉄鋼面	※A種（見え掛り）※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種　※C種

４. 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別　※１種　・２種(18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り(18.4.3～5)

鉄鋼面	・A種　※B種

⑤. クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り　・A種　※B種(18.5.2)

６. フタル酸樹脂エナメル塗り

フタル酸エナメル樹脂塗り(18.6.2～3)

木部	・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種

７. アクリル樹脂非分系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り(18.7.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

８. アクリル樹脂エナメル塗り(屋外)（ＡＥ）

アクリル樹脂エナメル塗り(18.8.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

⑨. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り(18.12.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

⑩. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り(18.13.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り(18.15.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面　・A種　※B種

⑫. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り(18.16.2)
・A種　※B種

13. マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り(18.18.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・A種　・B種　・C種

⑭. 木材保護着色塗料塗り

木材保護着色塗料塗り（自然塗料２回塗り）～ 素地ごしらえ＋中塗り＋上塗り
〔玄々化学工業㈱　ＡＵＲＯ（NP-0129）同等品〕

19 内装工事

①. ビニル床シート

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ ・	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
※ 発泡層のあるもの	⊙ ＰＦ	・	⊙ 2.3	・	※熱溶接

２. 化粧ビニル床シート

JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＮＣ又はＮＦ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

３. ビニル床タイル

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※CT(半硬質) ・CTS(軟質)	※300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・HT	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・ 2.0又は4.5	・帯電防止 ・帯動荷重

４. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離
強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の
試験後異常がないこと

５. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	３００×３００

６. ビニル幅木

(19.2.2)

材種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接		
高さ(mm)	・ ６０	※ ７５	・ １００		
厚さ(mm)	・ １.５	※ ２.０			

７. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧. フローリング張り

・ 単層フローリング(19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

類別	材種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	・ナラ	・１５　幅７５ 長さ500以上	・ モルタル埋込み工法 ※ 釘留工法 ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
・ フローリングブロック	・ナラ	・１５　303×303		
・ モザイクパーケット	・ナラ	・１５		

⊙ 複層フローリング

類別	材種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング(ｸﾗｯｸﾚｽﾀｲﾌﾟ) ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング ・ 大型積層フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ⊙接着工法 ・特殊張り工法(体育館床)	・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ⊙ 既塗装品

⑨. 畳敷き

畳の種別　・ A種　・ B種　※ C種　・ D種(19.6.2)(表19.6.1)

⑩. 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種類又は記号	種別など		厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8　(不燃) ・ 10　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6　(不燃) ・ 12　(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25　(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12　(不燃) ・ 15　(不燃) ・ 19　(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15　(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁	12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 (色　※ 白 ・ 黄)		9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	

せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド(19.7.2)

⑫. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
居室～壁	塩化ﾋﾞﾆﾙ（ｶﾀﾛｸﾞ掲載価格1000円/㎡程度）	・ １級　⊙ ２級
		・ １級　・ ２級
		・ １級　・ ２級
		・ １級　・ ２級

品質は参考商品名である。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤　剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-6 2DK-B)　特記仕様書（４）
縮尺

図面番号　Ａ－４　枚ノ内
設計番号

20 ユニット及びその他の工事

⑬. 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

			厚さ(mm)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511の規格品
	※A種押出法 3種b （スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
⊙グラスウールマット	⊙ 24Kg/m3品	外気に接する壁・天井	⊙ 100	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)7-01-1よる

⑭. 防火サイディング

腰壁：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）
（ニチハ㈱ ﾓｴﾝｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ14 木目調 同等品）
壁 ：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）の上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付け

付柱・幕板・窓ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ：木目調繊維強化セメント板

※ 外壁材の取り付けは通気胴縁工法とする

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は第6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし ・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 合板下地ビニルクロス貼りt＝0．5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6．床目地棒 (20.2.7)

ステンレスFB（SUS304） 5～6×12 ⊙ 6×9
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式 ・ 平面 ・ 曲面

8．鏡 (20.2.9)

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

⑨. 表示（棟名称板） (20.2.10)

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札 （壁付）アクリル製 80×300
⊙各戸表示板 （平付）ステンレス製 80×250程度

10.煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式 ・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

12.ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
相談・静養室カーテン	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

⑭. カーテンレール (20.2.14)

材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

⑯. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

※ 床点検口：床下収納庫兼用形（断熱材充填タイプ）

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱. ステンレス流し台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）水切、トラップ付
⊙ 図示

⑲. コンロ台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）バックガード（※ 有 ・ 無）
⊙ 図示

⑳. つり戸棚

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）
⊙ 図示

㉑. 水切棚

※ 1段 ・ 2段 （タオル掛け付き）

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※ 100角 ・ 150角）

26. 出隅面取材

材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱

市販品 フック数（本）・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100 ・

28. 身障者用可動手すり

材種：樹脂被覆タイプ 34φ

29. 消火器ボックス

鋼製 既製品（半埋め込みタイプ） 消火器：ABC10型（※1本は強化液型）

30. ピクチャーレール

アルミ製 既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

㉛. ライニング腰板

腰板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板(7)19

32. 館名文字板

ステンレス製箱文字 200×200 8文字

㉝. ユニットバス

・1216（高齢者対応型）

㉞. 洗濯物干金物

アルミ製 （二段階調整型） ｱﾙﾏｲﾄ･ｱｸﾘﾙ焼付塗装品

㉟. 郵便受け

壁付け型 SUS304 ﾍｱﾗｲﾝ

21 排水工事

1．グレーチング (21.2.2)

※ 鋼製 ・ ステンレス製

2．鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

22 舗装工事

①. 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

②. 盛土材料

路床の盛土材料 （ B ）種 (22.2.2)(22.2.3)(表3.2.1)

3．遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理

路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 生石灰特号 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

5．路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6．路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7．砂の粒度試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧. 路盤材料

※ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く） (22.3.3)(表22.3.1)
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9．路盤の締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11．コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

⑫. ブロック系舗装

⊙ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 (22.8.2)(表22.8.1)
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬. 縁石及び側溝

(22.9.2)

14．砂利敷き

・ A種 ※ B種 (22.10.2)

15．区画線

駐車場 号棟番号マーキング 300角程度
※ JISK5665 3種1号白 溶融式 白線

23 植栽工事

1．植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2．植栽基盤

・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3．植込み用土

※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4．土壌改良材

※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たりバーク堆肥で50リットル，発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5．芝

種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (22.11.1)(表22.11.1)

6．屋上緑化

(23.5.2)(23.5.3)

工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

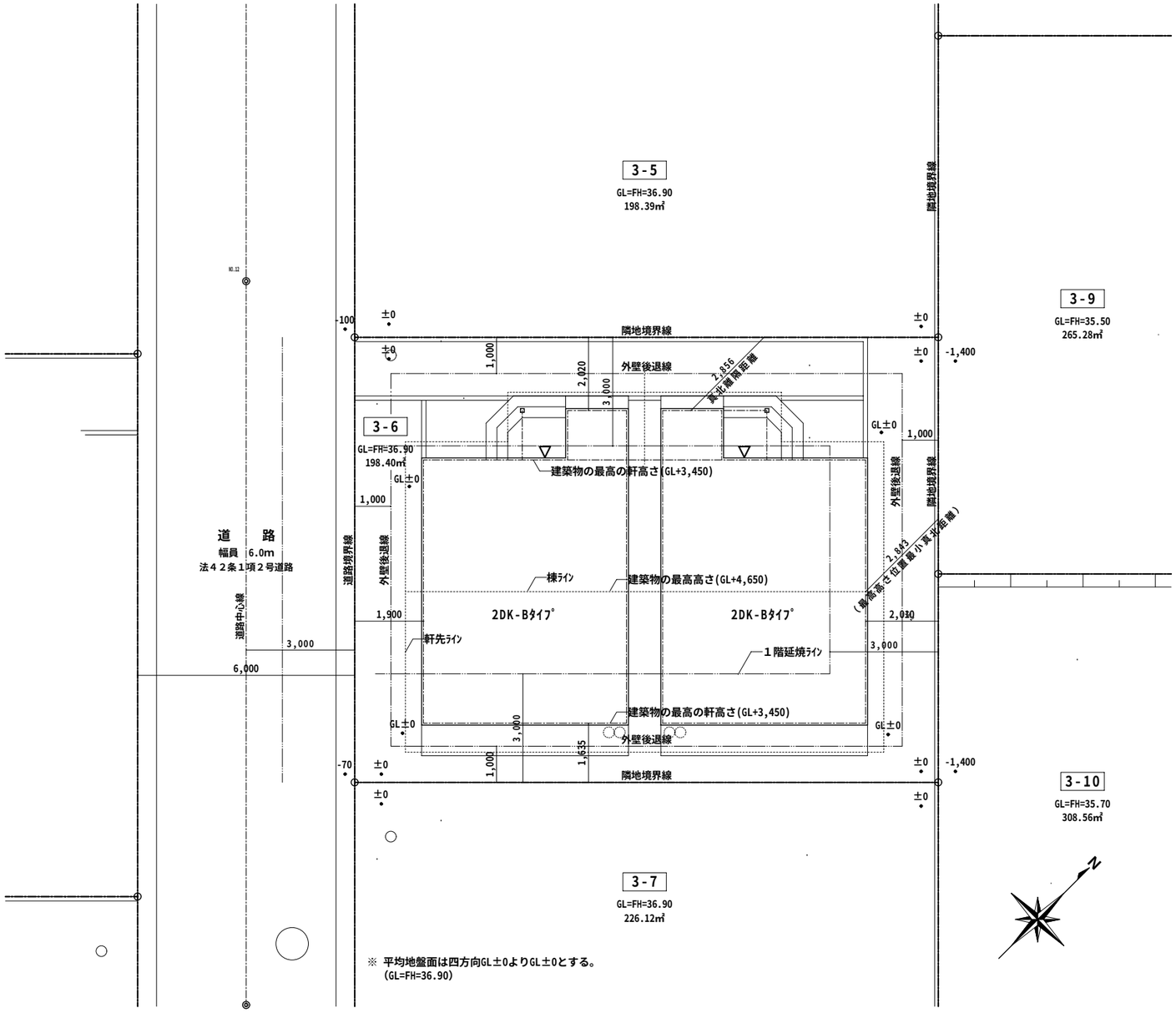
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付 H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

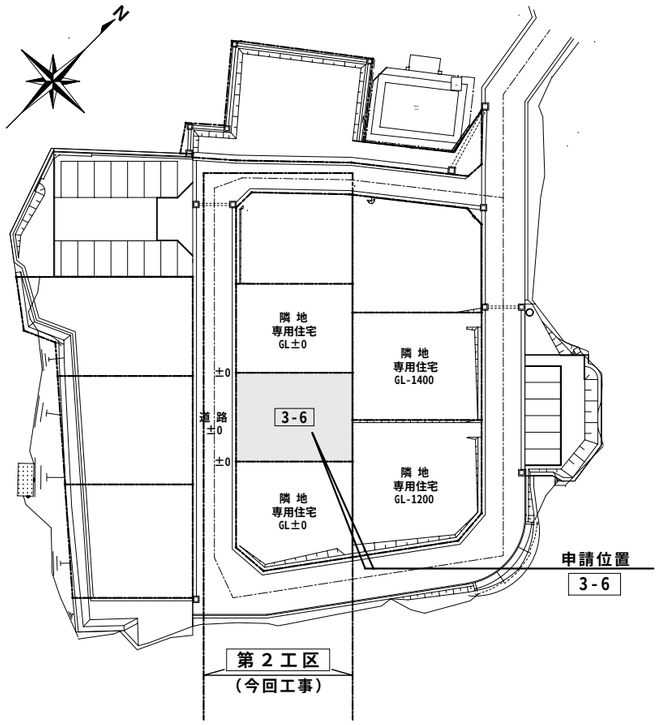
図面内容 (区画3-6 2DK-B) 特記仕様書（5）
縮尺

図面番号 A — 5 枚ノ内
設計番号



配　置　図　　S=1:100

案　内　図

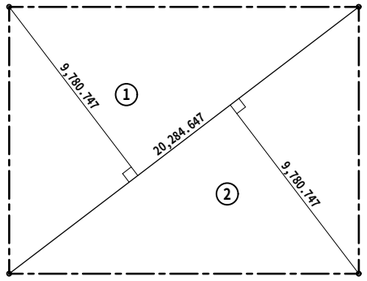


宮ノ沢住宅

団地内案内図

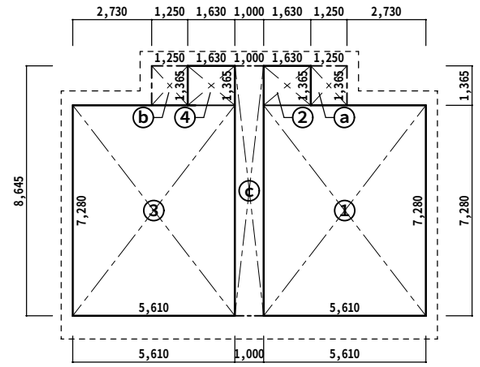
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画3-6 2DK-B) 配置図・案内図 縮尺　A２　S=1:100 A４　S=1:200	図面番号　A — 6　枚ノ内 設計番号		

■ 敷地面積計算表　【3-6】



区画 3-6　敷地面積求積表		
符号	計 算 式	計
①	20.285 × 9.781	198.407585
②	20.285 × 9.781	198.407585
倍面積	① ～ ②	396.815170
面　積	倍面積 × 1/2	198.407585
地　積		198.40 ㎡

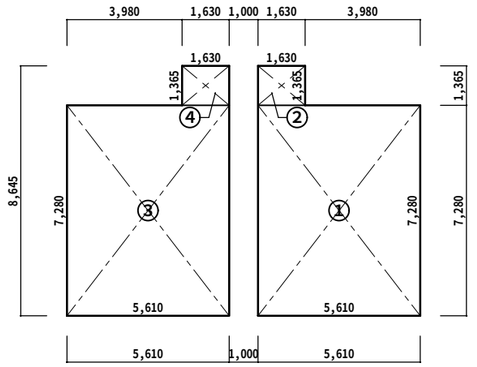
■ 建築基準法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 = 40.840800
② ④	1.63 × 1.365= 2.224950
ⓐ ⓑ	1.25 × 1.365= 1.706250
ⓒ	1.00 × 8.645= 8.645000

	計　算　根　拠　式	
建築面積	①＋②＋③＋④＋ⓐ＋ⓑ＋ⓒ	98.18 ㎡
延床面積	①＋②＋③＋④	86.13 ㎡
１住戸当りの床面積	①＋②	43.06 ㎡

■ 公営住宅法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 = 40.840800
② ④	1.63 × 1.365= 2.224950

	計　算　根　拠　式		
住戸専用面積	①	１住戸当り	40.840800 ㎡
		改め	40.84 ㎡
物置面積	②	１住戸当り	2.224950 ㎡
		改め	2.22 ㎡
公営住宅法面積			43.06 ㎡

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称：平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 面積求積図
縮尺	A２ S＝1：150 A４ S＝1：300
図面番号	A — 7 枚ノ内
設計番号	

外部仕上げ

屋根	屋根：木小屋組の上、野地板 耐水合板t=12下地、アスファルトルーフィング(940)下貼、ガルバリューム鋼板t=0.4（カラー）横葺 勾配3/10 雪止め金物：専用雪止め金物@900 2段チドリ 軒先・ケラバ水切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 破風、鼻隠し：杉板材(ｱ)21の上ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 軒樋：塩ビ製角型(ｶﾗｰ) W=110×76（落葉よけﾈｯﾄ付き）　縦樋：塩ビ製丸型(ｶﾗｰ)60φ	軒天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透かし張り（一部有効）ＥＰ塗装
		基礎廻り	巾木：コンクリート打放し仕上げ（Ｂ種）補修、　土台スペーサーｔ=20
		ポーチ テラス	ポーチ床：モルタル金ゴテ仕上げ　段鼻：磁器質段鼻タイル150×60貼り テラス床：モルタル金ゴテ仕上げ
外壁	外壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、窯業系サイディング(ｱ)14の上アクリル系リシン吹付け 腰壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品) 付柱、付梁：窯業系不燃外装装飾部材（塗装品） 土台水切・壁取合見切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工（取合い：ｼｰﾘﾝｸﾞ：ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系10×10） ※ 外壁内通気措置は住宅金融公庫融資住宅の木造住宅共通仕様書による（外壁取付ヨコ胴縁組）	開口部	建　具：カラーアルミ（網戸レール付きペアガラス仕様、S-3、A-4、W-3、H-1、T-1） ガラス：ﾍﾟｱFL3+A10+FL3、ﾍﾟｱFL3+A9+F4
		断熱材 防湿材	（断熱材） ・玄関土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(B-2)t=30 ・木床組部分　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ成形品(3種)t=55 ・外気に接する壁　：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） ・外気に接する天井：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） （防湿材） ・ベタ基礎下・玄関土間下　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室内側）：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室外側）：透湿防水シート(ｱ)0.2 ・外気に接する天井　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15

内部仕上げ

室名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	廻り縁	天井高	備考
玄関	ｺﾝｸﾘｰﾄ	モルタル金ゴテ仕上げ	床材立上げ ＭＤＦ	100 60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,560	手摺（集成材 φ32塗装品） 上框（150×90 塗装品）
廊下	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	手摺（集成材 φ32塗装品）
ＤＫ	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12 ﾀﾞｲｹﾝ ｷｯﾁﾝﾀﾀﾌ　同等品	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止) (流し前)抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧坂貼り(ｱ)3.0	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	流台、コンロ台、吊戸棚、水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ 流し廻り立上りｽﾃﾝﾚｽ(ｱ)0.8 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
和室	構造用合板(ｱ)24	タタミ敷き(ｱ)55	タタミ寄せ 米ツガ ＣＬ	55×30	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り（ｼﾞｭﾗｸ調）	木製野縁組	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 30×24ＣＬ	CH=2,400	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
押入 物入	構造用合板(ｱ)24	ラワン合板(ｱ)12張り	雑巾ズリ 米ツガ	55×30	木製胴縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（押入用） (ｱ)9.5張り	木製野縁組	ラワン合板(ｱ)2.5張り	塩ビ製	CH=2,400	中棚・枕棚
便所	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	樹脂製Ｌ型手摺
洗面・脱衣室	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	洗面化粧台(W=750) 樹脂製Ｉ型手摺
浴室	ユニットバス　1612（片開折戸ﾀｲﾌﾟ） 一般型ＢＬユニット（高齢者対応型） JISA4416同等品					（手摺取付部裏面補強材入）				CH=2,000	フリーサイズ額縁キット　風呂蓋　換気開口240角 樹脂製Ｌ型手摺、Ｉ型手摺　各１組 非常開口付折戸W=800　水栓 Nｼﾞｮｲｻｰﾓ(寒)
物置 納戸		コンクリート金ゴテ仕上げ	ﾓﾙﾀﾙ金ゴテ	100	木製胴縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	木製野縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	塩ビ製	CH=2,400	棚、給湯ｼｽﾃﾑ（機械設備工事）

既製ユニット

取付位置及び名称	参考メーカー（同等品以上）		数量
ﾃﾗｽ　物干金物(ｱﾙﾐ)	杉田ｴｰｽ	ｻﾝﾋﾞｰﾑ 450	各3ヶ所
共通　暖房及び多目的ｽﾘｰﾌﾞ（キャップ付き）	杉田ｴｰｽ	ｽﾘｰﾌﾞ VU107×114 ｷｬｯﾌﾟ 311-147・311-162	各3組
台所　流し台(ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-S120N	各1ヶ所
台所　コンロ台	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-K-60BG	各1ヶ所
台所　ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(ｼﾛｯｺﾌｧﾝ)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	BH639(H,K)	各1ヶ所
台所　吊戸棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	GKW-A-120F	各1ヶ所
台所　水切棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ	NSR-120-1	各1ヶ所
洗面　洗面化粧台	ＩＮＡＸ	FTN-755SN/P1GW MFT-751H	各1ヶ所
便所　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-320(500)	各1ヶ所
洗面　手摺	ＩＮＡＸ	MKF-310(400)	各1ヶ所
浴室　ユニットバス	ＴＯＴＯ	(1216ﾀｲﾌﾟ)JJV1216US	各1ヶ所
台所　風量調整型換気口	杉田ｴｰｽ	KRP100BW	各1ヶ所
ﾎﾟｰﾁ　郵便受け	杉田ｴｰｽ	ｶﾗｰﾎﾟｽﾄ SGT-2000	各1ヶ所

共通事項

特記事項

(1) 木材接合部金物は、Ｚ金物及び同等耐力認定該当品とする。（監督職員の承諾の事）
(2) ＧＬより＋1,000の木部を木材防腐防蟻塗装材塗布する。
（防蟻措置は(社)日本しろあり対策協会仕様書による）
(3) 外部建具廻り、ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾞｮｲﾝﾄ目地等漏水のおそれのある箇所及び図示の箇所にはｼｰﾘﾝｸﾞ材を充填する。
(4) 特記無き限り仕上げの異なる箇所には木製床見切りを設ける。
(5) ビニールクロス用石膏ボードはジョイントボードとする。
(6) 防火区画の貫通部分は令112条15項、16項及び令129条の2の1に従い施工の事
(7) クロス類；防火種別 2-2とする。
(8) 特記無き限り外部木部の仕上げは木材保護着色塗料塗りとする。
(9) 特記無き限り内部木部の仕上げはＯＳ塗りとする。

防火性能認定品

木目調サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
無地サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(ｱ)14)	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
界壁　４５分準耐火構造	告示第１３５８号第１ー項ロ(1)

凡例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント（低ＶＯＣ仕様）
ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント
ＣＬ	クリアラッカー
ＯＳ	オイルステイン塗り
ＵＶ	着色ウレタン樹脂ワニス
２-ＵＣ	２液形着色ポリウレタン樹脂ワニス塗り

不燃性能認定品

ビニルクロス（石膏ボード下地）	準不燃	第ＱＭ－９４４１号
石膏ボード GB-R(ｱ) 9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２８号
石膏ボード GB-R(ｱ)12.5	不　燃	第ＮＭ－８６１９号
防水石膏ボード GB-S(ｱ)9.5･12.5	準不燃	第ＱＭ－２０１８号
化粧石膏ボード GB-NC(ｱ)9.5	不　燃	第ＮＭ－８６１３号
化粧柾目石膏ボード(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
化粧石膏ボード(押入用)(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
ケイ酸カルシウム板 FK(ｱ)6～12	不　燃	第ＮＭ－８５７８号
抗菌メラミン不燃化粧板 (ｱ)3.0	不　燃	第ＮＭ－９３００号
化粧ケイ酸カルシウム板	不　燃	第ＮＭ－８２１７号

シックハウス対策 建築材料（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量）

【設計条件】
１）換気回数０．５回／ｈとする。
２）接着剤はＦ☆☆☆☆とする。
３）小屋裏の使用建築材料はＦ☆☆☆☆とする。

【化学物質室内測定】
○ホルムアルデヒド
（DNPH-HPLC法）　１項
○ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ
（固相吸着-溶媒抽出法）４項
測定箇所　各棟　１住戸
測定数　１住戸あたり 各項目毎 ２ヵ所測定
（ＤＫ、和室）

ＣＬ	(JIS K 5531)Ｆ☆☆☆☆	合板	(Ｆ☆☆☆☆)
ＥＰ	(JIS K 5663)Ｆ☆☆☆☆	集成材	(Ｆ☆☆☆☆)
防腐	(JIS K 1570)Ｆ☆☆☆☆	ＭＤＦ	(Ｆ☆☆☆☆)
		ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	(Ｆ☆☆☆☆)
タタミ	(JIS A 5902)Ｆ☆☆☆☆	建具用でんぷん系接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	t=12　JIS　Ｆ☆☆☆☆	油性調合ペイント	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	家庭用木部金属部塗料	(Ｆ☆☆☆☆)
同上接着材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ＧＷ断熱材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)

木材仕様

【床組】
・土台　米ツガ(防腐防蟻処理材)120×120
・大引　松１等　90×90　@910
・床束　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ床束
・床下地　耐水合板(ｱ)24

【軸組】
・柱　杉(１等洋 上小節) 105×105
・柱　集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 105×105
和室見え掛り柱
・隅柱 杉(１等洋 上小節) 120×120
・間柱 杉 １等 105×45 75×45 @455
・筋違 杉 １等　90×45
・胴縁(内壁) 杉 １等 24×45 @455
・胴縁(外壁) 杉 １等 18×45 @455

【天井下地】
・野縁 杉 １等 45×45 @455
・吊木 杉 １等 27×36 @455

【小屋組】
・梁 棟木 松 １等 105×120～180
・母屋　松 １等 90×90 @910
・小屋束　松 １等 105×105 90×90
・火打梁　火打金物(ﾀﾀﾅ ﾋﾞｽ止めﾊﾟｲﾌﾟ火打)
・雲筋違　松 １等 90×18
・垂木　松 １等 60×45 @455

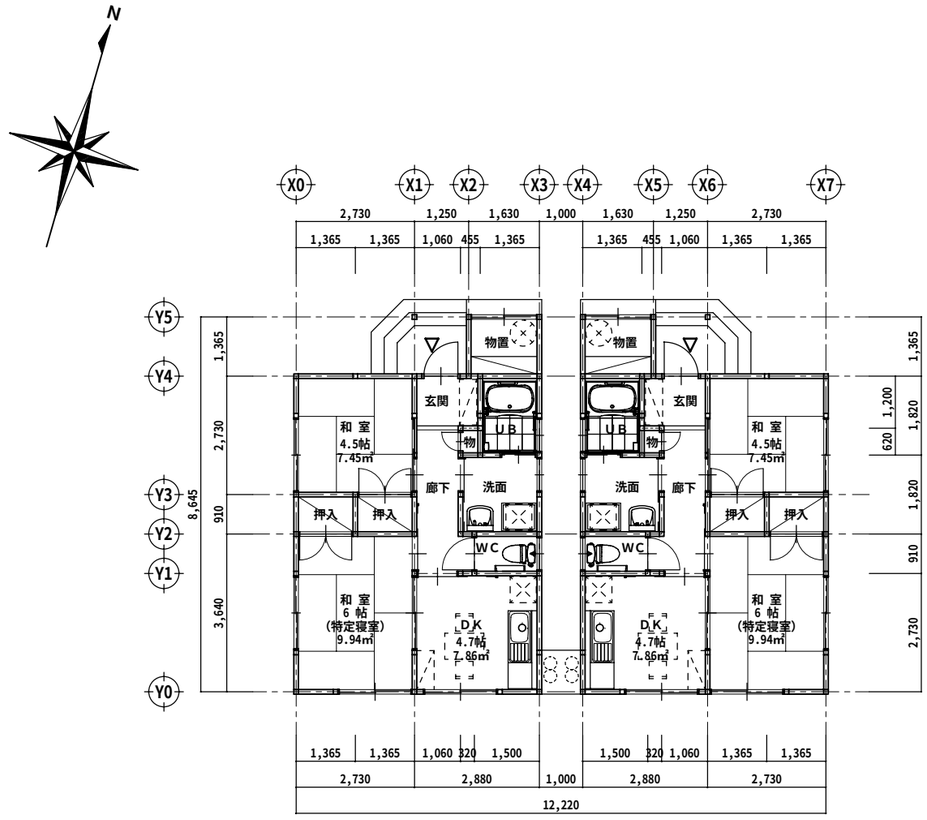
【造作材】米ツガ 無節
○米ツガ 無節(和室：ＣＬ、その他：ＯＳ)
・天井廻縁(和室)42×40
・雑巾ｽﾞﾘ　20×34
・タタミ寄 50×40、50×60
・鴨居 45×100
・付鴨居 40×45
・敷居 60×100
○ＭＤＦ
・天井廻縁(洋室)　36×32
・巾木　H=60
・長押　24×90

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

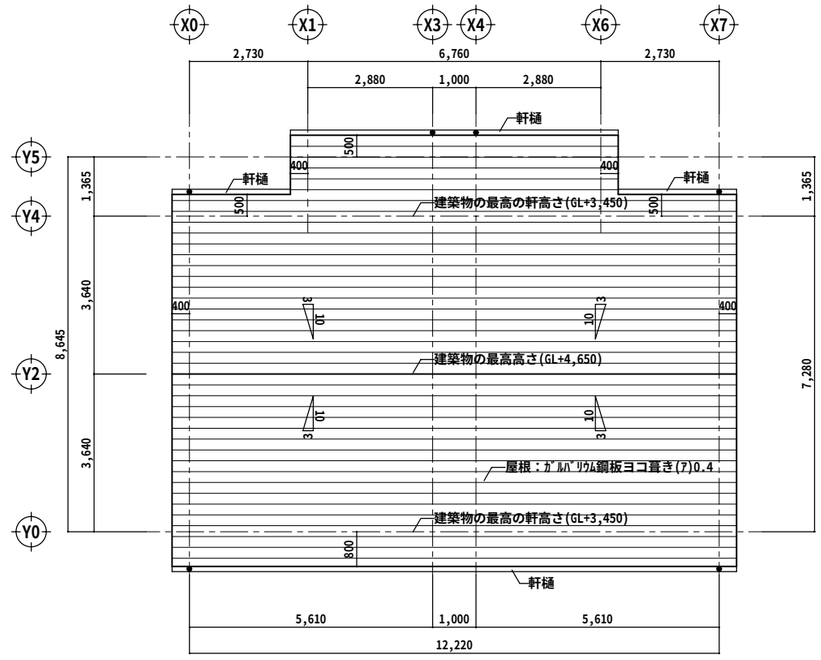
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 仕上表
縮尺	
図面番号	Ａ－８ 枚ノ内
設計番号	

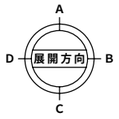


平　面　図　S=1:100

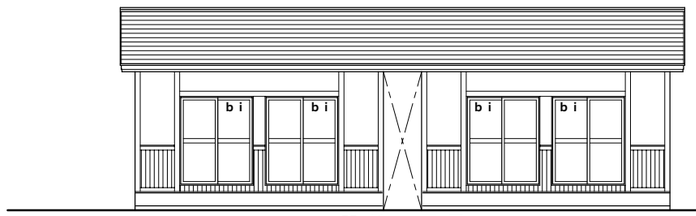


屋　根　伏　図　S=1:100

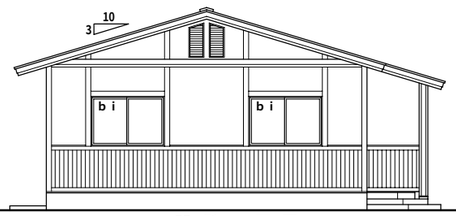
※　小屋裏利用は無い。



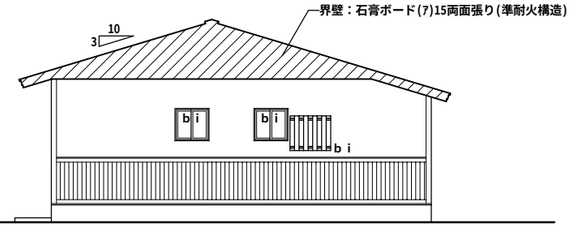
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-6 2DK-B) 平面図・屋根伏図 縮尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面番号 A — 9 枚ノ内 設計番号



南 側 立 面 図

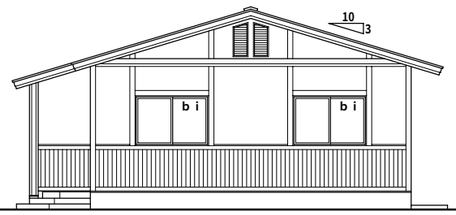


東 側 立 面 図



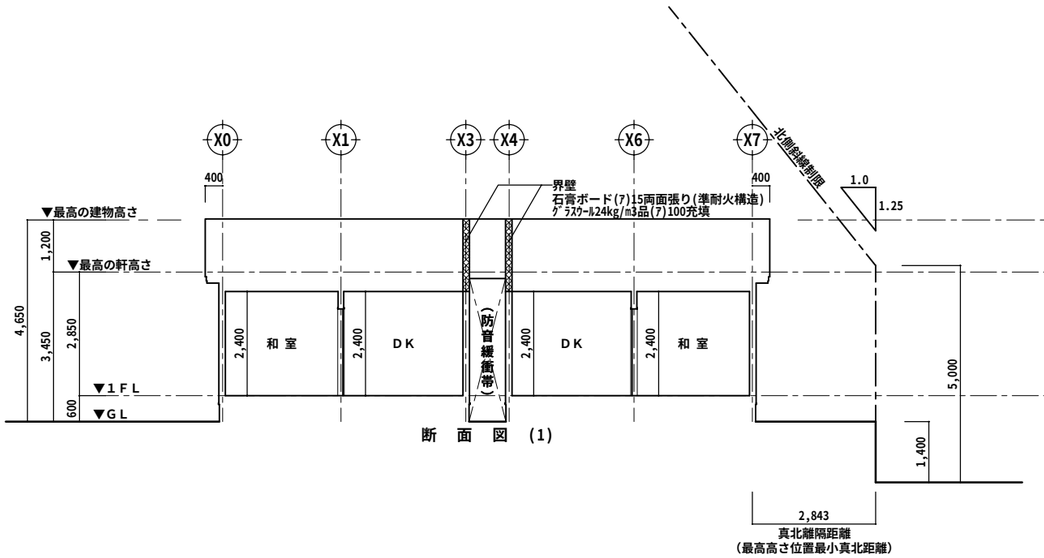
東 側 立 面 図

北 側 立 面 図

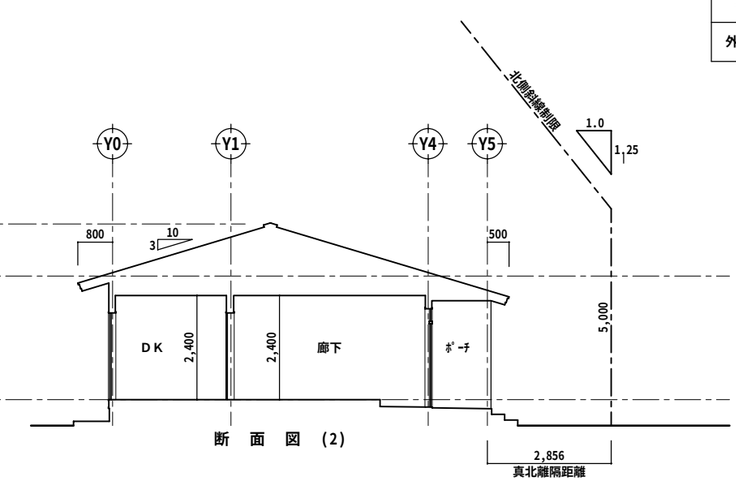


西 側 立 面 図

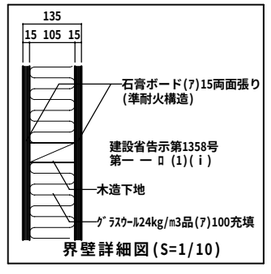
外 部 仕 上 表	
部 位	仕 上
屋 根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ヨコ葺き (ｱ)0.4 (AT式)
軒 天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0張り ＥＰ (一部有孔板)
外 壁	窯業系サイディング(ｱ)14の上 アクリル系リシン吹付け
腰 壁	木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品)
付 柱	窯業系サイディング出隅材(ｱ)18(塗装品)
幕 板	窯業系サイディング(ｱ)18(塗装品)
外部巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修(Ｂ種)



断 面 図 (1)



断 面 図 (2)



界壁詳細図(S=1/10)

※ 界壁部分を貫通する配線・配管は
法112条第15項及び告示第1422号の規定による。

(高さ制限の検討（図示以外）)
○西側道路斜線制限の検討 Ｘ0通りの高さ(1.50+6.0+1.50)×1.25＝11.25m＞建物最高高さ4.65m‥‥ＯＫ
○法５５条による高さ制限の検討 法定高さ10.0m＞建物最高高さ4.65m‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ＯＫ

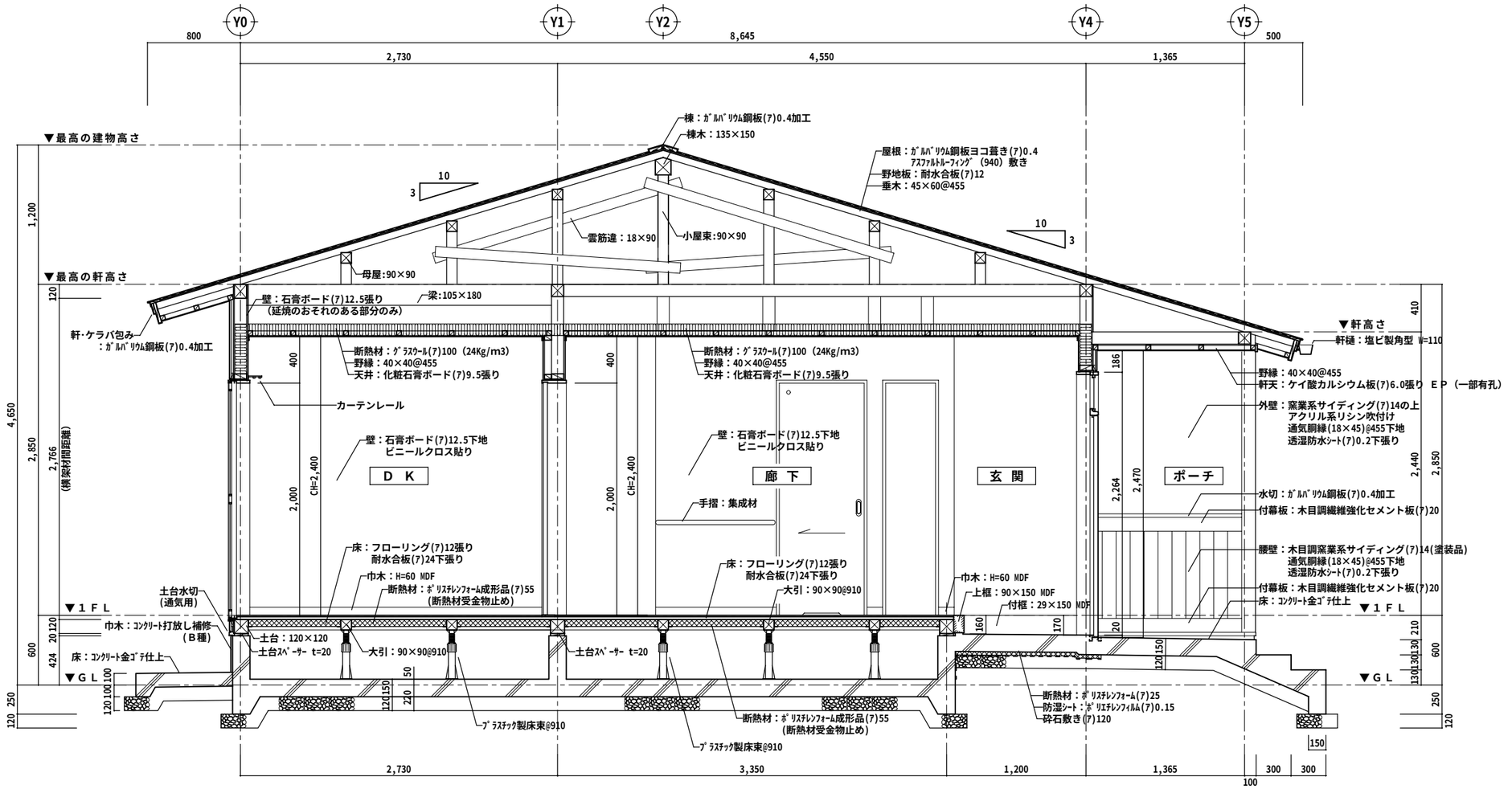
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

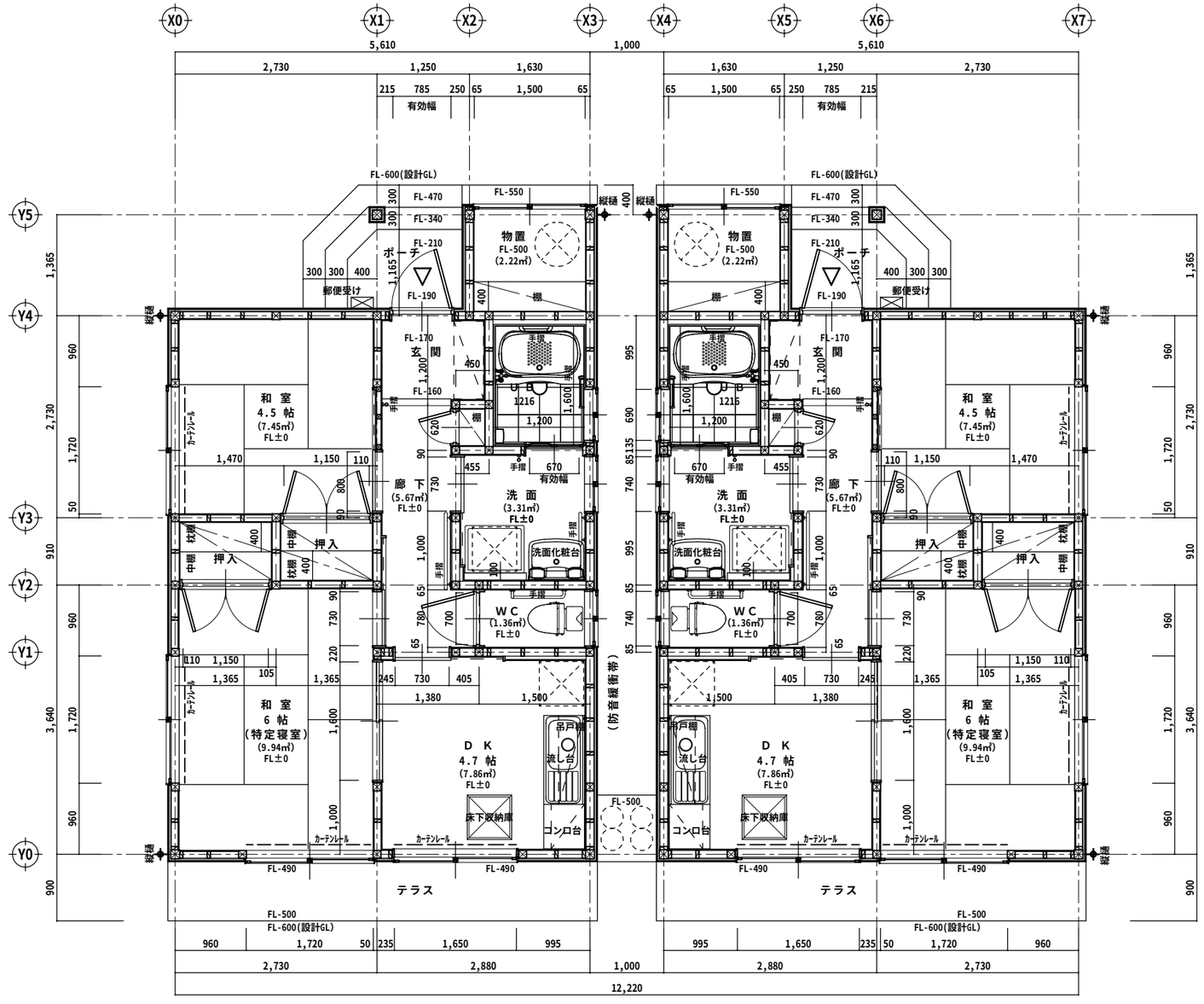
図面内容	(区画3-6 2DK-B) 立 面 図・断 面 図
縮尺	Ａ２ Ｓ＝1：100 Ａ４ Ｓ＝1：200
図面番号	Ａ ― １０ 枚ノ内
設計番号	



矩 計 図　S=1:30

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

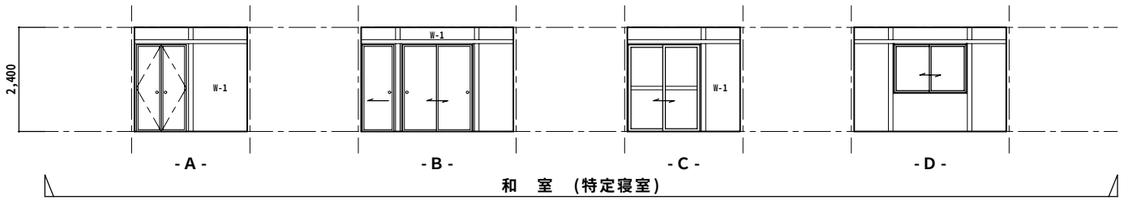
図面内容	(区画3-6 2DK-B) 矩 計 図	図面番号 A ― 11 枚ノ内
縮尺	A2 S=1:30 A4 S=1:60	設計番号

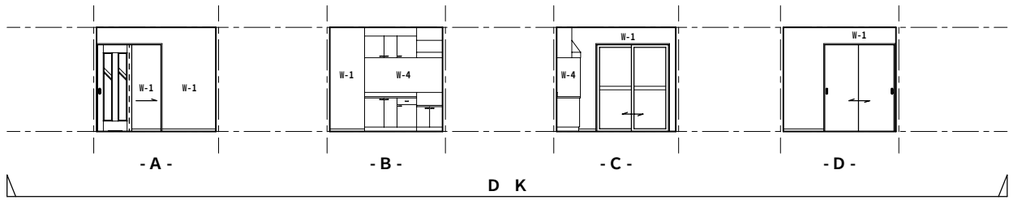


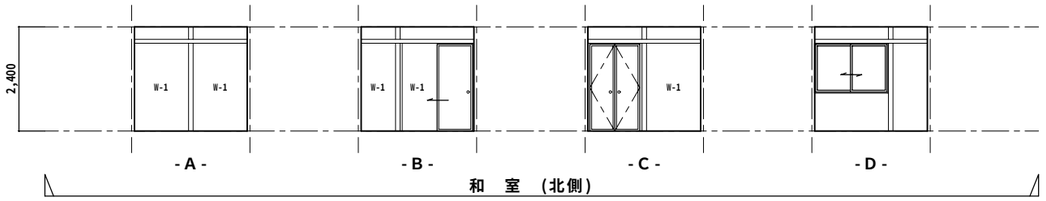
平面詳細図　S=1:50

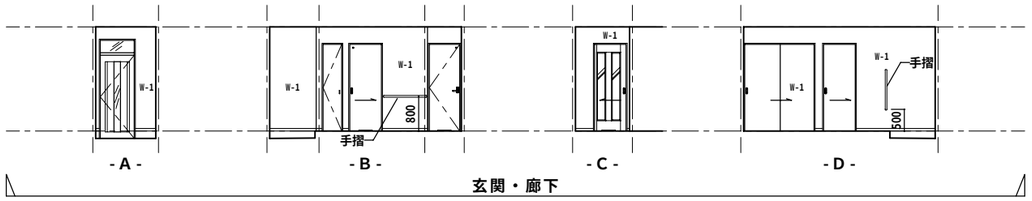
A
D 展開方向 B
C

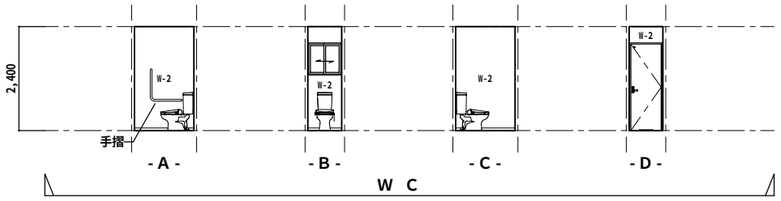
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-6 2DK-B) 平面詳細図	図面番号 A－12 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤　剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	設計番号
		日付 H24・3・10			

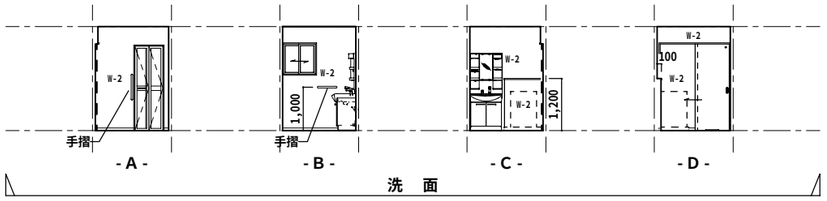


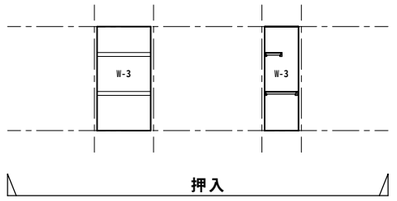


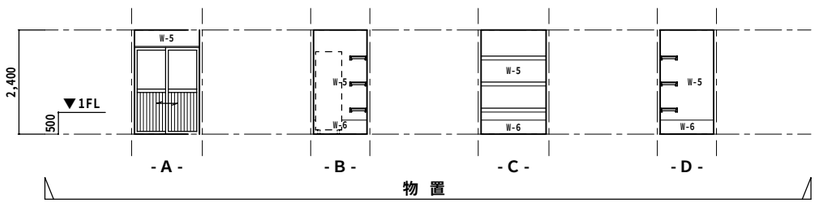












仕　上　表	
符　号	仕　　上
W-1	ビニルクロス張り(ＰＢ下地)
W-2	ビニルクロス張り(防水ＰＢ下地)
W-3	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(押入用)(7)9.5張り
W-4	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(7)3.0張り
W-5	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り　ＥＰ
W-6	モルタル金ごて仕上げ
	巾木　ＭＤＦ　Ｈ＝60

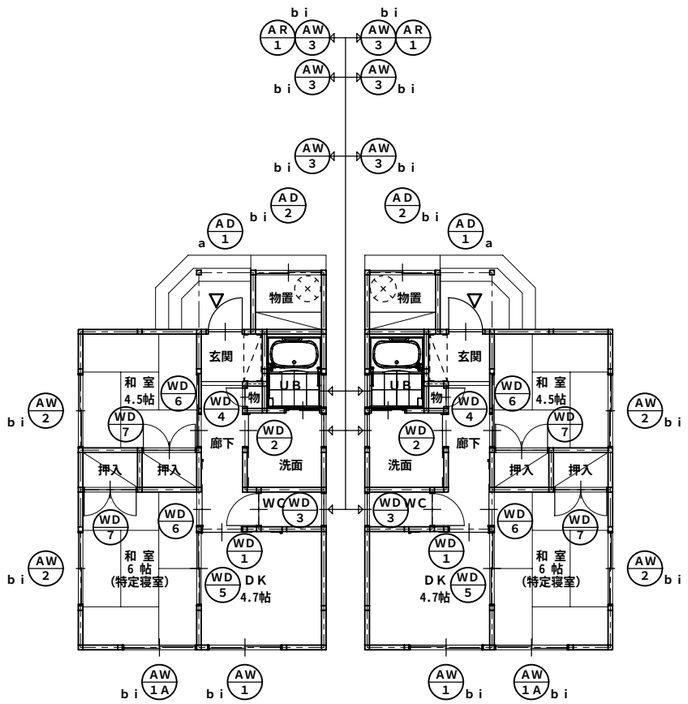
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

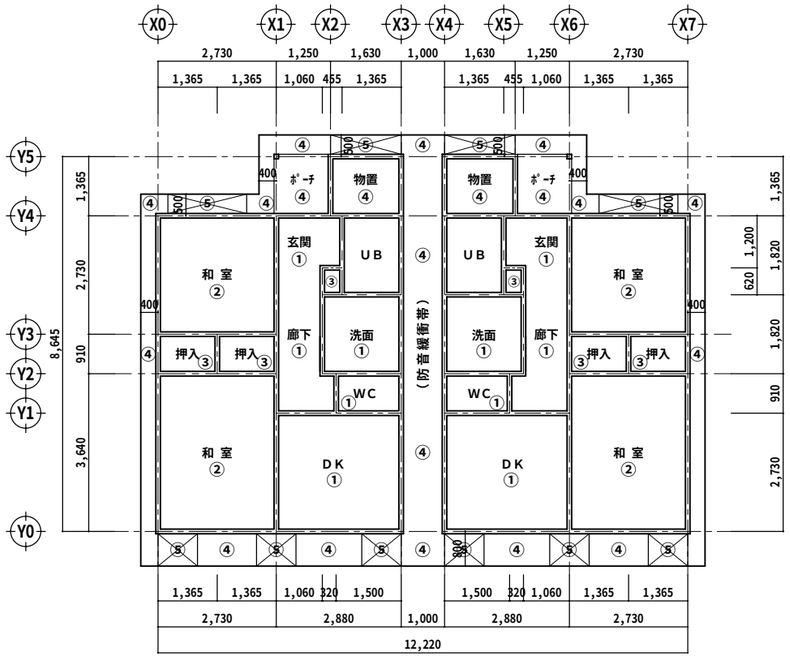
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 展　開　図
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：100 Ａ４　Ｓ＝1：200
図面番号	Ａ — １３ 枚ノ内
設計番号	



キ ー プ ラ ン　S=1:100



天 井 伏 図　S=1:100

天 井 仕 上 表	
符 号	仕　上
①	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
②	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
③	ラワン合板(7)2.5張り
④	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ
⑤	有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ　（開口率：11%）

小屋裏換気計算表（１住戸当り）		
天井面積	5.61×7.28＋2.88×1.365	44.7720㎡
必要換気面積	44.7720㎡×1/250＝0.179㎡	0.179㎡
有効換気面積	1.63 ×0.3×8/100(開口率) ×2＝0.078㎡ 0.91 ×0.7×8/100(開口率) ×3＝0.152㎡	0.230㎡
判　定	必要換気面積：0.179㎡＜有効換気面積：0.230㎡‥‥ＯＫ	

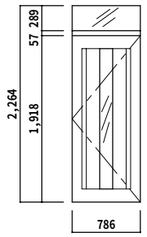
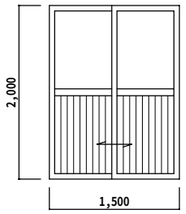
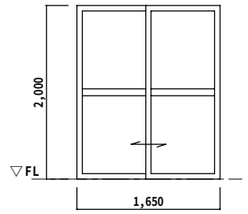
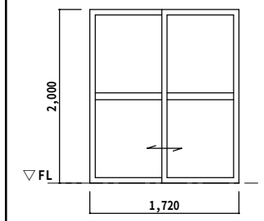
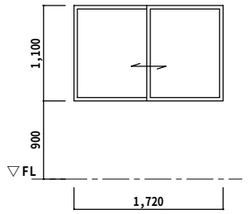
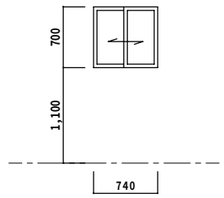
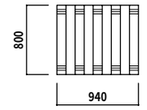
（住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書8.9.1-ロ適用）
※有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0　開口率：８％
(参考) ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ ﾊｲﾗｯｸ吸音板１号　不燃NM-8576、NM-8578同等品

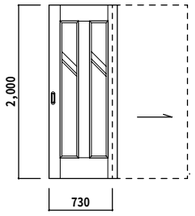
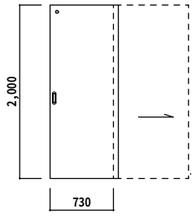
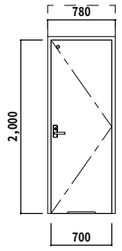
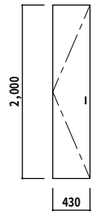
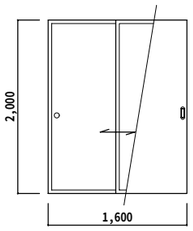
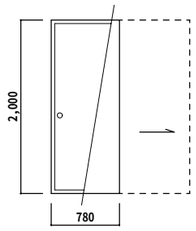
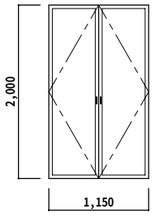
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-6 2DK-B)　キープラン・天井伏図
縮尺　A２ S=1:100　A４ S=1:200
図面番号　A — １４　枚ノ内
設計番号

符号・個数	AD 1	2	AD 2	2	AW 1	2	AW 1A	2	AW 2	4	AW 3	6	AR 1	2
位　　置	玄 関		物 置		ＤＫ		和室		和 室		洗面脱衣室、ＷＣ、ＵＢ		洗面脱衣室	
姿　　図														
種別・見込	片開き玄関ドア（ランマ付き）		引違い戸	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	アルミルーバー	
仕　　上	ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）	
ガ　ラ　ス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4		片板ｶﾞﾗｽ 4mm		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4			
金　　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
その他備考	断熱ｻｯｼｭIII地域用（断熱材充填）ﾒｰｶｰ仕様		ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、半外付け		網戸レール、半外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、半外付け			

符号・個数	WD 1	2	WD 2	2	WD 3	2	WD 4	2	WD 5	2	WD 6	4	WD 7	4
位　　置	ＤＫ		洗面化粧室		ＷＣ		物 入		和 室		和 室		和室（押入）	
姿　　図														
種別・見込	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３０	片開きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片開き収納扉	建具見込１８	引違いﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	片違ﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	両開き押入れ襖	建具見込３０
仕　　上	樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		片面襖紙貼り	
ガ　ラ　ス	片板ｶﾞﾗｽ 4mm													
金　　物	ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ		取手		引手		引手		引手	
その他備考	Ｖﾚｰﾙ		Ｖﾚｰﾙ		ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ				敷居ｽﾍﾟｰｽ		敷居ｽﾍﾟｰｽ			

符号・個数														
位　　置														
姿　　図														
種別・見込														
仕　　上														
ガ　ラ　ス														
金　　物														
その他備考														

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 建 具 表
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：50 Ａ４　Ｓ＝1：100

図面番号	Ａ ― １５ 枚ノ内
設計番号	

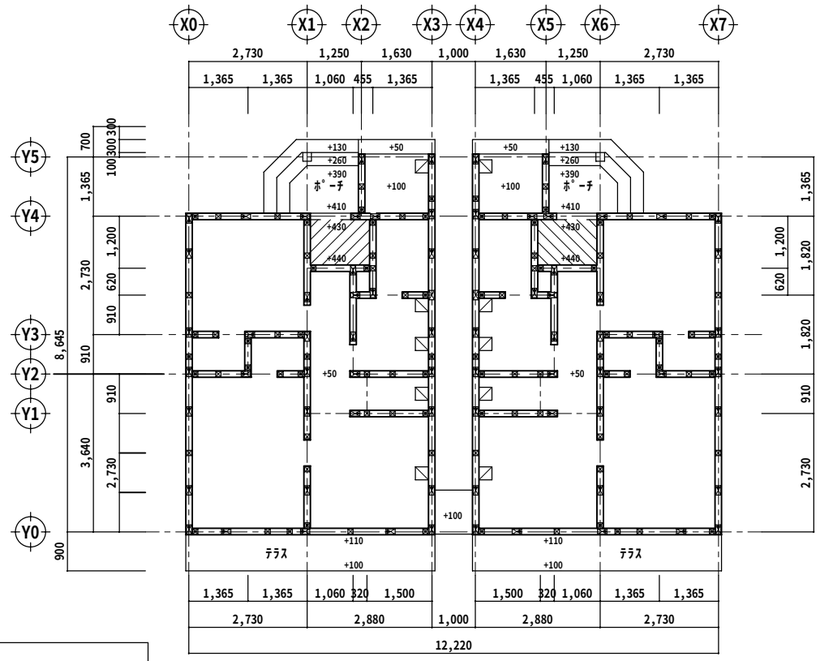
○敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
ｑａ＝30.0kN／㎡
・凍結深度：２５cm

○特 記 事 項
・土間下：砕石(7)120
防湿土間ｼｰﾄ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15

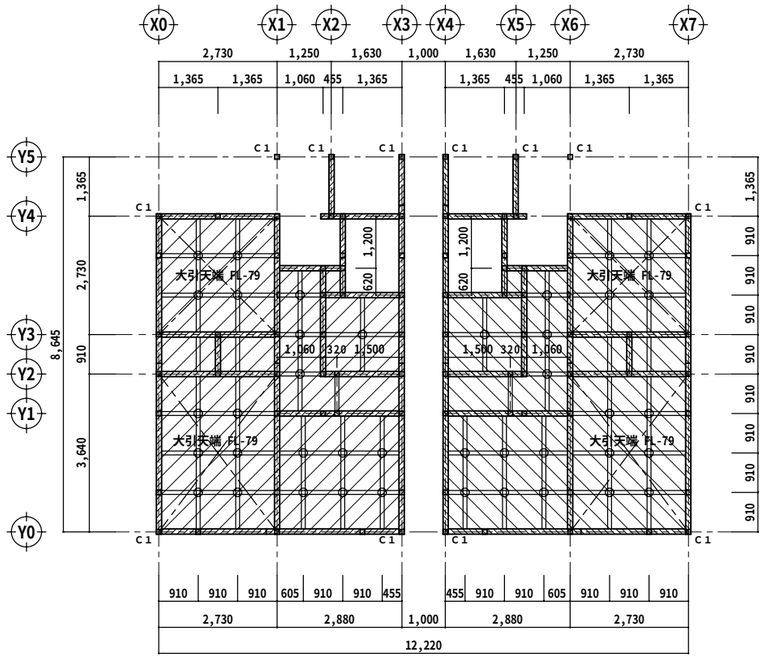
○凡 例
• ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ：M12-L400 @2,000以内
（Ｚﾏｰｸ表示品）
土台ｽﾍﾟｰｻｰ：120×120×20、120×214×20
（土台ｽﾍﾟｰｻｰは１ｍ以内に設置する）
配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ枡：300×300×450
床断熱材敷込み：発砲ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(7)25

床下換気 １ｍ当り
土台ｽﾍﾟｰｻｰ圧縮時厚 2.0cm
2.0cm(厚)×(100cm－24.4cm(ｽﾍﾟｰｻｰ長さ))
＝151.2cm2/m

維持管理
1.配管は基礎立上り部分等の貫通を除き、ｺﾝｸﾘｰﾄ内に埋め込まない事。
2.地中埋設管の上にｺﾝｸﾘｰﾄを打設しないこと（防湿ｺﾝｸﾘｰﾄは除く）
3.排水管は内面が円滑井である事。
4.排水管は継手により高低差が生じない事。肉厚の異なる継手が無い事。
5.排水管は溶接継手等とし支持金物等にて固定する事。



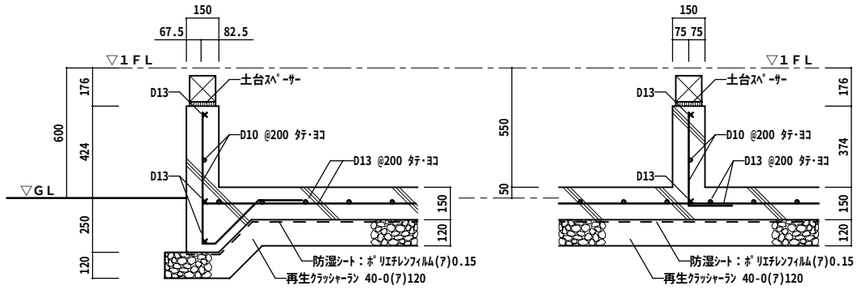
基 礎 伏 図 S=1:100



床 伏 図 S=1:100

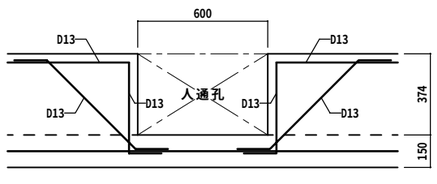
○特 記 事 項
・特記なき柱は105×105
・ＧＬ+１ｍ以内の部分は防腐防蟻処理を行う。

○凡 例
C1 隅柱：120×120
床束：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床束
土台：米ツガ 120×120（防腐防蟻処理材）
大引：米ツガ 90×90（防腐防蟻処理材）
床下地合板：構造用合板(7)24（4周釘打ち N75 @150）

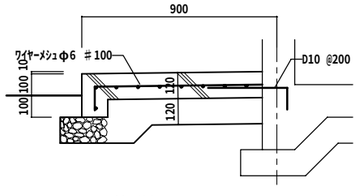


外周基礎配筋詳細図 S=1/20

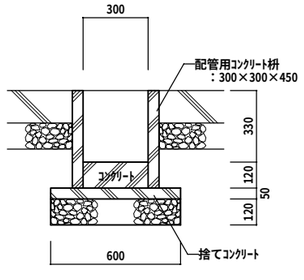
内部基礎配筋詳細図 S=1/20



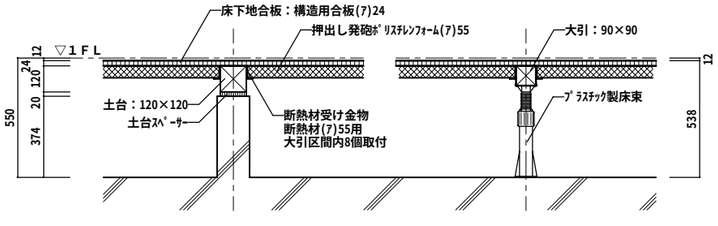
人通孔配筋詳細図 S=1/20



テラス配筋詳細図 S=1/20

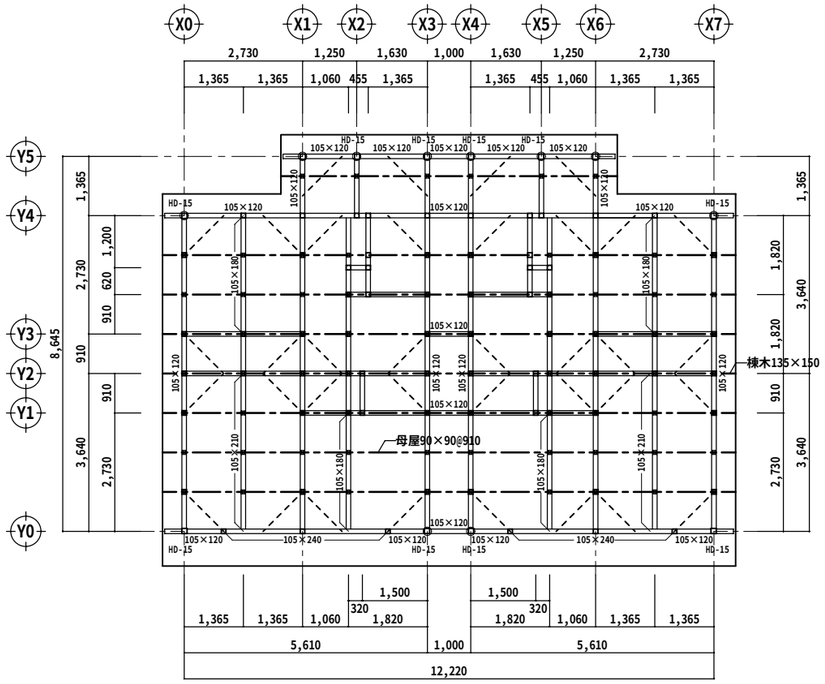


配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ桝詳細図 S=1/20
※配管は上記桝を利用し基礎立上り部にて貫通する事。



床下地組詳細図 S=1/20

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-6 2DK-B) 基礎伏図・床伏図	図面番号 A — 16 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）		
		日付 H24・3・10		縮尺 A２ S＝1：20・100 A４ S＝1：40・200	設計番号



小　屋　伏　図　　S=1:100

○凡　　例

- ○　隅柱：120×120
- □HD-25　引き寄せ金物

※特記なき頭ツナギ、梁は105×105とする。

小屋組・間仕切部材表	
頭ツナギ・梁	105×105～105×240（米松１等）
母　屋	90×90（米松１等）@910
小屋束	90×90 @910 杉
火打ち梁	火打ち金物
雲筋違い	90×18（杉１等）
垂　木	60×45 @455（米松１等）
棟　木	135×150（米松１等）
隅　柱	120×120 杉
その他の柱	105×105 杉
間　柱	105×45､75×45（赤松１等）
胴　縁	45×24 @455（杉１等）
筋違い	45×90（赤松１等）
外壁横胴縁	18×45（赤松１等）
野地板	耐水合板(7)12　釘止め N50 @150

建築基準法施行令　令４３条の確認

（１階）　柱の小径105／最大の横架材間距離2766＝1／26　＞　法定1／33

・・・・・・OK

（有効細長比）

断面二次半径＝30.31　最大の座屈長さ＝2766

有効細長比＝91.25＜150

・・・・・・OK

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

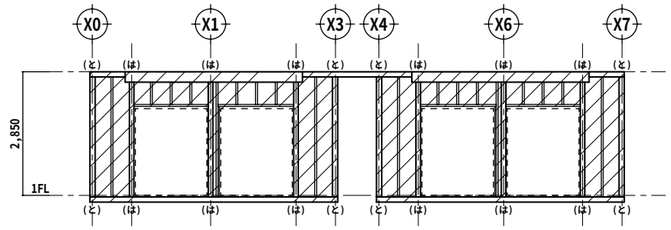
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

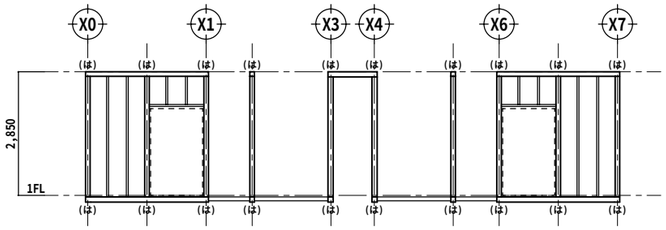
工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

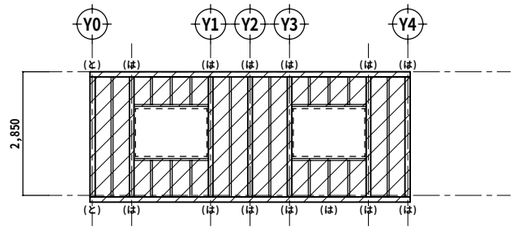
図面内容	(区画3-6 2DK-B) 小屋伏図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	A — １７ 枚ノ内
設計番号	



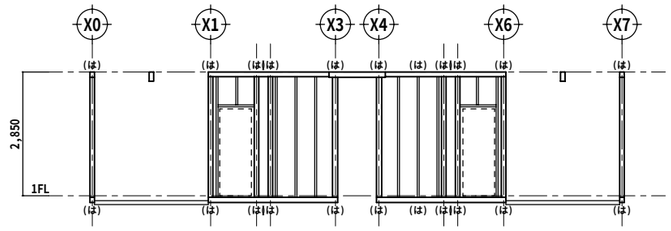
Y0通り軸組み図　S=1:100



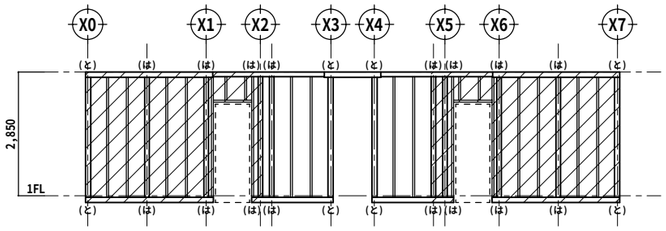
Y3通り軸組み図　S=1:100



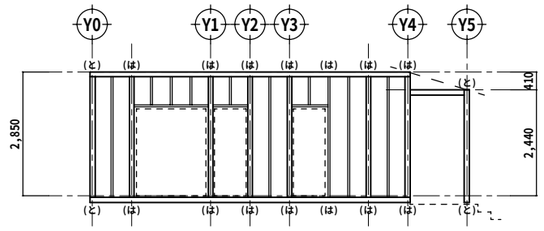
X0･X7通り軸組み図　S=1:100



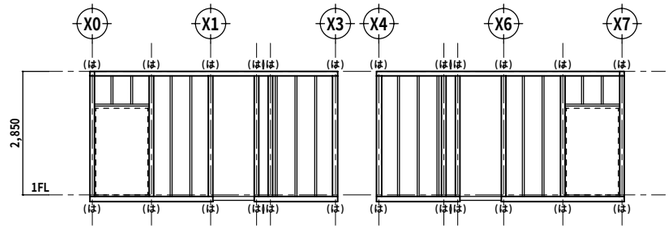
Y1通り軸組み図　S=1:100



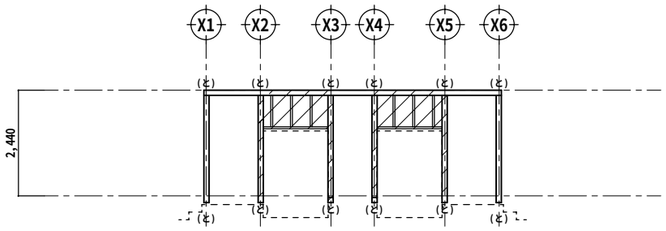
Y4通り軸組み図　S=1:100



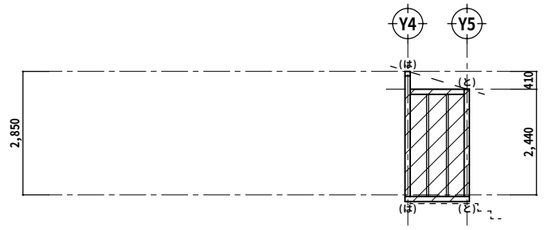
X1･X6通り軸組み図　S=1:100



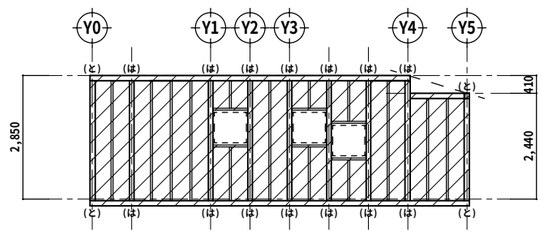
Y2通り軸組み図　S=1:100



Y5通り軸組み図　S=1:100



X2･X5通り軸組み図　S=1:100



X3･X4通り軸組み図　S=1:100

接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※ 柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※ 使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする
（Ｚマーク適合品同等）

構造用合板(7)9（釘打ち N50 @150）
（ＪＡＳ ２級適合品）

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

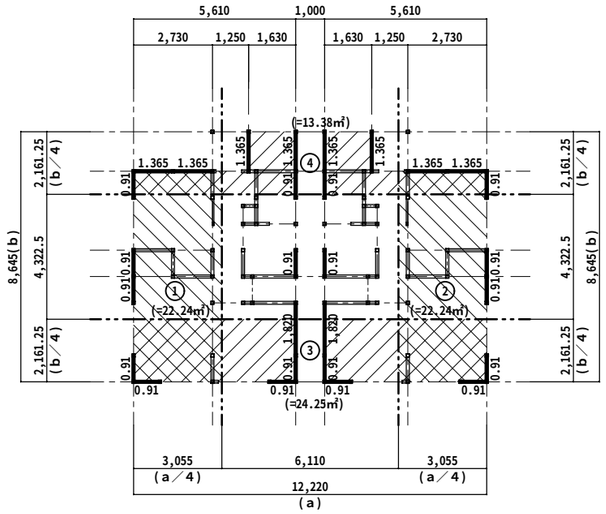
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-6 2DK-B)　軸　組　図
縮尺　A２　S=1:100　A４　S=1:200

図面番号　A ― １８　枚ノ内
設計番号

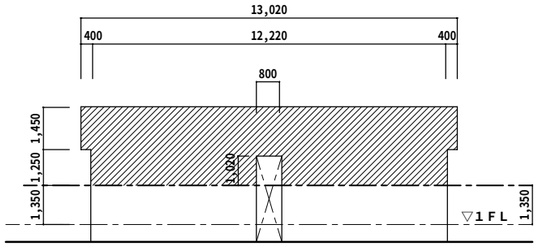


耐力壁配置チェック図　S=1:150

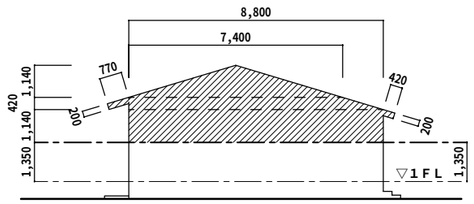
凡　例

構造用合板(7)9㎜張り

（国土交通省告示1100号別表1(1)壁倍率：2.5倍）



桁行方向見付面積求積図　S=1:150



妻側見付面積求積図　S=1:150

（Ｆ）桁行方向見付面積

12.22×1.25－0.80×1.02＋13.02×1.45 ＝ 33.34 ㎡

（Ｅ）梁間方向見付面積

8.80×1.14＋(7.40＋8.80)×0.42×1/2＋7.40×1.14×1/2

＋0.77×0.2＋0.42×0.2 ＝ 17.89 ㎡

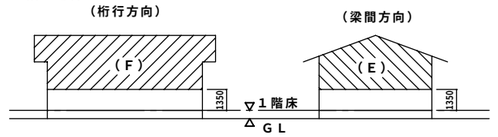
■ 建築基準法施工令第４６条第３項による軸組計算表

		床面積により必要とされる長さ	見付面積に必要とされる軸組の長さ							
1階部分	必要軸組長さ	床面積 86.13 ㎡ × 0.11（軽い屋根）／0.15（重い屋根） ＝(ト) 9.474 m	梁間方向に必要とされる軸組の長さ：桁行方向の見付面積で計算する　桁行方向の見付面積（Ｆ）　33.34㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(チ) 16.670 m				桁行方向に必要とされる軸組の長さ：梁間方向の見付面積で計算する　梁間方向の見付面積（Ｅ）　17.89㎡ x 0.50 m/㎡ ＝(リ) 8.945 m			
	有効軸組長さ		１階梁間方向に入れる軸組				１階桁行方向に入れる軸組			
			軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ	軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ
			1.82 m	2 カ所	2.5 倍	9.10 m	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 m
			1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃	1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃
			0.91 〃	14 〃	2.5 〃	31.85 〃				
	判定		(ト) □ m 又は (チ) 16.670 m ≦ 合計 54.60 m				(ト) 9.474 m 又は (リ) □ m ≦ 合計 22.75 m			

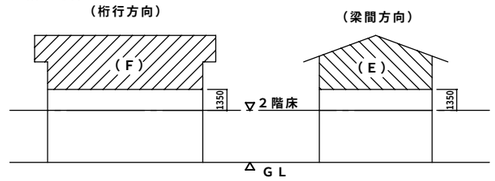
（イ）、（ニ）、（ト）:床面積により必要とされる軸組の長さ
（ロ）、（ハ）、（ホ）、（ヘ）、（チ）、（リ）:見付面積により必要とされる軸組の長さ
判定は有効軸組の合計の長さが、法により必要とされる長さ（床面積によるものと、見付面積によるもの）より大きければよい。
屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。

重い屋根:日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根 :トタン、スレート等で葺いた屋根

■１階の場合



■２階の場合



■ 耐力壁バランス計算表

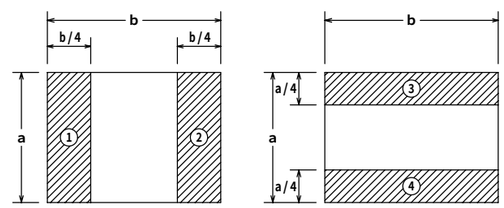
	耐力壁バランスの算定方法	存在壁量（梁間方向に必要とされる軸組の長さ）					存在壁量（桁行方向に必要とされる軸組の長さ）				
1階部分	(算定式) 必要壁量＝側端部分面積 x 0.11（軽い屋根）／0.15（重い屋根） 壁量充足率 ＝ 存在壁量 ／ 必要壁量 壁量充足率 ＞ 1.0 の場合 OK！ NO!の場合次へ 壁率比 ＝ 壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大) 壁率比 ＞ 0.5 の場合 OK！ NO!の場合、再検討		軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ		軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ
		①	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m		③	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m
		②	0.91 〃	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m		④	1.365 m	4 カ所	2.5 倍	13.65 13.65 m

		必要壁量			壁量充足率				壁率比			
		面積	x 地震力	= 必要壁量	存在壁量 ／ 必要壁量	= 壁量充足率		(壁量充足率 ＞ 1.0) の場合 OK！	壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大)	= 壁率比		(壁 率 比 ＞ 0.5) の場合 OK！
梁間方向	①	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720		0.K			
	②	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720		0.K			
桁行方向	③	24.25 ㎡	0.11	2.667 m	9.10 m	2.667 m	3.412		0.K			
	④	13.38 ㎡	0.11	1.471 m	13.65 m	1.471 m	9.279		0.K			

屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。

重い屋根・・・・・日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根・・・・・トタン、スレート等で葺いた屋根

軸　組　の　種　類	倍　率
（１）土塗り壁又は木ずり柱、間柱の片面	0.5
（２）厚1.5cm巾9cmの木材、φ９㎜の鉄筋又は木ずり柱、間柱の両面	1.0
（３）厚3cm巾9cmの木材	1.5
（４）厚4.5cm巾9cmの木材	2.0
（５）9cm角の木材	3.0
（６）（２）～（４）の筋交い　タスキ掛け	各々の倍率の２倍
（７）（５）の筋交い　タスキ掛け	5.0
（８）構造用合板(7)9㎜張り（国土交通省告示1100号別表1(1)）	2.5
（９）その他建設大臣が定める軸組で（１）～（７）と同等の耐力を有するもの	0.5～5.0
(10)（１）～（２）の壁、（２）～（６）の筋交い併用の場合は各々の数値の和	



一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称：平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6 2DK-B) 耐力壁配置チェック図(1)
縮尺	A２ S=1:150 A４ S=1:300
図面番号	A — １９ 枚ノ内
設計番号	

特　記　仕　様　書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事番号・名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）【区画3-7 2DK-B】

2 工 事 場 所　宮城県黒川郡富谷町富谷字清水沢地内

3 用途地域等　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）用途地域（第一種低層住居専用地域）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条）
その他の地域・地区（　　）

4 主 要 用 途　1）共 同 住 宅

5 敷 地 面 積　２２６．１２㎡

6 工 事 の 概 要　Ⅰ，共同住宅　木 造　平屋建て　新築一棟
建築面積：９８．１８㎡
延床面積：８６．１３㎡
Ⅱ，電気設備工事　新設一式
Ⅲ，機械設備工事　新設一式
Ⅳ，外 構 工 事　新設一式

7 別 途 工 事

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 解体工事特記仕様書
⊙ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成22年版)」（以下、「標準仕様書」という。）及び国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の「公営住宅建設工事共通仕様書（平成19年度版）」による。ただし、「標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）」(以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築工事監理指針」(平成22年版）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一 般 事 項	⊙ 工事施工中に予期せず事態や疑義が生じた生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②．適 用 基 準 等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成19年4月1日土木部通知） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成17年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版） ・ 建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　平成10年版）
	３．概 成 工 期	工事工期より　日前　(1.1.2)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない
	５．発生材の処理等	発生剤の処理　(1.3.8) ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種　類	受入れ施設名	所在地（Km）
・ ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊		
・ 建設発生木材		
・ ガラス屑		
・ 建設汚泥		

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型)(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・建設混合廃棄物)
受入れ施設名･所在地(km)
建設混合廃棄物　～
その他　～
・その他の廃棄物（特別管理型)(非飛散アスベスト)
非飛散アスベスト　～
上記の処理、処分は設計積算　上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

⑥．電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない
⑦．事 故 報 告	(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
⑧．建 築 材 料 等	(1.4.2) ※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 (1.4.1) ※ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。 ※ ホルムアルデヒド仕様　(1.5.9) 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆☆ パーティクルボード，ＭＤＦ(中質繊維板)：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ クロス類　：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆ 内装工事に使用する塗料及び接着剤　：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの
⑨．室内の空気中の化学濃度の測定	・ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9) 測定は,測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるものの他,以下のとおりとする。 測定対象物質：※ ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm） ※ スチレン　（濃度指針値0.05ppm） ※ トルエン　（濃度指針値0.07ppm） ※ エチルベンゼン　（濃度指針値0.88ppm） ※ キシレン　（濃度指針値0.20ppm） 測定する室等：（和室、ＤＫ：２ヵ所） 採取方法 30分間換気後、対象室内を5時間以上密閉した後、吸引方式では30分間、拡散方式では8時間以上採取する。 測定方法 ホルムアルデヒド DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法 トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し，ガスクロマトグラフィー質量分析法 測定結果等報告書の提出 測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外，室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面を当該施設に掲示する。 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引き渡しを受けない。
10．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
11．建築基準法による風圧力等の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)

適　用　工　事	建 築 基 準 法 の 指 定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※ ３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・ Ⅱ　・ Ⅲ
・ ガラスブロック　・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・ 有　・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

⑫．設 計 Ｇ．Ｌ	※ 図 示　⊙ 現状平均地盤高
⑬．技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　(1.5.2) ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。

適用工事種別	適 用 技 能 士 検 定 職 種（作 業）
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	⊙ 鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業）
コンクリート工事	⊙ 型枠施工
鉄骨工事	・ とび
ブロック・ALCパネル工事	・ ブロック建築　・ ＡＬＣパネル施工
防水工事	・ アスファルト防水工事作業　・ シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業　⊙ シーリング防水工事作業
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙ タイル張り
木工事	⊙ 建築大工作業
屋根及びとい工事	⊙ 建築板金（内外装建築板金作業）　・ かわらぶき
金属工事	・ 内装仕上げ施工（銅製下地工事作業）
左官工事	⊙ 左官作業
建具工事	・ ビルサッシ施工作業　⊙ ガラス施工　・ 自動ドア施工
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工　・ ビル用サッシ施工　・ ガラス施工
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙ ボード仕上げ工事作業 ・ 内装床仕上げ施工（銅製下地工事作業）　・タイル張り ・ 左官　⊙表装（壁装作業）　⊙ 建築大工　⊙ 畳製作
植栽工事	・ 造園

技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。
ただし、監督員の承諾があればこの限りではない。

⑭．完 成 図 等	営繕工事完成引渡要領（平成９年11月14日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により作成する。 ※ 完成原図　１部 ・ マイクロフィルム（県指定様式）　部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部 ※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚 ・
⑮．完 成 写 真	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提　出　様　式
※ カラー	※ Ｌ	※ 宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※ ３部	※ 工事用アルバムA4版ポケット式程度
・ 白黒	・ ２Ｌ	・ 箇所　枚	・ 部	・ フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）
	・ 六切り			・

・ 作成しない

⑯．設備工事との取　合　い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。 ⊙ 屋内外設備機器の基礎は建築工事で行う。
⑰．火 災 保 険 等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・
⑱．住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ⊙あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）

2 仮設工事

１．仮　囲　い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長：敷地４方向 ・ 万能鋼板（H=　）　・ 波形鉄板（H=　）　・ 単管シート（H=3.0） ・ シートゲート（H=　，W=　）×　箇所
	⊙ 設けない
②．危 害 防 止	※ シート張り　・ 金網養生
３．交通誘導員	・ 配置する　・ 配置しない
４．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　(2.3.1) ・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否） 備品（　　）
５．工事表示板	※ 設置する。　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	・ 設置しない
６．事業コスト表示板	・ 設置する。　設置枚数　※ １枚　・　枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	※ 設置しない
⑦．工 事 用 水	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない
⑧．工 事 用 電 力	構内既存の施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない
９．工 事 用 通 路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）
10．足　場　等	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。
11．その他の仮設	

3 土工事

①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)(表3.2.1) C種の場合　建設発生土受入数量 発生場所
②．建設発生土の処理	⊙ 構外に搬出し適切に処理する。（場外自由処分）　(3.2.5) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。
３．山　留　め	(3.3.1)(3.3.3)

4 地業工事

１．既成コンクリート杭地業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭(JIS規格品)　・ A種　・ B種　・ C種 ・　(4.3.2)

記号	杭径（㎜）	長さ（m）及び種別	設計支持力	セット数	備　考

TP1：試験堀り
※ 杭長については試験堀りの結果により最終決定する。
※ 杭孔掘削による発生土は建設汚泥あつかいとし適性に処分すること。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士事務所
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H21 ・ 3 ・ 10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 特記仕様書（１）
縮尺	
図面番号	Ａ — １ 枚ノ内
設計番号	

4 地業工事

継　手　※ アーク溶接継手又は旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　・ 閉塞平坦型　・ 開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法　(4.4.3)
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－50㎜程度
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法(旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)　(4.3.5)

杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業　コンクリートの種別　・ A種　・ B種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．地盤改良　工法(　　)

④．床下防湿層　※ 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15㎜重ね幅縦横とも250㎜以上とし、地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。　(4.6.5)
・ 設けない

⑤．土間スラブ(土間コン)下断熱材　※ 設ける　A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による　(4.6.5)
・ 設けない

⑥．砂利地業　※ 再生クラッシャラン　・ (　　)　(4.6.2～3)

5 鉄筋工事

①．鉄筋の種別　(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

②．溶接金網　※ JIS G 3551規格品　線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100　(5.2.2)
使用箇所(　　)

③．鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※ 重ね継手	D16以下	
※ ガス圧接	D19以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋の被り厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

5．杭頭の補強　・ A形　・ B形　・ 図示　(別図1.1)(図1.1)

6．柱の帯筋　※ H形　(別図2.2)(図2.2)

7．はり貫通孔の補強　補強形式　※ H3形以上　・ M型　・ MH型　(別図7.1)(表7.1～7.3)

8．圧接完了後の抜取試験　試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)

6 コンクリート工事

①．設計基準強度　普通コンクリート（JIS A5308によるJIS表示許可工場の製造品)　(6.1.4)

Fc (N/mm²)	適用箇所
・ 24	
※ 21	基礎，基礎梁，土間スラブ
⊙ 18	捨てコン

②．レディーミックスコンクリート　種別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　<6.1.5>(表6.1.1)

・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)
(アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験)
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③．スランプ　基礎，基礎梁，土間スラブ　※ 15㎝　・ 18㎝　(6.2.3)(表6.1.2)
柱，梁，スラブ，壁　※ 18㎝

④．打放し仕上げの種類　(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ A種	
※ B種	外部巾木
・ C種	

⑤．セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2)

⑥．型枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所
※ 合板	※ 12　・	
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する
・ ひび割れ誘発目地
目地寸法　※ 図示
位置　※ 図示

7．軽量コンクリート　(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量(t/m³)

8．寒中コンクリート　適用期間　コンクリート圧縮強度が5N/㎟に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9．無筋コンクリート　適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)
適用範囲

10．流動化コンクリート　(6.17.1)(6.17.3)

種別	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	流動化ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10　・12　・15	・18　・21	

7 鉄骨工事

1．鉄骨の製作工場　※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通省の認定を受けた工場　(7.1.3)
・ S　・ H　・ M　・ R　・ J
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者　・ 適用する　※ 適用しない　(7.1.4)

3．鋼材の種別　(7.2.1)

材質	規格
・SS400　・SSC400　・STKR400　・STKR400	JIS規格品
・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490	

4．高力ボルト　※ トルシア形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(S10T)　・　(7.2.2)
・ JIS形高力ボルト　セットの種類　※ 2種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※ 1種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験　完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※6　・	
現場溶接			

6．錆止め塗装　※ 適用する　(標仕18章3節による)　(7.8.3)(7.8.4)(表18.3.1)
・ 適用しない

7．耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※ 半乾式　・ 湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

9．柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A種		※無収縮モルタル
・ B種		7.2.9(a)

10．溶融亜鉛めっき　(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A種	

8 コンクリートブロック・ALCパネル押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造　ブロックの種類　(8.3.2)
※ 空洞ブロック　16　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀　ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　16(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　08とすることができる)

3．ALCパネル　(8.4.2)(8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種　・C種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種　・D種 ・E種　・F種		
・屋根及び床パネル工法						

3．押し出し成形セメント板　(8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・A種　・B種		
・間仕切りパネル工法				・B種　・C種		

9 防水工事

1．アスファルト防水・改質アスファルトシート防水　(9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種別	施工箇所
・ A－1	
・ B－1	
・ D－1	
・ E－1	室内(便所・浴室)
・ AS－1	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品　※ 4種

押さえ金物(※ アルミ製L－30×15×2.0　・　)
・ 断熱材 ※A種押出法ポリスチレンフォーム3種b　厚さ(mm) ・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　)　適用防水種別(・　)
・ 溶接金網(規格　)
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　)
製造所(　)

2．合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ (mm)	施工箇所	保護塗料(露出)
・SF1	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・SF2	※2　・		※カラー　・シルバー
・SM1	※1.5　・		
・SM2	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・SM3	※1.2　・		

・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料(　)

3．塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	・X－1	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・X－2	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Y－1	地下外壁	
	・Y－2	室内(便所・浴室)	

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製　・　)
(設置数量：　箇所)

④．シーリング　※ 被着体との組み合わせは(表9.6.1)による。

5．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1．石材　(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止　床のワックスかけ　・ 行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1．タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ			うわ薬		役物		色	
		磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う　(11.2.1)

2．タイル下地コンクリート　後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う(下記のいずれかとする)　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
MCR工法	共仕15.2.5(C)	
MCR工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法(高圧水洗)	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法(高圧水洗)	ポリマーセメントモルタル	

MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。

共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度　(表11.1.2)

適用	引張り接着強度　(単位:N／㎟)
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3．陶磁器質タイル貼り　内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 改良積上げ張り　施工箇所(　)
※ 接着剤張り　施工箇所(流し前・便所腰壁　)

外装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所(　)
・ 改良積上げ張り　施工箇所(　)

ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-7 2DK-B)
特記仕様書（２）

縮尺

図面番号　A — 2　枚ノ内

設計番号

12 木工事

①. 木材

含水率 (12.2.1)(表12.2.1)
構造材 （⊙ A種 ・B種 ）
下地材 （⊙ A種 ・B種 ）
造作材 （⊙ A種 ・B種 ）
代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※ なし ・ あり（ ）

②. 集成材

造作用集成材12.2.2.(2)による (12.2.2)

等級	見掛かり	その他
	※ 1等 ・ 2等	※ 1等 ・ 2等
単材の樹種	スプルース、タモ程度	
単材の厚さ(mm)	10～15	10～15

③. 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。 (12.2.6)

④. 木材保存剤

木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。 (12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，
加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺

(13.2.2)(表13.2.1)

材種	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
・ JIS G 3312 カラー亜鉛鉄板 (※片面塗装 ・両面塗装)	※0.4 ・	※瓦棒葺 (心木なし)	
・ JIS G 3321 ガルバリウム鋼板 (※無塗装)	※0.4 ・	・	AL55%
⊙ JIS G 3322 ガルバリウム鋼板 (※カラー)	※0.4 ・	⊙横葺き（ＡＴ式）	AL55%
・	・	・	

※監督員の承認する業者とする。

2. 折板葺

JIS A 6514の規格品 (13.3.2)(表13.2.1)

材種	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・ JIS G 3312の屋根用規格品 (ｶﾗｰ亜鉛鉄板)	※ 0.8	・ 0920	・ 有	・ 有
・ JIS G 3302の屋根用規格品 (ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板)	・ 0.5	・ 1525	(6mm)	(30分耐火)
・ JIS K 6744のSGのA種規格品 (ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ被覆)		・ 1730	・ 無	・ 無
・		・ ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ H=88		

・形 式 （・ 重ね形 ・ はぜ締め形）
・軒先面戸 （ ）

3. 粘土瓦葺

(13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する
				・ 提出しない

④. とい

(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.4)(表13.5.5)

材種	防露
・ 配管用銅管（ＳＧＰ）	※ 表13.6.5により行う ・行わない
・ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
⊙ 塩化ビニル管（住宅用）60φ	

銅管製といの防露巻き工法
※ 標仕 表１３．５．５による
・ 樋受石（材質・規格 ）
※ 第一桝まで接続

5. ルーフドレン

※ 鋳鉄製 (13.5.3)
※ 縦型 ・ 横型

14 金属工事

1. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験 ・ 行う ※ 行わない (14.1.3)

2. ステンレス表面処理

※ ＨＬ ・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・ ― 種		
・ ― 種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

種別	施工箇所	
・ 種		
・ 種		

溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ・ 行う

5. 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋内 ※ １９型 ・ ２５型（ ）
屋外 ・ １９型 ※ ２５型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強（※図示 ） (14.4.3)
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。
耐震性を考慮した補強を行う室（ ）
補強方法 ※ 図示

6. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。 (14.5.3)

7. 金属成形板張り

種別 (14.6.2)
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手 ・ 設ける ・ 設けない

8. アルミニウム製笠木

表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種 (14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用※ 使用する
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9. 手すり及びタラップ

(14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519 の規格品

15 左官工事

1. セルフレベリング材

・ せっこう系 ・ セメント系 (15.4.2)

2. 仕上げ塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ※複層塗材 E ・複層塗材 RS ・複層塗材 RS ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性 ・ １種 ・ ２種 ※ ３種

3. ロックウール吹付け

(耐火被覆は,7章による)

吹付け厚さ（mm） ※ １０ ・ (15.7.3)

16 建具工事

①. 一般事項

防火戸の指定 (16.1.3)
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号の二ロの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない
防火戸との連動
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 (16.1.3)
※ 適用しない
見本の作成等 (16.1.4)
製作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）
仮組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）

防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する（建具表による） (16.1.6)

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合では性能が確保されない場合は１００）
・ Ｂ種	Ｓ－５			
・ Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

⊙ 耐風圧性：Ｓ－３、気密性：Ａ－４、水密性：Ｗ－３、遮音性Ｔ－１（防犯補助錠付き）
※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種 ・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合 ・ブロンズカラー（※標準色 ・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２
追随性の等級

3. 網戸

使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・内部納まりの開き式 (16.2.3)
防虫網(線径0.25mm 16-18ﾒｯｼｭ)
・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂 ※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316) ⊙合成樹脂
防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm ピッチ15mm

4. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.1)(表16.3.2)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５
建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	表１６．３．２に同じ
出入口	枠類	一般部分	２．３
	戸	中骨	２．３
上記以外			表１６．３．２に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2～4)(表16.4.1)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
・ 使用しない
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～5)
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５
表面処理 ・ ＨＬ
銅板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦. 木製建具

かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度 (16.6.2～4)
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ・
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧. 建具用金物

(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JISによる。
レバーハンドル	アルミ合金	錠前類と同一製造所
	レバー長さ L=130程度	とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、
シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ⊙ 要 ・ 不要 (16.7.4)
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9. 自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1,2)
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3)(表16.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
・ 補助センサ併用

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10. 重量シャッター

(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 特記仕様書（３）
縮尺	
図面番号	A ― 3 枚ノ内
設計番号	

11. 軽量シャッター

(16.11.2)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない			

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑬. ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。(16.13.2)(16.13.3)

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブラウン

複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種　(・ U３－１　・U３－２)
・ ４種　・ ５種

封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ A類　・ B類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ　・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない

ガラスの止め材
※ シーリング　⊙ ガスケット(可動アルミ建具に限る)

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、
合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

14. ガラスブロック(中空)

ＪＩＳによる区分　(16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ 160×160 ・ 320×320	・ 200×200	・ 80 ・ 95
長方形	・ 250×125	・ 320×160	・ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製 (表面処理　　) ・ ステンレス製 (表面仕上　　)	・ 規定しない ・ 有 (　　分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	PCカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)

②. 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

木部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗り）
鉄鋼面	・A種　・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種　・C種
モルタル・プラスター面	・A種　※B種
コンクリート・ALC面	※A種　・B種
ボード面	※A種（継目処理工法）　※B種（その他）

3. 錆止め塗料塗り

塗料の種別　(18.3.2)

鉄鋼面	※A種（屋外）※B種（屋内）・C種（標仕１９節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具）・B種　・C種（標仕１９節の場合）

錆止め塗料塗り　(18.3.3)

鉄鋼面	※A種（見え掛り）※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種　※C種

4. 合成調合樹脂ペイント塗り(SOP)

塗料の種別　※1種　・2種　(18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り　(18.4.3～5)

鉄鋼面	・A種　※B種

⑤. クリアラッカー塗り(CL)

木部のクリアラッカー塗り　・A種　※B種　(18.5.2)

6. フタル酸樹脂エナメル塗り

フタル酸エナメル樹脂塗り　(18.6.2～3)

木部	・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種

7. アクリル樹脂非分系塗料塗り(屋内)(NAD)

アクリル樹脂非分散系塗料塗り　(18.7.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

8. アクリル樹脂エナメル塗り(屋外)(AE)

アクリル樹脂エナメル塗り　(18.8.2)
コンクリート・モルタル面
・A種　※B種

⑨. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP－G)

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り　(18.12.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

⑩. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

合成樹脂エマルションペイント塗り　(18.13.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種

11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP－T)

合成樹脂エマルション模様塗料塗り　(18.15.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・A種　※B種
鉄鋼・亜鉛めっき鋼面　・A種　※B種

⑫. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

木部のウレタン樹脂ワニス塗り　(18.16.2)
・A種　※B種

13. マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り　(18.18.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・A種　・B種　・C種

⑭. 木材保護着色塗料塗り

木材保護着色塗料塗り（自然塗料２回塗り）～ 素地ごしらえ＋中塗り＋上塗り
〔玄々化学工業㈱　AURO（NP-0129）同等品〕

19 内装工事

①. ビニル床シート

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ NC ・	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
※ 発泡層のあるもの	⊙ PF	・	⊙ 2.3	・	※熱溶接

2. 化粧ビニル床シート

JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
NCⅡNF	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3. ビニル床タイル

(19.2.2)(19.2.3)

種類(JIS A5705)	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※CT(半硬質) ・CTS(軟質)	※300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・HT	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・ 2.0又は4.5	・帯電防止 ・帯動荷重

4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離
強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の
試験後異常がないこと

5. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	300×300

6. ビニル幅木

(19.2.2)

材種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接	
高さ(mm)	・ 60	※ 75	・ 100	
厚さ(mm)	・ 1.5	※ 2.0		

7. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット　(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット　(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

⑧. フローリング張り

・ 単層フローリング　(19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

類別	材種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	・ナラ	・15　幅75 長さ500以上	・ モルタル埋込み工法 ※ 釘留工法 ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
・ フローリングブロック	・ナラ	・15　303×303		
・ モザイクパーケット	・ナラ	・15		

⊙ 複層フローリング

類別	材種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング(ｸﾗｯｸﾚｽﾀｲﾌﾟ) ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング ・ 大型積層フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・A種 ・B種 ※C種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ⊙接着工法 ・特殊張り工法(体育館床)	・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りの上ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ⊙ 既塗装品

⑨. 畳敷き

畳の種別　・ A種　・ B種　※ C種　・ D種　(19.6.2)(表19.6.1)

⑩. 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種類又は記号	種別など		厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8　(不燃) ・ 10　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6　(不燃) ・ 12　(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) GW－B	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25　(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9　(不燃) ・ 12　(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12　(不燃) ・ 15　(不燃) ・ 19　(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) GB－R		壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15　(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) GB－S		壁	12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB－NC	トラバーチン模様 (色　※ 白 ・ 黄)		9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB－D	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	

せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド　(19.7.2)

⑫. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
居室～壁	塩化ﾋﾞﾆﾙ（ｶﾀﾛｸﾞ掲載価格1000円/㎡程度）	・ 1級　⊙ 2級
		・ 1級　・ 2級
		・ 1級　・ 2級
		・ 1級　・ 2級

品質は参考商品名である。

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊澤　剛
日付　H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-7 2DK-B)　特記仕様書（４）
縮尺

図面番号　A — 4　枚ノ内
設計番号

20 ユニット及びその他の工事

⑬. 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

			厚さ(mm)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511の規格品
	※A種押出法 3種b（スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
⊙グラスウールマット	⊙ 24Kg/m3品	外気に接する壁・天井	⊙ 100	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)7-01-1よる

⑭. 防火サイディング

腰壁：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）
（ニチハ㈱ ﾓｴﾝｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ14 木目調 同等品）
壁 ：窯業系サイディング（タテ張りタイプ）の上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付け

付柱・幕板・窓ﾓｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ：木目調繊維強化セメント板

※ 外壁材の取り付けは通気胴縁工法とする

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は第6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし ・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 合板下地ビニルクロス貼りt＝0．5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)

材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6．床目地棒 (20.2.7)

ステンレスFB（SUS304） 5～6×12 ⊙ 6×9
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．黒板及びホワイトボード (20.2.8)

形式 ・ 平面 ・ 曲面

8．鏡 (20.2.9)

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

⑨. 表示（棟名称板） (20.2.10)

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札 （壁付）アクリル製 80×300
⊙各戸表示板 （平付）ステンレス製 80×250程度

10.煙突ライニング材 (20.2.11)

煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式 ・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形（mm）	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

12.ロールスクリーン (20.2.13)

操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
相談・静養室カーテン	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

⑭. カーテンレール (20.2.14)

材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理 ※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

⑯. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ⊙ ステンレス製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

※ 床点検口：床下収納庫兼用形（断熱材充填タイプ）

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱. ステンレス流し台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）水切、トラップ付
⊙ 図示

⑲. コンロ台

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）バックガード（※ 有 ・ 無）
⊙ 図示

⑳. つり戸棚

※ BL商品（システム ※ A－1型 ・ ）
⊙ 図示

㉑. 水切棚

※ 1段 ・ 2段 （タオル掛け付き）

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※ 100角 ・ 150角）

26. 出隅面取材

材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱

市販品 フック数（本）・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100 ・

28. 身障者用可動手すり

材種：樹脂被覆タイプ 34φ

29. 消火器ボックス

鋼製 既製品（半埋め込みタイプ） 消火器：ABC10型（※1本は強化液型）

30. ピクチャーレール

アルミ製 既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

㉛. ライニング腰板

腰板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板(7)19

32. 館名文字板

ステンレス製箱文字 200×200 8文字

㉝. ユニットバス

・1216（高齢者対応型）

㉞. 洗濯物干金物

アルミ製 （二段階調整型） ｱﾙﾏｲﾄ･ｱｸﾘﾙ焼付塗装品

㉟. 郵便受け

壁付け型 SUS304 ﾍｱﾗｲﾝ

21 排水工事

1．グレーチング (21.2.2)

※ 鋼製 ・ ステンレス製

2．鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

22 舗装工事

①. 再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

②. 盛土材料

路床の盛土材料 （ B ）種 (22.2.2)(22.2.3)(表3.2.1)

3．遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理

路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 生石灰特号 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

5．路床土の支持力比（CBR）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6．路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7．砂の粒度試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧. 路盤材料

※ 再生クラッシャラン RC－40（透水性舗装の場合を除く） (22.3.3)(表22.3.1)
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9．路盤の締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11．コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

⑫. ブロック系舗装

⊙ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 (22.8.2)(表22.8.1)
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬. 縁石及び側溝

(22.9.2)

14．砂利敷き

・ A種 ※ B種 (22.10.2)

15．区画線

駐車場 号棟番号マーキング 300角程度
※ JISK5665 3種1号白 溶融式 白線

23 植栽工事

1．植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2．植栽基盤

・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3．植込み用土

※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4．土壌改良材

※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たりバーク堆肥で50リットル，発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5．芝

種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (22.11.1)(表22.11.1)

6．屋上緑化

(23.5.2)(23.5.3)

工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の使用による	

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

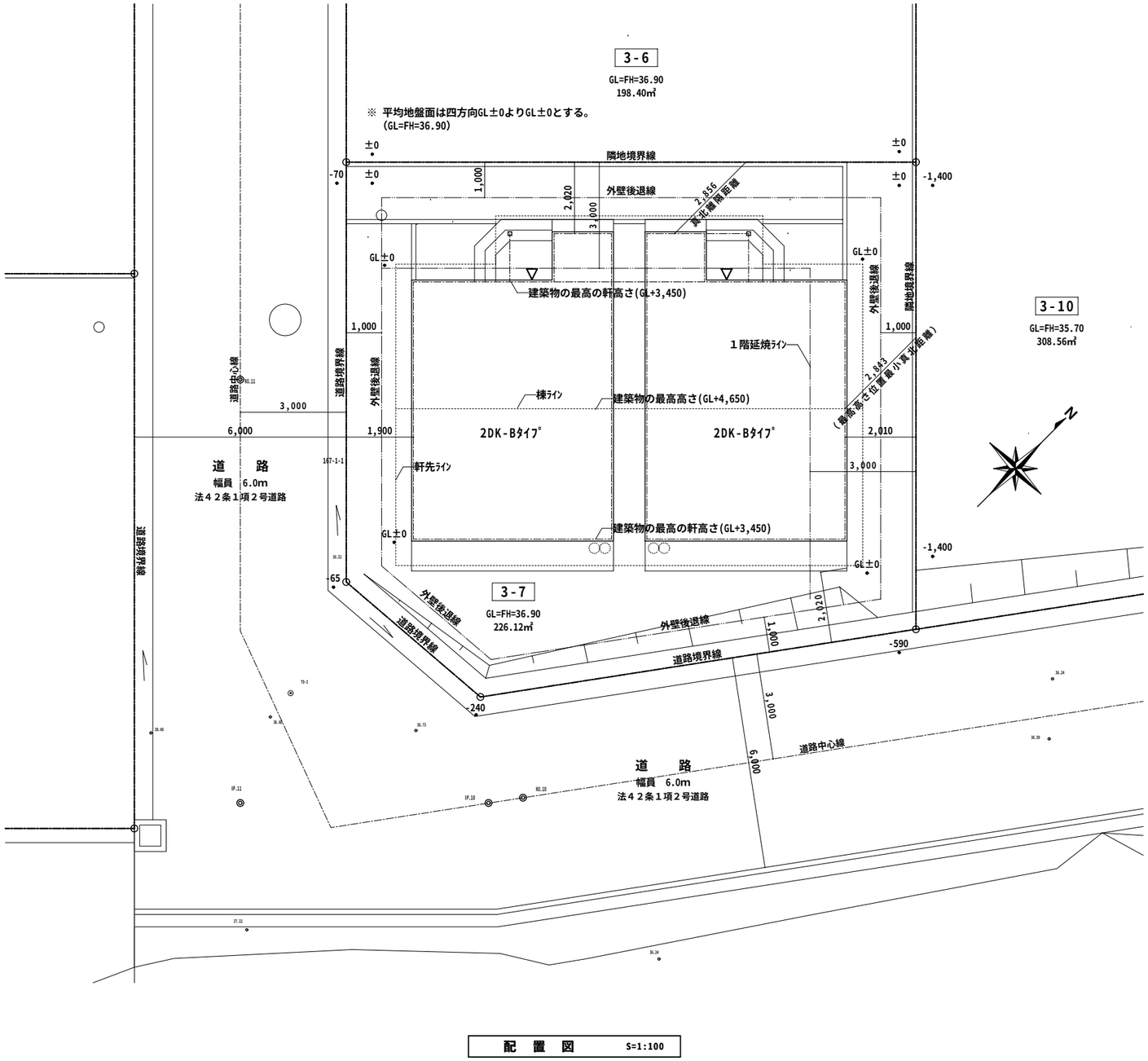
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付 H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（2工区）

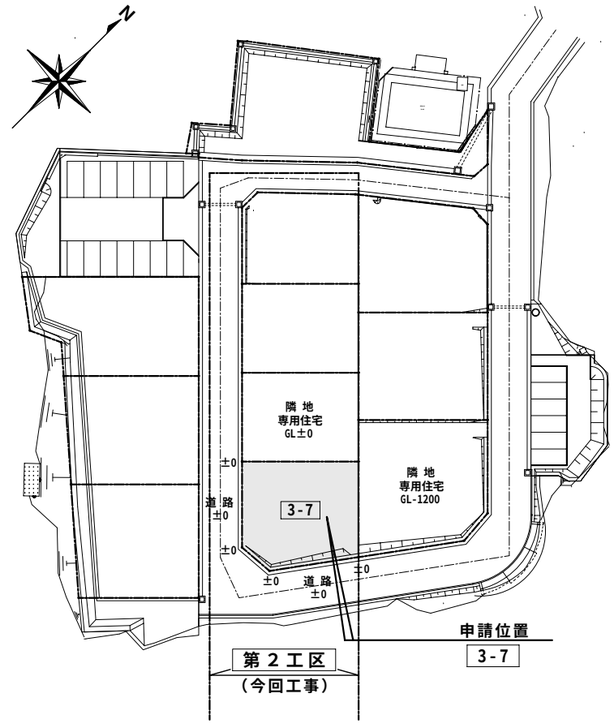
図面内容 (区画3-7 2DK-B) 特記仕様書（5）
縮尺

図面番号 A — 5 枚ノ内
設計番号



配　置　図　　S=1:100

案　内　図

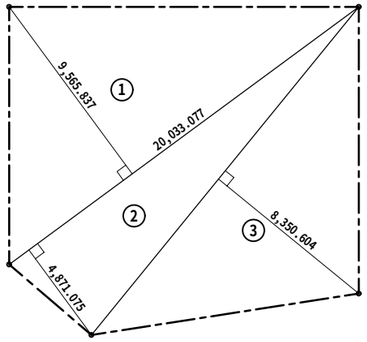


宮ノ沢住宅

団地内案内図

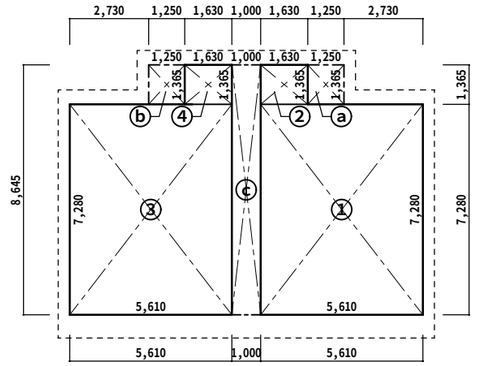
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画3-7 2DK-B) 配置図・案内図		図面番号　A — 6　枚ノ内	
縮尺　A２　S=1:100 A４　S=1:200		設計番号	

■ 敷地面積計算表　【3-7】



区画 3-7　敷地面積求積表		
符号	計 算 式	計
①	20.033 × 9.565	191.615645
②	20.033 × 4.871	97.580743
③	19.522 × 8.352	163.047744
倍面積	① ～ ③	452.244132
面　積	倍面積 × 1/2	226.122066
地　積		226.12 ㎡

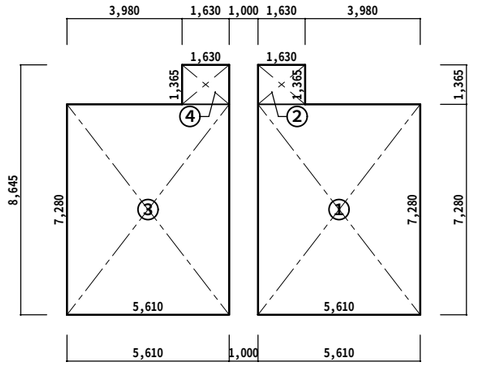
■ 建築基準法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 ＝ 40.840800
② ④	1.63 × 1.365＝ 2.224950
ⓐ ⓑ	1.25 × 1.365＝ 1.706250
ⓒ	1.00 × 8.645＝ 8.645000

	計　算　根　拠　式	
建築面積	①＋②＋③＋④＋ⓐ＋ⓑ＋ⓒ	98.18 ㎡
延床面積	①＋②＋③＋④	86.13 ㎡
１住戸当りの床面積	①＋②	43.06 ㎡

■ 公営住宅法による面積計算表　【２ＤＫ－Ｂ】



符号	計　算　式
① ③	5.61 × 7.28 ＝ 40.840800
② ④	1.63 × 1.365＝ 2.224950

	計　算　根　拠　式		
住戸専用面積	①	１住戸当り	40.840800 ㎡
		改め	40.84 ㎡
物置面積	②	１住戸当り	2.224950 ㎡
		改め	2.22 ㎡
公営住宅法面積			43.06 ㎡

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称：平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 面積求積図
縮尺	A２ S＝1：150 A４ S＝1：300
図面番号	A — 7 枚ノ内
設計番号	

外部仕上げ

屋根	屋根：木小屋組の上、野地板 耐水合板t=12下地、アスファルトルーフィング(940)下貼、ガルバリューム鋼板t=0.4（カラー）横葺 勾配3/10 雪止め金物：専用雪止め金物@900 2段チドリ 軒先・ケラバ水切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 破風、鼻隠し：杉板材(ｱ)21の上ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工 軒樋：塩ビ製角型(ｶﾗｰ) W=110×76（落葉よけﾈｯﾄ付き）　縦樋：塩ビ製丸型(ｶﾗｰ)60φ	軒天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透かし張り（一部有効）ＥＰ塗装
		基礎廻り	巾木：コンクリート打放し仕上げ（Ｂ種）補修、　土台スペーサーｔ=20
		ポーチ テラス	ポーチ床：モルタル金ゴテ仕上げ　段鼻：磁器質段鼻タイル150×60貼り テラス床：モルタル金ゴテ仕上げ
外壁	外壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、窯業系サイディング(ｱ)14の上アクリル系リシン吹付け 腰壁：木軸組の上、透湿防水シート(ｱ)0.2下貼、通気胴縁(杉：18×45)@455、木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品) 付柱、付梁：窯業系不燃外装装飾部材（塗装品） 土台水切・壁取合見切：ガルバリューム鋼板 t=0.4（カラー）加工（取合い：ｼｰﾘﾝｸﾞ：ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系10×10） ※ 外壁内通気措置は住宅金融公庫融資住宅の木造住宅共通仕様書による（外壁取付ヨコ胴縁組）	開口部	建　具：カラーアルミ（網戸レール付きペアガラス仕様、S-3、A-4、W-3、H-1、T-1） ガラス：ﾍﾟｱFL3+A10+FL3、ﾍﾟｱFL3+A9+F4
		断熱材 防湿材	（断熱材） ・玄関土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(B-2)t=30 ・木床組部分　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ成形品(3種)t=55 ・外気に接する壁　：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） ・外気に接する天井：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(表面加工品)t=100（24kg/㎥品） （防湿材） ・ベタ基礎下・玄関土間下　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室内側）：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15 ・外気に接する壁（室外側）：透湿防水シート(ｱ)0.2 ・外気に接する天井　：防湿シート ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(ｱ)0.15

内部仕上げ

室名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	廻り縁	天井高	備考
玄関	ｺﾝｸﾘｰﾄ	モルタル金ゴテ仕上げ	床材立上げ ＭＤＦ	100 60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,560	手摺（集成材 φ32塗装品） 上框（150×90 塗装品）
廊下	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	手摺（集成材 φ32塗装品）
ＤＫ	構造用合板(ｱ)24	複合フローリング張り(ｱ)12 ﾀﾞｲｹﾝ ｷｯﾁﾝﾀﾌ　同等品	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止) (流し前)抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧坂貼り(ｱ)3.0	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	流台、コンロ台、吊戸棚、水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ 流し廻り立上りｽﾃﾝﾚｽ(ｱ)0.8 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
和室	構造用合板(ｱ)24	タタミ敷き(ｱ)55	タタミ寄せ 米ツガ ＣＬ	55×30	木製胴縁組	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り（ｼﾞｭﾗｸ調）	木製野縁組	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 30×24ＣＬ	CH=2,400	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾌﾞﾙ、多目的スリーブ
押入 物入	構造用合板(ｱ)24	ラワン合板(ｱ)12張り	雑巾ズリ 米ツガ	55×30	木製胴縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（押入用） (ｱ)9.5張り	木製野縁組	ラワン合板(ｱ)2.5張り	塩ビ製	CH=2,400	中棚・枕棚
便所	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	樹脂製Ｌ型手摺
洗面・脱衣室	構造用合板(ｱ)24	クッションフロア(ｱ)2.3貼り	ＭＤＦ	60	木製胴縁組	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 ビニルクロス貼り(汚れ防止)	木製野縁組	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5張り	ＭＤＦ	CH=2,400	洗面化粧台(W=750) 樹脂製Ｉ型手摺
浴室	ユニットバス　1612（片開折戸ﾀｲﾌﾟ） 一般型ＢＬユニット（高齢者対応型） JISA4416同等品					（手摺取付部裏面補強材入）				CH=2,000	フリーサイズ額縁キット　風呂蓋　換気開口240角 樹脂製Ｌ型手摺、Ｉ型手摺　各１組 非常開口付折戸W=800　水栓 Nｼﾞｮｲｻｰﾓ(寒)
物置 納戸		コンクリート金ゴテ仕上げ	ﾓﾙﾀﾙ金ゴテ	100	木製胴縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	木製野縁組	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張り　ＥＰ塗り	塩ビ製	CH=2,400	棚、給湯ｼｽﾃﾑ（機械設備工事）

既製ユニット

取付位置及び名称	参考メーカー（同等品以上）	数量
ﾃﾗｽ　物干金物(ｱﾙﾐ)	杉田ｴｰｽ　ｻﾝﾋﾞｰﾑ 450	各3ヶ所
共通　暖房及び多目的ｽﾘｰﾌﾞ（キャップ付き）	杉田ｴｰｽ　ｽﾘｰﾌﾞ VU107×114 ｷｬｯﾌﾟ 311-147・311-162	各3組
台所　流し台(ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ付)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ　GKW-S120N	各1ヶ所
台所　コンロ台	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ　GKW-K-60BG	各1ヶ所
台所　ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(ｼﾛｯｺﾌｧﾝ)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ　BH639(H,K)	各1ヶ所
台所　吊戸棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ　GKW-A-120F	各1ヶ所
台所　水切棚	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ　NSR-120-1	各1ヶ所
洗面　洗面化粧台	ＩＮＡＸ　FTN-755SN/P1GW MFT-751H	各1ヶ所
便所　手摺	ＩＮＡＸ　MKF-320(500)	各1ヶ所
洗面　手摺	ＩＮＡＸ　MKF-310(400)	各1ヶ所
浴室　ユニットバス	ＴＯＴＯ　(1216ﾀｲﾌﾟ)JJV1216US	各1ヶ所
台所　風量調整型換気口	杉田ｴｰｽ　KRP100BW	各1ヶ所
ﾎﾟｰﾁ　郵便受け	杉田ｴｰｽ　ｶﾗｰﾎﾟｽﾄ SGT-2000	各1ヶ所

共通事項

特記事項

(1) 木材接合部金物は、Ｚ金物及び同等耐力認定該当品とする。（監督職員の承諾の事）
(2) ＧＬより＋1,000の木部を木材防腐防蟻塗装材塗布する。
（防蟻措置は(社)日本しろあり対策協会仕様書による）
(3) 外部建具廻り、ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾞｮｲﾝﾄ目地等漏水のおそれのある箇所及び図示の箇所にはｼｰﾘﾝｸﾞ材を充填する。
(4) 特記無き限り仕上げの異なる箇所には木製床見切りを設ける。
(5) ビニールクロス用石膏ボードはジョイントボードとする。
(6) 防火区画の貫通部分は令112条15項、16項及び令129条の2の1に従い施工の事
(7) クロス類；防火種別 2-2とする。
(8) 特記無き限り外部木部の仕上げは木材保護着色塗料塗りとする。
(9) 特記無き限り内部木部の仕上げはＯＳ塗りとする。

防火性能認定品

木目調サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
無地サイディング(ｱ)14（木下地）	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(ｱ)14)	防火構造　第ＰＣ０３０ＢＥ－９２０１号
界壁　４５分準耐火構造	告示第１３５８号第１ー項ロ(1)

凡例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント（低ＶＯＣ仕様）
ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント
ＣＬ	クリアラッカー
ＯＳ	オイルステイン塗り
ＵＶ	着色ウレタン樹脂ワニス
２-ＵＣ	２液形着色ポリウレタン樹脂ワニス塗り

不燃性能認定品

ビニルクロス（石膏ボード下地）	準不燃	第ＱＭ－９４４１号
石膏ボード GB-R(ｱ) 9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２８号
石膏ボード GB-R(ｱ)12.5	不　燃	第ＮＭ－８６１９号
防水石膏ボード GB-S(ｱ)9.5･12.5	準不燃	第ＱＭ－２０１８号
化粧石膏ボード GB-NC(ｱ)9.5	不　燃	第ＮＭ－８６１３号
化粧柾目石膏ボード(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
化粧石膏ボード(押入用)(ｱ)9.5	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
ケイ酸カルシウム板 FK(ｱ)6～12	不　燃	第ＮＭ－８５７８号
抗菌メラミン不燃化粧板 (ｱ)3.0	不　燃	第ＮＭ－９３００号
化粧ケイ酸カルシウム板	不　燃	第ＮＭ－８２１７号

シックハウス対策 建築材料（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量）

【設計条件】
１）換気回数０．５回／ｈとする。
２）接着剤はＦ☆☆☆☆とする。
３）小屋裏の使用建築材料はＦ☆☆☆☆とする。

【化学物質室内測定】
○ホルムアルデヒド
（DNPH-HPLC法）　１項
○ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ
（固相吸着-溶媒抽出法）４項
測定箇所　各棟　１住戸
測定数　１住戸あたり 各項目毎 ２ヵ所測定
（ＤＫ、和室）

ＣＬ	(JIS K 5531)Ｆ☆☆☆☆	合板	(Ｆ☆☆☆☆)
ＥＰ	(JIS K 5663)Ｆ☆☆☆☆	集成材	(Ｆ☆☆☆☆)
防腐	(JIS K 1570)Ｆ☆☆☆☆	ＭＤＦ	(Ｆ☆☆☆☆)
		ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	(Ｆ☆☆☆☆)
タタミ	(JIS A 5902)Ｆ☆☆☆☆	建具用でんぷん系接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	t=12　JIS　Ｆ☆☆☆☆	油性調合ペイント	(Ｆ☆☆☆☆)
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	家庭用木部金属部塗料	(Ｆ☆☆☆☆)
同上接着材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)
ＧＷ断熱材	(JIS A 6921)Ｆ☆☆☆☆	ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤	(Ｆ☆☆☆☆)

木材仕様

【床組】
・土台　米ツガ(防腐防蟻処理材)120×120
・大引　松１等　90×90　@910
・床束　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ床束
・床下地　耐水合板(ｱ)24

【軸組】
・柱　杉(１等洋 上小節) 105×105
・柱　集成材(ｽﾌﾟﾙｰｽ) 105×105
和室見え掛り柱
・隅柱 杉(１等洋 上小節) 120×120
・間柱 杉 １等 105×45 75×45 @455
・筋違 杉 １等　90×45
・胴縁(内壁) 杉 １等 24×45 @455
・胴縁(外壁) 杉 １等 18×45 @455

【天井下地】
・野縁 杉 １等 45×45 @455
・吊木 杉 １等 27×36 @455

【小屋組】
・梁 棟木 松 １等 105×120～180
・母屋　松 １等 90×90 @910
・小屋束　松 １等 105×105 90×90
・火打梁　火打金物(ﾀﾀﾅ ﾋﾞｽ止めﾊﾟｲﾌﾟ火打)
・雲筋違　松 １等 90×18
・垂木　松 １等 60×45 @455
【造作材】米ツガ 無節
○米ツガ 無節(和室：ＣＬ、その他：ＯＳ)
・天井廻縁(和室)42×40
・雑巾ｽﾞﾘ　20×34
・タタミ寄 50×40、50×60
・鴨居 45×100
・付鴨居 40×45
・敷居 60×100
○ＭＤＦ
・天井廻縁(洋室)　36×32
・巾木　H=60
・長押　24×90

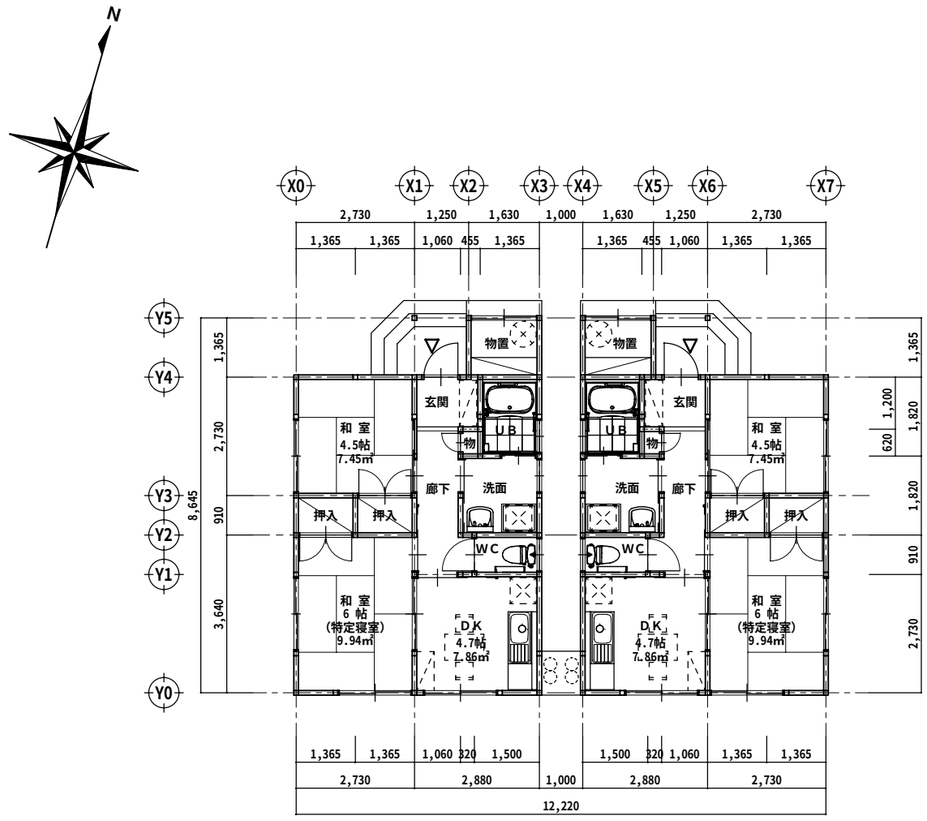
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

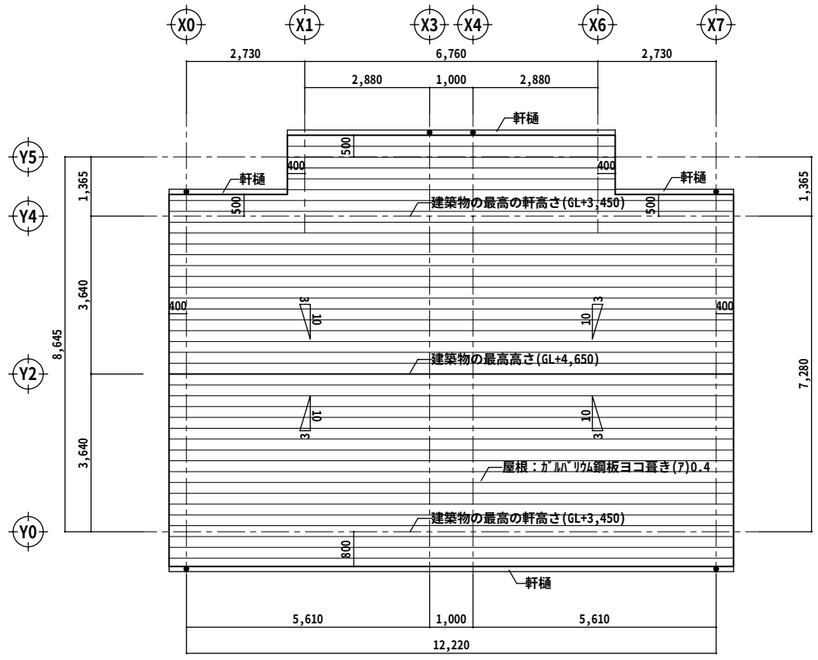
検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 仕上表
縮尺	
図面番号	Ａ－８ 枚ノ内
設計番号	

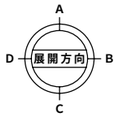


平　面　図　S=1:100

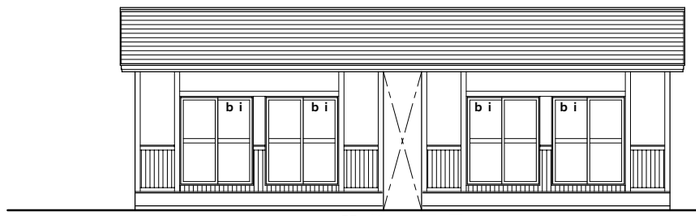


屋 根 伏 図　S=1:100

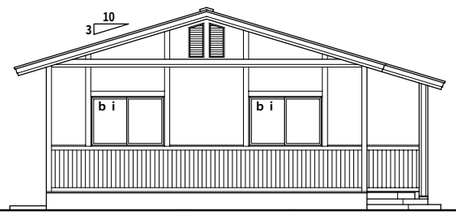
※　小屋裏利用は無い。



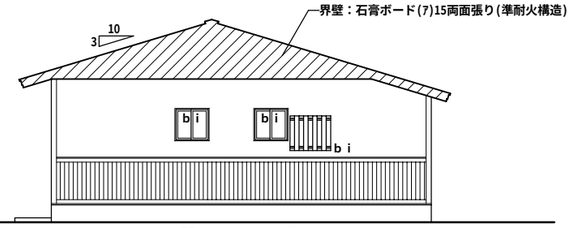
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図　一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　(区画3-7 2DK-B) 平面図・屋根伏図 縮尺　A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面番号　A — 9 枚ノ内 設計番号



南 側 立 面 図

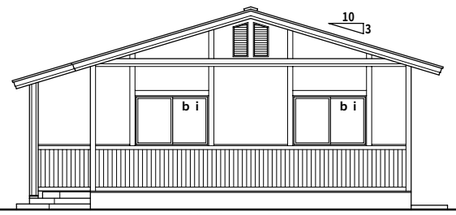


東 側 立 面 図



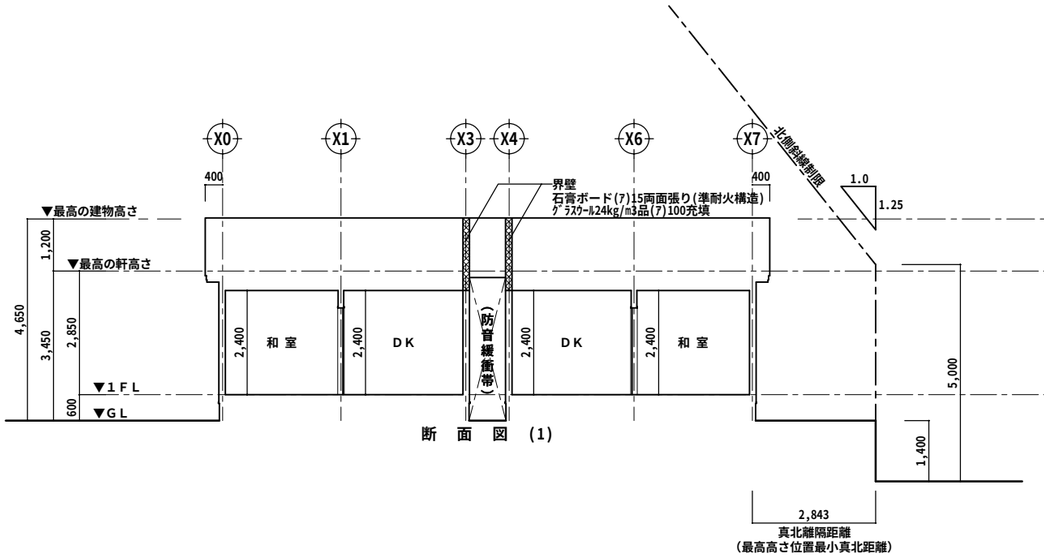
東 側 立 面 図

北 側 立 面 図

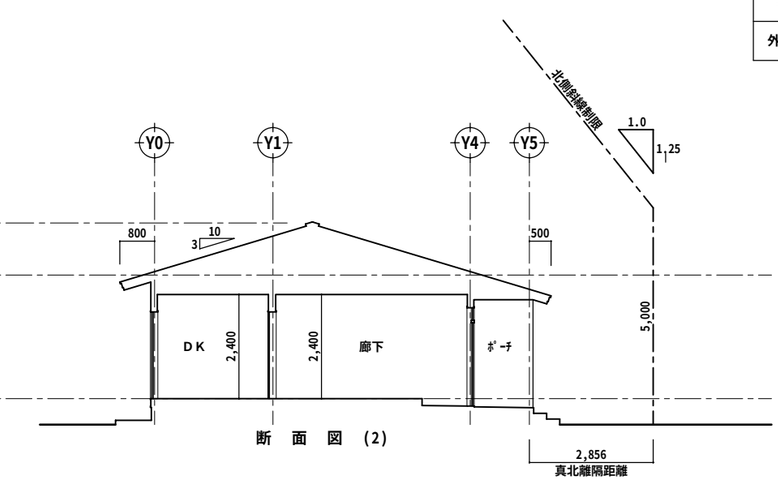


西 側 立 面 図

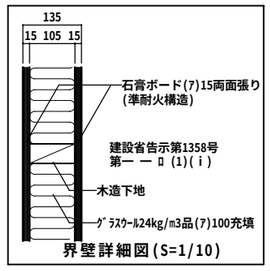
外 部 仕 上 表	
部 位	仕 上
屋 根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ヨコ葺き (ｱ)0.4 (AT式)
軒 天	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0張り ＥＰ (一部有孔板)
外 壁	窯業系サイディング(ｱ)14の上 アクリル系リシン吹付け
腰 壁	木目調窯業系サイディング(ｱ)14(塗装品)
付 柱	窯業系サイディング出隅材(ｱ)18(塗装品)
幕 板	窯業系サイディング(ｱ)18(塗装品)
外部巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修(Ｂ種)



断 面 図 (1)



断 面 図 (2)



界壁詳細図(S=1/10)

※ 界壁部分を貫通する配管・配管は
法112条第15項及び告示第1422号の規定による。

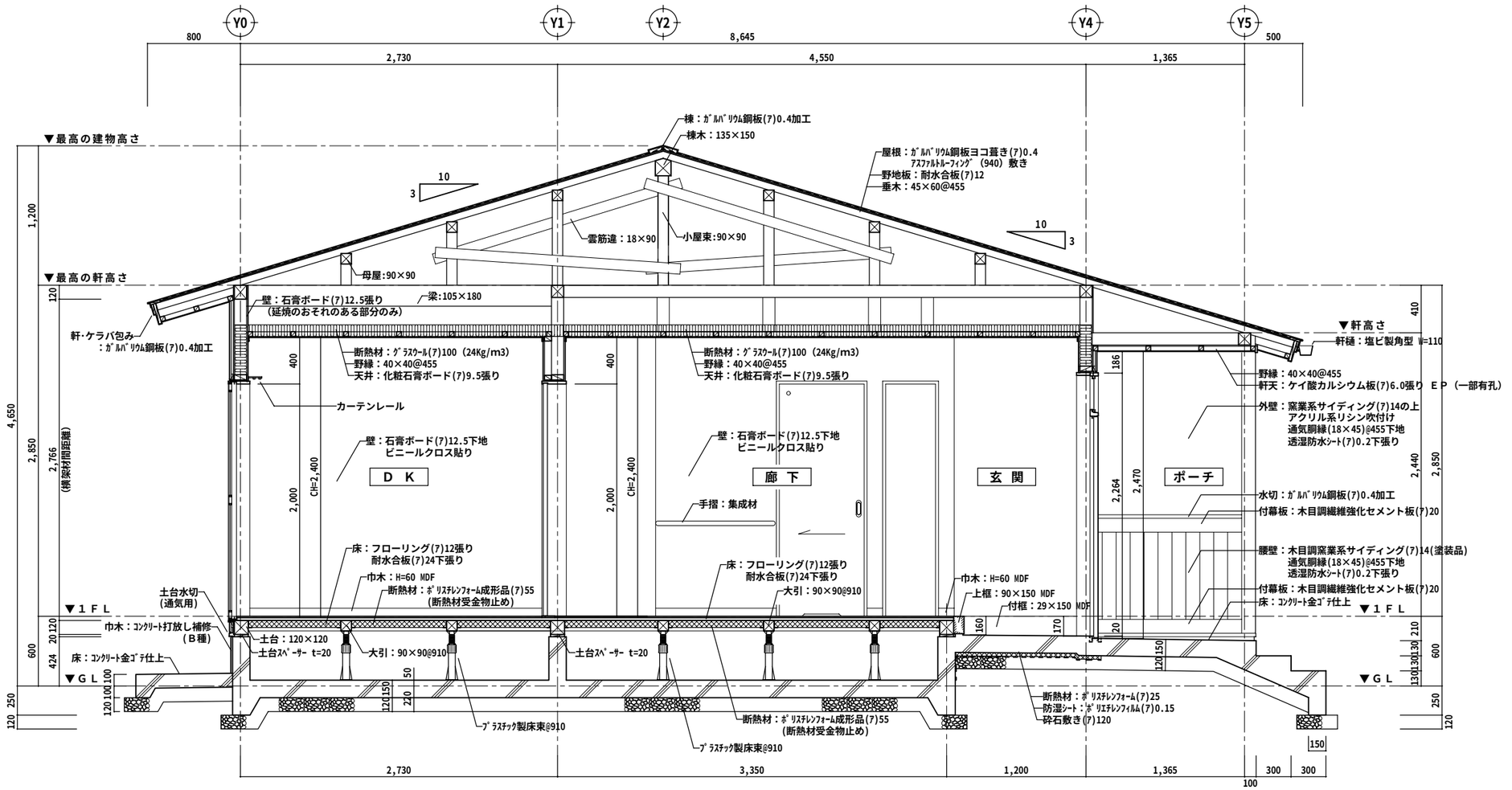
(高さ制限の検討（図示以外）)
○西側道路斜線制限の検討 Ｘ0通りの高さ(1.50+6.0+1.50)×1.25＝11.25m＞建物最高高さ4.65m‥‥ＯＫ
○南側道路斜線制限の検討 Ｙ0通りの高さ(2.02+6.0+2.02)×1.25＝12.55m＞建物最高高さ4.65m‥‥ＯＫ
○法５５条による高さ制限の検討 法定高さ10.0m＞建物最高高さ4.65m‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ＯＫ

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

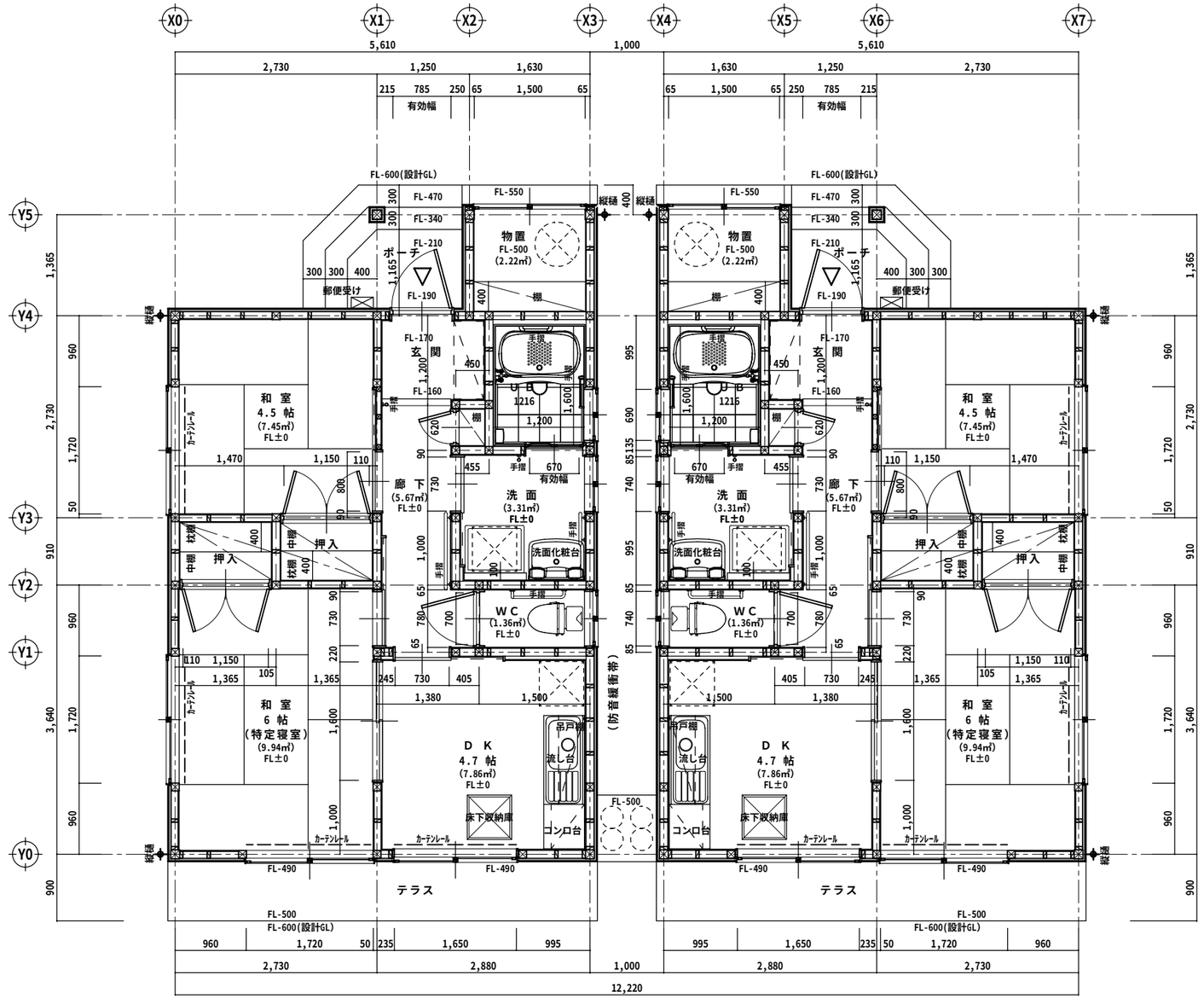
工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 立 面 図・断 面 図
縮尺	Ａ２ Ｓ＝1：100 Ａ４ Ｓ＝1：200
図面番号	Ａ ― １０ 枚ノ内
設計番号	

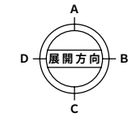


矩 計 図　S=1:30

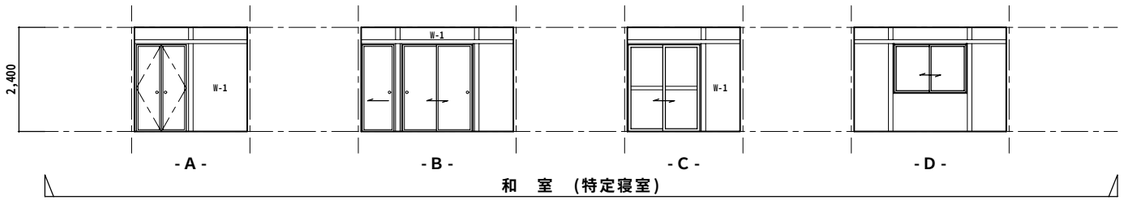
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-7 2DK-B) 矩 計 図 縮尺 A2 S=1:30 A4 S=1:60	図面番号 A－11 枚ノ内 設計番号

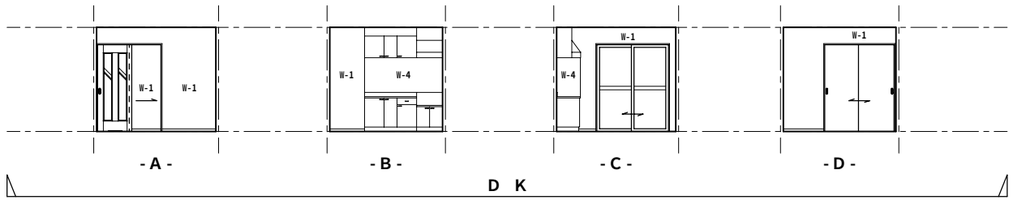


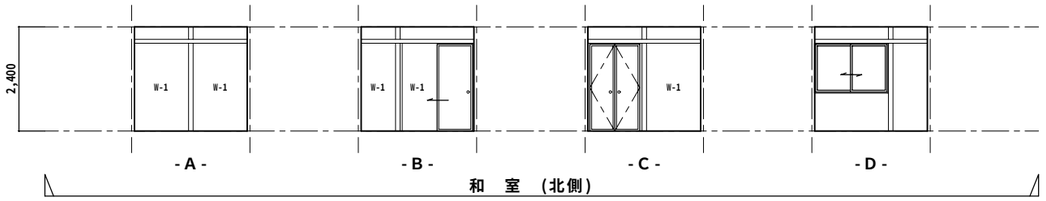
平面詳細図　S=1:50

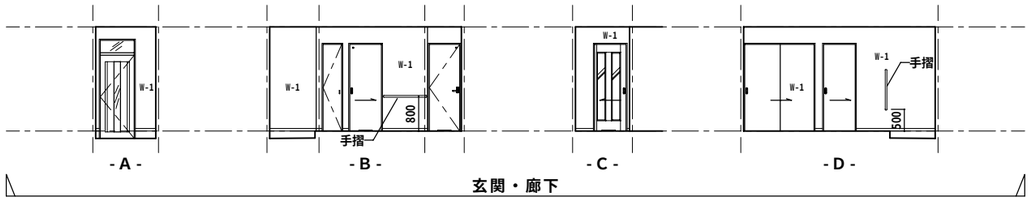


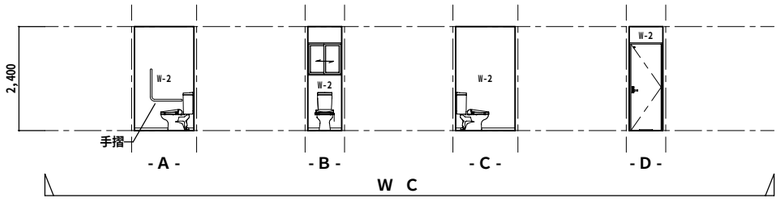
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-7 2DK-B) 平面詳細図	図面番号 A－12 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	設計番号
		日付 H24・3・10			

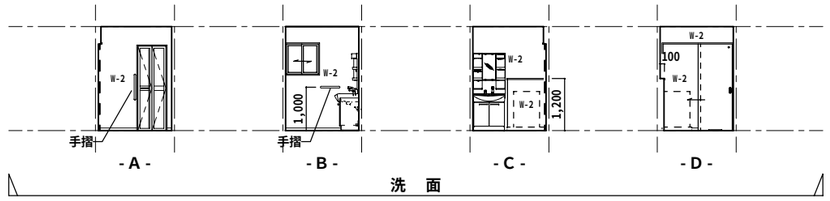


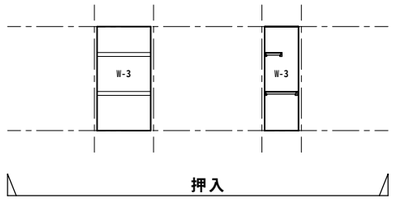


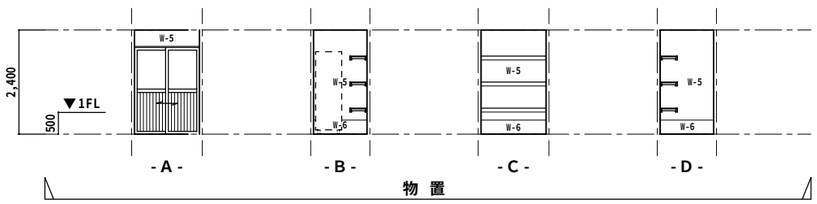












仕　上　表	
符　号	仕　　上
W-1	ビニルクロス張り(ＰＢ下地)
W-2	ビニルクロス張り(防水ＰＢ下地)
W-3	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(押入用)(7)9.5張り
W-4	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(7)3.0張り
W-5	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り　ＥＰ
W-6	モルタル金ごて仕上げ
	巾木　ＭＤＦ　Ｈ＝60

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

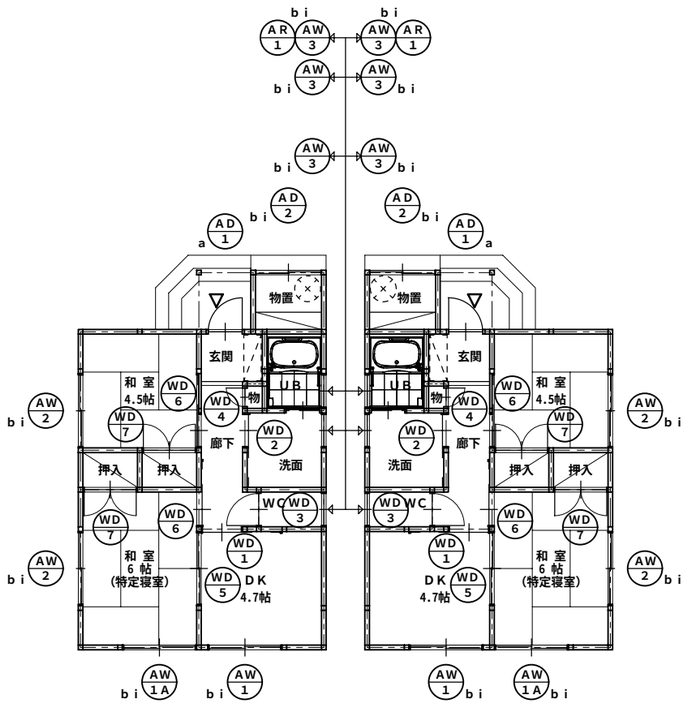
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

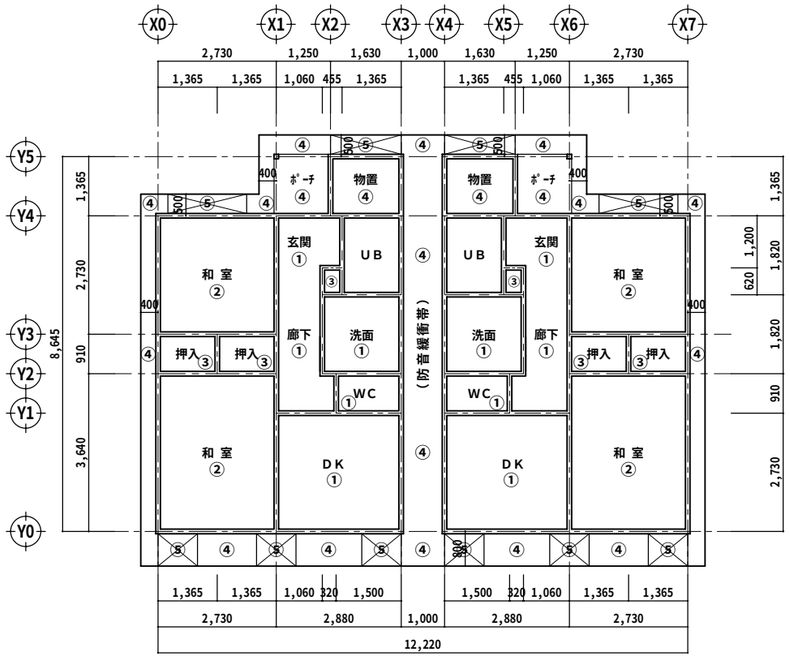
工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 展　開　図
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：100 Ａ４　Ｓ＝1：200

図面番号	Ａ — １３ 枚ノ内
設計番号	



キ ー プ ラ ン　S=1:100



天 井 伏 図　S=1:100

天 井 仕 上 表	
符 号	仕　上
①	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
②	化粧柾目石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5張り
③	ラワン合板(7)2.5張り
④	ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ
⑤	有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0目透し張り ＥＰ　（開口率：11%）

小屋裏換気計算表（１住戸当り）		
天井面積	5.61×7.28＋2.88×1.365	44.7720㎡
必要換気面積	44.7720㎡×1/250＝0.179㎡	0.179㎡
有効換気面積	1.63 ×0.3×8/100(開口率) ×2＝0.078㎡ 0.91 ×0.7×8/100(開口率) ×3＝0.152㎡	0.230㎡
判　定	必要換気面積：0.179㎡＜有効換気面積：0.230㎡‥‥ＯＫ	

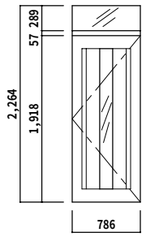
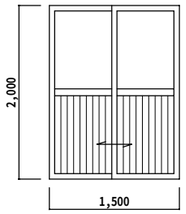
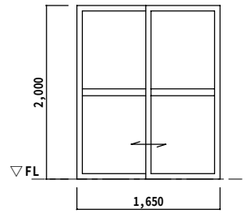
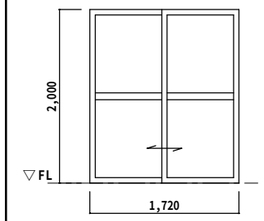
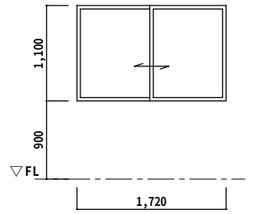
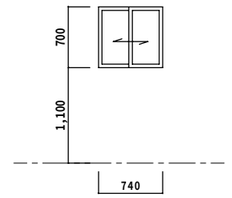
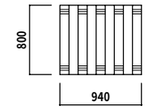
（住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書8.9.1-ロ適用）
※有孔ケイ酸カルシウム板(7)6.0　開口率：８％
(参考) ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ ﾊｲﾗｯｸ吸音板１号　不燃NM-8576、NM-8578同等品

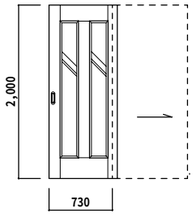
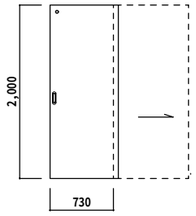
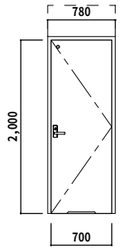
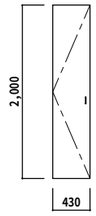
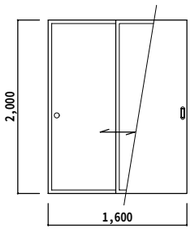
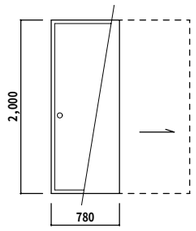
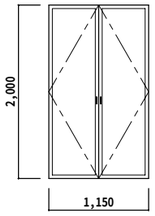
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-7 2DK-B)　キープラン・天井伏図
縮尺　A２ S=1:100　A４ S=1:200
図面番号　A ― １４　枚ノ内
設計番号

符号・個数	AD 1	2	AD 2	2	AW 1	2	AW 1A	2	AW 2	4	AW 3	6	AR 1	2
位　　置	玄 関		物 置		ＤＫ		和室		和 室		洗面脱衣室、ＷＣ、ＵＢ		洗面脱衣室	
姿　　図														
種別・見込	片開き玄関ドア（ランマ付き）		引違い戸	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	引違い窓	７０	アルミルーバー	
仕　　上	ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）		ｶﾗｰｱﾙﾐ（標準色）	
ガ　ラ　ス	ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4		片板ｶﾞﾗｽ 4mm		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A10+FL3		ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ FL3+A9+F4			
金　　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
その他備考	断熱ｻｯｼｭIII地域用（断熱材充填）ﾒｰｶｰ仕様		ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、半外付け		網戸レール、半外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、外付け		網戸レール、半外付け			

符号・個数	WD 1	2	WD 2	2	WD 3	2	WD 4	2	WD 5	2	WD 6	4	WD 7	4
位　　置	ＤＫ		洗面化粧室		ＷＣ		物 入		和 室		和 室		和室（押入）	
姿　　図														
種別・見込	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片引きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３０	片開きﾌﾗｯｼｭ戸	建具見込３６	片開き収納扉	建具見込１８	引違いﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	片違ﾌﾗｯｼｭ戸襖	建具見込３０	両開き押入れ襖	建具見込３０
仕　　上	樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		樹脂化粧合板、片面襖紙貼り		片面襖紙貼り	
ガ　ラ　ス	片板ｶﾞﾗｽ 4mm													
金　　物	ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ｽﾃﾝﾚｽ引手		表示鍵、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ		取手		引手		引手		引手	
その他備考	Ｖﾚｰﾙ		Ｖﾚｰﾙ		ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ				敷居ｽﾍﾟｰｽ		敷居ｽﾍﾟｰｽ			

符号・個数		
位　　置		
姿　　図		
種別・見込		
仕　　上		
ガ　ラ　ス		
金　　物		
その他備考		

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 建 具 表
縮尺	Ａ２　Ｓ＝1：50 Ａ４　Ｓ＝1：100

図面番号	Ａ ― １５ 枚ノ内
設計番号	

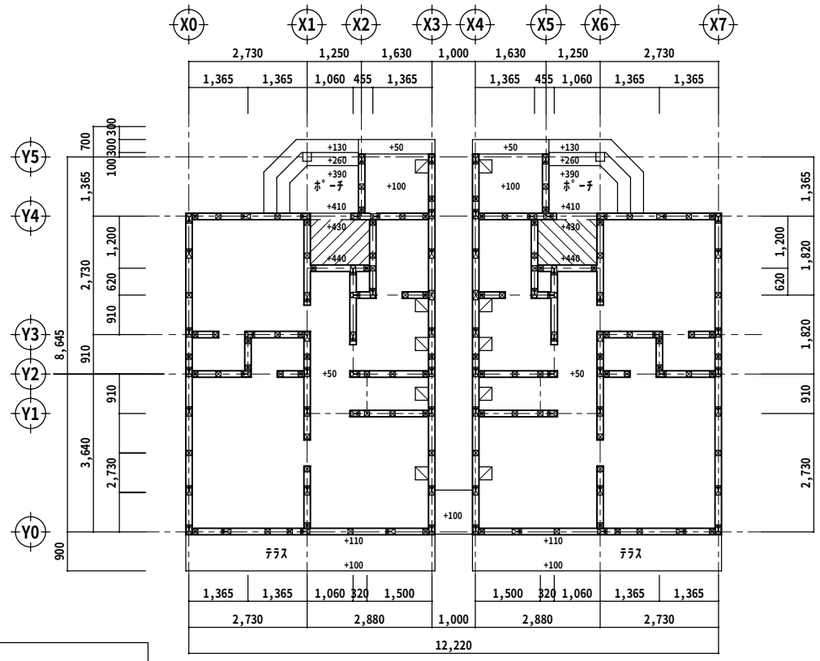
○敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
ｑａ＝30.0kN／㎡
・凍結深度：２５cm

○特 記 事 項
・土間下：砕石(7)120
防湿土間ｼｰﾄ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(7)0.15

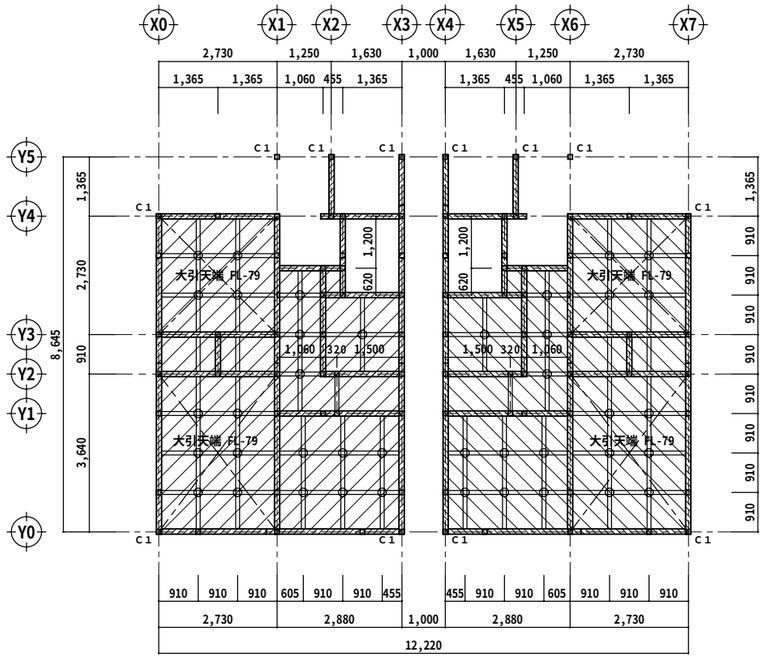
○凡 例
• ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ：M12-L400 @2,000以内
（Ｚﾏｰｸ表示品）
土台ｽﾍﾟｰｻｰ：120×120×20、120×214×20
（土台ｽﾍﾟｰｻｰは１ｍ以内に設置する）
配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ枡：300×300×450
床断熱材敷込み：発砲ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(7)25

床下換気 １ｍ当り
土台ｽﾍﾟｰｻｰ圧縮時厚 2.0cm
2.0cm(厚)×(100cm－24.4cm(ｽﾍﾟｰｻｰ長さ))
＝151.2cm2/m

維持管理
1.配管は基礎立上り部分等の貫通を除き、ｺﾝｸﾘｰﾄ内に埋め込まない事。
2.地中埋設管の上にｺﾝｸﾘｰﾄを打設しないこと（防湿ｺﾝｸﾘｰﾄは除く）
3.排水管は内面が円滑井である事。
4.排水管は継手により高低差が生じない事。肉厚の異なる継手が無い事。
5.排水管は溶接継手等とし支持金物等にて固定する事。



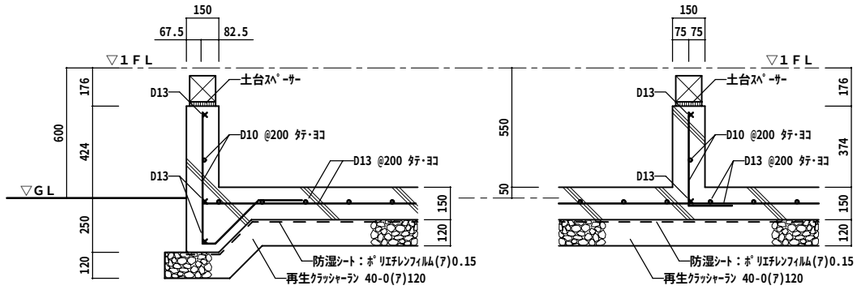
基 礎 伏 図 S=1:100



床 伏 図 S=1:100

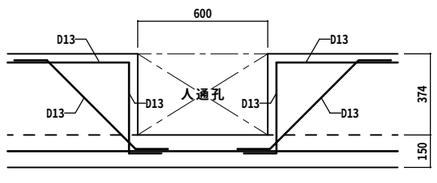
○特 記 事 項
・特記なき柱は105×105
・ＧＬ+１ｍ以内の部分は防腐防蟻処理を行う。

○凡 例
C1 隅柱：120×120
床束：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製床束
土台：米ツガ 120×120（防腐防蟻処理材）
大引：米ツガ 90×90（防腐防蟻処理材）
床下地合板：構造用合板(7)24（4周釘打ち N75 @150）

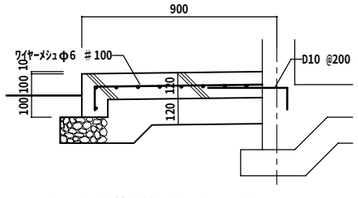


外周基礎配筋詳細図 S=1/20

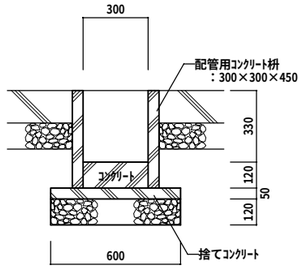
内部基礎配筋詳細図 S=1/20



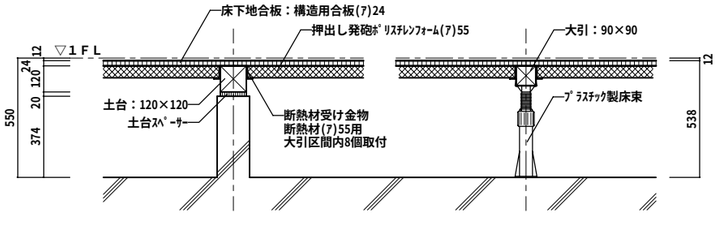
人通孔配筋詳細図 S=1/20



テラス配筋詳細図 S=1/20

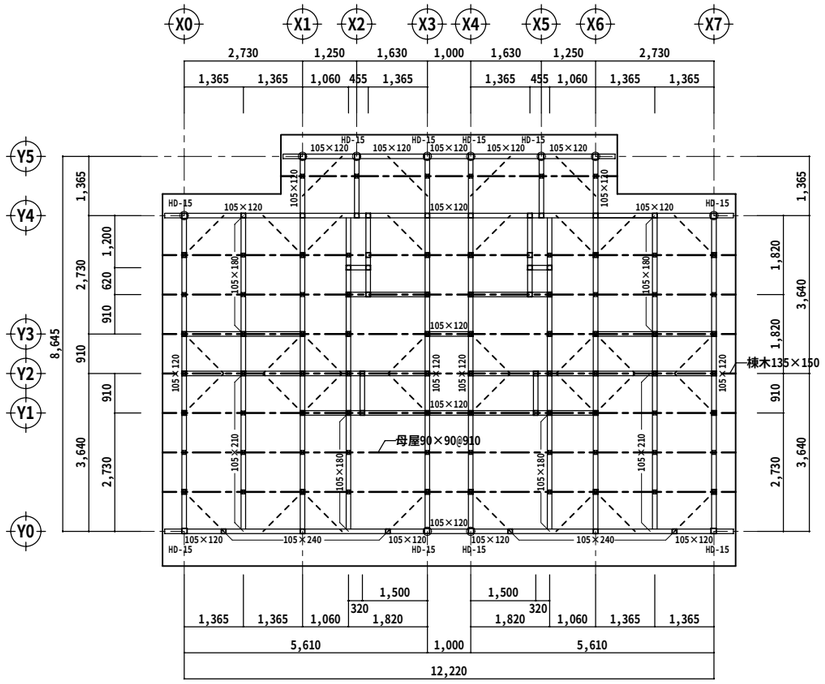


配管用ｺﾝｸﾘｰﾄ桝詳細図 S=1/20
※配管は上記枡を利用し基礎立上り部にて貫通する事。



床下地組詳細図 S=1/20

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図	工事名称	図面内容	(区画3-7 2DK-B) 基礎伏図・床伏図	図面番号	A — 16 枚ノ内
		製図 一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）				
		日付 H24・3・10		縮尺	A２ S=1:20・100 A４ S=1:40・200	設計番号	



小　屋　伏　図　　S=1:100

○凡　　例

- ○　隅柱：120×120
- □HD-25　引き寄せ金物

※特記なき頭ツナギ、梁は105×105とする。

小屋組・間仕切部材表	
頭ツナギ・梁	105×105～105×240（米松１等）
母　屋	90×90（米松１等）@910
小屋束	90×90 @910 杉
火打ち梁	火打ち金物
雲筋違い	90×18（杉１等）
垂　木	60×45 @455（米松１等）
棟　木	135×150（米松１等）
隅　柱	120×120 杉
その他の柱	105×105 杉
間　柱	105×45､75×45（赤松１等）
胴　縁	45×24 @455（杉１等）
筋違い	45×90（赤松１等）
外壁横胴縁	18×45（赤松１等）
野地板	耐水合板(7)12　釘止め N50 @150

建築基準法施行令　令４３条の確認

（１階）　柱の小径105／最大の横架材間距離2766＝1／26　＞　法定1／33

・・・・・・OK

（有効細長比）

断面二次半径＝30.31　最大の座屈長さ＝2766

有効細長比＝91.25＜150

・・・・・・OK

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

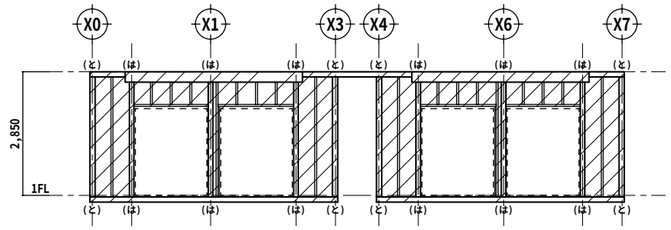
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

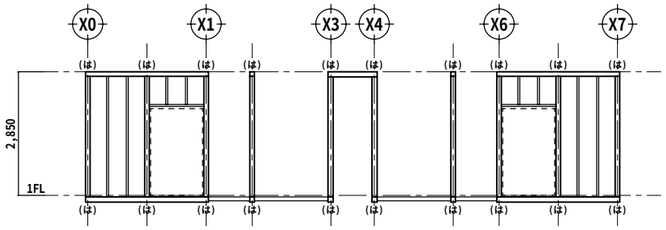
工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

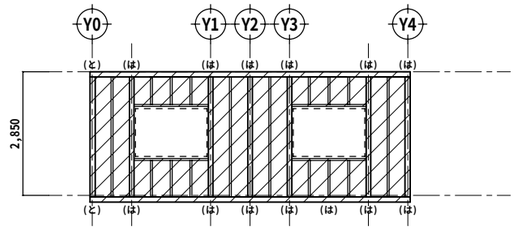
図面内容	(区画3-7 2DK-B) 小屋伏図
縮尺	A２　S＝1：100 A４　S＝1：200
図面番号	A — １７ 枚ノ内
設計番号	



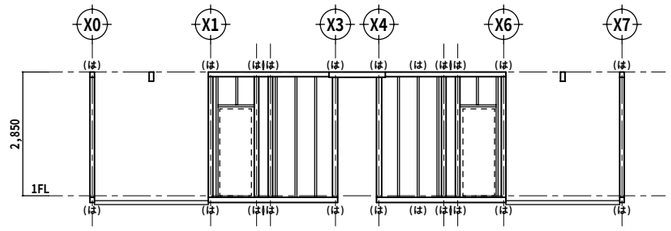
Y0通り軸組み図　S=1:100



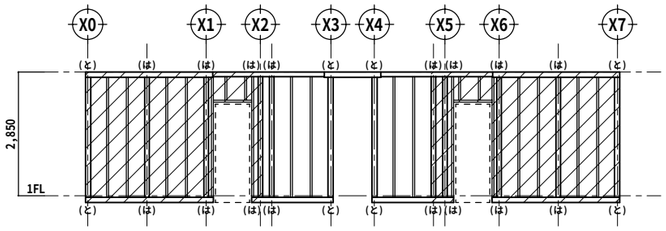
Y3通り軸組み図　S=1:100



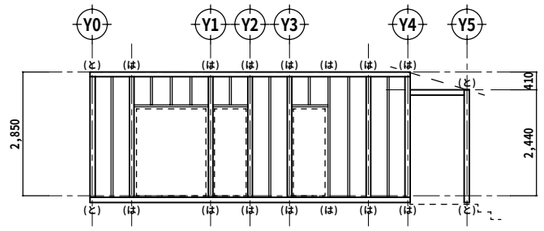
X0･X7通り軸組み図　S=1:100



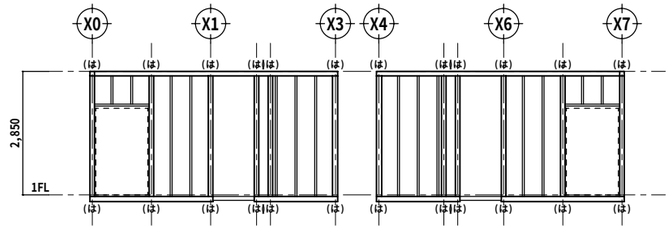
Y1通り軸組み図　S=1:100



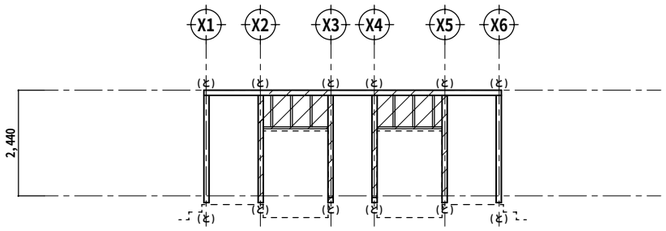
Y4通り軸組み図　S=1:100



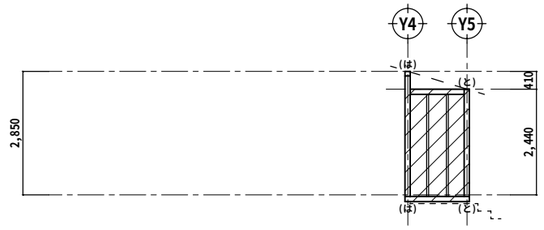
X1･X6通り軸組み図　S=1:100



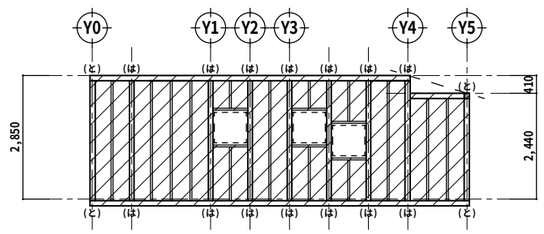
Y2通り軸組み図　S=1:100



Y5通り軸組み図　S=1:100



X2･X5通り軸組み図　S=1:100



X3･X4通り軸組み図　S=1:100

接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※ 柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※ 使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする
（Ｚマーク適合品同等）

構造用合板(7)9（釘打ち N50 @150）
（ＪＡＳ ２級適合品）

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

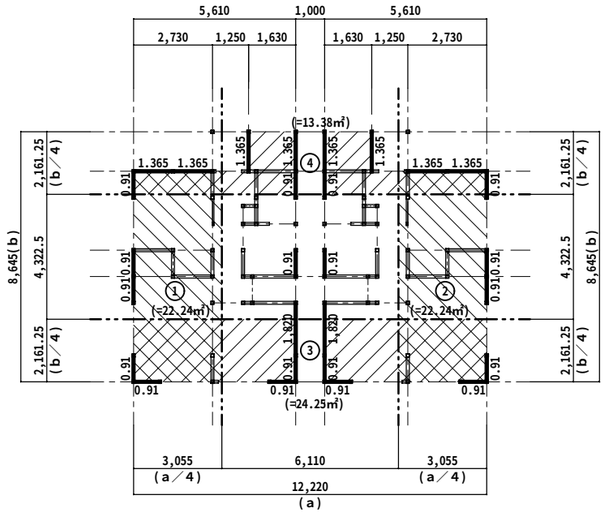
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図　一級建築士 登録 第63601号　伊 澤 剛
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画3-7 2DK-B)　軸　組　図
縮尺　A２　S=1:100　A４　S=1:200

図面番号　A ― １８　枚ノ内
設計番号

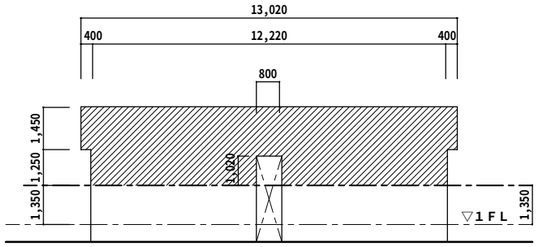


耐力壁配置チェック図　S=1:150

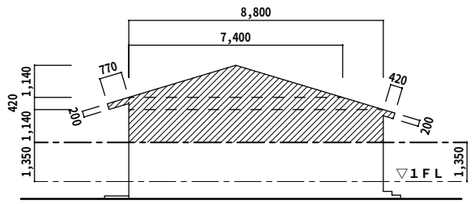
凡　例

構造用合板(7)9㎜張り

（国土交通省告示1100号別表1(1)壁倍率：2.5倍）



桁行方向見付面積求積図　S=1:150



妻側見付面積求積図　S=1:150

（F）桁行方向見付面積

12.22×1.25－0.80×1.02＋13.02×1.45 ＝ 33.34 ㎡

（E）梁間方向見付面積

8.80×1.14＋(7.40＋8.80)×0.42×1/2＋7.40×1.14×1/2

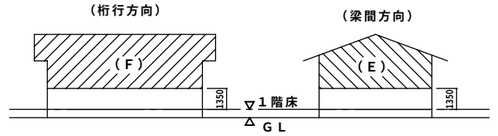
＋0.77×0.2＋0.42×0.2 ＝ 17.89 ㎡

■ 建築基準法施工令第４６条第３項による軸組計算表

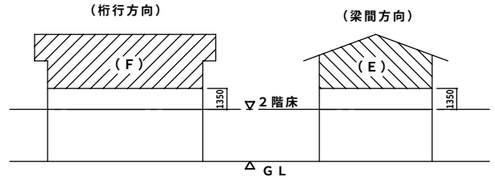
		床面積により必要とされる長さ	見付面積に必要とされる軸組の長さ							
1階部分	必要軸組長さ	床面積 86.13 ㎡ × 0.11（軽い屋根）／0.15（重い屋根） ＝（ト）9.474 m	梁間方向に必要とされる軸組の長さ：桁行方向の見付面積で計算する　桁行方向の見付面積（F）　33.34㎡ x 0.50 m/㎡ ＝（チ）16.670 m				桁行方向に必要とされる軸組の長さ：梁間方向の見付面積で計算する　梁間方向の見付面積（E）　17.89㎡ x 0.50 m/㎡ ＝（リ）8.945 m			
	有効軸組長さ		１階梁間方向に入れる軸組				１階桁行方向に入れる軸組			
			軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ	軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ
			1.82 m	2 カ所	2.5 倍	9.10 m	0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 m
			1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃	1.365 〃	4 〃	2.5 〃	13.65 〃
			0.91 〃	14 〃	2.5 〃	31.85 〃				
	判定		（ト） □ m 又は（チ）16.670 m ≦ 合計 54.60 m				（ト）9.474 m 又は（リ） □ m ≦ 合計 22.75 m			

（イ）、（ニ）、（ト）:床面積により必要とされる軸組の長さ　　重い屋根:日本瓦等で葺いた屋根
（ロ）、（ハ）、（ホ）、（ヘ）、（チ）、（リ）:見付面積により必要とされる軸組の長さ　　軽い屋根 :トタン、スレート等で葺いた屋根
判定は有効軸組の合計の長さが、法により必要とされる長さ（床面積によるものと、見付面積によるもの）より大きければよい。
屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。

■１階の場合



■２階の場合



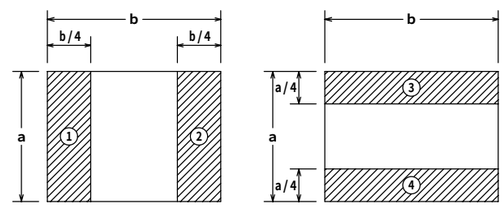
■ 耐力壁バランス計算表

	耐力壁バランスの算定方法	存在壁量（梁間方向に必要とされる軸組の長さ）				存在壁量（桁行方向に必要とされる軸組の長さ）			
1階部分	（算定式）必要壁量＝側端部分面積 x 0.11（軽い屋根）／0.15（重い屋根）　壁量充足率 ＝ 存在壁量 ／ 必要壁量　壁量充足率 ＞ 1.0 の場合 OK！ NO!の場合次へ　壁率比 ＝ 壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大)　壁率比 ＞ 0.5 の場合 OK！ NO!の場合、再検討	軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ	軸組の長さ	x 個所	x 倍率	x 有効軸組の長さ
		① 0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m	③ 0.91 m	4 カ所	2.5 倍	9.10 9.10 m
		② 0.91 〃	4 カ所	2.5 〃	9.10 9.10 m	④ 1.365 m	4 カ所	2.5 倍	13.65 13.65 m

		必要壁量			壁量充足率				壁率比			
		面積	x 地震力	＝ 必要壁量	存在壁量 ／ 必要壁量	＝ 壁量充足率		(壁量充足率 ＞ 1.0) の場合 OK！	壁量充足率(小) ／ 壁量充足率(大)	＝ 壁率比		(壁 率 比 ＞ 0.5) の場合 OK！
梁間方向	①	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720	O.K				
	②	22.24 ㎡	0.11	2.446 m	9.10 m	2.446 m	3.720	O.K				
桁行方向	③	24.25 ㎡	0.11	2.667 m	9.10 m	2.667 m	3.412	O.K				
	④	13.38 ㎡	0.11	1.471 m	13.65 m	1.471 m	9.279	O.K				

屋根の軽重の係数（0.29 、0.33 、0.15 、0.21 、0.11 、0.15)は該当する数値を○で囲む。　　重い屋根・・・・・日本瓦等で葺いた屋根
軽い屋根・・・・・トタン、スレート等で葺いた屋根

軸　組　の　種　類	倍　率
（１）土塗り壁又は木ずり柱、間柱の片面	0.5
（２）厚1.5cm巾9cmの木材、φ９㎜の鉄筋又は木ずり柱、間柱の両面	1.0
（３）厚3cm巾9cmの木材	1.5
（４）厚4.5cm巾9cmの木材	2.0
（５）9cm角の木材	3.0
（６）（２）～（４）の筋交い　タスキ掛け	各々の倍率の２倍
（７）（５）の筋交い　タスキ掛け	5.0
（８）構造用合板(7)9㎜張り（国土交通省告示1100号別表1(1)）	2.5
（９）その他建設大臣が定める軸組で（１）～（７）と同等の耐力を有するもの	0.5～5.0
(10)（１）～（２）の壁、（２）～（６）の筋交い併用の場合は各々の数値の和	



一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	一級建築士 登録 第63601号 伊 澤 剛
日付	H24・3・10

工事名称

平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7 2DK-B) 耐力壁配置チェック図(1)
縮尺	A２　S＝1：150 A４　S＝1：300
図面番号	A ― １９ 枚ノ内
設計番号	

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

2．工事場所　富谷町富谷字宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
町営宮の沢住宅２ＤＫ－Ｂ	木造	平屋			１５項	３棟

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 ２ＤＫ－Ｂ			屋外	備考
◎電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
◎構内交換設備	新設一式				
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
◎テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
◎自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版）」，国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑩ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	11．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑫ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑬ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	14．監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・建築工事）
	⑮ 足場，さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑯ 工事表示板	※　設置する　　設置枚数　１枚 宮城工事における工事及び表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑰ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	⑱ 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　PCB使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については，飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後，監督職員に引き渡す。

	⑲ 残土処理	※　構内指示の場所に散き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	⑳ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　　・　発電装置　　・　ＵＰＳ装置　　・　直流電源装置
・　交換機　　・　受信機（自立型）　　・　中央監視装置　　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとする。前記指針の方法によらなくてもよい。

一般共通事項	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	22．保護，結露防止	外部に面する壁，天井ＣＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉓ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉔ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	㉕ 二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉖ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	㉗ インサート	鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉘ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉙ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　◎　樹脂製　）とする。
	㉚ フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋳合金製　・　アルミ合金製
	31．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	㉜ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	㉝ あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㉞ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００ｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。 昇柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×　連－　組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ａ種	ＥＡ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=40)×２
・　Ｃ種	ＥＣ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
◎　Ｄ種	ＥＤ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・			
・　構内交換機（端末）用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・　本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　電話引込口の保安器	ＥＲＴ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　拡声増幅器	ＥＤａ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・			
・　測定用	Ｅｏ	―――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　避雷器用（高圧用）	ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	㉟ 塗装工事	下記部位に使用する外装めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　屋室　・
	36．仮留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	37．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

動力設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類
	② 電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　分岐　単相２線式　１００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製
	④ 蛍光灯	蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類		標準図記号
直管形のランプ	２０形　防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト，プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
	上記以外のもの	ＧＨ　１５
高輝度誘導灯		Ｅ　１５
Ｈｆ形のランプ	ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨ　９５
	ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴ　９５
	センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸ　９５
	連続調光に使用する器具	ＰＺ　９５
	初期照度補正制御を行う器具	ＰＫ　９５
コンパクト形のランプ　Ｈｆ形	上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮ　９５
	ＦＨＰ３２形　ＦＨＰ４５形 ＦＨＴ３２形　ＦＨＴ４２形 ＦＨＴ２４形	ＰＮ　９５

電灯設備	⑤ 蛍光ランプ	◎　省エネ形（　・　全部　・　暖房を行う部屋，廊下などに限る。）　・　一般形
	⑥ 非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑦ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	⑧ ハイテンションアウトレット	※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑨ 人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	⑩ 予備配管	埋込形分電盤からの立ち下げ配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	2．電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	3．施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	4．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込通用形配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・ ・　定格容量　ｋＶＡ

雷保護設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

受変電設備	1．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	2．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	3．避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	4．接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	⑤ 測定用補助接地極	・　設置
	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	4．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧開閉器配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	7．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳＣ４３０４-２００５適合品　乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６-２００５適合品）
	8．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６％　・　１３％
	9．リアクトル	・　６％　・　１３％
	10．自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置
電力貯蔵設備	1．直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	2．交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．形式	・　筒形形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	3．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
発電設備	4．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	5．燃料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ
構内交換設備	① 工事範囲	・　交換機　・　電話機　◎　配線（　◎　全部　・　端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑤ 保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

通信・情報設備	① 工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管／配線／機器類／合成樹脂製可とう管／金属製可とう管／ケーブル配線 ・　構内情報通信網　・／・／・／・／・／・ ・　情報表示　・／・／・／・／・／・ ・　映像・音響　・／・／・／・／・／・ ・　拡声　・／・／・／・／・／・ ・　誘導支援　・／・／・／・／・／・ ◎　テレビ共同受信　◎／◎／◎／◎／◎／◎ ・　監視カメラ　・／・／・／・／・／・ ・　防犯・入退室管理　・／・／・／・／・／・ ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製　・
	2．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・　ＡＴＭ ・　・
	3．情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	4．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　）
	5．拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	6．誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	⑦ テレビ共同受信設備	・　テレビアンテナ（　・　ＡＶ－　・　ＡＵ－　・　ＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ◎　ケーブルテレビ（引き込み工事も本工事とする。）
	8．監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	9．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

火災報知設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	② 火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）　住宅用
	3．非常警報装置	・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	5．ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　感知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	6．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	2．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	3．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・　内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置（予備） ・　伝送端末装（予備） ・　作表用印字装置 ・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ
構内配電線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線　・　機器類
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	4．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐塩塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，緑色，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
	9．標識シート	・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線
	2．用途	・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	3．施工方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	4．標識シート	・　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

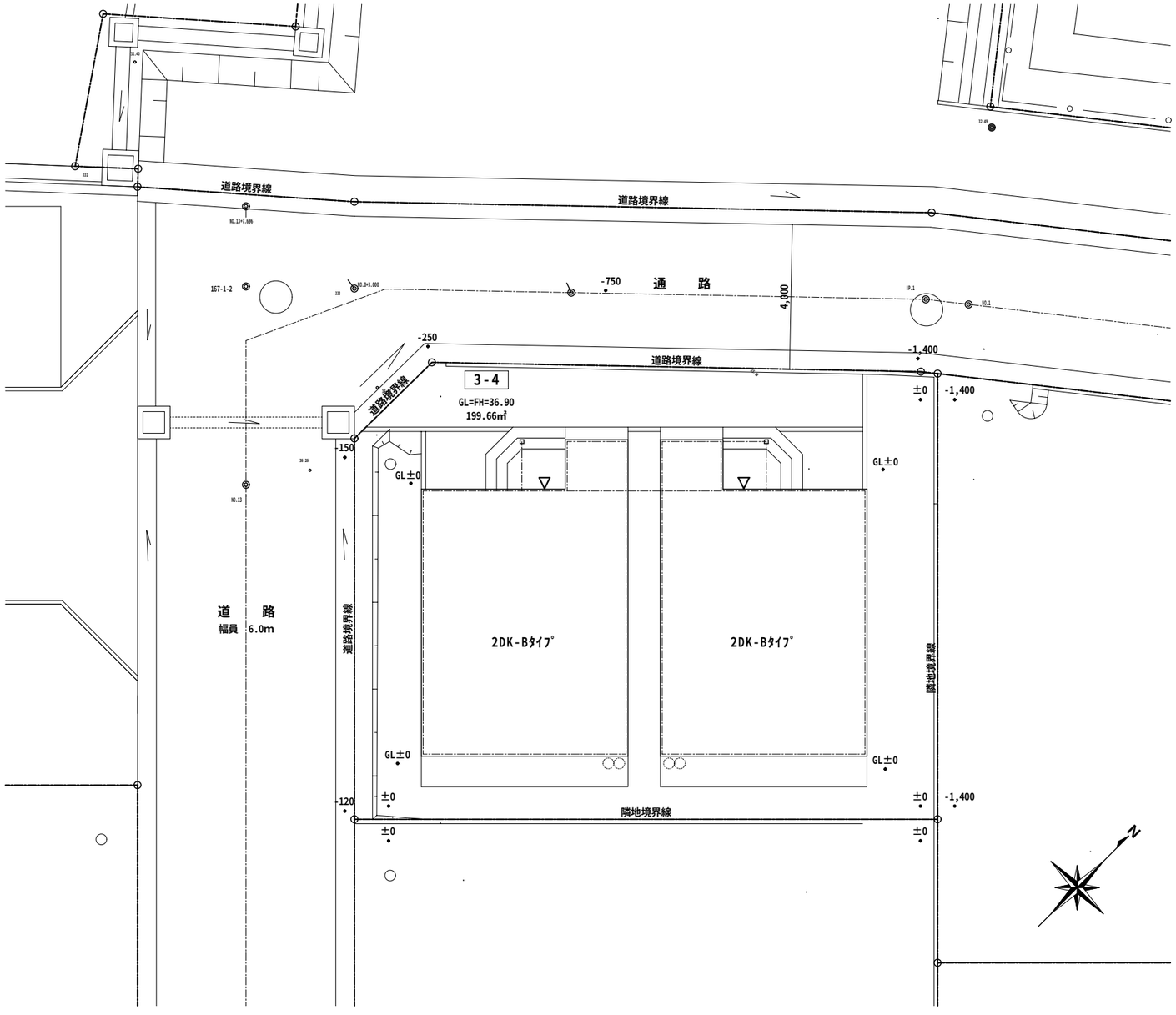
電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地上～室中心	約 1,800	通話 引込線取合点		
電力共通 引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	電 集合端子盤	天井下～上端	200
電力共通 分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	話 端子盤（節下、室内）	床上～下端	300
電力共通			〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
電力共通			〃 壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
電力共通			〃　（和　室）	〃	150～200
電灯 スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300	時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
電灯 〃（和　室）	〃	1,200	子時計	〃	2,300
電灯 コンセント（一　般）	〃	300	拡声 壁掛形スピーカ	〃	2,300
電灯 〃（和　室）	〃	150～200	〃 壁付アッテネータ	〃	1,300
電灯 〃（台　上）	台上～中心	100	〃 壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
電灯 〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端	〃　（身体障害者）	〃	1,300
電灯 〃（厨　房）	床上～中心	800～1,000	通信 壁付アウトレット（一　般）	〃	300
電灯 〃（車　庫）	〃	1,300	〃　（和　室）	〃	150～200
電灯 〃（機械室）	〃	500～1,000	設備 機器収容箱	天井下～上端	200
電灯 〃（土　間）	〃	2,100～2,300	直列ユニット（一　般）	床上～中心	300
電灯 ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300	〃　（和　室）	〃	200
電灯 〃（踊　場）	〃	2,000～2,500	管報 表示盤	床上～中心	2,300
電灯 〃（腰　上）	腰上端～中心	150	報 壁付気信機	〃	1,300
電灯 避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	・ ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
電灯 廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	表示 壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
動力			等 〃　（身体障害者玄関）	〃	900
動力 壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火災報知設備 受信機	床上～中心	800～1,500
動力 開閉器箱	〃	1,500	副受信機	〃	800～1,500
動力 電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	〃 機器収容箱	〃	800～1,500
動力 壁付インターホン(親機)	〃	1,300	〃 発信機	〃	800～1,500
動力 〃（受話子機）	〃	1,100	〃 表示灯	床上～中心	2,100
動力 〃（ベル）	〃	1,300	〃 ベル	〃	2,300
動力 節下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300	〃 感知器	〃	250
動力 身障者表示ランプ	〃	1,500	〃 都市ガス用検知器（軽貨）	天井～上端	150
動力 スイッチ	〃	1,100	〃 （重貨）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	１部	９ 取扱説明書 ①建築物完成図 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
２ 完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	１０ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
３ 完成原図	三つ折りケース収納	１組			
４ 完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
５ 完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部			
６ 完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータもしくはTIFF形式（200DPI程度）	CD １枚	１１ 工事写真 ①施工写真 ②完成写真 ③マイクロフィルム（完成図のみ）	Ａ４版：チューブ式ファイル（着手前，施工状況，完成の各写真） Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付 ３５ｍｍ　ＭＦフォルダー設備課保管用	１部 １部 １部
７ 施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	１部			
８ 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部	１２ 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部

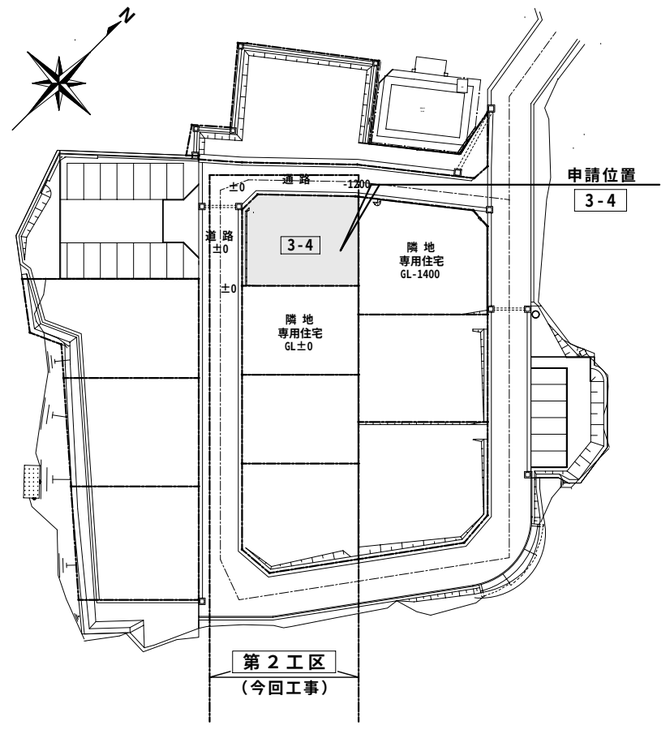
注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

一級建築士事務所
日新設計株式



配　置　図　　S=1:100

案　内　図



宮ノ沢住宅

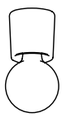
団地内案内図

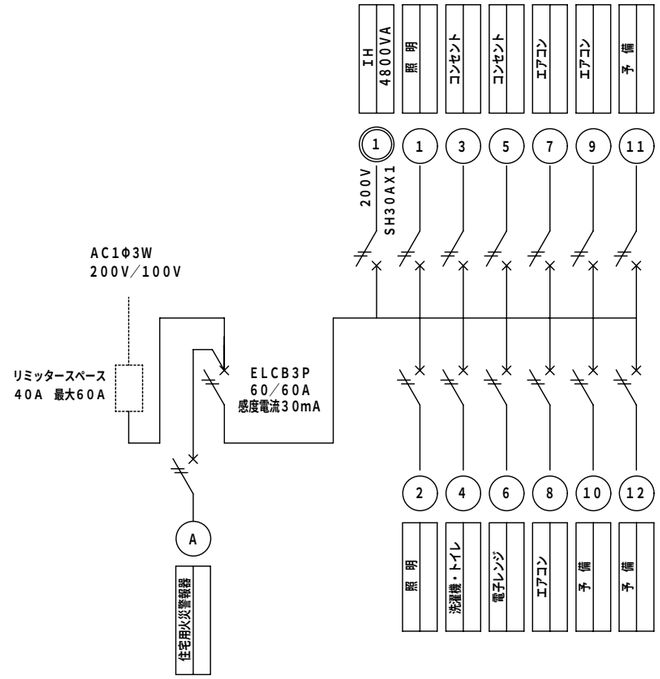
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4 2DK-B) 配置図・案内図	図面番号	E — 2 枚ノ内
縮尺	S=1:100	設計番号	

照　明　器　具　姿　図

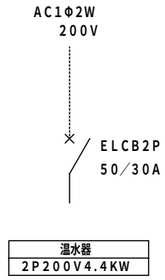
（２ＤＫ－Ａ）

A	ＦＬ２０ＷＸ１	B	１５Ｗパルックボール
棚下灯		トイレ	
		カバー：アクリル（乳白） 透明仕上 パナソニック電工　ＨＥＡ１１１０相当品	
C	ＦＣＬ３０ＷＸ１	D	Ｄ１５型パルックボール
ホール		洗面・脱衣室	
カバー：アクリル（乳白） 低誘虫ＵＶカット仕様 パナソニック電工　ＨＡ３１３０Ｃ相当品		カバー：ガラス パナソニック電工　ＨＥＡ１１４０相当	
E	Ｇ１５型パルックボール	F	ＦＣＬ２０Ｗ
物置		玄関ホール	
			
パナソニック電工　ＨＥＡ１０５５ＺＣ相当		カバー：アクリル（乳白つや消し） Φ２００　Ｈ＝７５ パナソニック電工　ＨＦＡ５６２１相当	
G	Ｄ１５型パルックボール　ＷＰ		
玄関灯			
カバー：アクリル アルミダイカスト（オフブラック） 低誘虫 パナソニック電工　ＨＥＮ６６１９相当			



SB2P20A1E（100V）X12

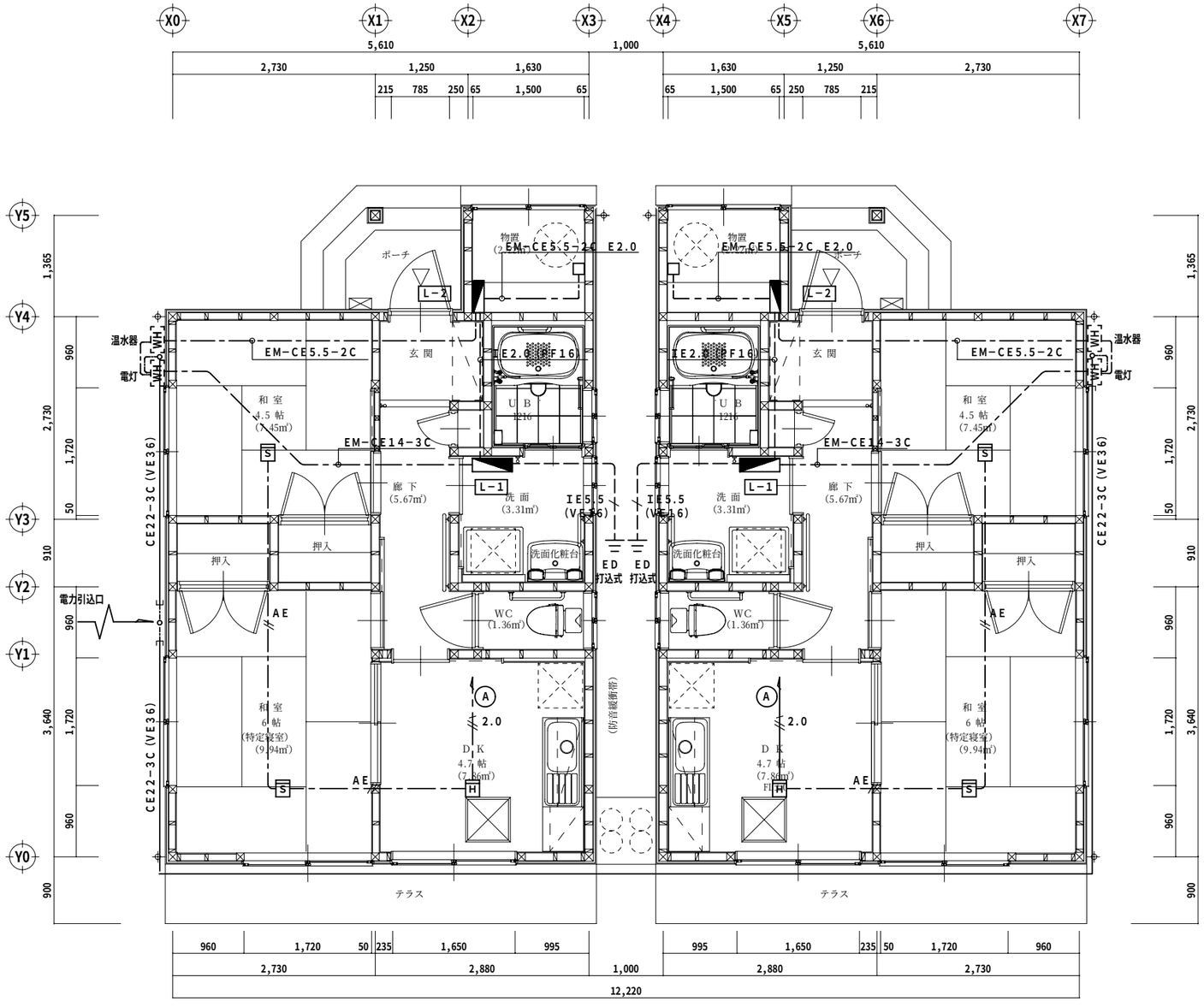
Ｌ－１　樹脂製　扉カバー付



温水器
2P200V4.4KW

Ｌ－２　樹脂製

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H23・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画3-4 2DK-B) 照明器具姿図・分電盤図		図面番号　Ｅ－３　枚ノ内	
縮尺　S=N.S		設計番号	



平面詳細図　S=1:50

H　住宅用火災警報器　熱式　親機　露出型　（ＳＨ２８１１７）　検定番号第19～27号
ＡＣ１００Ｖ連動型

S　住宅用火災警報器　煙式　子機　露出型　（ＳＨ２８４２７）　検定番号第19～30号

注）特記なき配管配線は下記に依る。

——//2.0——	EM-EEF2.0-3C(1Cは接地)	天井内ころがし
——//AE——	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

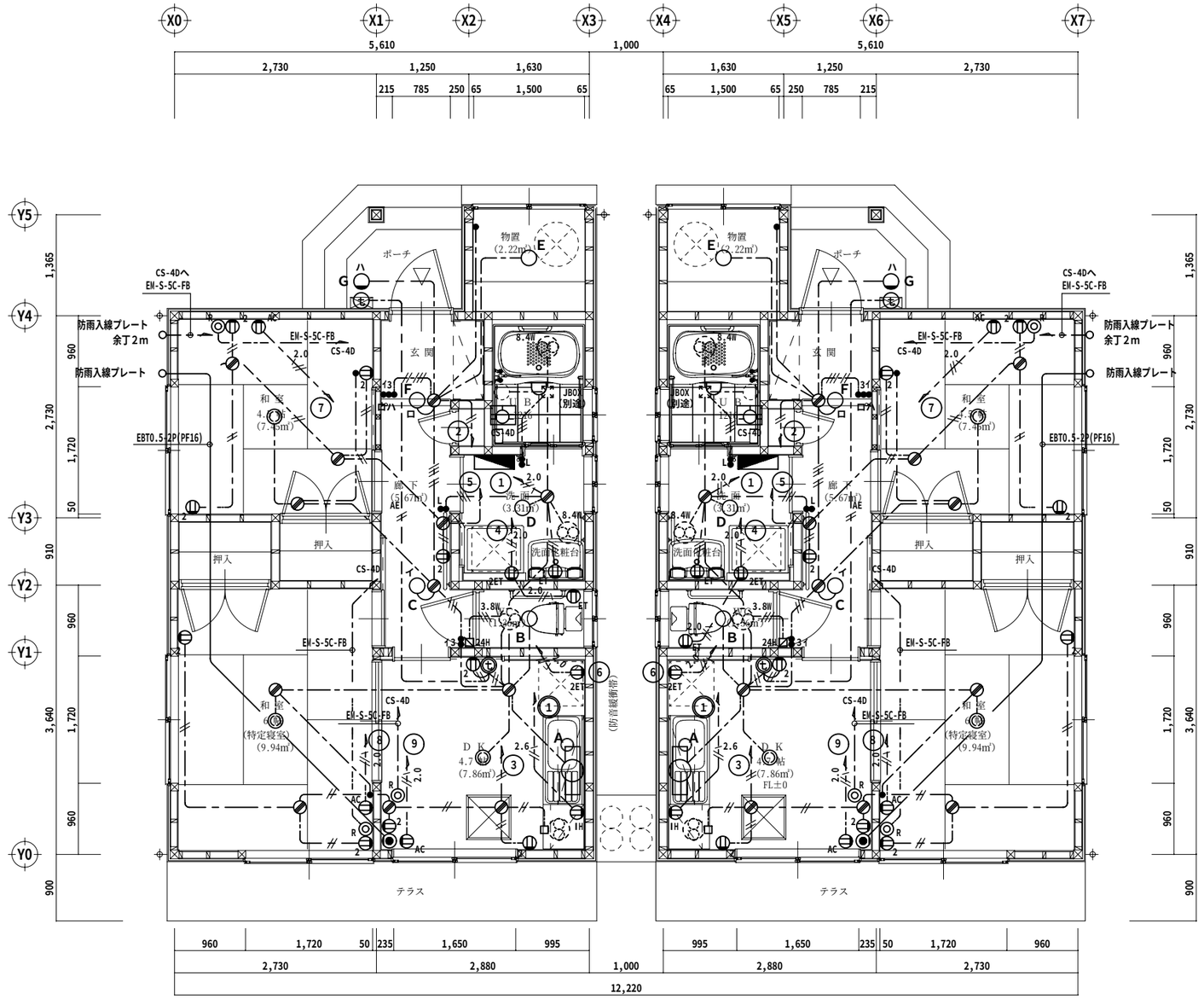
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-4　2DK-B) 電灯幹線・火災報知設備　平面図
縮尺	S=1:50

図面番号	E — 4 枚ノ内
設計番号	



平 面 詳 細 図　S=1:50

ケーブルテレビ引込み工事も本工事とする。

・機器凡例

⊕	コンセント2P15AX1	樹脂プレート
$⊕_2$	コンセント2P15AX2	樹脂プレート
$⊕_{ET}$	コンセント2P15AX1 接地端子付	樹脂プレート
$⊕_{2ET}$	コンセント2P15AX2 接地端子付	樹脂プレート
$⊕_{AC}$	コンセント2P15A、20A兼用X1	樹脂プレート (WTF19313WK)
◎	コンセント2P15AX1	抜止露出プレート
$⊕_{IH}$	コンセント接地2P30A ワイド21埋込型	樹脂プレート (WTN3730W) +継枠11m+ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ
●	ワイドスイッチ 1P15AX1	樹脂プレート
●3	ワイドスイッチ 3W15AX1	樹脂プレート
●L	ワイドスイッチ 1P15AX1 確認表示灯付	樹脂プレート
	換気扇 機械設備	
⊘	Fケーブルジョイントボックス	
⊠ 24H	24時間換気スイッチ 支給品取付け	
⊕	インターホン 親機 電話型	
⊕	玄関子機	
◉	電話モジュラージャック 6極4心	樹脂プレート
◎	直列ユニット 端末	樹脂プレート

注) 特記なき配管配線は下記に依る。

——‐——‐——	EM-EEF1.6-2C	天井内ころがし
——‐///‐——‐——	EM-EEF1.6-3C	天井内ころがし
——‐///‐——‐——	EM-EEF1.6-2CX2	天井内ころがし
——‐///‐——‐——	EM-EEF1.6-2C+3C	天井内ころがし
——‐//‐——‐——	EM-EEF2.0-2C	天井内ころがし
——‐//2.0‐——‐——	EM-EEF2.0-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
——‐//2.6‐——‐——	EM-EEF2.6-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
——‐//AE‐——‐——	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H21・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容 (区画3-4 2DK-B) 照明・コンセント・弱電設備 平面図	図面番号 E — 5 枚ノ内		
縮尺 S=1:50	設計番号		

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

2．工事場所　富谷町富谷字宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
町営宮の沢住宅２ＤＫ－Ｂ	木造	平屋			１５項	３棟

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 ２ＤＫ－Ｂ			屋外	備考
◎電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
◎構内交換設備	新設一式				
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
◎テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
◎自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版）」，国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑩ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	11．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑫ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑬ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	14．監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・建築工事）
	⑮ 足場，さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑯ 工事表示板	※　設置する　　設置枚数　１枚 宮城工事における工事及び表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑰ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	⑱ 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　ＰＣＢ使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については，飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後，監督職員に引き渡す。

	⑲ 残土処理	※　構内指示の場所に散き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	⑳ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　　・　発電装置　　・　ＵＰＳ装置　　・　直流電源装置
・　交換機　　・　受信機（自立型）　　・　中央監視装置　　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとする。ただし，前記指針の方法によらなくてもよい。

一般共通事項	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	22．保護，結露防止	外部に面する壁，天井ＣＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉓ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉔ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	25．二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉖ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	㉗ インサート	鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉘ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉙ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　◎　樹脂製　）とする。
	30．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋳合金製　・　アルミ合金製
	31．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	㉜ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	33．あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㉞ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００ｍｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。 昇柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×　連－　組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ａ種	ＥＡ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=40)×２
・　Ｃ種	ＥＣ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
◎　Ｄ種	ＥＤ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・			
・　構内交換機（端末）用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・　本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　電話引込口の保安器	ＥＲＴ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　拡声増幅器	ＥＤａ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・			
・　測定用	Ｅｏ	―――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　避雷器用（高圧用）	ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	㉟ 塗装工事	下記部位に使用する外装めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　屋室　・
	36．仮留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	37．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

動力設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類
	② 電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　分岐　単相２線式　１００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製
	④ 蛍光灯	蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類		標準図記号
直管形のランプ	２０形　防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト，プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
	上記以外のもの	ＧＨ　１５
高輝度誘導灯		Ｅ　１５
Ｈｆ形のランプ	ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨ　９５
	ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴ　９５
	センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸ　９５
	連続調光に使用する器具	ＰＺ　９５
	初期照度補正制御を行う器具	ＰＫ　９５
コンパクト形のランプ　Ｈｆ形	上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮ　９５
	ＦＨＰ３２形　ＦＨＰ４５形	ＰＮ　９５
	ＦＨＴ３２形　ＦＨＴ４２形	
	ＦＨＴ２４形	

	⑤ 蛍光ランプ	◎　省エネ形（　・　全部　・　廊下を行き部屋，廊下などに限る。）　・　一般形
	6．非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	7．照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	8．ハイテンションアウトレット	※　鋳合金製　・　アルミ製
	9．人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	⑩ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	2．電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	3．施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	4．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込通用形配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・ ・　定格容量　ｋＶＡ

雷保護設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

受変電設備	1．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	2．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	3．避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	4．接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	⑤ 測定用補助接地極	・　設置
	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	4．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧開閉器配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	7．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳＣ４３０４-２００５適合品　乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６-２００５適合品）
	8．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６％　・　１３％
	9．リアクトル	・　６％　・　１３％
	10．自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置
	1．直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	2．交流無停電電源装置	用途（　）
		容量　ｋＶＡ
		蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．形式	・　筒易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	3．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
	4．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	5．燃料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ
	① 工事範囲	・　交換機　・　電話機　◎　配線（　◎　全部　・　端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑤ 保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

通信・情報設備	① 工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管　配線　機器類　／　施工方法：合成樹脂管配線　金属管配線　ケーブル配線

項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・　構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・　情報表示	・	・	・	・	・	・
・　映像・音響	・	・	・	・	・	・
・　拡声	・	・	・	・	・	・
・　誘導支援	・	・	・	・	・	・
◎　テレビ共同受信	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製　・

	2．構内情報通信網設備	種類　・１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ＡＴＭ ・　・
	3．情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	4．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　）
	5．拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	6．誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	⑦ テレビ共同受信設備	・　テレビアンテナ（　・　ＡＵ－　・　ＡＵ－　・　ＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ◎　ケーブルテレビ（引き込み工事も本工事とする。）
	8．監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	9．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

火災報知設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	② 火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）　住宅用
	3．非常警報装置	・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　防煙ダン八用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	5．ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　感知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	6．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	2．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	3．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・　内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置（子局） ・　作表用印字装置 ・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ
構内配電線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線　・　機器類
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	4．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，緑色，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
	9．標識シート	・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線
	2．用途	・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	3．施工方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	4．標識シート	・　弱電用

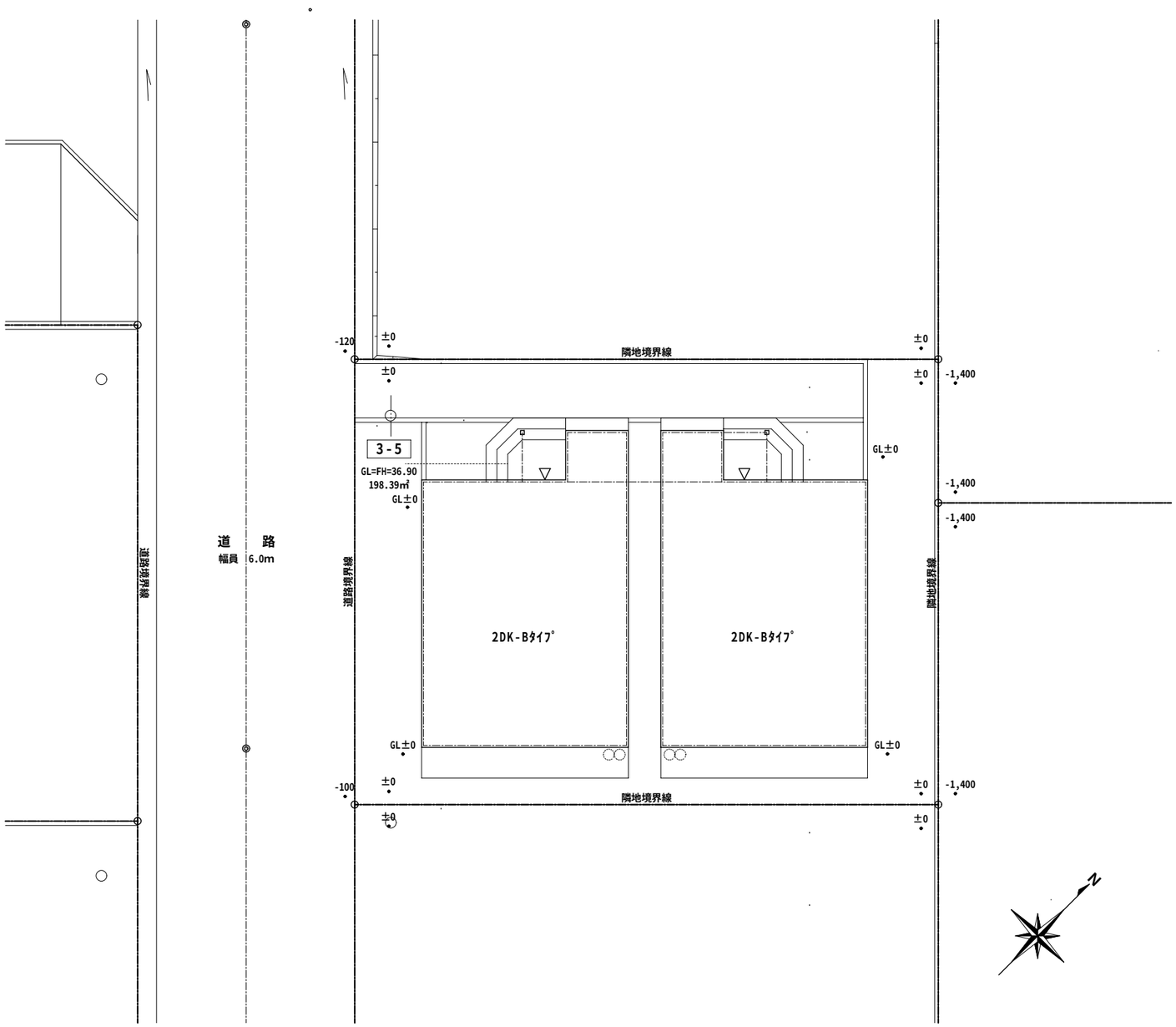
表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～室中心	約 1,800	通信 引込端子盤	地上～引込点	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	集合保安器箱	天井下～上端	200
	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	端子盤(節下、室内)	床上～下端	300
	〃		〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
				壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
				〃　（和　室）	〃	150～200
	スイッチ　（一　般）	床上～中心	1,300	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	〃　（和　室）	〃	1,200	子時計	〃	2,300
	コンセント（一　般）	〃	300	壁掛形スピーカ	〃	2,300
	〃　（和　室）	〃	150～200	壁付アッテネータ	〃	1,300
	〃　（台　上）	台上～中心	100	壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
	〃　（ファン用）	床上～下端	ファン下端	〃　（身体障害者）	〃	1,300
	〃　（厨　房）	床上～中心	800～1,000	壁付アウトレット(一　般)	〃	300
	〃　（車　庫）	〃	1,300	〃　（和　室）	〃	150～200
	〃　（機械室）	〃	500～1,000	機器収容箱	天井下～上端	200
	〃　（土　間）	〃	2,100～2,300	直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
	ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300	〃　（和　室）	〃	200
	〃　（踊　場）	〃	2,000～2,500	表示盤	床上～中心	2,300
	〃　（腰　上）	腰上～中心	150	壁付気信機	〃	1,300
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
				〃　（身体障害者兼用）	〃	900
動力設備	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	壁収穫	床上～中心	800～1,500
	開閉器箱	〃	1,500	据置収穫	〃	800～1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	機器収容箱	〃	800～1,500
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300	発信機	床上～中心	800～1,500
	〃　（玄関子機）	〃	1,100	表示灯	床上～中心	2,100
	節下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300	ベル	〃	2,300
	身障者表示ランプ	〃	1,500	液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	スイッチ	〃	1,100	都市ガス用検知器　(軽質)	天井～上端	150
				〃　(重質)	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１　完成調書	営繕工事完成引渡書類 （平成１３年４月１日版）	１部	９　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
２　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	１０　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
３　完成原図	三つ折りケース収納	１組			
４　完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
５　完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部			
６　完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータもしくはTIFF形式（200DPI程度）	ＣＤ　１枚	１１　工事写真 ①施工写真 ②完成写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真） Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	１部 １部
７　施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	１部	③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
８　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部	１２　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部

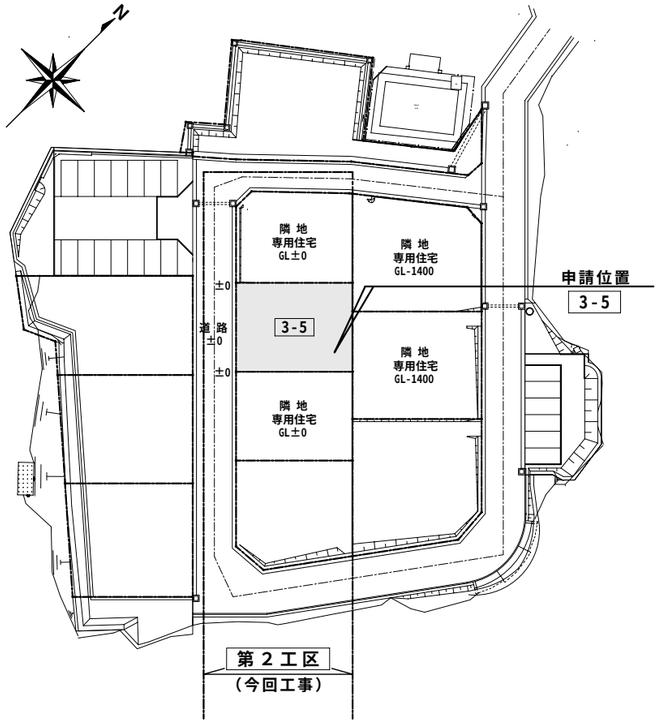
注記：機器参考図について
本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や端元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図



配　置　図　　S=1:100

申請地：富谷町富谷字宮ノ沢地内

案　内　図



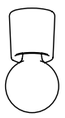
宮ノ沢住宅

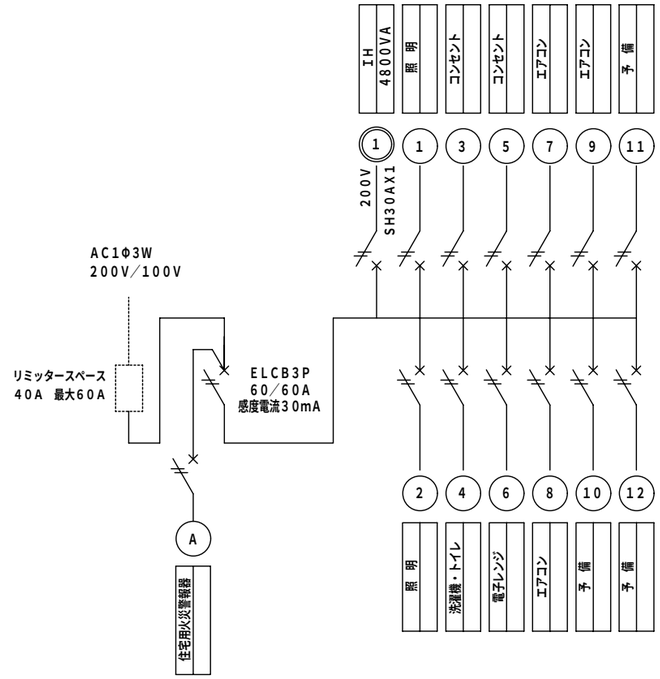
団地内案内図

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図	工事名称	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 配置図・案内図	図面番号 E — 2 枚ノ内
		製図	平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	縮尺 S=1:100	設計番号
		日付 H24・3・10			

照　明　器　具　姿　図

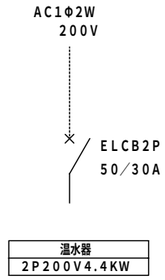
（２ＤＫ－Ａ）

A	ＦＬ２０ＷＸ１	B	１５Ｗパルックボール
棚下灯		トイレ	
		カバー：アクリル（乳白） 透明仕上 パナソニック電工　ＨＥＡ１１１０相当品	
C	ＦＣＬ３０ＷＸ１	D	Ｄ１５型パルックボール
ホール		洗面・脱衣室	
カバー：アクリル（乳白） 低誘虫ＵＶカット仕様 パナソニック電工　ＨＡ３１３０Ｃ相当品		カバー：ガラス パナソニック電工　ＨＥＡ１１４０相当	
E	Ｇ１５型パルックボール	F	ＦＣＬ２０Ｗ
物置		玄関ホール	
			
パナソニック電工　ＨＥＡ１０５５ＺＣ相当		カバー：アクリル（乳白つや消し） Φ２００　Ｈ＝７５ パナソニック電工　ＨＦＡ５６２１相当	
G	Ｄ１５型パルックボール　ＷＰ		
玄関灯			
カバー：アクリル アルミダイカスト（オフブラック） 低誘虫 パナソニック電工　ＨＥＮ６６１９相当			



SB2P20A1E（100V）X12

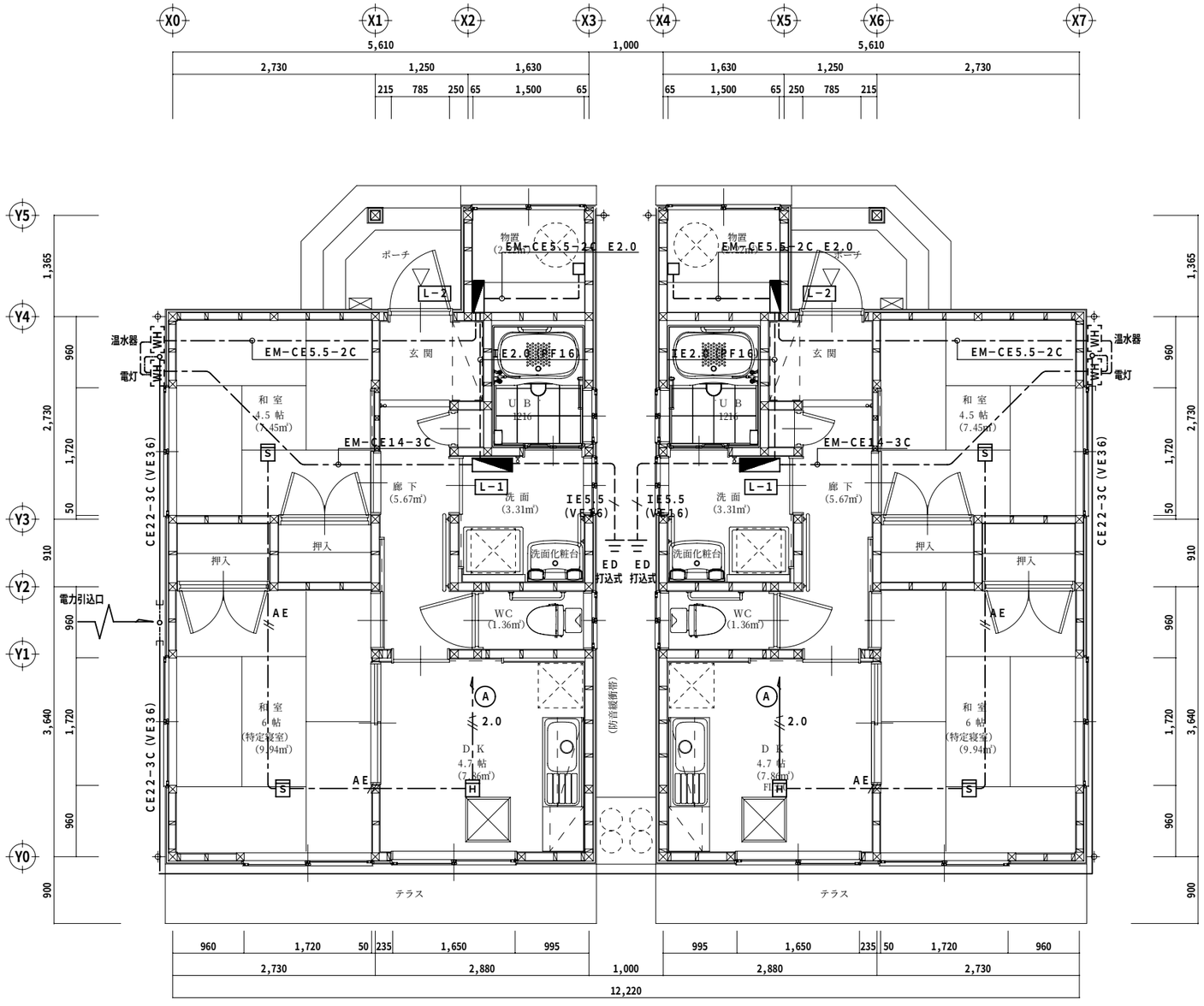
Ｌ－１　樹脂製　扉カバー付



温水器
2P200V4.4KW

Ｌ－２　樹脂製

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H23・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 照明器具姿図・分電盤図 縮尺　S=N.S	図面番号　E — 3　枚ノ内 設計番号



平面詳細図　S=1:50

H　住宅用火災警報器　熱式　親機　露出型　（ＳＨ２８１１７）　検定番号第19～27号
ＡＣ１００Ｖ連動型

S　住宅用火災警報器　煙式　子機　露出型　（ＳＨ２８４２７）　検定番号第19～30号

注）特記なき配管配線は下記に依る。

——//2.0——	EM-EEF2.0-3C(1Cは接地)	天井内ころがし
——//AE——	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

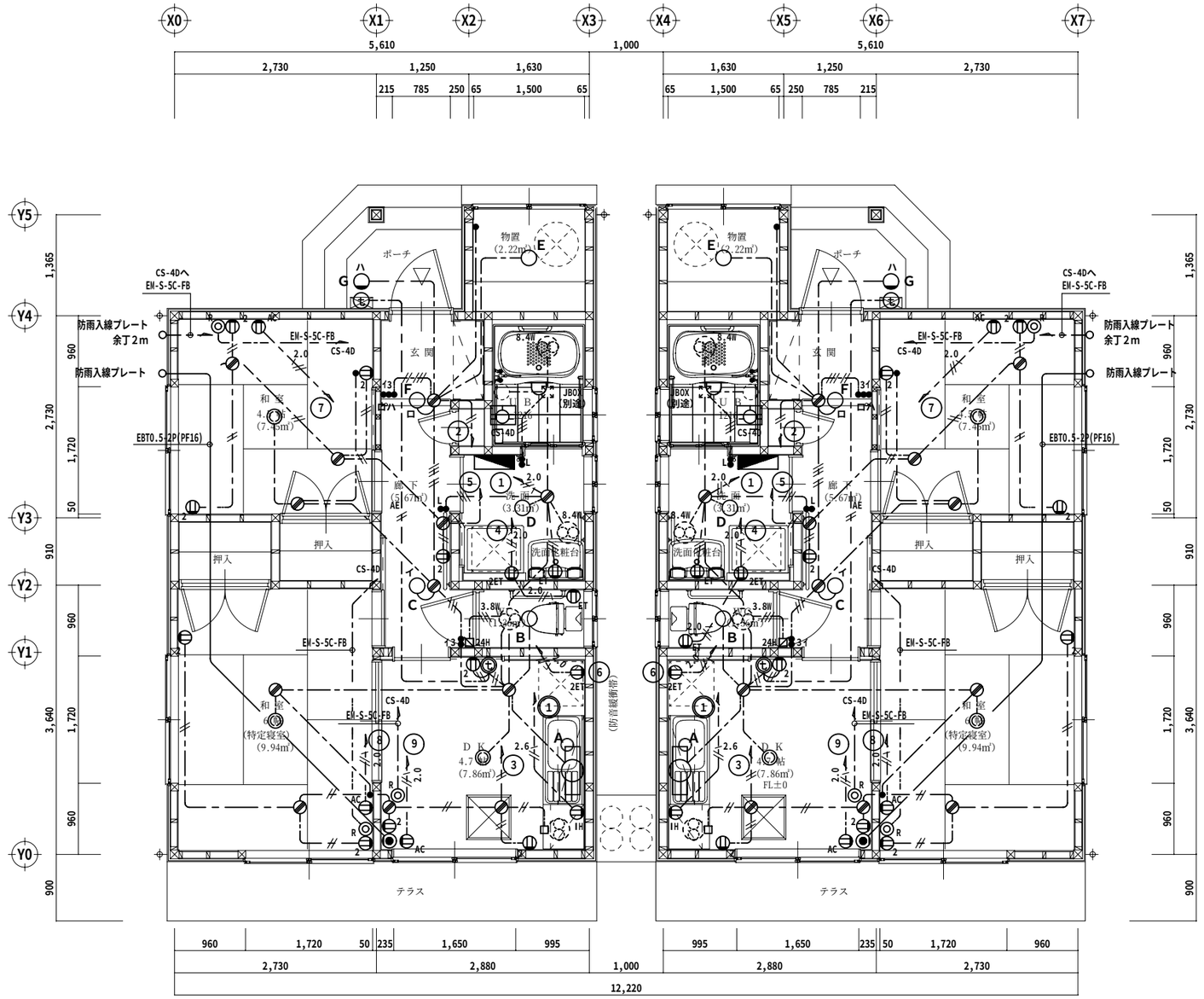
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-5　2DK-B) 電灯幹線・火災報知設備　平面図
縮尺	S=1:50

図面番号	E — 4 枚ノ内
設計番号	



平 面 詳 細 図　S=1:50

ケーブルテレビ引込み工事も本工事とする。

・機器凡例

⊕	コンセント2P15AX1	樹脂プレート
⊕2	コンセント2P15AX2	樹脂プレート
⊕ET	コンセント2P15AX1 接地端子付	樹脂プレート
⊕2ET	コンセント2P15AX2 接地端子付	樹脂プレート
⊕AC	コンセント2P15A、20A兼用X1	樹脂プレート (WTF19313WK)
◎	コンセント2P15AX1	抜歯防プレート
⊕IH	コンセント接地2P30A ワイド21埋込型	樹脂プレート (WTN3730W)＋継枠11m+ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ
●	ワイドスイッチ 1P15AX1	樹脂プレート
●3	ワイドスイッチ 3W15AX1	樹脂プレート
●L	ワイドスイッチ 1P15AX1 確認表示灯付	樹脂プレート
	換気扇 機械設備	
	Fケーブルジョイントボックス	
24H	24時間換気スイッチ 支給品取付け	
	インターホン 親機 電話型	
	玄関子機	
	電話モジュラージャック 6極4心	樹脂プレート
	直列ユニット 端末	樹脂プレート

注) 特記なき配管配線は下記に依る。

― ― ―― ― ―	EM-EEF1.6-2C	天井内ころがし
― ― ―/― ― ―	EM-EEF1.6-3C	天井内ころがし
― ― ―/― ― ―	EM-EEF1.6-2CX2	天井内ころがし
― ―/―/― ― ―	EM-EEF1.6-2C+3C	天井内ころがし
― ― ―/― ― ―	EM-EEF2.0-2C	天井内ころがし
― ― ―/2.0― ―	EM-EEF2.0-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― ―/2.6― ―	EM-EEF2.6-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― ―/AE― ―	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H21・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 照明・コンセント・弱電設備 平面図 縮尺 S=1:50	図面番号 E ― 5 枚ノ内 設計番号

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

2．工事場所　富谷町富谷字宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
町営宮の沢住宅２ＤＫ－Ｂ	木造	平屋			１５項	３棟

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 ２ＤＫ－Ｂ			屋外	備考
◎電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
◎構内交換設備	新設一式				
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
◎テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
◎自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版）」，国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑩ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	11．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑫ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑬ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	14．監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	⑮ 足場，さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑯ 工事表示板	※　設置する　　設置枚数　１枚 宮城工事における工事及び表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑰ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	⑱ 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　PCB使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの
		・　その他安定型廃棄物　（　　） 受入施設名・所在地　： ・　その他管理型廃棄物　（　　） 受入施設名・所在地　： ＰＣＢを含有する機器等については，飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後，監督職員に引き渡す。
	⑲ 残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	⑳ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　　・　発電装置　　・　ＵＰＳ装置　　・　直流電源装置
・　交換機　　・　受信機（自立型）　　中央監視装置　　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとする。ただし，前記指針の方法によらなくてもよい。

章	項目	特記事項
一般共通事項	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	22．保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＴＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉓ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉔ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	25．二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉖ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	㉗ インサート	鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉘ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉙ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　◎　樹脂製　）とする。
	30．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋳合金製　・　アルミ合金製
	31．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	㉜ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	33．あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㉞ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００ｍｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。 昇柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×　連－　組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ａ種	ＥＡ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=40)×２
・　Ｃ種	ＥＣ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
◎　Ｄ種	ＥＤ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・			
・　構内交換機（端末）用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・　本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　電話引込口の保安器	ＥＲＴ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　拡声増幅器	ＥＤａ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・			
・　測定用	Ｅｏ	―――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　避雷器用（高圧用）	ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	35．塗装工事	下記部位に使用する外部めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　屋室　・
	36．山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	37．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

章	項目	特記事項
電灯設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類
	② 電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　分岐　単相２線式　１００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製
	④ 蛍光灯	蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類			標準図記号
直管形のランプ	２０形	防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
		上記以外のもの	ＧＨ　１５
高輝度誘導灯			Ｅ　１５
Ｈｆ形のランプ		ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨ　９５
		ルーバー又は照明カバー取付可能な器具	ＰＴ　９５
		センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸ　９５
		連続調光に使用する器具	ＰＺ　９５
		初期照度補正制御を行う器具	ＰＫ　９５
コンパクト形のランプ	Ｈｆ形	上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮ　９５
		ＦＨＰ３２形　ＦＨＰ４５形 ＦＨＴ３２形　ＦＨＴ４２形 ＦＨＴ２４形	ＰＮ　９５

章	項目	特記事項
電灯設備	⑤ 蛍光ランプ	◎　省エネ形（　・　全部　・　廊下を行う部屋，廊下などに限る。）　・　一般形
	⑥ 非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑦ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	⑧ ハイテンションアウトレット	※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑨ 人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	⑩ 予備配管	埋込形分電盤から点灯する予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

章	項目	特記事項
動力設備	① 工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	② 電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	④ 警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	⑤ 電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込通用形配線器具　・
	⑥ 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	⑦ 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	⑧ 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	⑨ 電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・ ・　定格容量　ｋＶＡ

章	項目	特記事項
雷保護設備	① 電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	② 施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

章	項目	特記事項
受変電設備	① 工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	② 受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	③ 避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	④ 接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	⑤ 測定用補助接地極	・　設置
	① 工事範囲	・　機器類　・
	② 電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	③ 引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	④ 配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧開閉器配電盤　・　・
	⑤ 主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	⑥ 高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	⑦ 変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳＣ４３０４-２００５適合品　乾式：ＪＩＳＣ４３０６-２００５適合品）
	⑧ 進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６％　・　１３％
	⑨ リアクトル	・　６％　・　１３％
	⑩ 自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置
	① 直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　　）
	② 交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　　）

章	項目	特記事項
発電設備	① 工事範囲	・　機器類　・
	② 形式	・　簡易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	③ 発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
	④ 原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	⑤ 燃料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	⑥ 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ

章	項目	特記事項
構内交換設備	① 工事範囲	◎　交換機　・　電話機　◎　配線（　◎　全部　・　端子盤以降　）
	② 電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	③ 電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　　） ・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外径寸法約２０×８）１．５ｍ
	④ ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑤ 保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

章	項目	特記事項
通信・情報設備	① 工事範囲及び施工方法	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類

工事範囲及び施工方法 ＼ 項目	工事範囲 配管	配線	機器類	施工方法 合成樹脂製配線	金属管配線	ケーブル配線
・　構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・　情報表示	・	・	・	・	・	・
・　映像・音響	・	・	・	・	・	・
・　拡声	・	・	・	・	・	・
・　誘導支援	・	・	・	・	・	・
◎　テレビ共同受信	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製　・

章	項目	特記事項
通信・情報設備	② 構内情報通信網設備	種類　・１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ＡＴＭ ・　・
	③ 情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	④ 映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　　）
	⑤ 拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	⑥ 誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	⑦ テレビ共同受信設備	・　テレビアンテナ（　・　ＡＵ－　・　ＡＵ－　・　ＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ◎　ケーブルテレビ（引き込み工事も本工事とする。）
	⑧ 監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	⑨ 防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

章	項目	特記事項
火災報知設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	② 火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）住宅用
	③ 非常警報装置	・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	④ 自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　防煙ダン八用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	⑤ ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　感知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	⑥ 消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

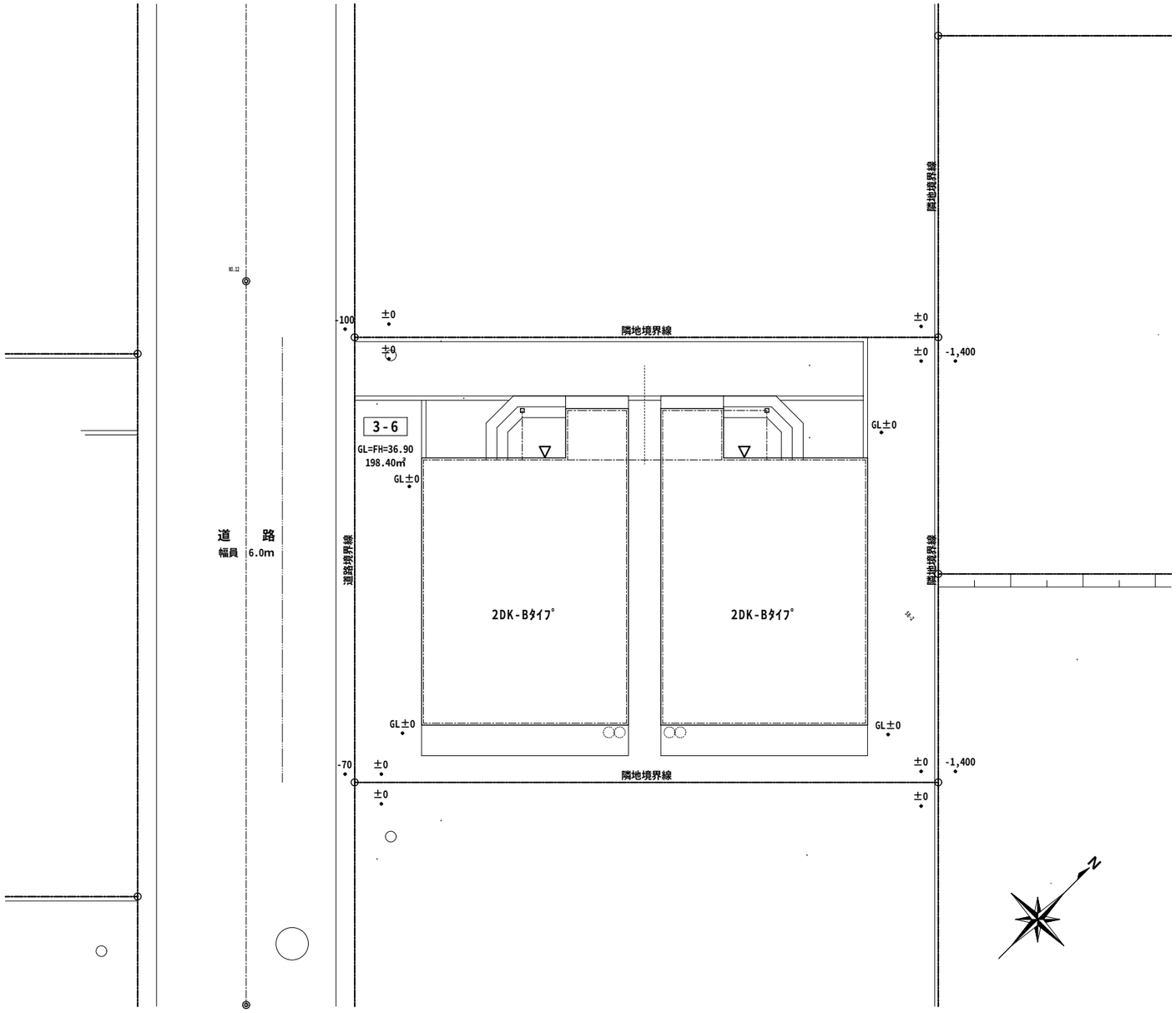
章	項目	特記事項
中央監視制御設備	① 工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	② 監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	③ 表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・ ・
	④ 監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・　内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置（子局） ・　作表用印字装置 ・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ
構内配電線路	① 工事範囲	・　管路　・　配線　・　機器類
	② 電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	③ 布設方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	④ 柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	⑤ 高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，緑色，作業日，氏名を表示）
	⑥ その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	⑦ 外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	⑧ 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　　）
	⑨ 標識シート	・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル
	⑩ 予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	① 工事範囲	・　管路　・　配線
	② 用途	・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	③ 施工方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	④ 標識シート	・　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地上～室中心	約 1,800	通話 引込端子盤	地上～引込点	
電力共通 引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	通話 集合端子盤	天井下～上端	200
電力共通 分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	通話 端子盤(節下、室内)	床上～下端	300
電力共通 〃			通話 〃（EPSなど）	床上～中心	1,500
電力共通 〃			通話 壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
電力共通 〃			通話 〃　(和　室)	〃	150～200
電灯 スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300	時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
電灯 〃　（和　室）	〃	1,200	時計 子時計	〃	2,300
電灯 コンセント（一　般）	〃	300	拡声 壁掛形スピーカ	〃	2,300
電灯 〃　（和　室）	〃	150～200	拡声 壁付アッテネータ	〃	1,300
電灯 〃　（台　上）	台上～中心	100	拡声 壁付インターホン(一　般)	床上～中心	1,300
電灯 〃　（ファン用）	床上～下端	ファン下端	拡声 〃　（身体障害者）	〃	1,300
電灯 〃　（照　房）	床上～中心	800～1,000	通信設備 壁付アウトレット(一　般)	〃	300
電灯 〃　（車　庫）	〃	1,300	通信設備 〃　（和　室）	〃	150～200
電灯 〃　（機械室）	〃	500～1,000	通信設備 機器収容箱	天井下～上端	200
電灯 〃　（土　間）	〃	2,100～2,300	通信設備 直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
電灯 ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300	通信設備 〃　（和　室）	〃	200
電灯 〃　（踊　場）	〃	2,000～2,500	管報 表示盤	床上～中心	2,300
電灯 〃　（段　上）	段上端～中心	150	管報 壁付気信機	〃	1,300
電灯 避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	表示等 ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
電灯 廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	表示等 壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
			表示等 〃　（身体障害者玄関）	〃	900
動力					
動力 壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火災 受信機	床上～中心	800～1,500
動力 開閉器箱	〃	1,500	火災 副受信機	〃	800～1,500
動力 電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	火災 機器収容箱	〃	800～1,500
動力 壁付インターホン(親機)	床上～中心	900	火災 発信機	〃	800～1,500
身障者用 〃　（親機）	〃	1,300	火災 表示灯	床上～中心	2,100
身障者用 〃　（玄関子機）	〃	1,100	火災 ベル	〃	2,300
身障者用 節下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300	火災 感知器 液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
身障者用 身障者表示ランプ	〃	1,500	火災 感知器 都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
身障者用 スイッチ	〃	1,100	火災 感知器 〃　（重質）	床上～上端	250

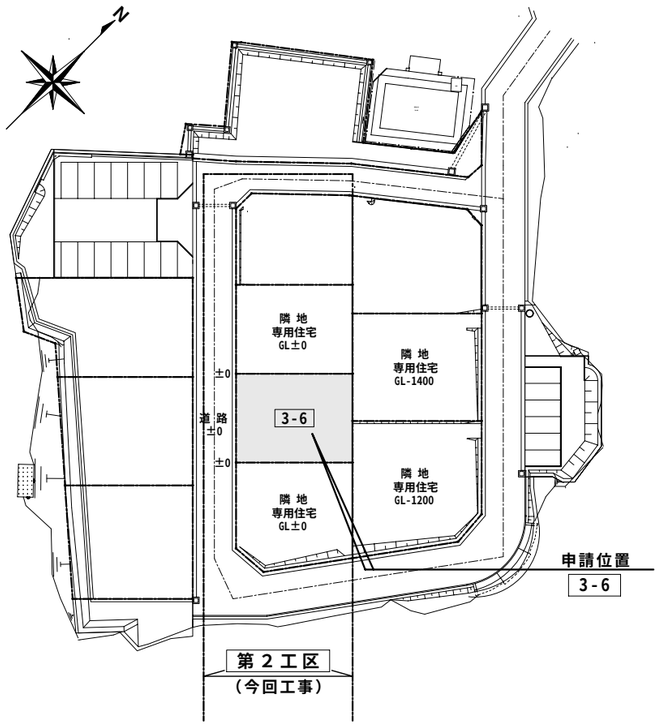
表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版）	１部	９ 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
２ 完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。 ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	１０ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
３ 完成原図	三つ折りケース収納	１組			
４ 完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
５ 完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部			
６ 完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータもしくはTIFF形式（200DPI程度）	ＣＤ　１枚	１１ 工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完



配　置　図　　S=1:100

案　内　図



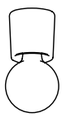
宮ノ沢住宅

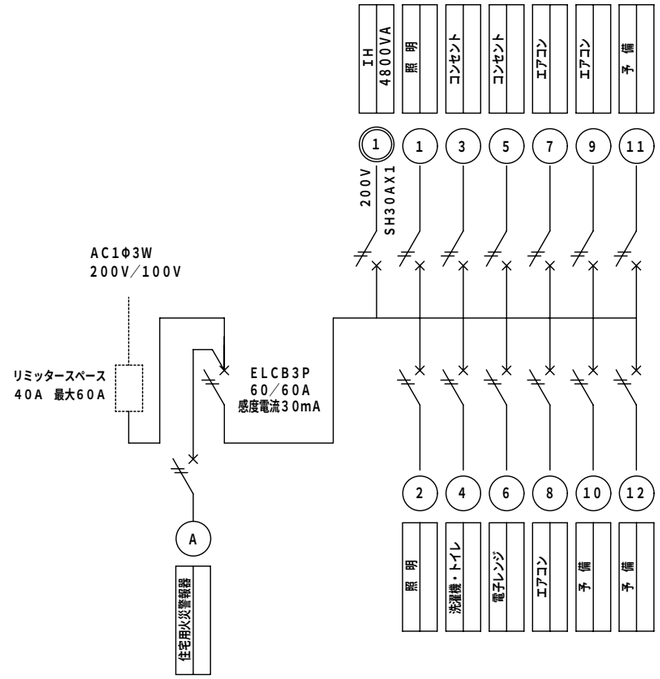
団地内案内図

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　(区画3-6 2DK-B) 配置図・案内図 縮尺　S=1:100	図面番号　E — 2　枚ノ内 設計番号

照　明　器　具　姿　図

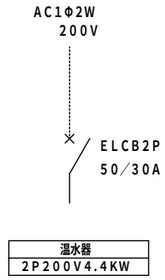
（２ＤＫ－Ａ）

A	ＦＬ２０ＷＸ１	B	１５Ｗパルックボール
棚下灯		トイレ	
		カバー：アクリル（乳白） 透明仕上 パナソニック電工　ＨＥＡ１１１０相当品	
C	ＦＣＬ３０ＷＸ１	D	Ｄ１５型パルックボール
ホール		洗面・脱衣室	
カバー：アクリル（乳白） 低誘虫ＵＶカット仕様 パナソニック電工　ＨＡ３１３０Ｃ相当品		カバー：ガラス パナソニック電工　ＨＥＡ１１４０相当	
E	Ｇ１５型パルックボール	F	ＦＣＬ２０Ｗ
物置		玄関ホール	
			
パナソニック電工　ＨＥＡ１０５５ＺＣ相当		カバー：アクリル（乳白つや消し） Φ２００　Ｈ＝７５ パナソニック電工　ＨＦＡ５６２１相当	
G	Ｄ１５型パルックボール　ＷＰ		
玄関灯			
カバー：アクリル アルミダイカスト（オフブラック） 低誘虫 パナソニック電工　ＨＥＮ６６１９相当			



SB2P20A1E（100V）X12

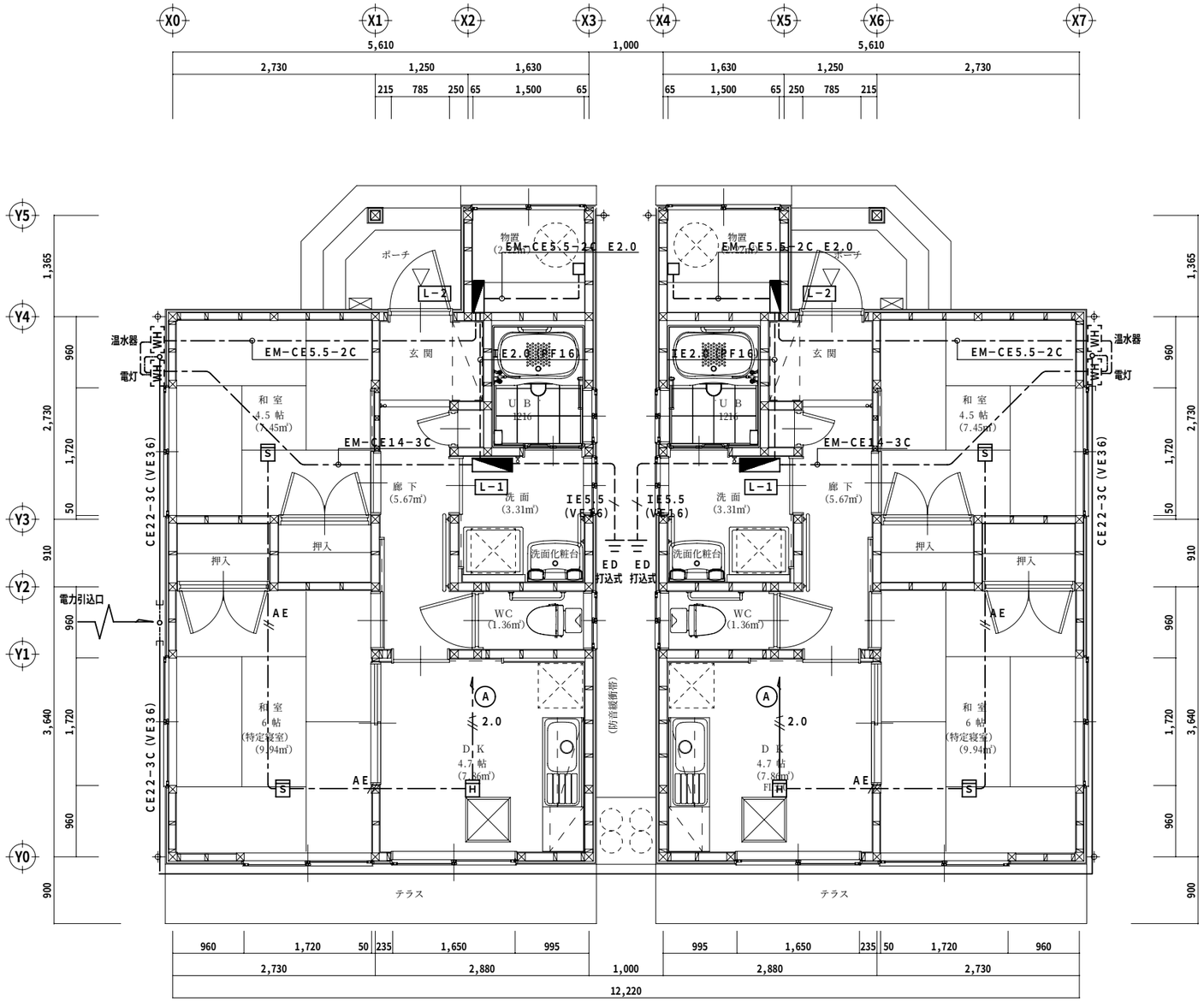
Ｌ－１　樹脂製　扉カバー付



温水器
2P200V4.4KW

Ｌ－２　樹脂製

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H23・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-6 2DK-B) 照明器具姿図・分電盤図 縮尺　S=N.S	図面番号　E — 3　枚ノ内 設計番号



平面詳細図　S=1:50

H　住宅用火災警報器　熱式　親機　露出型　（ＳＨ２８１１７）　検定番号第19～27号
ＡＣ１００Ｖ連動型

S　住宅用火災警報器　煙式　子機　露出型　（ＳＨ２８４２７）　検定番号第19～30号

注）特記なき配管配線は下記に依る。

——//2.0——	EM-EEF2.0-3C(1Cは接地)	天井内ころがし
——//AE——	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

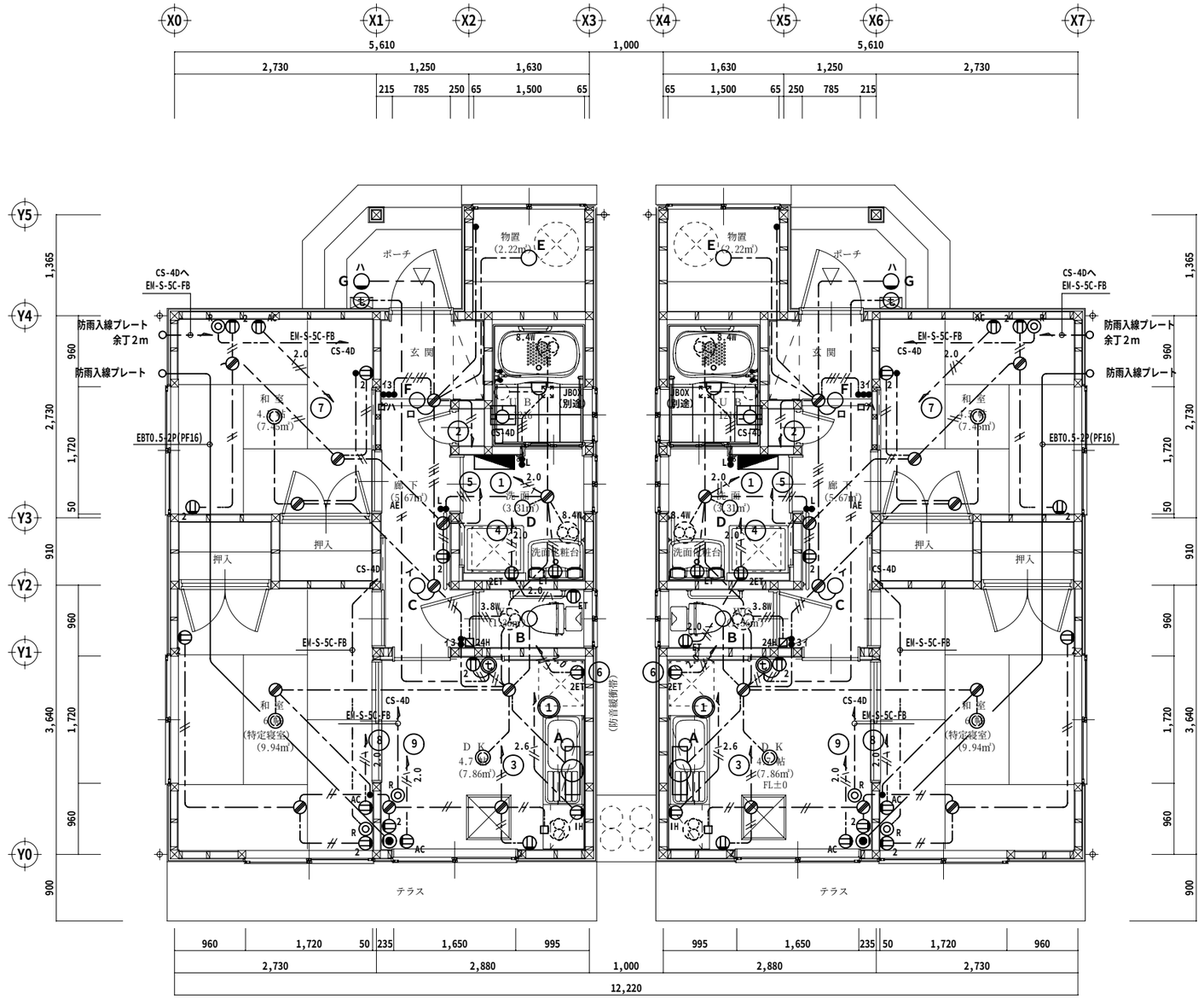
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-6　2DK-B) 電灯幹線・火災報知設備　平面図
縮尺	S=1:50
図面番号	E — 4 枚ノ内
設計番号	



平 面 詳 細 図　S=1:50

ケーブルテレビ引込み工事も本工事とする。

・機器凡例

⊕	コンセント2P15AX1	樹脂プレート
⊕2	コンセント2P15AX2	樹脂プレート
⊕ET	コンセント2P15AX1 接地端子付	樹脂プレート
⊕2ET	コンセント2P15AX2 接地端子付	樹脂プレート
⊕AC	コンセント2P15A、20A兼用X1	樹脂プレート (WTF19313WK)
◎	コンセント2P15AX1	抜歯防プレート
⊕IH	コンセント接地2P30A ワイド21埋込型	樹脂プレート (WTN3730W)＋継枠11m+ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ
●	ワイドスイッチ 1P15AX1	樹脂プレート
●3	ワイドスイッチ 3W15AX1	樹脂プレート
●L	ワイドスイッチ 1P15AX1 確認表示灯付	樹脂プレート
	換気扇 機械設備	
	Fケーブルジョイントボックス	
24H	24時間換気スイッチ 支給品取付け	
	インターホン 親機 電話型	
	玄関子機	
	電話モジュラージャック 6極4心	樹脂プレート
	直列ユニット 端末	樹脂プレート

注) 特記なき配管配線は下記に依る。

― ― ―― ― ―	EM-EEF1.6-2C	天井内ころがし
― ― //― ― ―	EM-EEF1.6-3C	天井内ころがし
― ― //― ― ―	EM-EEF1.6-2CX2	天井内ころがし
― ―//― ― ―	EM-EEF1.6-2C+3C	天井内ころがし
― ― //― ― ―	EM-EEF2.0-2C	天井内ころがし
― ― //2.0 ― ―	EM-EEF2.0-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― //2.6 ― ―	EM-EEF2.6-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― //AE― ―	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H21・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-6 2DK-B) 照明・コンセント・弱電設備 平面図 縮尺 S=1:50	図面番号 E ― 5 枚ノ内 設計番号

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

2．工事場所　富谷町富谷字宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
町営宮の沢住宅２ＤＫ－Ｂ	木造	平屋			１５項	３棟

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 ２ＤＫ－Ｂ			屋外	備考
◎電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
◎構内交換設備	新設一式				
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
◎テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
◎自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

5．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版）」，国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑩ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	11．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑫ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑬ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	14．監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	⑮ 足場，さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑯ 工事表示板	※　設置する　　設置枚数　１枚 宮城工事における工事及び表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑰ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	⑱ 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　PCB使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの
		・　その他安定型廃棄物　（　　） 受入施設名・所在地　： ・　その他管理型廃棄物　（　　） 受入施設名・所在地　： ＰＣＢを含有する機器等については，飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後，監督職員に引き渡す。
	⑲ 残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	⑳ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　　・　発電装置　　・　ＵＰＳ装置　　・　直流電源装置
・　交換機　　・　受信機（自立型）　　中央監視装置　　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとする。前記指針の方法によらなくてもよい。

章	項目	特記事項
一般共通事項	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	22．保護，結露防止	外部に面する壁，天井でＴＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉓ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉔ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	25．二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉖ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	㉗ インサート	鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉘ 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉙ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　◎　樹脂製　）とする。
	30．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋳合金製　・　アルミ合金製
	31．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	㉜ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	33．あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㉞ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。 ただし，Ｄ＝１０ は１，０００ｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。 昇柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×　連－　組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ａ種	ＥＡ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=40)×２
・　Ｃ種	ＥＣ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
◎　Ｄ種	ＥＤ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・			
・　構内交換機（端柵）用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・　本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　電話引込口の保安器	ＥＲＴ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　拡声増幅器	ＥＰａ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×１
・　防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－　組
・			
・　測定用	Ｅｏ	―――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は₩=30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ＥＬＬ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　避雷器用（高圧用）	ＥＬＨ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は₩=40)×３連－２組
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉟ 塗装工事	下記部位に使用する外装めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　屋室　・
	36．仮留め	切取り箇所にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	37．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

章	項目	特記事項
電灯設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類
	② 電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　分岐　単相２線式　１００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製
	④ 蛍光灯	蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類			標準図記号
直管形のランプ	２０形	防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
		上記以外のもの	ＧＨ　１５
高輝度誘導灯			Ｅ　１５
Ｈｆ形のランプ		ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨ　９５
		ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴ　９５
		センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸ　９５
		連続調光に使用する器具	ＰＺ　９５
		初期照度補正制御を行う器具	ＰＫ　９５
コンパクト形のランプ	Ｈｆ形	上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮ　９５
		ＦＨＰ３２形　ＦＨＰ４５形 ＦＨＴ３２形　ＦＨＴ４２形 ＦＨＴ２４形	ＰＮ　９５

⑤ 蛍光ランプ	◎　省エネ形（　・　全部　・　廊下を行き部屋，廊下などに限る。）　・　一般形	
6．非常用照明器具	※　電池内蔵形　・　電源別置形 ※　飛び出し形　・　外部固定形	
7．照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。	
8．ハイテンションアウトレット	※　鋳合金製　・　アルミ製	
9．人感センサープレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。	
⑩ 予備配管	埋込形分電盤から点灯する予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。	

章	項目	特記事項
動力設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　制御盤類
	2．電気方式	・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	3．施工方法	幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製
	4．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込通用形配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用急速充電装置	・　機器類　・ ・　定格容量　ｋＶＡ

章	項目	特記事項
雷保護設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

章	項目	特記事項
受変電設備	1．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	2．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	3．避雷導線	・　引下げ導線　※　建築構造体利用
	4．接地極	※　接地極埋設　・　建築構造体利用
	5．測定用補助接地極	・　設置
電力貯蔵設備	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	4．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧開閉器配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	・　油入式　・　乾式
	7．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳＣ４３０４-２００５適合品　乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６-２００５適合品）
	8．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧　・　６％　・　１３％
	9．リアクトル	・　６％　・　１３％
	10．自動力率制御装置	※　無効電力検出方式　・　力率検出方式
	11．測定用補助接地極	・　設置
発電設備	1．直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　　）
	2．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・ＨＳ　・ＣＳ　・ＭＳＥ　・　　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　　）
	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．形式	・　筒形形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	3．発電機	電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
	4．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	5．燃料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ

章	項目	特記事項
構内交換設備	① 工事範囲	◎　交換機　・　電話機　◎　配線（　◎　全部　・　端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　　） ・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋳合金製　・　アルミ製
	⑤ 保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

章	項目	特記事項
通信・情報設備	① 工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管　配線　機器類　施工方法：合成樹脂管配線　金属管配線　ケーブル配線 ・　構内情報通信網　・　・　・　・　・　・ ・　情報表示　・　・　・　・　・　・ ・　映像・音響　・　・　・　・　・　・ ・　拡声　・　・　・　・　・　・ ・　誘導支援　・　・　・　・　・　・ ◎　テレビ共同受信　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　監視カメラ　・　・　・　・　・　・ ・　防犯・入退室管理　・　・　・　・　・　・
	2．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・　ＡＴＭ ・　・
	3．情報表示設備	・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　） ・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）
	4．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　　）
	5．拡声設備	・　一般放送用　・　非常放送兼用 ・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	6．誘導支援設備	・　身体障害者用インターホン　・　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置
	⑦ テレビ共同受信設備	・　テレビアンテナ（　・　ＡＶ－　・　ＡＵ－　・　ＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ◎　ケーブルテレビ（引き込み工事も本工事とする。）
	8．監視カメラ設備	・　白黒方式　・　カラー方式
	9．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

章	項目	特記事項
火災報知設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	② 火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）　住宅用
	3．非常警報装置	・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　防煙ダン八用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） ・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下） ・　自動開放機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	5．ガス漏れ警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　感知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	6．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

章	項目	特記事項
中央監視制御設備	① 工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	2．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	3．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル ・　プラズマディスプレイ　・　内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形） ・　中央処理装置（予備） ・　伝送端末装（予備） ・　作表用印字装置 ・　雑印字装置　形 ・　ロギングタイプライタ
構内配電線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線　・　機器類
	2．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	4．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐塩塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，緑色，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　　）
	9．標識シート	・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・　管路　・　配線
	2．用途	・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	3．施工方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	4．標識シート	・　弱電用

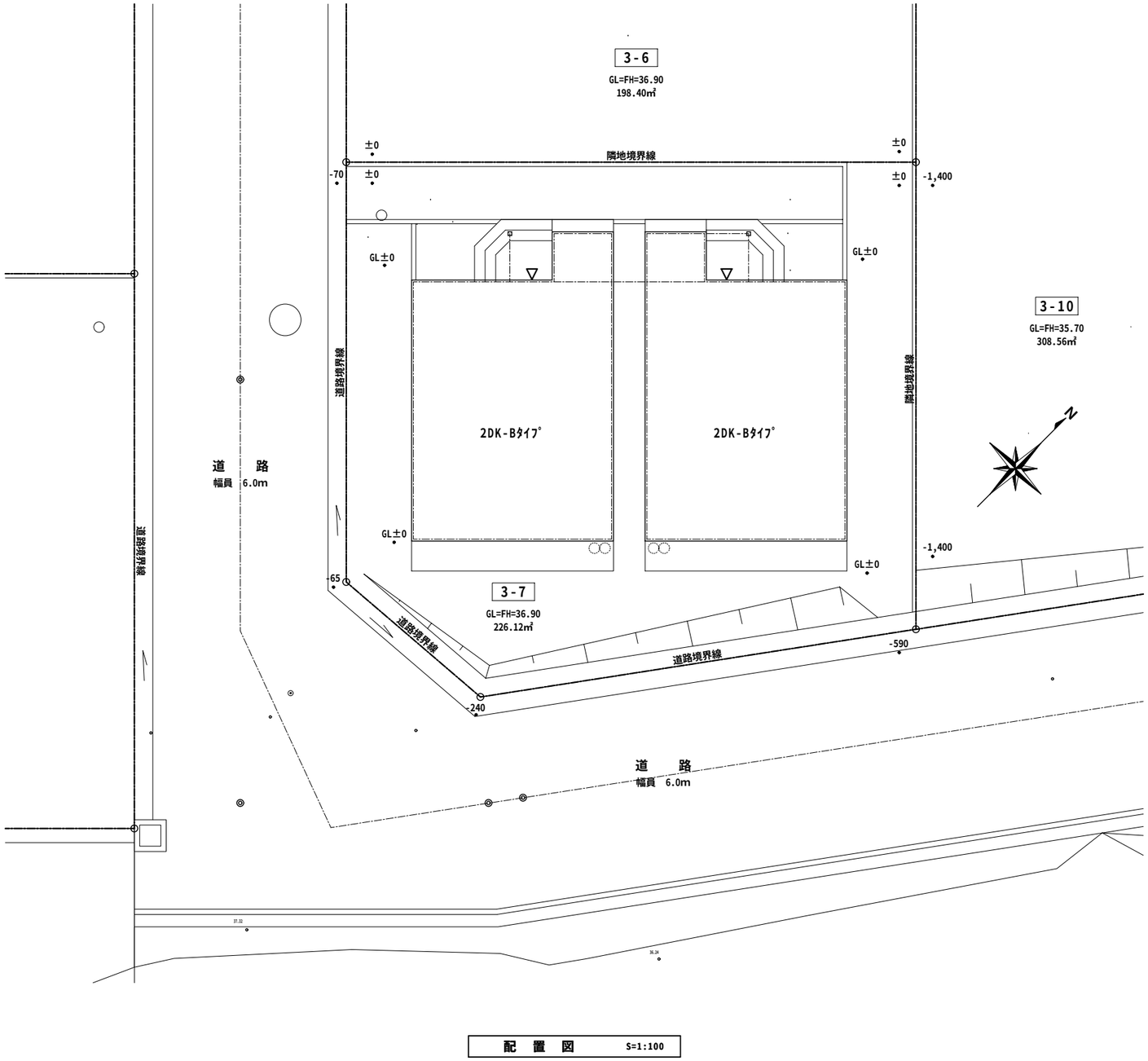
表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地上～室中心	約 1,800	通話 引込端子盤	地上～引込点	
電力共通 引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	通話 集合端子盤	天井下～上端	200
電力共通 分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	通話 端子盤（節下、室内）	床上～下端	300
電力共通 〃			通話 〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
電力共通 〃			通話 壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
電力共通 〃			通話 〃（和　室）	〃	150～200
電灯 スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300	時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
電灯 〃（和　室）	〃	1,200	時計 子時計	〃	2,300
電灯 コンセント（一　般）	〃	300	拡声 壁掛形スピーカ	〃	2,300
電灯 〃（和　室）	〃	150～200	拡声 壁付アッテネータ	〃	1,300
電灯 〃（台　上）	台上～中心	100	拡声 壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
電灯 〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端	拡声 〃（身体障害者）	〃	1,300
電灯 〃（厨　房）	床上～中心	800～1,000	通信設備 壁付アウトレット（一　般）	〃	300
電灯 〃（車　庫）	〃	1,300	通信設備 〃（和　室）	〃	150～200
電灯 〃（機械室）	〃	500～1,000	表示等 表示盤	床上～中心	2,300
電灯 〃（土　間）	〃	2,100～2,300	表示等 壁付表示機	〃	150
電灯 ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300	表示等 ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
電灯 〃（踊　場）	〃	2,000～2,500	表示等 壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
電灯 〃（廊　上）	踊上端～中心	150	表示等 〃（身体障害者兼用）	〃	1,300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	表示等 〃（和　室）	〃	900
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	動力除雪 受信機	床上～中心	800～1,500
			動力除雪 〃	〃	800～1,500
			動力除雪 〃	〃	800～1,500
			動力除雪 〃	〃	800～1,500
			動力除雪 〃	〃	2,100
			動力除雪 ベル	〃	2,300
			動力除雪 〃（充電子種）	〃	2,300
			動力除雪 身障者用 壁付スイッチ	床上～上端	1,300
			動力除雪 〃（重質）	床上～上端	250
			動力除雪 身障者用 壁付コンセント	床上～上端	1,300
			動力除雪 〃（重質）	床上～上端	250
			動力除雪 身障者用表示ランプ	〃	1,500
			動力除雪 〃（重質）	床上～上端	250
			動力除雪 スイッチ	〃	1,100
			動力除雪 〃（重質）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

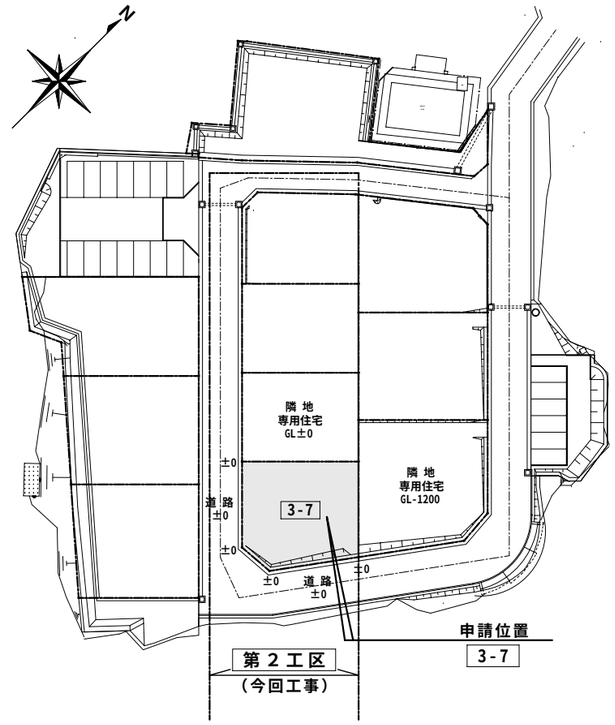
名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡書類 （平成１３年４月１日版）	１部	９ 取扱説明書 ①機器別完成図 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
２ 完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。 ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	１０ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
３ 完成原図	三つ折りケース収納	１組			
４ 完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
５ 完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部			
６ 完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータもしくはTIFF形式（200DPI程度）	ＣＤ １枚	１１ 工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真）	１部
７ 施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は， ４　完成図と合本可）	１部	②完成写真	Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	１部
			③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
８ 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部	１２ 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部

注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的



配　置　図　S=1:100

案　内　図



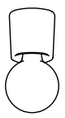
宮ノ沢住宅

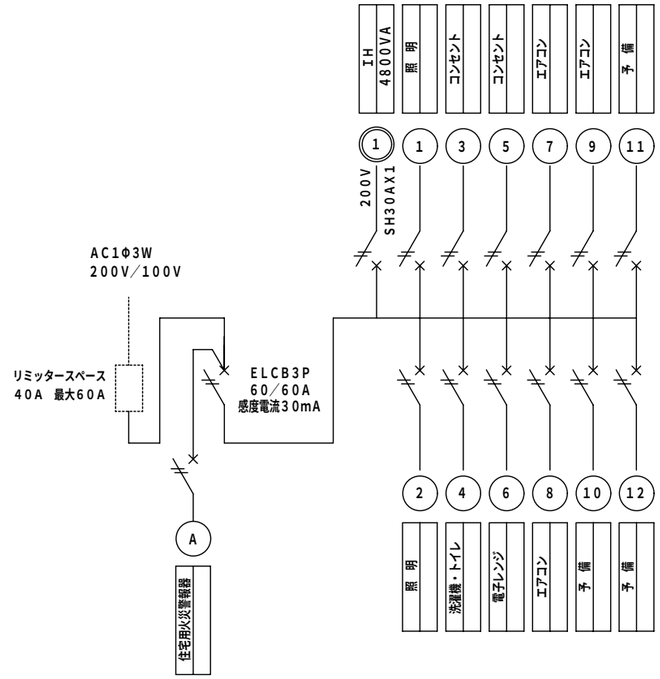
団地内案内図

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画3-7 2DK-B) 配置図・案内図		図面番号　E — 2　枚ノ内	
縮尺　S=1:100		設計番号	

照　明　器　具　姿　図

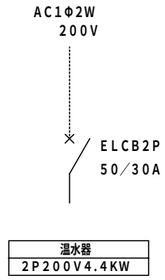
（２ＤＫ－Ａ）

A	ＦＬ２０ＷＸ１	B	１５Ｗパルックボール
棚下灯		トイレ	
		カバー：アクリル（乳白） 透明仕上 パナソニック電工　ＨＥＡ１１１０相当品	
C	ＦＣＬ３０ＷＸ１	D	Ｄ１５型パルックボール
ホール		洗面・脱衣室	
カバー：アクリル（乳白） 低誘虫ＵＶカット仕様 パナソニック電工　ＨＡ３１３０Ｃ相当品		カバー：ガラス パナソニック電工　ＨＥＡ１１４０相当	
E	Ｇ１５型パルックボール	F	ＦＣＬ２０Ｗ
物置		玄関ホール	
			
パナソニック電工　ＨＥＡ１０５５ＺＣ相当		カバー：アクリル（乳白つや消し） Φ２００　Ｈ＝７５ パナソニック電工　ＨＦＡ５６２１相当	
G	Ｄ１５型パルックボール　ＷＰ		
玄関灯			
カバー：アクリル アルミダイカスト（オフブラック） 低誘虫 パナソニック電工　ＨＥＮ６６１９相当			



SB2P20A1E（100V）X12

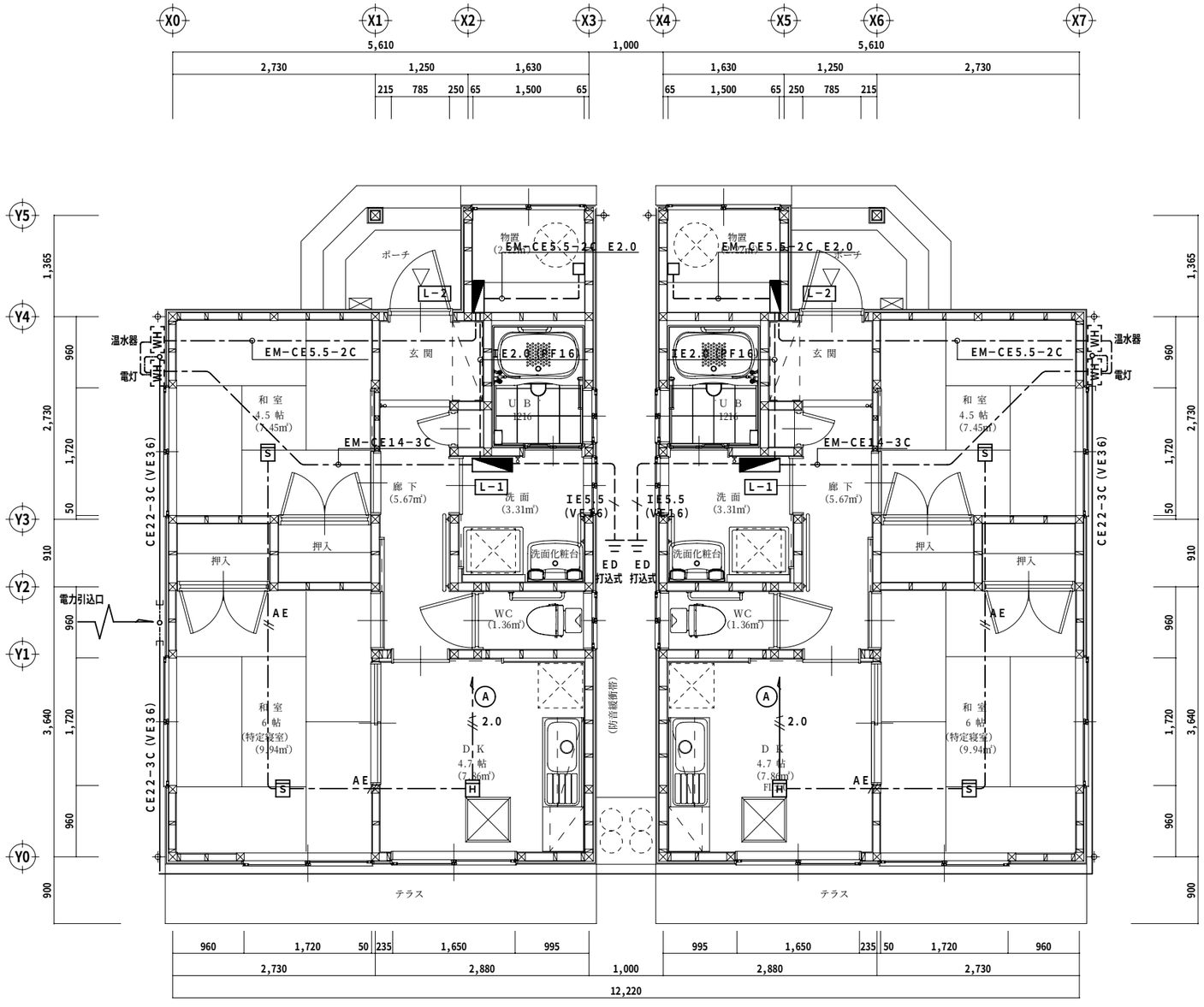
Ｌ－１　樹脂製　扉カバー付



温水器
2P200V4.4KW

Ｌ－２　樹脂製

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H23・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-7 2DK-B) 照明器具姿図・分電盤図 縮尺　S=N.S	図面番号　E — 3　枚ノ内 設計番号



平面詳細図　S=1:50

H　住宅用火災警報器　熱式　親機　露出型　（ＳＨ２８１１７）　検定番号第19～27号
ＡＣ１００Ｖ連動型

S　住宅用火災警報器　煙式　子機　露出型　（ＳＨ２８４２７）　検定番号第19～30号

注）特記なき配管配線は下記に依る。

——//2.0——	EM-EEF2.0-3C(1Cは接地)	天井内ころがし
——//AE——	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

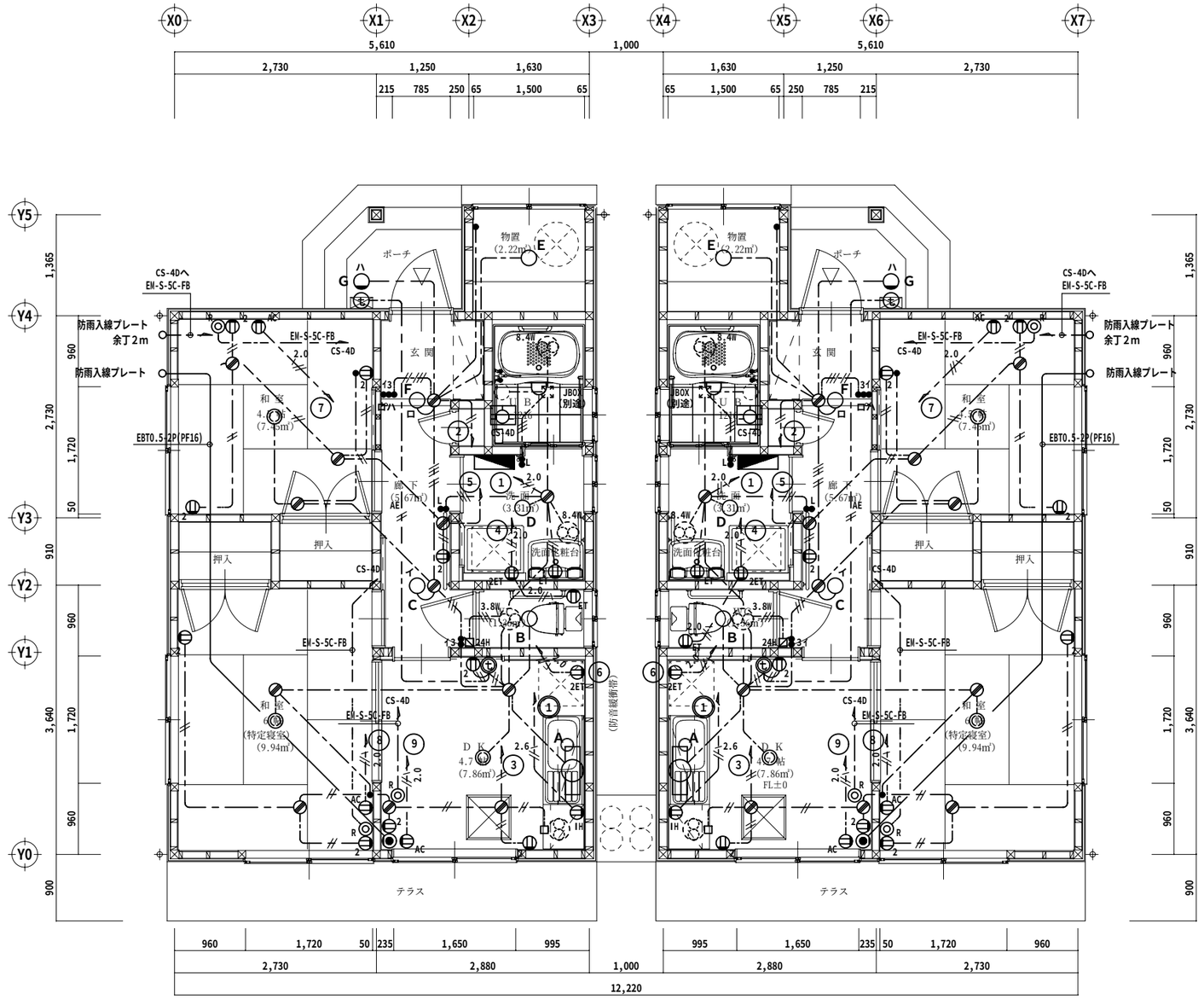
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H21・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画3-7　2DK-B) 電灯幹線・火災報知設備　平面図
縮尺	S=1:50

図面番号	E — 4 枚ノ内
設計番号	



平 面 詳 細 図　S=1:50

ケーブルテレビ引込み工事も本工事とする。

・機器凡例

⊕	コンセント2P15AX1	樹脂プレート
⊕2	コンセント2P15AX2	樹脂プレート
⊕ET	コンセント2P15AX1 接地端子付	樹脂プレート
⊕2ET	コンセント2P15AX2 接地端子付	樹脂プレート
⊕AC	コンセント2P15A、20A兼用X1	樹脂プレート (WTF19313WK)
◎	コンセント2P15AX1	抜歯防プレート
⊕IH	コンセント接地2P30A ワイド21埋込型	樹脂プレート (WTN3730W) +継枠11m+ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ
●	ワイドスイッチ 1P15AX1	樹脂プレート
●3	ワイドスイッチ 3W15AX1	樹脂プレート
●L	ワイドスイッチ 1P15AX1 確認表示灯付	樹脂プレート
	換気扇 機械設備	
	Fケーブルジョイントボックス	
24H	24時間換気スイッチ 支給品取付け	
	インターホン 親機 電話型	
	玄関子機	
	電話モジュラージャック 6極4心	樹脂プレート
	直列ユニット 端末	樹脂プレート

注) 特記なき配管配線は下記に依る。

― ― ― ― ―	EM-EEF1.6-2C	天井内ころがし
― ― ― ― ―	EM-EEF1.6-3C	天井内ころがし
― ― ― ― ―	EM-EEF1.6-2CX2	天井内ころがし
― ― ― ― ―	EM-EEF1.6-2C+3C	天井内ころがし
― ― ― ― ―	EM-EEF2.0-2C	天井内ころがし
― ― 2.0 ― ―	EM-EEF2.0-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― 2.6 ― ―	EM-EEF2.6-3C (1Cは接地)	天井内ころがし
― ― AE ― ―	EM-AE0.9-2C	天井内ころがし

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田宇大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H21・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-7 2DK-B) 照明・コンセント・弱電設備 平面図 縮尺 S=1:50	図面番号 E ― 5 枚ノ内 設計番号

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）　（区画３－４　2DK-B）

2．工事場所　宮城県　黒川郡　富谷町　富谷 字 宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
3－4、2DK－B	木造	1			（五）	2世帯

4．工事種目　（ ⊙ 印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工事種別 屋内						屋外
⊙ 換気設備	○						
⊙ 衛生器具設備	○						
⊙ 給水設備	○						○
⊙ 排水設備	○						○
⊙ 給湯設備	○						
⊙ ガス設備	○						

5．指定部分　※　なし　・　あり（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　　）

6．設備概要　（⊙ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
給水方式	⊙ 水道直結方式　・　高置タンク方式　・　タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・ 合流式）　建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式 ⊙ 合流式）
	放流先　汚水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽）
	雑排水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（13A）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　⊙ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）.公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成１６年版）」（以下「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合.電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用するなお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に（⊙ 印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，(⊙ 印のついたものを適用する。(⊙ 印の付かない場合は，※　印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ㊎ 印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①.適用基準等	⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	②.機材等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。
		本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発散しないか，発散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが，該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
		またホルムアルデヒドの発散量は、次のとおりとする。
		ホルムアルデヒドの発散量　規制対象外；F☆☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第４項による
		国土交通大臣認定品・次の表示があるJAS認定品（非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等）
		同 第三種；F☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品・旧ＪＩＳの Ｅ０規格品等
	③.機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④.保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	⑤.雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥.施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。
		工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
		また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	７．環境対策	・ ＩＳＯ１４００１　対象工事
		施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
		・ ＩＳＯ１４００１　対象外工事
	⑧.手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うなお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨.事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪.技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
		・ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事）
		・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫.足場等	(・) 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置
		枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」により設置については「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とするなお、改善措置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。
	⑬.監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭.工事用電力,水,他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮.工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　(・)　できない
	⑯.残土処理	(・) 構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
		建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（複数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。２ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。
	⑰.発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（3）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　）
		（4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。
		（搬出計画）・　廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。
		・　廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。
		（ア）特別管理産業廃棄物　※　なし　・　あり（　　）
		（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
		・ コンクリート（　　）・ ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材（　　）
		・ 木　材（　　）・ アスファルトコンクリート（　　）
		（ウ）その他発生材の処分を行う施設
		・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　）
		・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　）
		※　再生資源利用計画等の提出
		次のものの利用及び処理を行う場合は、宮城県建設副産物処理設計積算要領（平成５年３月１９日付け宮城県土技第１０７号）に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し、また、工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
		工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物
		施工により発生するもの　建設副産物

章	項目	特記事項
一般共通事項		建設リサイクル法
		・ 対象工事
		落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
		・ 対象外工事
	⑱.総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途
		総合調整の項目
		(・) 風量調整　(・) 水量調整　・　室内外空気の温湿度測定　・　室内気流及びじんあいの測定
		・　騒音の測定　・　初期運転状態の記録　(・)　未端水栓の残留塩素濃度の測定
		・　し尿浄化槽放流水質の測定　・　機器の絶縁抵抗の測定　・　水圧調整
		測定箇所は，監督員の指示による。
	⑲.容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
		（2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳.耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
		耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

	（1）本工事の施設は（⊙ 一般の施設　・　特定の施設）とする。
	（2）地域係数は1.0とする。
	（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付　を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
	（4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
	（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。
㉑.井等のサイズ	特記されていない井等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
㉒.電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
	（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
23.溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス
	検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）・ 放射線浸透検査（ＲＴ）
㉔.はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる。
㉕.支持金物	（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持
固定金具	金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットには
	ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
	（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
	（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。
㉖.埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。
	ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
	(・) 根切り土質の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）(・) 山砂の類
㉗.地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
	（1）給水管 (・) 地中埋設標 (・) 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（3）油　管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
	（2）ガス管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（4）消火管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
㉘.保温	・　主機械室は右記の室とし、他は各階機械室とする。　主機械室：

・ ダクトの保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ グラスウール）

屋内露出 倉庫・書庫	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
各階機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
主機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
居室・廊下など	・ ｶﾗｰ亜鉛鋼板
屋内隠ぺい、ＰＳ内	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
屋外露出、多湿箇所（　）	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

・ 配管の保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ グラスウール　・ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ）

屋内露出 倉庫・書庫	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾗｽｸﾛｽ・
各階機械室	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾗｽｸﾛｽ・
主機械室	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾗｽｸﾛｽ・
居室・廊下など	・ 綿　布・
屋内隠ぺい、ＰＳ内	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾗｽｸﾛｽ・
屋外露出、多湿箇所（　）	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・ ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗｲﾏｰ・ ・ 着色ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗｲﾏｰ

㉙.塗装	下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
	※　屋外露出　※　居室
㉚.防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
31.山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
㉜.舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
㉝.他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
㉞.公共事業労務費調査に対する協力	本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また.本工事の工期経過後においても同様とする
	調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
	公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
㉟.不法無線局の排除	本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。
	請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。
㊱.工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。
㊲.予備品等	ﾗﾝﾌﾟ（温度ﾋｭｰｽﾞも含む）及び表示灯は予備品として、20%納入する（種別ごと最低１個）。
38.宮城県リサイクル製品利用促進について	・　認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
	（使用製品名：　　使用場所：　　）
	※　認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。

○換気設備

①.準拠事項	［空気調和・冷房・暖房設備］の当該事項に準ずる。
	⊙ ５・６・７・８・１６・１７・１８⊙１９
２.開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※　別途　・　本工事
３.厨房用排気ﾀﾞｸﾄ	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）
４.厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法
	・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
５.厨房用排気フード	(1)ﾌｰﾄﾞ周囲の天幕（ﾌｰﾄﾞ面から天井面まで）※ 取付ける　・ 取付けない
	(2)フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない
	(3)材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・　亜鉛鉄板
６.多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４７，４８）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。
	（　　）
７.塗装	屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う

○衛生器具設備

１．大便器洗浄弁	不凍結節水弁付とする。
②.便器洗浄用ﾀﾝｸ	※　手洗なし　(・)　手洗付
３.小便器節水装置	※　節水装置（機能は別図による）　・　押ボタン式（不凍結節水弁付）
４.小便器洗浄管	※　埋込　・　露出
⑤.付属水栓	吊りこま式（節水こま式）とする。
６.自動水栓	電源供給方式（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　乾電池　）
７.大便器耐火ｶﾊﾞｰ	設ける（ピット内を除く）

給水設備

①.量水器	（1）親メーター　※　措用　・　買取り（2）子メーターは　※　買取り
②.量水器桝	（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材６１）
	（2）子メーター用　※　標準図（機材６１）　・　水道事業者の指定品
③.配管材料	（1）一般用　（3）屋外土中用
	・ ステンレス鋼管（拡管）　・ ステンレス鋼管（SUS316拡管）
	・ 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・ VA ・ VB）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
	(・) 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（サヤ管、ﾍｯﾀﾞ-式）　・ ポリ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＰＤ）
	・　・ ビニル管（JIS K6742）（ＶＰ）
	（2）土間配管用　・ 〃　（ＨＩＶＰ）
	（厨房，浴室等のｼﾝｸﾞ-内含む）　(・) ポリエチレン管
	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
	・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
	(・) 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
④.不凍水栓柱	化粧ケーシング（(・) アルミ合金製　・ 合成樹脂製　）
５.壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ	鍵付とする。
⑥.弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ・水道事業所の規定による　Ｋ
	（2）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
⑦.給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓）(2)屋外（※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓）
	湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫とする。
⑧.埋設深さ	（1）一般敷地内（0.45 m以上）(2)敷地内車両道路（0.6m以上）
⑨.保温	（1）量水器桝内の保温を行う。
	（2）屋外露出管（弁，ﾌﾗﾝｼﾞ類を含む）は，共通仕様書第２編表2.3.5e3(ﾊ)とし，厚さは，呼び径25mm以下のものは50mm，呼び径32mm以上のものは40mmとする。
10．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
⑪.水道加入金等	水道加入金　⊙　要（　・　本工事　⊙　別途　）　・　不要
	・　その他（　　）。要（　・　本工事　・　別途　）
⑫.その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

①.配管材料	（1）屋内汚水管　（2）屋内雑排水管
	・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ コーティング鋼管　・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管（厨房用排水管）
	・ メカニカル形排水鋳鉄管　・ 排水用ﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管（厨房用排水管）
	・ 鉛管　(・) ビニル管（ＶＰ）
	(・) ビニル管（ＶＰ）　・ 耐火二層管（ＶＰ）
	・ 耐火二層管（ＶＰ）
	（3）屋外土中汚水，雑排水管
	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ管（１種Ｂ形）(・) ビニル管（・ VP (・) VU ・ 再生VU）・
	（4）土間配管用
	・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管 ・ ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管 (・) ビニル管（ＶＰ）
	（5）通気管
	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管 ・ ビニル管（ＶＰ）
	・ 耐火二層管（ＶＰ）
②.排水桝	(・) 桝リストは図面番号（ 各図参照 ）
	（1）材料　・ ＲＣ (・) 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
	（2）ふた　・ 鋳鉄製（　・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　(・) Ｔ８Ａ）(・) 樹脂製
	※ 県ﾏｰｸ，流体名入り及び樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付
	（3）規格　・ 下水道協会（JSWAS）(・) 排水設備用樹脂製桝協会（HMS）
	・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無　）
	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
３.ｸﾞﾘｰｽ阻集器	図示の箇所に取付け、清水試験を行うこと。
４.満水試験継手	(・) 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
⑤.試験	・　衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
⑥.放流負担金等	(・) 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
７.基礎材	※　再生クラッシャーラン
⑧.その他	接続桝、及び下水道管接続までの配管工事は町上下水道課工事

○給湯設備

①.配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管
	・ 銅管　・ 被覆銅管　(・) 保温付被覆銅管
	＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
②.弁類	給水設備の当該事項による。
３.湯沸器排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
４.保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・ＶⅡ）

○ガス設備

①.配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部
	※　配管用炭素鋼鋼管（白）　※　ポリエチレン被覆鋼管
	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 銅管　・ 塩化ビニル被覆鋼管
	・　・ ガス用ポリエチレン管
２.都市ガス	（1）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
	（2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事）
③.液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用 ・ 買い取り（ ・ 10kg ・ 20kg (・) 50kg２本 ）
	（2）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
	（3）集合装置 ・ 標準図（施工70）　(・) ｴﾆｯﾄ形既製品
	（4）転倒防止等・標準図（施工７１）{・（a）・（b）} (・) ﾍﾞｱﾙ式
④.ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける（　・ 分離形　(・) 一体形　）　・ 別途電気工事
⑤.埋設深さ	外部出力端子（　・ あり　・ なし）
	（1）一般敷地内（ 0.45 m以上）(2)敷地内車両道路（　　m以上）
⑥.その他	（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。

注記事項

1．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 基礎の立上り部を除き、配管をコンクリート内に埋め込まないこと。
2．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 地中埋設管の上にコンクリートを 打設しないこと。
3．排水管の内面は平滑とする。
4．換気設備の性能
　1）連続的な運転が確保できる。
　2）換気扇の機外静圧が必要静圧以上である。
　3）継続作動時に気流、騒音等により使用に支障がない。
　4）局所換気設備は、使用時以外はシャッター等の降りる構造とする。
5．給水設備で敷地内取付けの止水栓を含む水道管分水工事は本工事外とする。
　止水栓以降の給水設備は本工事とする。
6．排水設備で敷地内取付けの下水道接続桝を含む下水道本管接続取付管工事は本工事外とする。
　下水道接続桝放流までの排水設備は本工事とする。

完成図提出書類

書類名		内容	規格	部数	備考
完成図	図面	青焼施工図	A4版	1	製作図、関係官公署手続書類、試験成績表を一括ビス止め製本とする。
		青焼修正設計図		2	
	表紙	金文字入黒表紙	A4版	3	
		市販ファイル			
		二つ折り製本			一冊の厚さは10cm以下とし、裏表紙の前にクラフト封筒をとじ込む。
工事用	写真	カラー	サービス版	1	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版	2	
完成用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	フリーアルバム	322x270		
		市販工事写真帳			
実態調査用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版		
保守管理案内書		使用者が容易に理解できるもの。	A4版ファイル	1	専門的取扱い説明書は完成図にとじ込む。
材料検収簿		監督員が定める様式	A4版ファイル	1	補助監督員が認印したもの。
原図、陰画、原稿		提出しない			原図の提出は原則としてシートファイルに入れて提出する。
		提出する	原図 陰画 原稿		

凡例

記号	名称	摘要
——-——	給水管	地中配管（止水栓・量水器 間）
		水道用ポリエチレン管
		一般配管（量水器・ヘッダー 間）
		塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
		一般配管（ヘッダー・器具水栓 間）
		架橋ポリエチレン管（サヤ管式）
——ｌ——	給湯管	一般配管：保温付被覆銅管
———	排水管	地中配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
		一般配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
——G——	ガス管	一般配管：配管用炭素鋼鋼管（白管）
⊠	給水栓	
⊠	混合水栓	
⊢●	ガス栓	
⊠	インバート桝	小口径塩ビ桝（インバート付）
⊗	ため桝	小口径塩ビ桝（泥溜付）
Φ	排気筒	台所排気：亜鉛鋼板製スパイラルダクト
		台所以外の排気：塩化ビニル管（ＶＵ）
←≡	ベンドキャップ	排気系統：ステンレス製　フード形
		自然給気口：ステンレス製　深形フード

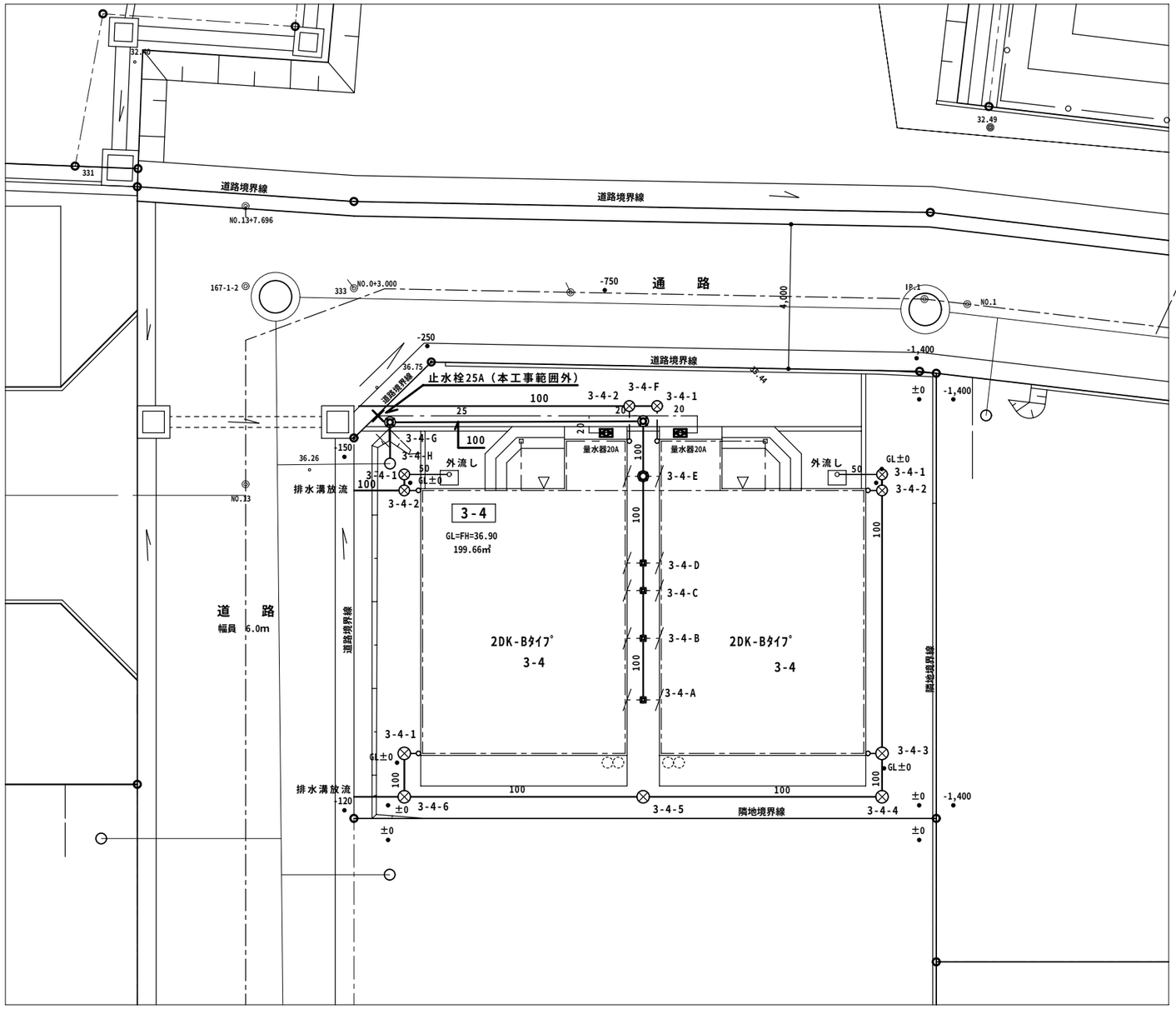
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H24・3・10

工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	（区画３－４　2DK-B）機械設備 特記仕様書
縮尺	
図面番号	Ｍ－１
設計番号	枚ノ内

プロッター



配　置　図　　S=1:100

N

桝 リ ス ト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

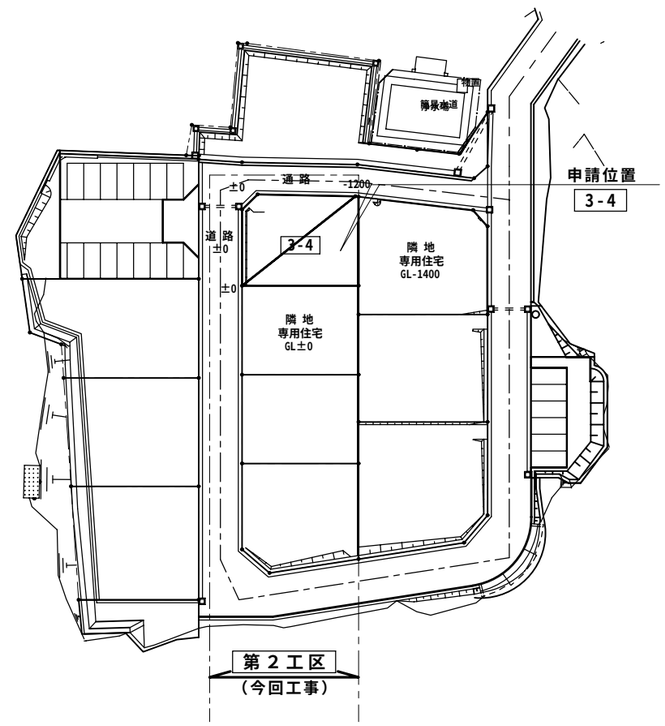
桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等
3-4-A	合流点（90WY）	100x50-200	４００	樹脂蓋
3-4-B	合流点（90WY）	100x75-200　段差付	４５０	〃
3-4-C	合流点（90WY）	100x65-200　〃	５００	〃
3-4-D	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５４０	〃
3-4-E	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５９５	〃
3-4-F	屈曲点（90T）	100 - 200	６４０	〃
3-4-G	屈曲点（90T）	100 - 200	７１０	
3-4-H	下水道接続桝	本工事範囲外	７３０	

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０㎜、◎ 樹脂蓋：Ａ1、文字・鎖付

プラスチック桝　桝径200φ、最大排水管径100φ

桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等	
3-4-1	９０Ｌ		３００	樹脂蓋	x ４組
3-4-2	９０Ｌ		３１０	〃	x ３組
3-4-3	９０Ｌ		３５０	〃	x ２組
3-4-4	９０Ｌ		３６０	〃	
3-4-5	９０Ｌ		４００	〃	
3-4-6	９０Ｌ		４４０	〃	

◎ 配管勾配　雨水排水 1/200



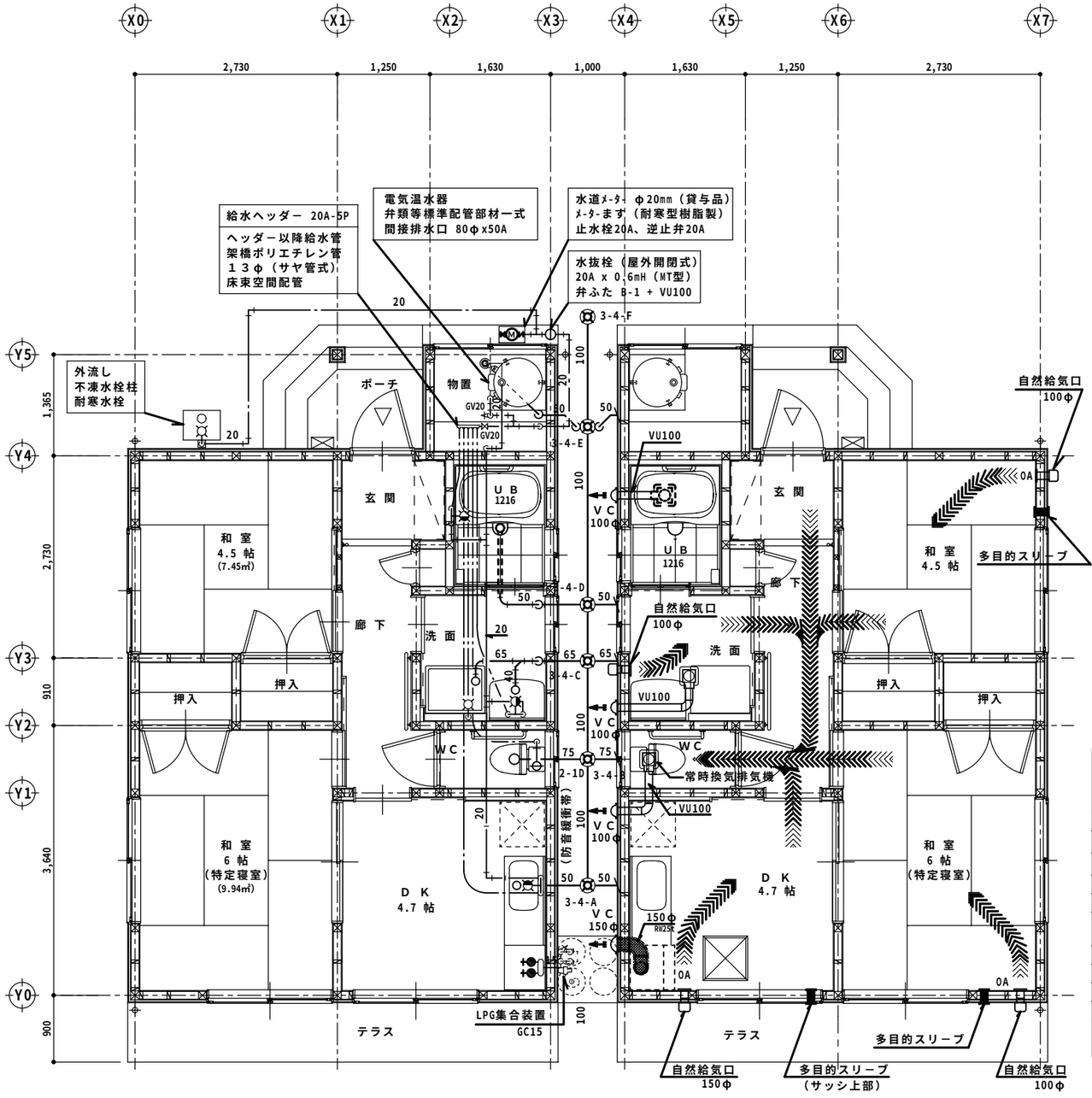
宮ノ沢住宅

団 地 内 案 内 図

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　(区画3-4 2DK-B)　機械設備　配置図 縮尺　S=1:100	図面番号　M — 2　枚ノ内 設計番号

衛生器具表（１住戸当り）

室　名	器　具　名	付　属　品・等	数　量
Ｄ　Ｋ	流し用混合水栓	システムキッチン付属水栓	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	ニ 口 ガ ス 栓	ヒューズコック　１３Ａｘ９.５φ	１
	ガス漏れ警報器	ＬＰガス用コンセント差込み一体形	１
便　所	洋　風　便　器	ＣＳ６７０Ｂ（セミサンホン式）	１
		手洗付密結タンク（SH671BA、床給水）	
		暖房便座（TCF110）、紙巻器（YH60H）	
		タオルリング（TS115S）	
洗　面	洗面化粧台	７５０ﾀｲﾌﾟ、水栓、鏡等一式	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	洗濯機用 水栓	ＴＷ１１Ｒ（緊急止水弁付）	１
	洗 濯 機 パ ン	ＰＷＰ８００Ｎ（800ﾀｲﾌﾟ、縦引きﾄﾗｯﾌﾟ）	１
浴　室	ユニットバス	1216ﾀｲﾌﾟ、シャワー金具、換気扇等一式	建築工事
		◎ 配管、ダクト接続本工事	
物　置	電 気 温 水 器	ヒーター式、丸型タイプ、時間帯別対応型	１
		タンク容量　３７０Ｌ	
		ヒーター４.４KW、電源 単相200V	
		減圧弁.逃し弁.排水弁.絶縁パイプ等の本体	
		周辺配管に要する部材及び標準付属品一式	
		コンクリート基礎　１００Ｈ	
屋　外	不 凍 水 栓 柱	１５Ａｘ地上部６００Ｈ（竹村D-A型相当品）	１
		耐寒万能ホーム水栓（竹村KTL-10相当品）	
	外　流　し	樹脂製、参考寸法 550x445	１
	LPガス集合装置	自動切替式ユニット型、５０Ｋｘ２本立て	１
		転倒防止ベルト付、メーター：借用品	



換気扇リスト（１住戸当り）

室　名	型　　式	能　力・付 属 品 等	数　量
Ｄ　Ｋ	レンジフードファン	２００m3/h x ７５Pa、グリスフィルター付	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	
便　所	天井埋込形換気扇	低騒音、常時換気運転　(VD-10ZC9-BL)	１
		１００φ x ５５m3/h x ２５Pa x ８.4W	
		常時換気スイッチ（P-10SWL）	
洗　面	天井埋込形換気扇	低騒音　(VD-08ZC9)	１
		８０φ x ４０m3/h x ５Pa x ４.6W	
浴　室	天井埋込形換気扇	ユニットバス組込み	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	

※ 常時換気用スイッチは本工事支給品を電気設備工事取付け、結線とする。

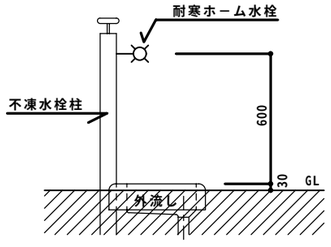
〈 火気使用器具の換気量計算 〉　住戸共通

◆　Ｄ　Ｋ（２世帯共通）
ＬＰガス使用、　式　Ｖ＝３０・Ｋ・Ｑ（レンジフードファン）
Ｑ　＝　グリル付二口コンロ　６.６ KW
Ｖ　＝　３０ x ０.９３ x ６.６ kw　＝　１８４.１４ m3/h 以上
排気機：レンジフードファン（グリスフィルター付）
排気量　２００m3/h：建築工事
排気ダクト：亜鉛鉄板製スパイラルダクト（0.6t）
ロックウール 25t、断熱巻
◆　給湯器：電気温水機（物置設置）

2DK－Ｂタイプ　換気量計算　　常時換気気流

室　　名	床面積計算式 m	床面積 m2	天井高さ m	気　積 m3	換気種別	常時換気量 排気機排気量 m3/h	常時換気量 換気回数 回/h	常時換気量 自然吸気口吸気量 m3/h
Ｄ　　Ｋ	2.645 x 2.880	7.62	2.40	18.28	第三種			20 (150φ)
和室６帖、押入	3.640x2.730 + 0.910x1.365	11.18	2.40	26.83	〃			12 (100φ)
和室4.5帖.押入	2.730x2.730 + 0.910x1.365	8.70	2.40	20.87	〃			12 (100φ)
洗　　面	1.820 x 1.815	3.30	2.40	7.93	〃			12 (100φ)
玄　　関	1.200 x 1.515	1.82	2.56	4.65	〃			
廊下・物入	3.350x1.065 + 0.620x0.450 + 0.995x0.315	4.16	2.40	9.98	〃			
便　　所	0.995 x 1.500	1.49	2.40	3.58	〃	55		
Ｕ　　Ｂ	1.600 x 1.200	1.92	2.00	3.84	〃			
計				95.96	x0.5 =47.98	55	0.57	56

局所換気換気量　便所：５５m3/h（15.3回/h）＝ 常時換気量
洗面：４０m3/h（5回/h）、ＵＢ：４０m3/h（10回/h）



外流し設置断面図　1/20

３－４　2DK-B

給排水、換気 平面詳細図　S=1:50

◎ 西側・東側住戸は同様の設備とする（住戸反転プラン）

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）
図面内容　(区画３－４、 2DK-B)　給排水・換気設備　平面詳細図 縮尺　S=1:50		図面番号　M — 3　枚ノ内 設計番号	

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）　（区画３－５　2DK-B）

2．工事場所　宮城県　黒川郡　富谷町　富谷 字 宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
3－5、2DK－B	木造	1			（五）	2世帯

4．工事種目　（ ⊙ 印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工事種別 屋内						屋外
⊙ 換気設備	○						
⊙ 衛生器具設備	○						
⊙ 給水設備	○						○
⊙ 排水設備	○						○
⊙ 給湯設備	○						
⊙ ガス設備	○						

5．指定部分　※　なし　・　あり（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　　）

6．設備概要　（⊙ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
給水方式	⊙ 水道直結方式　・　高置タンク方式　・　タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・ 合流式）　建物外の汚水及び雑排水（　・ 分流式 ⊙ 合流式）
	放流先　汚水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽）
	雑排水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（13A）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　⊙ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）.公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成１６年版）」（以下「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合.電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用するなお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に（⊙ 印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，(⊙ 印のついたものを適用する。(⊙ 印の付かない場合は，※　印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ㊎ 印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①.適用基準等	⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	②.機材等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，
		同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。
		本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発散しないか，発散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、
		ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが，該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
		またホルムアルデヒドの発散量は、次のとおりとする。
		ホルムアルデヒドの発散量　規制対象外；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第４項による
		国土交通大臣認定品・次の表示がある JAS認定品（非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等）
		同 第三種；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品・旧ＪＩＳの Ｅ０規格品等
	③.機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④.保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	⑤.雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥.施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。
		工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
		また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	７．環境対策	・ ＩＳＯ１４００１　対象工事
		施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
		・ ＩＳＯ１４００１　対象外工事
	⑧.手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うなお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨.事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪.技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・1級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
		・　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　・　熱絶縁施工（保温工事）
		・　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫.足場等	(・) 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置
		枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」により設置については「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とするなお、改善措置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。
	⑬.監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・建築工事仕様書）
	⑭.工事用電力,水,他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮.工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　(・)できない
	⑯.残土処理	(・) 構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
		建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（複数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。２ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。
	⑰.発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（3）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　）
		（4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。
		（搬出計画）・　廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。
		・　廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。
		（ア）特別管理産業廃棄物　※　なし　・　あり（　　）
		（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
		・ コンクリート（　　）・ ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材（　　）
		・ 木　材（　　）・ アスファルトコンクリート（　　）
		（ウ）その他発生材の処分を行う施設
		・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　）
		・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　）
		※　再生資源利用計画等の提出
		次のものの利用及び処理を行う場合は、宮城県建設副産物処理設計積算要領（平成５年３月１９日付け宮城県土技第１０７号）に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に含め
		監督職員に提出し、また、工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
		工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物
		施工により発生するもの　建設副産物

一般共通事項		建設リサイクル法
		・ 対象工事
		落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
		・ 対象外工事
	⑱.総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途
		総合調整の項目
		(・) 風量調整　(・) 水量調整　・　室内外空気の温湿度測定　・　室内気流及びじんあいの測定
		・　騒音の測定　・　初期運転状態の記録　(・)　未端水栓の残留塩素濃度の測定
		・　し尿浄化槽放流水質の測定　・　機器の絶縁抵抗の測定　・　水圧調整
		測定箇所は，監督員の指示による。
	⑲.容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
		（2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳.耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
		耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

（1）本工事の施設は（⊙ 一般の施設　・　特定の施設）とする。

（2）地域係数は1.0とする。

（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付　を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

（4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）

（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

	㉑.弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	㉒.電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
		（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
	23.溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス
		検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）・ 放射線浸透検査（ＲＴ）
	㉔.はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる。
	㉕.支持金物固定金具	（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ボンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
		（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
		（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。
	㉖.埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。
		ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
		(・) 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）(・) 山砂の類
	㉗.地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
		（1）給水管 (・) 地中埋設標 (・) 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（3）油　管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
		（2）ガス管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（4）消火管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
	㉘.保温	・ 主機械室は右記の室とし、他は各階機械室とする。主機械室：

・ ダクトの保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ グラスウール）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス ・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス ・
	主機械室	・ アルミガラスクロス ・
	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板 ・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ アルミガラスクロス ・
屋外露出、多湿箇所（　）		・ ステンレス鋼板 ・

・ 配管の保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス ・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス ・
	主機械室	・ アルミガラスクロス ・
	居室・廊下など	・ 綿　布 ・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ アルミガラスクロス ・
屋外露出、多湿箇所（　）		・ ステンレス鋼板　・ アスファルトプライマー ・ 着色アスファルトプライマー

	㉙.塗装	下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
		※　屋外露出　※　居室
	㉚.防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
	31.山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
	㉜.舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
	㉝.他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
	㉞.公共事業労務費調査の対する協力	本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また.本工事の工期経過後においても同様とする
		調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
		公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
	㉟.不法無線局の排除	本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。
		請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。
	㊱.工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。
	㊲.予備品等	ﾋｭｰｽﾞ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、20%納入する（種別ごと最低１個）。
	38.宮城県リサイクル製品利用促進について	・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
		（使用製品名：　　使用場所：　　）
		※　認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。

○換気設備	①.準拠事項	［空気調和・冷房・暖房設備］の当該事項に準ずる。
		(・) 5・6・7・8・16・17・18 (・) 19
	２．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※　別途　・　本工事
	３.厨房用排気ﾀﾞｸﾄ	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）
	４.厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法
		・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	５．厨房用排気フード	(・) 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）(・) 山砂の類
		(1)ﾌｰﾄﾞ周囲の天幕（ﾌｰﾄﾞ面から天井面まで）※ 取付ける　・ 取付けない
		(2)フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない
	６．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	(3)材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・　亜鉛鉄板
		次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４７，４８）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。
		（　　）
	７.塗装	屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う
○衛生器具設備	１．大便器洗浄弁	不凍結節水弁付とする。
	②.便器洗浄用ﾀﾝｸ	※　手洗なし　(・)　手洗付
	３.小便器節水装置	※　節水装置（機能は別図による）　・　押ボタン式（不凍結節水弁付）
	４．小便器洗浄管	※　埋込　・　露出
	⑤．付属水栓	吊りこま式（節水こま式）とする。
	６．自動水栓	電源供給方式（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　乾電池　）
	７.大便器耐火ｶﾊﾞｰ	設ける（ピット内を除く）

給水設備	①．量水器	（1）親メーター　※　措用　・　買取り（2）子メーターは　※　買取り
	②．量水器桝	（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材６１）
		（2）子メーター用　※　標準図（機材６１）　・　水道事業者の指定品
	③．配管材料	（1）一般用　（3）屋外土中用
		・ ステンレス鋼管（拡管）　・ ステンレス鋼管（SUS316拡管）
		・ 塩ビライニング鋼管（・VA・VB）　・ 塩ビライニング鋼管（VD）
		(・) 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（サヤ管、ﾍｯﾀﾞ-式）　・ ポリ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（PD）
		・　・ ビニル管（JIS K6742）（VP）
		（2）土間配管用　・ 〃　（HIVP）
		（厨房，浴室等のｼﾝｸﾞ-内含む）　(・) ポリエチレン管
		・ ステンレス鋼管（SUS316）　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
		・ ポリ粉体ライニング鋼管（PD）
		(・) 塩ビライニング鋼管（VD）
	④．不凍水栓柱	化粧ケーシング（(・) アルミ合金製　・　合成樹脂製　）
	５．壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ	鍵付とする。
	⑥．弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ・水道事業所の規定による　Ｋ
		（2）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
	⑦．給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓）（2）屋外（※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓）
		湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫とする。
	⑧．埋設深さ	（1）一般敷地内（0.45 m以上）（2）敷地内車両道路（0.6m以上）
	⑨．保温	（1）量水器桝内の保温を行う。
		（2）屋外露出管（弁，ﾌﾗﾝｼﾞ類を含む）は，共通仕様書第２編表2.3.5e3(ﾊ)とし，厚さは，呼び径25mm以下のものは50mm，呼び径32mm以上のものは40mmとする。
	10．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	⑪．水道加入金等	水道加入金　(・) 要（　・　本工事　(・) 別途　）　・　不要
		・　その他（　　）。要（　・　本工事　・　別途　）
	⑫．その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備	①．配管材料	（1）屋内汚水管　（2）屋内雑排水管
		・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
		・ コーティング鋼管　・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管（厨房用排水管）
		・ メカニカル形排水鋳鉄管　・ 排水用ﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管（厨房用排水管）
		・ 鉛管　(・) ビニル管（VP）
		(・) ビニル管（VP）　・ 耐火二層管（VP）
		・ 耐火二層管（VP）
		（3）屋外土中汚水，雑排水管
		・ ｺﾝｸﾘｰﾄ管（１種Ｂ形）(・) ビニル管（・VP (・) VU ・ 再生VU）・
		（4）土間配管用
		・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管 ・ ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管 (・) ビニル管（VP）
		（5）通気管
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白）・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾝｸﾞ鋼管 ・ ビニル管（VP）
		・ 耐火二層管（VP）
	②．排水桝	(・) 桝リストは図面番号（ 各図参照 ）
		（1）材料　・ ＲＣ (・) 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
		（2）ふた　・ 鋳鉄製（　・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　(・) Ｔ８Ａ）(・) 樹脂製
		※ 県ﾏｰｸ，流体名入り及び樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付
		（3）規格　・ 下水道協会（JSWAS）(・) 排水設備用樹脂製桝協会（HMS）
		・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無　）
		・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	３．ｸﾞﾘｰｽ阻集器	(・) 有　・ 無
	４．満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
	⑤．試験	(・) 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
		・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	⑥．放流負担金等	(・) 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
	７．基礎材	※ 再生クラッシャーラン
	⑧．その他	接続桝、及び下水道管接続までの配管工事は町上下水道課工事

○給湯設備	①．配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管
		・ 銅管　・ 被覆鋼管　(・) 保温付被覆銅管
		＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	②．弁類	給水設備の当該事項による。
	３．湯沸器排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	４．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（h・(ｲ)・Ⅶ）

○ガス設備	①．配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部
		※　配管用炭素鋼鋼管（白）　※　ポリエチレン被覆鋼管
		・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
		・ 銅管　・ 塩化ビニル被覆鋼管
		・　・ ガス用ポリエチレン管
	２．都市ガス	（1）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
		（2）引込み配管　・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事）
	③．液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用 ・ 買い取り（ ・ 10kg ・ 20kg (・) 50kg２本）
		（2）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
		（3）集合装置　・ 標準図（施工70）　(・) ｴｺｯﾄ形既製品
		（4）転倒防止等・標準図（施工７１）{・(a)・(b)} (・) ﾍﾞｱﾙ式
	④．ガス漏れ警報器	(・) ﾎﾞﾙﾄ，ﾁｪｰﾝ等はSUS製とする。
		図示の場所に取付ける（　・ 分離形 (・) 一体形 ）　・ 別途電気工事
	⑤．埋設深さ	外部出力端子（　・ あり　・ なし）
		（1）一般敷地内（ 0.45 m以上）（2）敷地内車両道路（　　m以上）
	⑥．その他	（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
		配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。

注記事項

1．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 基礎の立上り部を除き、配管をコンクリート内に埋め込まないこと。

2．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 地中埋設管の上にコンクリートを 打設しないこと。

3．排水管の内面は平滑とする。

4．換気設備の性能
1）連続的な運転が確保できる。
2）換気扇の機外静圧が必要静圧以上である。
3）継続作動時に気流、騒音等により使用に支障がない。
4）局所換気設備は、使用時以外はシャッター等の降りる構造とする。

5．給水設備で敷地内取付けの止水栓を含む水道管分水工事は本工事外とする。
止水栓以降の給水設備は本工事とする。

6．排水設備で敷地内取付けの下水道接続桝を含む下水道本管接続取付管工事は本工事外とする。
下水道接続桝放流までの排水設備は本工事とする。

完成図提出書類

書類名		内容	規格	部数	備考
完成図	図面	青焼施工図 青焼修正設計図	A4版	1 2 3	製作図、関係官公署手続書類、試験成績表を一括ビス止め製本とする。 一冊の厚さは10cm以下とし、裏表紙の前にクラフト封筒をとじ込む。
	表紙	金文字入黒表紙 市販ファイル 二つ折り製本	A4版		
工事用	写真	カラー	サービス版	1	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版	2	
完成用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	フリーアルバム 市販工事写真帳	322x270		
実態調査用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版		
保守管理案内書		使用者が容易に理解できるもの。	A4版ファイル	1	専門的取扱い説明書は完成図にとじ込む。
材料検収簿		監督員が定める様式	A4版ファイル	1	補助監督員が認印したもの。
原図、陰画、原稿		提出しない			
		提出する	原図 陰画 原稿		原図の提出は原則としてシートファイルに入れて提出する。

凡例

記号	名称	摘要
——-——	給水管	地中配管（止水栓・量水器 間）
		水道用ポリエチレン管
		一般配管（量水器・ヘッダー 間）
		塩ビライニング鋼管（VD）
		一般配管（ヘッダー・器具水栓 間）
		架橋ポリエチレン管（サヤ管式）
——I——	給湯管	一般配管：保温付被覆銅管
——	排水管	地中配管：硬質塩化ビニル管（VP）
		一般配管：硬質塩化ビニル管（VP）
——G——	ガス管	一般配管：配管用炭素鋼鋼管（白管）
	給水栓	
	混合水栓	
	ガス栓	
	インバート桝	小口径塩ビ桝（インバート付）
	ため桝	小口径塩ビ桝（泥溜付）
Φ	排気筒	台所排気：亜鉛鋼板製スパイラルダクト
		台所以外の排気：塩化ビニル管（VU）
	ベンドキャップ	排気系統：ステンレス製　フード形
		自然給気口：ステンレス製　深形フード

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

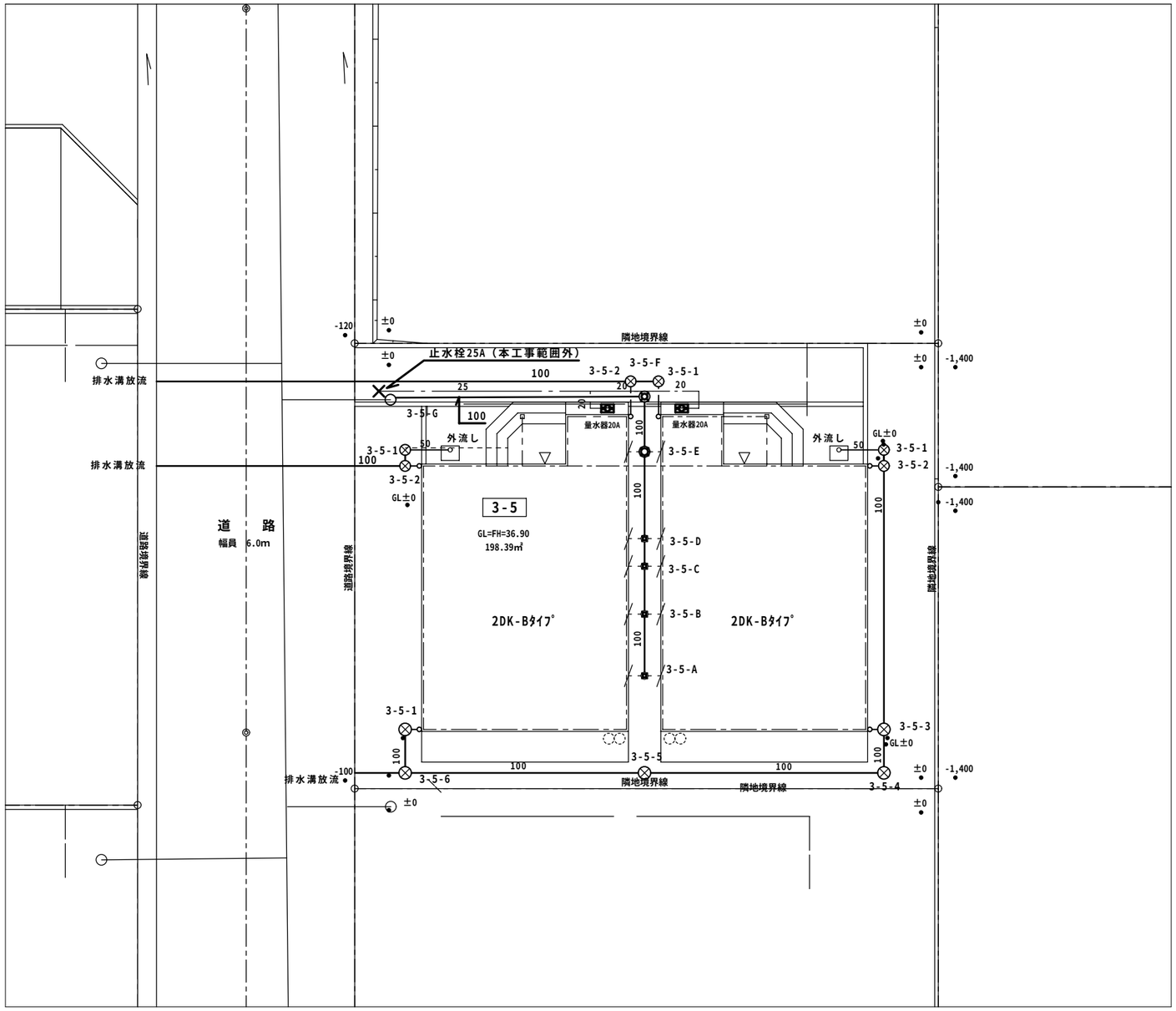
検図	
製図	
日付	H20・3・10

工事名称

平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	（区画３－５　2DK-B） 機械設備 特記仕様書
縮尺	
図面番号	M－1
	枚ノ内
設計番号	

プロッター



配　置　図　　S=1:100

N

桝 リ ス ト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

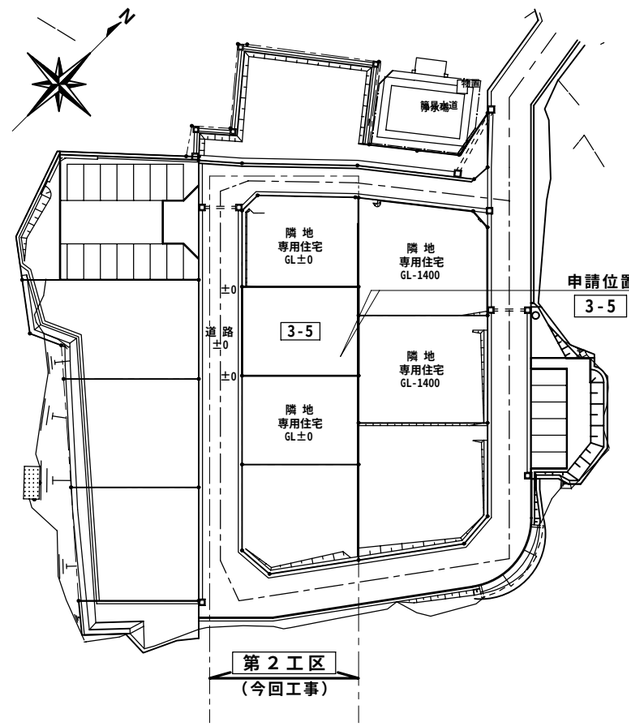
桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（㎜H）	蓋・等
3-5-A	合流点（90WY）	100x50-200	４００	樹脂蓋
3-5-B	合流点（90WY）	100x75-200　段差付	４５０	〃
3-5-C	合流点（90WY）	100x65-200　〃	５００	〃
3-5-D	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５４０	〃
3-5-E	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５９５	〃
3-5-F	屈曲点（90T）	100 - 200		〃
3-5-G	下水道接続桝	本工事範囲外	７１０	

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０㎜、◎ 樹脂蓋：Ａ1、文字・鎖付

プラスチック桝　桝径200φ、最大排水管径100φ

桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（㎜H）	蓋・等	
3-5-1	９０Ｌ		３００	樹脂蓋	x ４組
3-5-2	９０Ｌ		３１０	〃	x ３組
3-5-3	９０Ｌ		３５０	〃	x ２組
3-5-4	９０Ｌ		３６０	〃	
3-5-5	９０Ｌ		４００	〃	
3-5-6	９０Ｌ		４４０	〃	

◎ 配管勾配　雨水排水 1/200



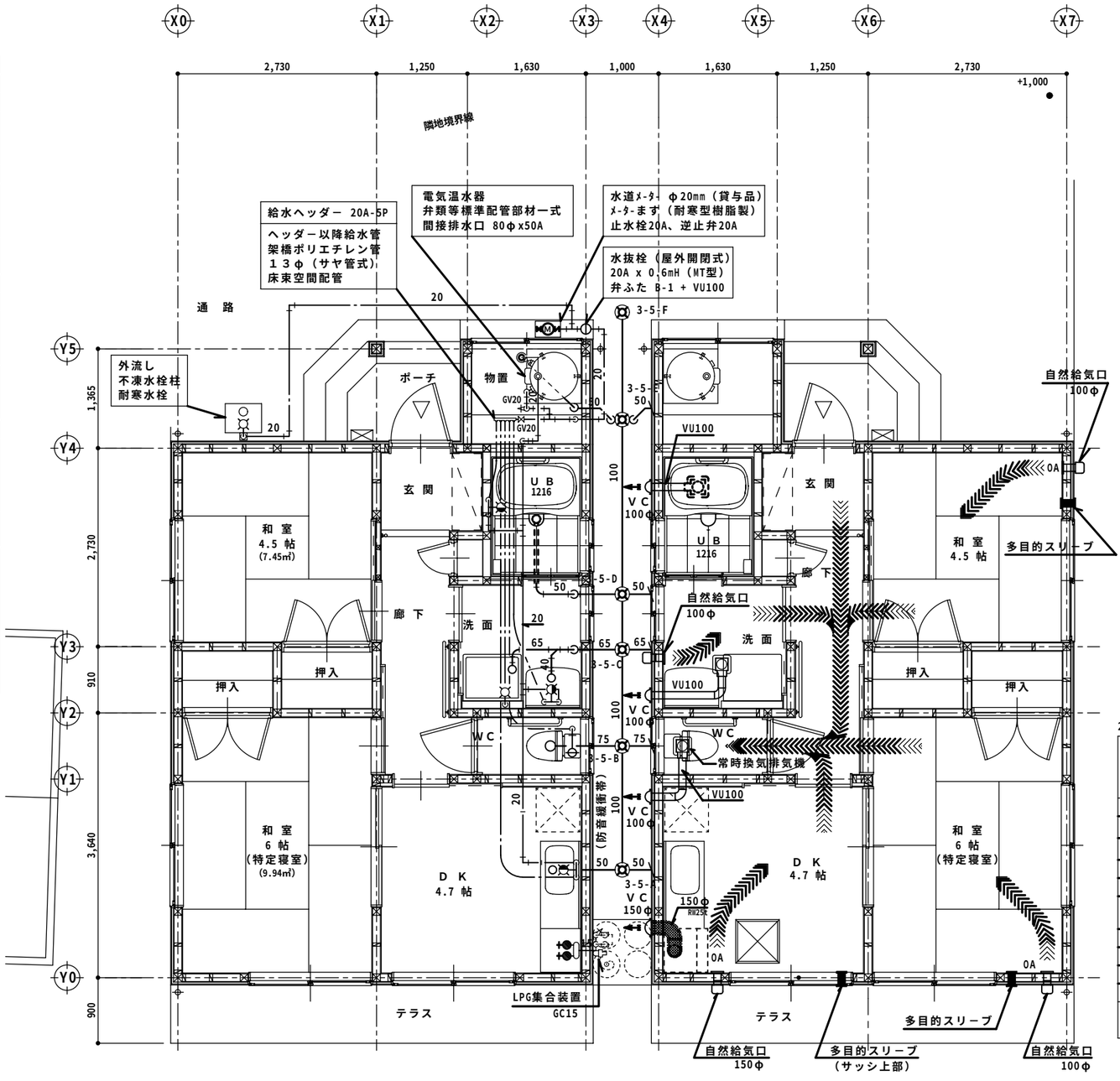
宮ノ沢住宅

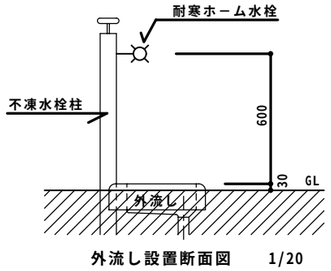
団 地 内 案 内 図

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-5 2DK-B) 機械設備配置図 縮尺 S=1:100	図面番号 M — 2 枚ノ内 設計番号

衛生器具表（１住戸当り）

室　名	器　具　名	付　属　品・等	数　量
Ｄ　Ｋ	流し用混合水栓	システムキッチン付属水栓	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	ニ 口 ガ ス 栓	ヒューズコック　１３Ａｘ９.５φ	１
	ガス漏れ警報器	ＬＰガス用コンセント差込み一体形	１
便　所	洋　風　便　器	ＣＳ６７０Ｂ（セミサンホン式）	１
		手洗付密結タンク（SH671BA、床給水）	
		暖房便座（TCF110）、紙巻器（YH60H）	
		タオルリング（TS115S）	
洗　面	洗面化粧台	７５０ﾀｲﾌﾟ、水栓、鏡等一式	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	洗濯機用 水栓	ＴＷ１１Ｒ（緊急止水弁付）	１
	洗 濯 機 パ ン	ＰＷＰ８００Ｎ（800ﾀｲﾌﾟ、縦引きﾄﾗｯﾌﾟ）	１
浴　室	ユニットバス	1216ﾀｲﾌﾟ、シャワー金具、換気扇等一式	建築工事
		◎ 配管、ダクト接続本工事	
物　置	電 気 温 水 器	ヒーター式、丸型タイプ、時間帯別対応型	１
		タンク容量　３７０Ｌ	
		ヒーター４.４KW、電源 単相200V	
		減圧弁.逃し弁.排水弁.絶縁パイプ等の本体	
		周辺配管に要する部材及び標準付属品一式	
		コンクリート基礎　１００Ｈ	
屋　外	不 凍 水 栓 柱	１５Ａｘ地上部６００Ｈ（竹村D-A型相当品）	１
		耐寒万能ホーム水栓（竹村KTL-10相当品）	
	外　流　し	樹脂製、参考寸法 550x445	１
	LPガス集合装置	自動切替式ユニット型、５０Ｋｘ２本立て	１
		転倒防止ベルト付、メーター：借用品	





外流し設置断面図　1/20

換気扇リスト（１住戸当り）

室　名	型　　式	能　力・付 属 品 等	数　量
Ｄ　Ｋ	レンジフードファン	２００m3/h x ７５Pa、グリスフィルター付	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	
便　所	天井埋込形換気扇	低騒音、常時換気運転　(VD-10ZC9-BL)	１
		１００φ x ５５m3/h x ２５Pa x ８.4W	
		常時換気スイッチ（P-10SWL）	
洗　面	天井埋込形換気扇	低騒音　(VD-08ZC9)	１
		８０φ x ４０m3/h x ５Pa x ４.6W	
浴　室	天井埋込形換気扇	ユニットバス組込み	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	

※ 常時換気用スイッチは本工事支給品を電気設備工事取付け、結線とする。

〈 火気使用器具の換気量計算 〉　住戸共通

◆　Ｄ　Ｋ（２世帯共通）
ＬＰガス使用、　式　Ｖ＝３０・Ｋ・Ｑ（レンジフードファン）
Ｑ　＝　グリル付二口コンロ　６.６ KW
Ｖ　＝　３０ x ０.９３ x ６.６ kw ＝ １８４.１４ m3/h 以上
排気機：レンジフードファン（グリスフィルター付）
排気量　２００m3/h：建築工事
排気ダクト：亜鉛鉄板製スパイラルダクト（0.6t）
ロックウール 25t、断熱巻
◆　給湯器：電気温水機（物置設置）

2DK－Ｂタイプ　換気量計算　　常時換気気流

室　　名	床面積計算式 m	床面積 m2	天井高さ m	気　積 m3	換気種別	常時換気量 排気機排気量 m3/h	換気回数 回/h	自然吸気口吸気量 m3/h
Ｄ　　Ｋ	2.645 x 2.880	7.62	2.40	18.28	第三種			20 (150φ)
和室６帖、押入	3.640x2.730 + 0.910x1.365	11.18	2.40	26.83	〃			12 (100φ)
和室4.5帖.押入	2.730x2.730 + 0.910x1.365	8.70	2.40	20.87	〃			12 (100φ)
洗　　面	1.820 x 1.815	3.30	2.40	7.93	〃			12 (100φ)
玄　　関	1.200 x 1.515	1.82	2.56	4.65	〃			
廊下・物入	3.350x1.065 + 0.620x0.450 + 0.995x0.315	4.16	2.40	9.98	〃			
便　　所	0.995 x 1.500	1.49	2.40	3.58	〃	55		
Ｕ　　Ｂ	1.600 x 1.200	1.92	2.00	3.84	〃			
計				95.96	x0.5 =47.98	55	0.57	56

局所換気換気量　便所：５５m3/h（15.3回/h）＝ 常時換気量
洗面：４０m3/h（5回/h）、ＵＢ：４０m3/h（10回/h）

３－５　2DK-B

◎ 西側・東側住戸は同様の設備とする（住戸反転プラン）

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画３－５、 2DK-B) 給排水・換気設備　平面詳細図	図面番号　M — 3　枚ノ内
縮尺	S=1:50	設計番号

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）　（区画３－６　2DK-B）

2．工事場所　宮城県　黒川郡　富谷町　富谷 字 宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
3－6、2DK－B	木造	1			（五）	2世帯

4．工事種目　（ ⊙ 印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工事種別						屋外
	屋内						
⊙ 換気設備	○						
⊙ 衛生器具設備	○						
⊙ 給水設備	○						○
⊙ 排水設備	○						○
⊙ 給湯設備	○						
⊙ ガス設備	○						

5．指定部分　※　なし　・　あり（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　　）

6．設備概要　（⊙ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
給水方式	⊙ 水道直結方式　・　高置タンク方式　・　タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・ 合流式）　建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式 ⊙ 合流式）
	放流先　汚水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽）
	雑排水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（13A）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　⊙ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）.公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成１６年版）」（以下「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合.電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用するなお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に（⊙ 印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，⊙ 印のついたものを適用する。⊙ 印の付かない場合は，※　印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ㊎ 印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①.適用基準等	⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	②.機材等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。
		本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発散しないか，発散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが，該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
		またホルムアルデヒドの発散量は、次のとおりとする。
		ホルムアルデヒドの発散量　規制対象外；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第４項による国土交通大臣認定品・次の表示がある JAS認定品（非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等）
		同 第三種；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品・旧ＪＩＳの Ｅ０規格品等
	③.機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④.保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	⑤.雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥.施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。
		工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
		また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	７．環境対策	・ ＩＳＯ１４００１　対象工事
		施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
		・ ＩＳＯ１４００１　対象外工事
	⑧.手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うなお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨.事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪.技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
		・ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事）
		・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫.足場等	⊙ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置
		枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」により設置については「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とするなお、改善措置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。
	⑬.監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・建築工事仕様書）
	⑭.工事用電力,水,他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮.工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　（⊙）できない
	⑯.残土処理	⊙ 場外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
		建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（複数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。２ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。
	⑰.発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（3）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　）
		（4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。
		（搬出計画）・　廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。
		・　廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。
		（ア）特別管理産業廃棄物　※　なし　・　あり（　　）
		（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
		・ コンクリート（　　）・ ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材（　　）
		・ 木　材（　　）・ アスファルトコンクリート（　　）
		（ウ）その他発生材の処分を行う施設
		・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　）
		・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　）
		※　再生資源利用計画等の提出
		次のものの利用及び処理を行う場合は，宮城県建設副産物処理設計積算要領（平成５年３月１９日付け宮城県土技第１０７号）に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し、また、工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
		工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物
		施工により発生するもの　建設副産物

章	項目	特記事項
一般共通事項		建設リサイクル法
		・ 対象工事
		着札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
		・ 対象外工事
	⑱.総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途
		総合調整の項目
		⊙ 風量調整　⊙ 水量調整　・　室内外空気の温湿度測定　・　室内気流及びじんあいの測定
		・　騒音の測定　・　初期運転状態の記録　⊙ 末端水栓の残留塩素濃度の測定
		・　し尿浄化槽放流水質の測定　・　機器の絶縁抵抗の測定　・　水圧調整
		測定箇所は，監督員の指示による。
	⑲.容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
		（2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳.耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
		耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

	（1）本工事の施設は（⊙ 一般の施設　・　特定の施設）とする。
	（2）地域係数は1.0とする。
	（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付　を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
	（4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
	（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。
㉑.井等のサイズ	特記されていない井等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
㉒.電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
	（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
23.溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス
	検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）・ 放射線浸透検査（ＲＴ）
㉔.はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる。
㉕.支持金物固定金具	（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
	（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
	（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。
㉖.埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。
	（⊙）根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）⊙ 山砂の類
㉗.地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
	（1）給水管 ⊙ 地中埋設標 ⊙ 埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（3）油　管　地中埋設標　埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
	（2）ガス管　地中埋設標　埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（4）消火管　地中埋設標　埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
㉘.保温	・ 主機械室は右記の室とし、他は各階機械室とする。　主機械室：

・ ダクトの保温の外装は下記による。　・ 配管の保温の外装は下記による。

内装は（・ ロックウール　・ グラスウール）　内装は（・ ロックウール　・ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス・	
	各階機械室	・ アルミガラスクロス・	
	主機械室	・ アルミガラスクロス・	
	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板・	
	屋内隠ぺい、ＰＳ内	・ アルミガラスクロス・	
	屋外露出、多湿箇所（　）	・ ステンレス鋼板	

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス・
	主機械室	・ アルミガラスクロス・
	居室・廊下など	・ 綿　布・
	屋内隠ぺい、ＰＳ内	・ アルミガラスクロス・
	屋外露出、多湿箇所（　）	・ ステンレス鋼板　・ アスファルトプライマー・
		・ 着色アスファルトプライマー・

㉙.塗装	下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
	※　屋外露出　※　居室
㉚.防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
31.山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
㉜.舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
㉝.他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
㉞.公共事業労務費調査に対する協力	本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また.本工事の工期経過後においても同様とする
	調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
	公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
㉟.不法無線局の排除	本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。
	請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。
㊱.工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。
㊲.予備品等	ﾋｭｰｽﾞ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、20%納入する（種別ごと最低１個）。
38.宮城県リサイクル製品利用促進について	・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
	（使用製品名・　　使用場所：　　）
	※　認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。

○換気設備

①.準拠事項	［空気調和・冷房・暖房設備］の当該事項に準ずる。
	⊙ ５・６・７・８・１６・１７・１８⊙１９
２．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※　別途　・　本工事
３.厨房用排気ﾀﾞｸﾄ	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）
４.厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法
	・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
５．厨房用排気フード	（1）ﾌｰﾄﾞ周囲の天幕（ﾌｰﾄﾞ面から天井面まで）※ 取付ける　・　取付けない
	（2）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない
	（3）材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・　亜鉛鉄板
６．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４７，４８）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。
	（　　）
７.塗装	屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う

○衛生器具設備

１．大便器洗浄弁	不凍結節水弁付とする。
②.便器洗浄用ﾀﾝｸ	※　手洗なし　⊙ 手洗付
３.小便器節水装置	※　節水装置（機能は別図による）　・　押ボタン式（不凍結節水弁付）
４．小便器洗浄管	※　埋込　・　露出
⑤．付属水栓	吊りこま式（節水こま式）とする。
６．自動水栓	電源供給方式（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　乾電池　）
７.大便器耐火ｶﾊﾞｰ	設ける（ピット内を除く）

給水設備

①．量水器	（1）親メーター　※　措用　・　買取り（2）子メーターは　※　買取り
②．量水器桝	（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材６１）
	（2）子メーター用　※　標準図（機材６１）　・　水道事業者の指定品
③．配管材料	（1）一般用　（3）屋外土中用
	・ ステンレス鋼管（拡管）　・ ステンレス鋼管（SUS316拡管）
	・ 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・ VA ・ VB）　・ 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＶＤ）
	⊙ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（サヤ管、ﾍｯﾀﾞ-式）　・ ポリ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＰＤ）
	・　・ ビニル管（JIS K6742）（ＶＰ）
	（2）土間配管用　・ 〃　（ＨＩＶＰ）
	（厨房，浴室等のｼﾝｸﾞ-内含む）　⊙ ポリエチレン管
	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
	・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
	⊙ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
④．不凍水栓柱	化粧ケーシング（⊙ アルミ合金製　・ 合成樹脂製　）
５．壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ	鍵付とする。
⑥．弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ・水道事業所の規定による　Ｋ
	（2）その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
⑦．給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓）（2）屋外（※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓）
	湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫とする。
⑧．埋設深さ	（1）一般敷地内（０.４５ m以上）（2）敷地内車両道路（０.６m以上）
⑨．保温	（1）量水器桝内の保温を行う。
	（2）屋外露出管（弁，ﾌﾗﾝｼﾞ類を含む）は，共通仕様書第２編表2.3.5e3(ﾊ)とし，厚さは，呼び径25mm以下のものは50mm，呼び径32mm以上のものは40mmとする。
10．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
⑪．水道加入金等	水道加入金　⊙ 要（　・ 本工事　⊙ 別途　）　・ 不要
	・ その他（　　）。要（　・ 本工事　・ 別途　）
⑫．その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

①．配管材料	（1）屋内汚水管　（2）屋内雑排水管
	・ 排水用塩ﾋﾞﾆﾝｸﾞ鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ コーティング鋼管　・ 排水用塩ﾋﾞﾆﾝｸﾞ鋼管（厨房用排水管）
	・ メカニカル形排水鋳鉄管　・ 排水用ﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管（厨房用排水管）
	・ 鉛管　⊙ ビニル管（ＶＰ）
	⊙ ビニル管（ＶＰ）　・ 耐火二層管（ＶＰ）
	・ 耐火二層管（ＶＰ）
	（3）屋外土中汚水，雑排水管
	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ管（１種Ｂ形）⊙ ビニル管（・ VP ⊙ VU ・ 再生VU）・
	（4）土間配管用
	・ 排水用塩ﾋﾞﾆﾝｸﾞ鋼管　・ ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管 ⊙ ビニル管（ＶＰ）
	（5）通気管
	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 排水用塩ﾋﾞﾆﾝｸﾞ鋼管　・ ビニル管（ＶＰ）
	・ 耐火二層管（ＶＰ）
②．排水桝	⊙ 桝リストは図面番号（ 各図参照 ）
	（1）材料　・ ＲＣ ⊙ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
	（2）ふた　・ 鋳鉄製（　・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　⊙ Ｔ８Ａ）⊙ 樹脂製
	※ 県ﾏｰｸ，流体名入り及び樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付
	（3）規格　・ 下水道協会（JSWAS）⊙ 排水設備用樹脂製桝協会（HMS）
	・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無　）
	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
３．ｸﾞﾘｰｽ阻集器	・ 本工事　・ 別途
４．満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
⑤．試験	⊙ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
	・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
⑥．放流負担金等	⊙ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
７．基礎材	※ 再生クラッシャーラン
⑧．その他	接続桝、及び下水道管接続までの配管工事は町上下水道課工事

○給湯設備

①．配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管
	・ 銅管　・ 被覆鋼管　⊙ 保温付被覆銅管
	＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
②．弁類	給水設備の当該事項による。
３．湯沸器排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
４．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・ＶⅡ）

○ガス設備

①．配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部
	※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管
	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 銅管　・ 塩化ビニル被覆鋼管
	・　・ ガス用ポリエチレン管
２．都市ガス	（1）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
	（2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事）
③．液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用 ・ 買い取り（ ・ 10kg　・ 20kg　⊙ 50kg２本 ）
	（2）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
	（3）集合装置　・ 標準図（施工70）　⊙ ﾕﾆｯﾄ形既製品
	（4）転倒防止等・標準図（施工７１）{・（a）・（b）} ⊙ ﾍﾞﾙﾄ式
④．ガス漏れ警報器	⊙ ﾎﾞﾙﾄ，ﾁｭｰﾌﾞ等はSUS製とする。
	図示の場所に取付ける（　・ 分離形　⊙ 一体形　）　・ 別途電気工事
⑤．埋設深さ	外部出力端子（　・ あり　・ なし）
	（1）一般敷地内（ 0.45 m以上）（2）敷地内車両道路（　　m以上）
⑥．その他	（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。

注記事項

1．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 基礎の立上り部を除き、配管をコンクリート内に埋め込まないこと。
2．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 地中埋設管の上にコンクリートを 打設しないこと。
3．排水管の内面は平滑とする。
4．換気設備の性能
　1）連続的な運転が確保できる。
　2）換気扇の機外静圧が必要静圧以上である。
　3）継続作動時に気流、騒音等により使用に支障がない。
　4）局所換気設備は、使用時以外はシャッター等の降りる構造とする。
5．給水設備で敷地内取付けの止水栓を含む水道管分水工事は本工事外とする。
　止水栓以降の給水設備は本工事とする。
6．排水設備で敷地内取付けの下水道接続桝を含む下水道本管接続取付管工事は本工事外とする。
　下水道接続桝放流までの排水設備は本工事とする。

完成図提出書類

書類名		内容	規格	部数	備考
完成図	図面	青焼施工図 青焼修正設計図	A4版	1 2 3	製作図、関係官公署手続書類、試験成績表を一括ビス止め製本とする。 一冊の厚さは10cm以下とし、裏表紙の前にクラフト封筒をとじ込む。
	表紙	金文字入黒表紙 市販ファイル 二つ折り製本	A4版		
工事用	写真	カラー	サービス版	1	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版	2	
完成用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	フリーアルバム 市販工事写真帳	322x270		
実態調査用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版		
保守管理案内書		使用者が容易に理解できるもの。	A4版ファイル	1	専門的取扱い説明書は完成図にとじ込む。
材料検収簿		監督員が定める様式	A4版ファイル	1	補助監督員が認印したもの。
原図、陰画、原稿	提出しない				
	提出する		原図 陰画 原稿		原図の提出は原則としてシートファイルに入れて提出する。

凡例

記号	名称	摘要
——-——	給水管	地中配管（止水栓・量水器 間）
		水道用ポリエチレン管
		一般配管（量水器・ヘッダー 間）
		塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
		一般配管（ヘッダー・器具水栓 間）
		架橋ポリエチレン管（サヤ管式）
——ｌ——	給湯管	一般配管：保温付被覆銅管
———	排水管	地中配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
		一般配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
——G——	ガス管	一般配管：配管用炭素鋼鋼管（白管）
⊠	給水栓	
⊠	混合水栓	
⊣●	ガス栓	
⊠	インバート桝	小口径塩ビ桝（インバート付）
⊗	ため桝	小口径塩ビ桝（泥溜付）
Φ	排気筒	台所排気：亜鉛鋼板製スパイラルダクト
		台所以外の排気：塩化ビニル管（ＶＵ）
←≡	ベンドキャップ	排気系統：ステンレス製　フード形
		自然給気口：ステンレス製　深形フード

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	（区画３－６　2DK-B） 機械設備 特記仕様書	図面番号　Ｍ－１　枚ノ内
縮尺		設計番号

プロッター

桝 リ ス ト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

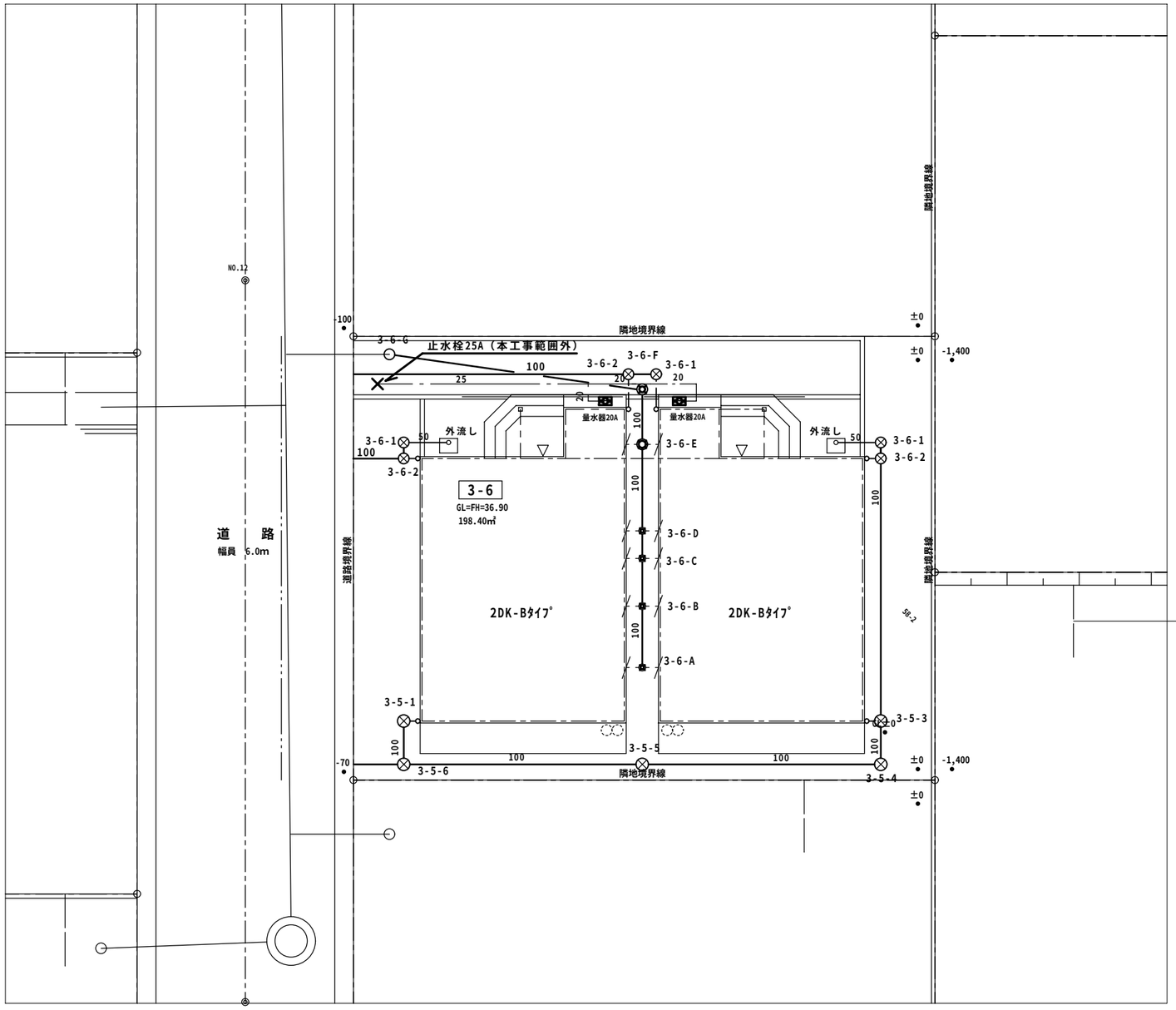
桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等
3-6-A	合流点（90WY）	100x50-200	４００	樹脂蓋
3-6-B	合流点（90WY）	100x75-200　段差付	４５０	〃
3-6-C	合流点（90WY）	100x65-200　〃	５００	〃
3-6-D	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５４０	〃
3-6-E	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５９５	〃
3-6-F	屈曲点（90T）	100 - 200	６４０	〃
3-6-G	下水道接続桝	本工事範囲外		

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０mm、◎ 樹脂蓋：Ａ1、文字・鎖付

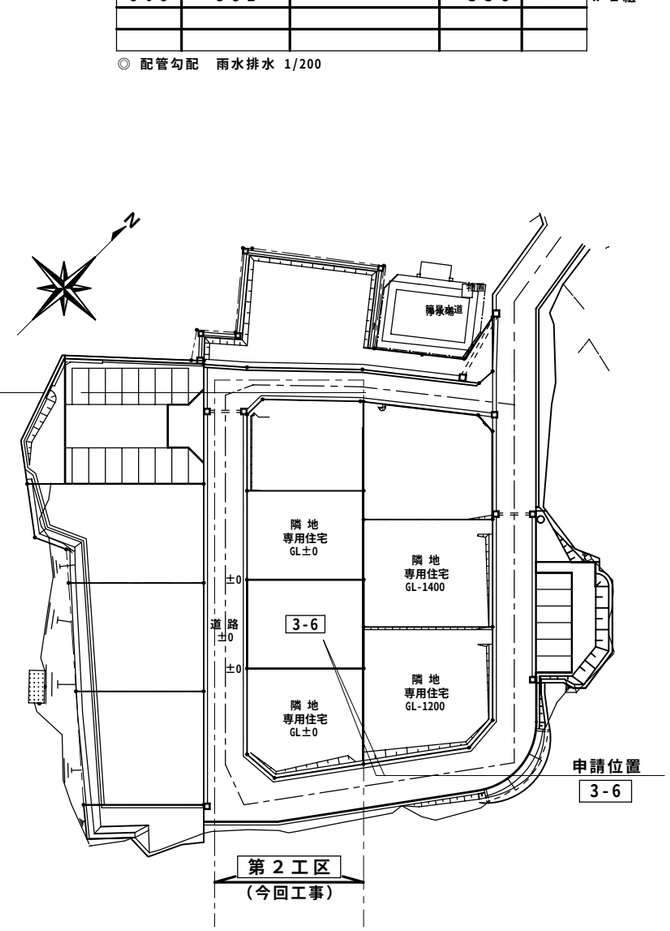
プラスチック桝　桝径200φ、最大排水管径100φ

桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等	
3-6-1	９０Ｌ		３００	樹脂蓋	x ４組
3-6-2	９０Ｌ		３１０	〃	x ３組
3-6-3	９０Ｌ		３５０	〃	x ２組

◎ 配管勾配　雨水排水 1/200



配　置　図　S=1:100



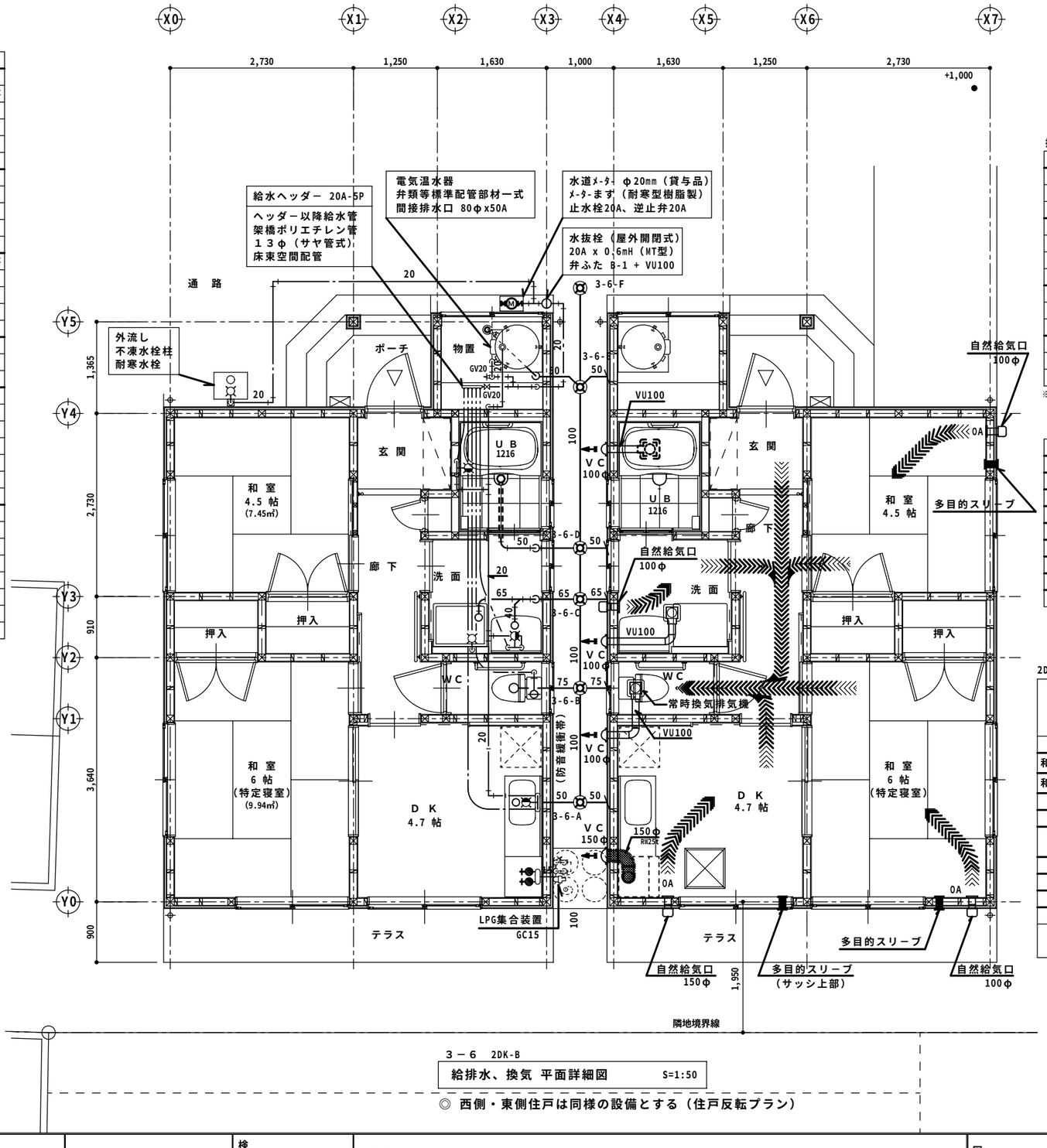
宮ノ沢住宅

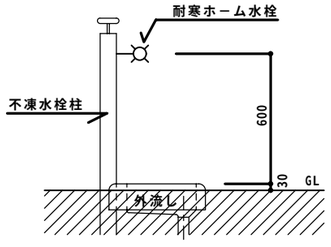
団 地 内 案 内 図

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO.LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容　(区画3-6 2DK-B) 機械設備配置図 縮尺　S=1:100	図面番号　M — 2　枚ノ内 設計番号

衛生器具表（１住戸当り）

室　名	器　具　名	付　属　品・等	数　量
Ｄ　Ｋ	流し用混合水栓	システムキッチン付属水栓	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	ニ 口 ガ ス 栓	ヒューズコック　１３Ａｘ９.５φ	１
	ガス漏れ警報器	ＬＰガス用コンセント差込み一体形	１
便　所	洋　風　便　器	ＣＳ６７０Ｂ（セミサンホン式）	１
		手洗付密結タンク（SH671BA、床給水）	
		暖房便座（TCF110）、紙巻器（YH60H）	
		タオルリング（TS115S）	
洗　面	洗面化粧台	７５０ﾀｲﾌﾟ、水栓、鏡等一式	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	洗濯機用 水栓	ＴＷ１１Ｒ（緊急止水弁付）	１
	洗 濯 機 パ ン	ＰＷＰ８００Ｎ（800ﾀｲﾌﾟ、縦引きﾄﾗｯﾌﾟ）	１
浴　室	ユニットバス	1216ﾀｲﾌﾟ、シャワー金具、換気扇等一式	建築工事
		◎ 配管、ダクト接続本工事	
物　置	電 気 温 水 器	ヒーター式、丸型タイプ、時間帯別対応型	１
		タンク容量　３７０Ｌ	
		ヒーター４.４KW、電源 単相200V	
		減圧弁.逃し弁.排水弁.絶縁パイプ等の本体	
		周辺配管に要する部材及び標準付属品一式	
		コンクリート基礎　１００Ｈ	
屋　外	不 凍 水 栓 柱	１５Ａｘ地上部６００Ｈ（竹村D-A型相当品）	１
		耐寒万能ホーム水栓（竹村KTL-10相当品）	
	外　流　し	樹脂製、参考寸法 550x445	１
	LPガス集合装置	自動切替式ユニット型、５０Ｋｘ２本立て	１
		転倒防止ベルト付、メーター：借用品	





外流し設置断面図　1/20

換気扇リスト（１住戸当り）

室　名	型　　式	能　力・付 属 品 等	数　量
Ｄ　Ｋ	レンジフードファン	２００m3/h x ７５Pa、グリスフィルター付	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	
便　所	天井埋込形換気扇	低騒音、常時換気運転　（VD-10ZC9-BL）	１
		１００φ x ５５m3/h x ２５Pa x ８.4W	
		常時換気スイッチ（P-10SWL）	
洗　面	天井埋込形換気扇	低騒音　（VD-08ZC9）	１
		８０φ x ４０m3/h x ５Pa x ４.6W	
浴　室	天井埋込形換気扇	ユニットバス組込み	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	

※ 常時換気用スイッチは本工事支給品を電気設備工事取付け、結線とする。

〈 火気使用器具の換気量計算 〉　住戸共通

◆　Ｄ　Ｋ（２世帯共通）
ＬＰガス使用、　式　Ｖ＝３０・Ｋ・Ｑ（レンジフードファン）
Ｑ　＝　グリル付二口コンロ　６.６ KW
Ｖ　＝　３０ x ０.９３ x ６.６ kw ＝ １８４.１４ m3/h 以上
排気機：レンジフードファン（グリスフィルター付）
排気量　２００m3/h：建築工事
排気ダクト：亜鉛鉄板製スパイラルダクト（0.6t）
ロックウール 25t、断熱巻
◆　給湯器：電気温水機（物置設置）

2DK－Ｂタイプ　換気量計算　　常時換気気流

室　　名	床面積計算式 m	床面積 m2	天井高さ m	気　積 m3	換気種別	常時換気量 排気機排気量 m3/h	常時換気量 換気回数 回/h	常時換気量 自然吸気口吸気量 m3/h
Ｄ　　Ｋ	2.645 x 2.880	7.62	2.40	18.28	第三種			20 (150φ)
和室６帖、押入	3.640x2.730 + 0.910x1.365	11.18	2.40	26.83	〃			12 (100φ)
和室4.5帖.押入	2.730x2.730 + 0.910x1.365	8.70	2.40	20.87	〃			12 (100φ)
洗　　面	1.820 x 1.815	3.30	2.40	7.93	〃			12 (100φ)
玄　　関	1.200 x 1.515	1.82	2.56	4.65	〃			
廊下・物入	3.350x1.065 + 0.620x0.450 + 0.995x0.315	4.16	2.40	9.98	〃			
便　　所	0.995 x 1.500	1.49	2.40	3.58	〃	55		
Ｕ　　Ｂ	1.600 x 1.200	1.92	2.00	3.84	〃			
計				95.96	x0.5 =47.98	55	0.57	56

局所換気換気量　便所：５５m3/h（15.3回/h）＝ 常時換気量
洗面：４０m3/h（5回/h）、ＵＢ：４０m3/h（10回/h）

３－６　2DK-B

給排水、換気 平面詳細図　S=1:50

◎ 西側・東側住戸は同様の設備とする（住戸反転プラン）

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL　022-245-2333	検図 製図 日付　H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	(区画３－６、 2DK-B) 給排水・換気設備　平面詳細図	図面番号　M — 3　枚ノ内
縮尺	S=1:50	設計番号

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）　（区画３－７　2DK-B）

2．工事場所　宮城県　黒川郡　富谷町　富谷 字 宮ノ沢地内

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
3－7、2DK－B	木造	1			（五）	2世帯

4．工事種目　（⊙ 印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工事種別 屋内						屋外
⊙ 換気設備	○						
⊙ 衛生器具設備	○						
⊙ 給水設備	○						○
⊙ 排水設備	○						○
⊙ 給湯設備	○						
⊙ ガス設備	○						

5．指定部分　※　なし　・　あり（工期：平成　年　月　日）（対象部分：　　）

6．設備概要　（⊙ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
給水方式	⊙ 水道直結方式　・　高置タンク方式　・　タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・ 合流式）　建物外の汚水及び雑排水（　・ 分流式 ⊙ 合流式）
	放流先　汚水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽）
	雑排水（⊙ 下水道直放流　・ し尿浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（13A）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　⊙ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）.公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編.平成16年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成１６年版）」（以下「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合.電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用するなお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項目は番号に（⊙ 印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，（⊙ 印のついたものを適用する。（⊙ 印の付かない場合は，※　印のついたものを適用する。

（⊙ 印と　㊟　印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①.適用基準等	⊙　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	②.機材等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，
		同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。
		本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発散しないか，発散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、
		ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが，該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
		またホルムアルデヒドの発散量は、次のとおりとする。
		ホルムアルデヒドの発散量　規制対象外；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第４項による
		国土交通大臣認定品・次の表示があるJAS認定品（非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等）
		同 第三種；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品・旧ＪＩＳの
		Ｅ０規格品等
	③.機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④.保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	⑤.雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥.施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。
		工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
		また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	７．環境対策	・　ＩＳＯ１４００１　対象工事
		施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
		・　ＩＳＯ１４００１　対象外工事
	⑧.手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うなお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨.事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪.技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
		・　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　・　熱絶縁施工（保温工事）
		・　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫.足場等	⊙）　別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置
		枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」により設置については「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とするなお、改善措置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。
	⑬.監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・建築工事仕様書）
	⑭.工事用電力,水,他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮.工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　（⊙）できない
	⑯.残土処理	（⊙）構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積
		建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（複数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。２ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。
	⑰.発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・　なし　・　あり（　　）
		（3）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　）
		（4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。
		（搬出計画）・　廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。
		・　廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。
		（ア）特別管理産業廃棄物　※　なし　・　あり（　　）
		（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
		・ コンクリート（　　）・ ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材（　　）
		・ 木　材（　　）・ アスファルトコンクリート（　　）
		（ウ）その他発生材の処分を行う施設
		・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　）
		・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　）
		※　再生資源利用計画等の提出
		次のものの利用及び処理を行う場合は、宮城県建設副産物処理設計積算要領（平成５年３月１９日付け宮城県土技第１０７号）に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に含め
		監督職員に提出し、また、工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
		工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物
		施工により発生するもの　建設副産物

一般共通事項		建設リサイクル法
		・　対象工事
		着札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
		・　対象外工事
	⑱.総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途
		総合調整の項目
		⊙.風量調整　⊙.水量調整　・　室内外空気の温湿度測定　・　室内気流及びじんあいの測定
		・　騒音の測定　・　初期運転状態の記録　⊙.　未端水栓の残留塩素濃度の測定
		・　し尿浄化槽放流水質の測定　・　機器の絶縁抵抗の測定　・　水圧調整
		測定箇所は，監督員の指示による。
	⑲.容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
		（2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳.耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
		耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

（1）本工事の施設は（⊙.一般の施設　・　特定の施設）とする。

（2）地域係数は1.0とする。

（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付　を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

（4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）

（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

	㉑.井等のサイズ	特記されていない井等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	㉒.電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
		（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
	23.溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス
		検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）・ 放射線浸透検査（ＲＴ）
	㉔.はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる。
	㉕.支持金物	（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持
	固定金具	金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットには
		ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
		（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
		（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。
	㉖.埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。
		ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
		（⊙）根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）（⊙）山砂の類
	㉗.地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
		（1）給水管（⊙）地中埋設標（⊙）埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（3）油　管　・地中埋設標　・埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
		（2）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示ﾃｰﾌﾟ（4）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示ﾃｰﾌﾟ
	㉘.保温	・　主機械室は右記の室とし、他は各階機械室とする。　主機械室：

・　ダクトの保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ）

屋内露出	倉庫・書庫	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	各階機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	主機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	居室・廊下など	・ ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
屋外露出、多湿箇所（　）		・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・

・　配管の保温の外装は下記による。　内装は（・ ロックウール　・ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　・ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ）

屋内露出	倉庫・書庫	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	各階機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	主機械室	・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
	居室・廊下など	・ 綿　布 ・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		・ ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・
屋外露出、多湿箇所（　）		・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗｲﾏｰ ・ ・ 着色ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾟﾗｲﾏｰ

	㉙.塗装	下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
		※　屋外露出　※　居室
	㉚.防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
	31.山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
	㉜.舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
	㉝.他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
	㉞.公共事業労務費調査の対象となる協力	本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また.本工事の工期経過後においても同様とする
		調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
		公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
	㉟.不法無線局の排除	本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。
		請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。
	㊱.工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。
	㊲.予備品等	ﾗﾝﾌﾟ（温度ﾋｭｰｽﾞを含む）及び表示灯は予備品として、20%納入する（種別ごと最低１個）。
	38.宮城県リサイクル製品利用促進について	※　認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
		（使用製品名：　　使用場所：　　）
		※　認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。

○換気設備	①.準拠事項	［空気調和・冷房・暖房設備］の当該事項に準ずる。
		⊙ 5・6・7・8・16・17・18⊙19
	２．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	※　別途　・　本工事
	３.厨房用排気ﾀﾞｸﾄ	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）
	４.厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法
		・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	５．厨房用排気フード	（1）ﾌｰﾄﾞ周囲の天幕（ﾌｰﾄﾞ面から天井面まで）※ 取付ける　・ 取付けない
		（2）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない
		（3）材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・　亜鉛鉄板
	６．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４７，４８）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。
		（　　）
	７.塗装	屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う
○衛生器具設備	１．大便器洗浄弁	不凍結節水弁付とする。
	②.便器洗浄用ﾀﾝｸ	※　手洗なし　⊙　手洗付
	３.小便器節水装置	※　節水装置（機能は別図による）　・　押ボタン式（不凍結節水弁付）
	４．小便器洗浄管	※　埋込　・　露出
	⑤.付属水栓	吊りこま式（節水こま式）とする。
	６．自動水栓	電源供給方式（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　乾電池　）
	７.大便器耐火ｶﾊﾞｰ	設ける（ピット内を除く）

給水設備	①．量水器	（1）親メーター　※　措用　・　買取り（2）子メーターは　※　買取り
	②．量水器桝	（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材６１）
		（2）子メーター用　※　標準図（機材６１）　・　水道事業者の指定品
	③．配管材料	（1）一般用　（3）屋外土中用
		・ ステンレス鋼管（拡管）　・ ステンレス鋼管（SUS316拡管）
		・ 塩ビﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・VA・VB）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
		⊙ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（サヤ管、ﾍｯﾀﾞ-式）　・ ポリ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（ＰＤ）
		・　・ ビニル管（JIS K6742）（ＶＰ）
		（2）土間配管用　・ 〃　（ＨＩＶＰ）
		（厨房，浴室等のｼﾝｸﾞ-内含む）　⊙ ポリエチレン管
		・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
		・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
		⊙ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
	④．不凍水栓柱	化粧ケーシング（⊙ アルミ合金製　・ 合成樹脂製　）
	５．壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ	鍵付とする。
	⑥．弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ・水道事業所の規定による　Ｋ
		（2）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
	⑦．給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓）（2）屋外（※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓）
		湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫とする。
	⑧．埋設深さ	（1）一般敷地内（０.45 m以上）（2）敷地内車両道路（０.6m以上）
	⑨．保温	（1）量水器桝内の保温を行う。
		（2）屋外露出管（弁，ﾌﾗﾝｼﾞ類を含む）は，共通仕様書第２編表2.3.5e3(ﾊ)とし，厚さは，呼び径25mm以下のものは50mm，呼び径32mm以上のものは40mmとする。
	10．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	⑪．水道加入金等	水道加入金　⊙ 要（　・ 本工事　⊙ 別途　）　・ 不要
		・ その他（　　）。要（　・ 本工事　・ 別途　）
	⑫．その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備	①．配管材料	（1）屋内汚水管　（2）屋内雑排水管
		・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
		・ コーティング鋼管　・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（厨房用排水管）
		・ メカニカル形排水鋳鉄管　・ 排水用ﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管（厨房用排水管）
		・ 鉛管　⊙ ビニル管（ＶＰ）
		⊙ ビニル管（ＶＰ）　・ 耐火二層管（ＶＰ）
		・ 耐火二層管（ＶＰ）
		（3）屋外土中汚水，雑排水管
		・ ｺﾝｸﾘｰﾄ管（１種Ｂ形）⊙ ビニル管（・VP ⊙ VU ・ 再生VU）・
		（4）土間配管用
		・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 ・ ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管 ⊙ ビニル管（ＶＰ）
		（5）通気管
		・ 配管用炭素鋼鋼管（白）・ 排水用塩ﾋﾞﾆｰﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 ・ ビニル管（ＶＰ）
		・ 耐火二層管（ＶＰ）
	②．排水桝	⊙　桝リストは図面番号（ 各図参照 ）
		（1）材料　・ ＲＣ　⊙ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
		（2）ふた　・ 鋳鉄製（　・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　⊙ Ｔ８Ａ）⊙ 樹脂製
		※ 県ﾏｰｸ，流体名入り及び樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付
		（3）規格　・ 下水道協会（JSWAS）⊙ 排水設備用樹脂製桝協会（HMS）
		・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無　）
		・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	３．ｸﾞﾘｰｽ阻集器	図示の箇所に取付け、清水試験を行うこと。
	４．満水試験継手	⊙　衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
	⑤．試験	・　衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	⑥．放流負担金等	⊙ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
	７．基礎材	※　再生クラッシャーラン
	⑧．その他	接続桝、及び下水道管接続までの配管工事は町上下水道課工事

○給湯設備	①．配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管
		・ 銅管　・ 被覆鋼管　⊙ 保温付被覆鋼管
		＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	②．弁類	給水設備の当該事項による。
	３．湯沸器排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	４．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（h・(ｲ)・Ⅶ）

○ガス設備	①．配管材料	（1）一般　（2）地中埋設部
		※　配管用炭素鋼鋼管（白）　※　ポリエチレン被覆鋼管
		・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
		・ 銅管　・ 塩化ビニル被覆鋼管
		・　・ ガス用ポリエチレン管
	２．都市ガス	（1）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
		（2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
	③．液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用 ・ 買い取り（ ・ 10kg　・ 20kg　⊙ 50kg２本 ）
		（2）ガスメーター　親ﾒｰﾀｰはガス事業者より借用，子ﾒｰﾀｰは買い取りとする。
		（3）集合装置　・ 標準図（施工70）　⊙ ﾕﾆｯﾄ形既製品
		（4）転倒防止等・標準図（施工７１）{・（a）・（b）}　⊙ ﾍﾞｱﾙ式
	④．ガス漏れ警報器	⊙ ﾎﾞﾙﾄ，ﾅｯﾄ等はSUS製とする。
		図示の場所に取付ける（　・ 分離形　⊙ 一体形　）　・ 別途電気工事
	⑤．埋設深さ	外部出力端子（　・ あり　・ なし）
		（1）一般敷地内（ 0.45 m以上）（2）敷地内車両道路（　　m以上）
	⑥．その他	（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
		配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。

注記事項

1．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 基礎の立上り部を除き、配管をコンクリート内に埋め込まないこと。
2．給水管、排水管、給湯管、ガス管は 地中埋設管の上にコンクリートを 打設しないこと。
3．排水管の内面は平滑とする。
4．換気設備の性能
　1）連続的な運転が確保できる。
　2）換気扇の機外静圧が必要静圧以上である。
　3）継続作動時に気流、騒音等により使用に支障がない。
　4）局所換気設備は、使用時以外はシャッター等の降りる構造とする。
5．給水設備で敷地内取付けの止水栓を含む水道管分水工事は本工事外とする。
　止水栓以降の給水設備は本工事とする。
6．排水設備で敷地内取付けの下水道接続桝を含む下水道本管接続取付管工事は本工事外とする。
　下水道接続桝放流までの排水設備は本工事とする。

完成図提出書類

書類名		内容	規格	部数	備考
完成図	図面	青焼施工図 青焼修正設計図	A4版	1 2 3	製作図、関係官公署手続書類、試験成績表を一括ビス止め製本とする。 一冊の厚さは10cm以下とし、裏表紙の前にクラフト封筒をとじ込む。
	表紙	金文字入黒表紙 市販ファイル 二つ折り製本	A4版		
工事用	写真	カラー	サービス版	1	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版	2	
完成用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	フリーアルバム 市販工事写真帳	322x270		
実態調査用	写真	カラー	サービス版 キャビネ版	1 2	撮影場所及び説明を記載する。
	表紙	市販工事写真帳	A4版 B5版		
保守管理案内書		使用者が容易に理解できるもの。	A4版ファイル	1	専門的取扱い説明書は完成図にとじ込む。
材料検収簿		監督員が定める様式	A4版ファイル	1	補助監督員が認印したもの。
原図、陰画、原稿		提出しない			
		提出する	原図 陰画 原稿		原図の提出は原則としてシートファイルに入れて提出する。

凡例

記号	名称	摘要
——-——	給水管	地中配管（止水栓・量水器 間）
		水道用ポリエチレン管
		一般配管（量水器・ヘッダー 間）
		塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
		一般配管（ヘッダー・器具水栓 間）
		架橋ポリエチレン管（サヤ管式）
——ｰ——	給湯管	一般配管：保温付被覆銅管
——	排水管	地中配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
		一般配管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
——G——	ガス管	一般配管：配管用炭素鋼鋼管（白管）
	給水栓	
	混合水栓	
	ガス栓	
	インバート桝	小口径塩ビ桝（インバート付）
	ため桝	小口径塩ビ桝（泥溜付）
Φ	排気筒	台所排気：亜鉛鋼板製スパイラルダクト
		台所以外の排気：塩化ビニル管（ＶＵ）
	ベンドキャップ	排気系統：ステンレス製　フード形
		自然給気口：ステンレス製　深形フード

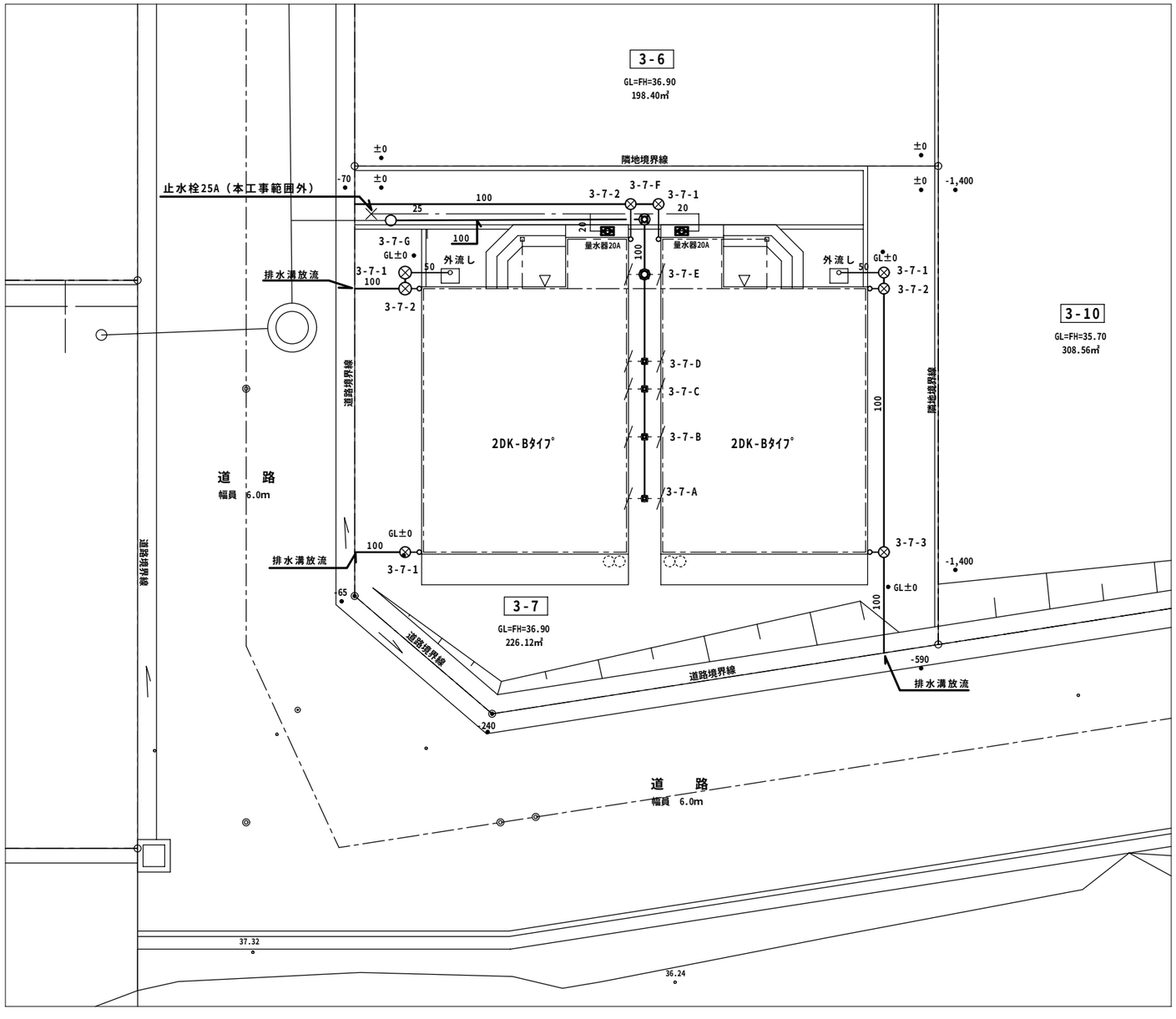
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H24・3・10

工事名称　平成24年度　町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	（区画３－７　2DK-B） 機械設備 特記仕様書
縮尺	
図面番号	Ｍ－１
	枚ノ内
設計番号	

プロッター



配　置　図　　S=1:100

桝 リ ス ト（小口径塩ビ製インバート桝）

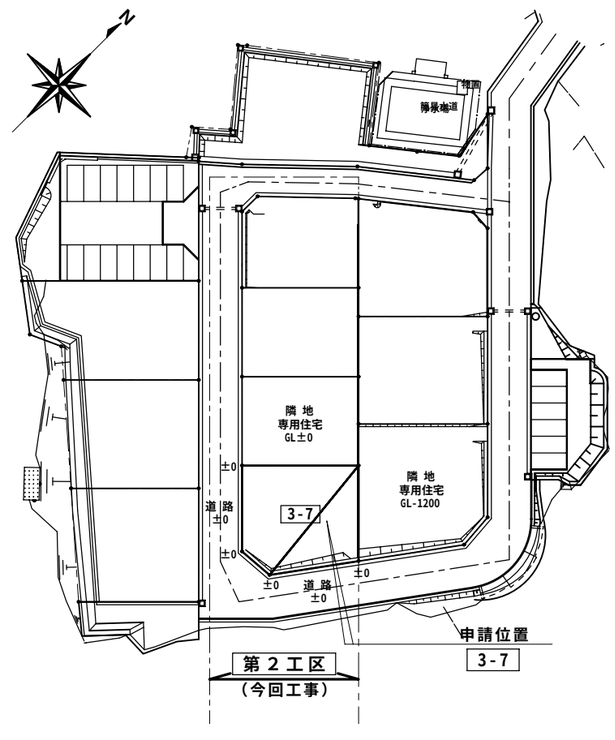
桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等
3-7-A	合流点（90WY）	100x50-200	４００	樹脂蓋
3-7-B	合流点（90WY）	100x75-200　段差付	４５０	〃
3-7-C	合流点（90WY）	100x65-200　〃	５００	〃
3-7-D	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５４０	〃
3-7-E	合流点（90WY）	100x50-200　〃	５９５	〃
3-7-F	屈曲点（90T）	100 - 200	６４０	〃
3-7-G	下水道接続桝	本工事範囲外		

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０mm、◎ 樹脂蓋：Ａ1、文字・鎖付

プラスチック桝　桝径200φ、最大排水管径100φ

桝 №	種　別・接続管径		下 流 側 管底（mmH）	蓋・等	
3-7-1	９０Ｌ		３００	樹脂蓋	x ４組
3-7-2	９０Ｌ		３１０	〃	x ３組
2-1-3	９０Ｌ		３５０	〃	x ２組

◎ 配管勾配　雨水排水 1/200



宮ノ沢住宅

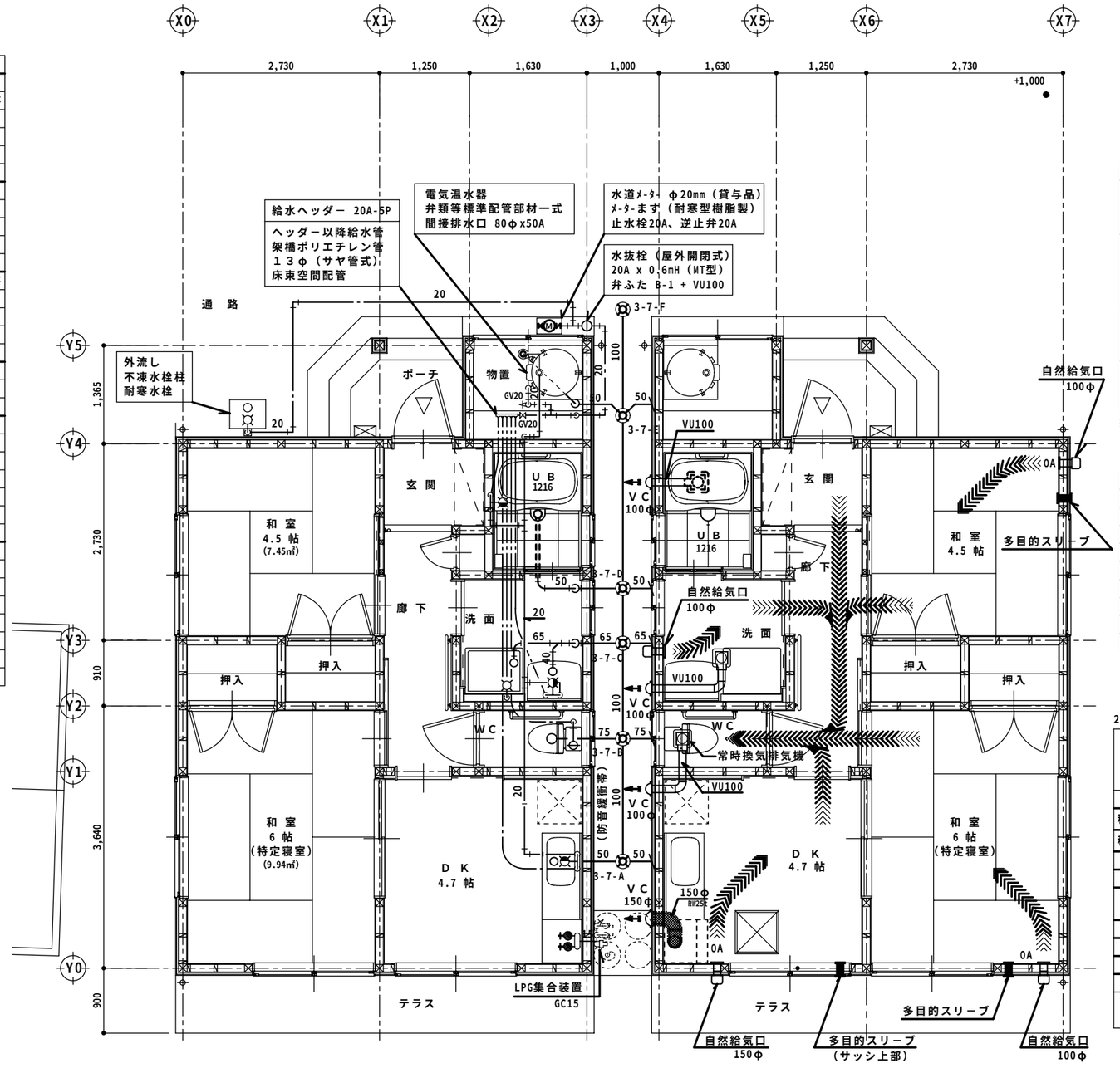
申請地：富谷町富谷字宮ノ沢地内

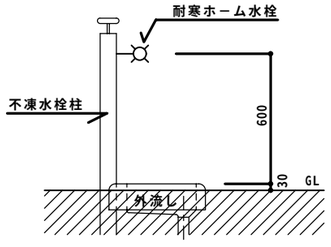
団 地 内 案 内 図

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京 谷 国 雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H24・3・10	工事名称 平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）	図面内容 (区画3-7 2DK-B) 機械設備配置図 縮尺 S=1:100	図面番号 M — 2 枚ノ内 設計番号

衛生器具表（１住戸当り）

室　名	器　具　名	付　属　品・等	数　量
Ｄ　Ｋ	流し用混合水栓	システムキッチン付属水栓	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	ニ 口 ガ ス 栓	ヒューズコック　１３Ａｘ９.５φ	１
	ガス漏れ警報器	ＬＰガス用コンセント差込み一体形	１
便　所	洋　風　便　器	ＣＳ６７０Ｂ（セミサンホン式）	１
		手洗付密結タンク（SH671BA、床給水）	
		暖房便座（TCF110）、紙巻器（YH60H）	
		タオルリング（TS115S）	
洗　面	洗面化粧台	７５０ﾀｲﾌﾟ、水栓、鏡等一式	建築工事
		◎ 配管接続本工事	
	洗濯機用 水栓	ＴＷ１１Ｒ（緊急止水弁付）	１
	洗 濯 機 パ ン	ＰＷＰ８００Ｎ（800ﾀｲﾌﾟ、縦引きﾄﾗｯﾌﾟ）	１
浴　室	ユニットバス	1216ﾀｲﾌﾟ、シャワー金具、換気扇等一式	建築工事
		◎ 配管、ダクト接続本工事	
物　置	電 気 温 水 器	ヒーター式、丸型タイプ、時間帯別対応型	１
		タンク容量　３７０Ｌ	
		ヒーター４.４KW、電源 単相200V	
		減圧弁.逃し弁.排水弁.絶縁パイプ等の本体	
		周辺配管に要する部材及び標準付属品一式	
		コンクリート基礎　１００Ｈ	
屋　外	不 凍 水 栓 柱	１５Ａｘ地上部６００Ｈ（竹村D-A型相当品）	１
		耐寒万能ホーム水栓（竹村KTL-10相当品）	
	外　流　し	樹脂製、参考寸法 550x445	１
	LPガス集合装置	自動切替式ユニット型、５０Ｋｘ２本立て	１
		転倒防止ベルト付、メーター：借用品	





外流し設置断面図　1/20

換気扇リスト（１住戸当り）

室　名	型　　式	能　力・付 属 品 等	数　量
Ｄ　Ｋ	レンジフードファン	２００m3/h x ７５Pa、グリスフィルター付	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	
便　所	天井埋込形換気扇	低騒音、常時換気運転　（VD-10ZC9-BL）	１
		１００φ x ５５m3/h x ２５Pa x ８.4W	
		常時換気スイッチ（P-10SWL）	
洗　面	天井埋込形換気扇	低騒音　（VD-08ZC9）	１
		８０φ x ４０m3/h x ５Pa x ４.6W	
浴　室	天井埋込形換気扇	ユニットバス組込み	建築工事
		◎ ダクト接続本工事	

※ 常時換気用スイッチは本工事支給品を電気設備工事取付け、結線とする。

〈 火気使用器具の換気量計算 〉　住戸共通

◆ Ｄ　Ｋ（２世帯共通）
ＬＰガス使用、　式　Ｖ＝３０・Ｋ・Ｑ（レンジフードファン）
Ｑ ＝ グリル付二口コンロ　６.６ KW
Ｖ ＝ ３０ x ０.９３ x ６.６ kw ＝ １８４.１４ m3/h 以上
排気機：レンジフードファン（グリスフィルター付）
排気量　２００m3/h：建築工事
排気ダクト：亜鉛鉄板製スパイラルダクト（0.6t）
ロックウール 25t、断熱巻
◆ 給湯器：電気温水機（物置設置）

2DK－Ｂタイプ　換気量計算　　常時換気気流

室　　名	床面積計算式 m	床面積 m2	天井高さ m	気　積 m3	換気種別	常時換気量 排気機排気量 m3/h	換気回数 回/h	自然吸気口吸気量 m3/h
Ｄ　　Ｋ	2.645 x 2.880	7.62	2.40	18.28	第三種			20 (150φ)
和室６帖、押入	3.640x2.730 + 0.910x1.365	11.18	2.40	26.83	〃			12 (100φ)
和室4.5帖.押入	2.730x2.730 + 0.910x1.365	8.70	2.40	20.87	〃			12 (100φ)
洗　　面	1.820 x 1.815	3.30	2.40	7.93	〃			12 (100φ)
玄　　関	1.200 x 1.515	1.82	2.56	4.65	〃			
廊下・物入	3.350x1.065 + 0.620x0.450 + 0.995x0.315	4.16	2.40	9.98	〃			
便　　所	0.995 x 1.500	1.49	2.40	3.58	〃	55		
Ｕ　　Ｂ	1.600 x 1.200	1.92	2.00	3.84	〃			
計				95.96	x0.5 =47.98	55	0.57	56

局所換気換気量　便所：５５m3/h（15.3回/h）＝ 常時換気量
洗面：４０m3/h（5回/h）、ＵＢ：４０m3/h（10回/h）

3－7　2DK-B

給排水、換気 平面詳細図　S=1:50

◎ 西側・東側住戸は同様の設備とする（住戸反転プラン）

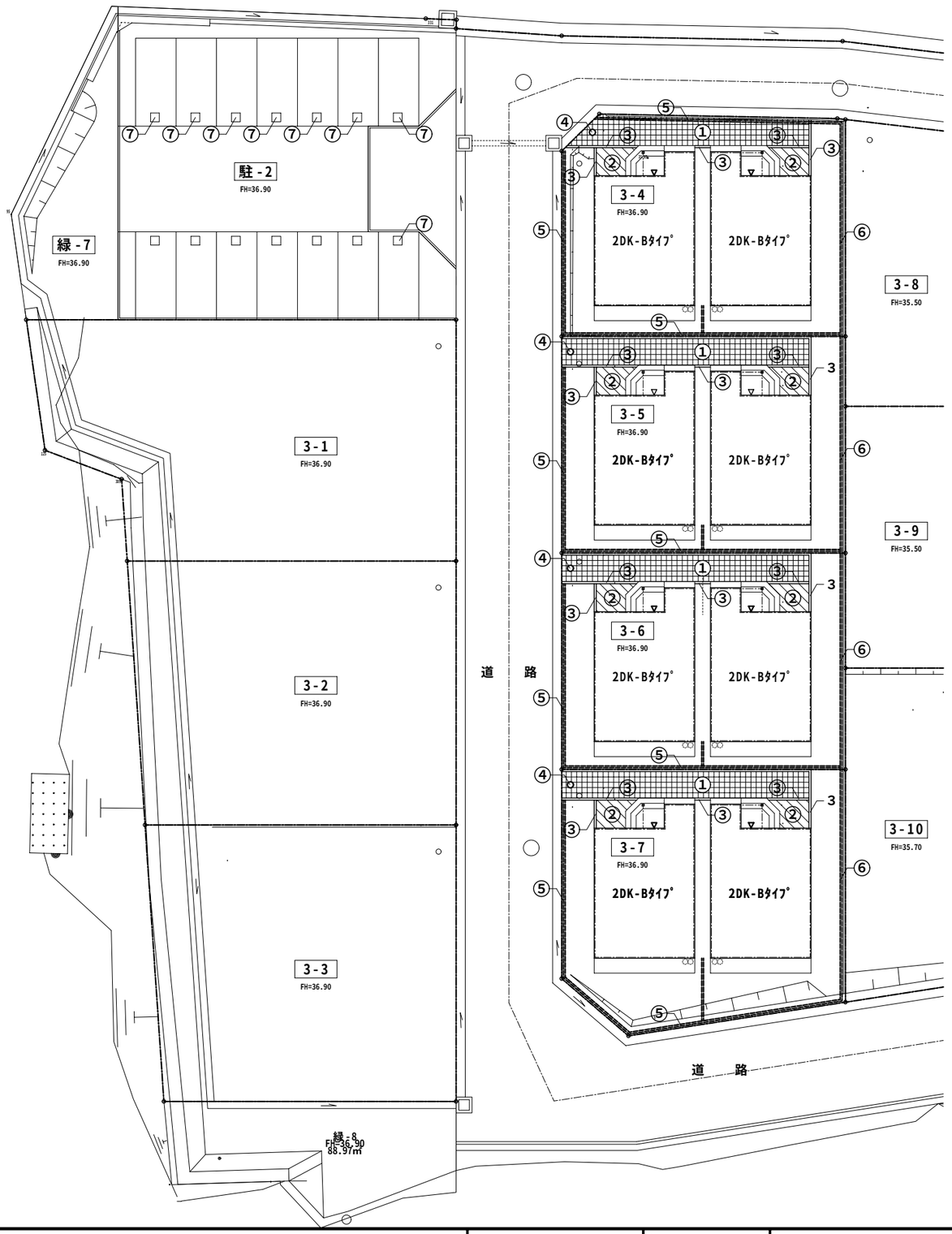
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容　(区画３－７、 2DK-B)　給排水・換気設備　平面詳細図
縮尺　S=1:50

図面番号　M — 3　枚ノ内
設計番号



外構リスト			
符号	名称	構造･規模	数量
①	舗装	コンクリート平板舗装 300×300×60	83.7㎡
②	砂利敷き	砂利敷きＢ種(7)60 (40㎜以下)	23.2㎡
③	縁石	コンクリート製 地先境界ブロック 120×120×600	50.0m
④	可動式車留め(擬石)	可動式車止め 擬石φ250×H450	４カ所
⑤	木柵	四つ目垣 H=1200 ４段	128.0m
⑥	メッシュフェンス	H=1500 独立基礎180×180×450共	50.0m
⑦	号棟表示	ﾗｲﾝﾏｰｸ W=50 500×500程度	８カ所

特記仕様書		
1	土工事	残土-流用土　外構工事の根切土は、設計ＧＬまでの埋戻し土及び盛土をり流用する。
2	地業工事	砕石　再生クラッシャーラン　40～0 砂　クッション用砂
3	舗装工事	ｺﾝｸﾘｰﾄ平板カラー平板　300×300×60 路盤材料（再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝＲＣ－４０） 縁石　地先境界ブロック 120×120×600
4	ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ JIS A5308表示許可工場の製造品Ｉ種 設計基準強度 18Ｎ/㎟ セメント　普通ポルトランドセメント 混和材料　ＡＥ剤又はＡＥ減水剤 スランプ　１５cm 粗骨材　20～25㎜
5	車留工事	可動式車止め（擬石） （杉田エース㈱ GK-0061(可動式）同等品）
6	木柵工事	四つ目垣　H=1200 親柱：末口9cm内外 胴縁：４段　唐竹12本
7	号棟表示	号棟番号表示 ラインマーキング　５００角程度 ※ JIS5665 ３種１号白 溶融式 白線

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL　022-245-2333

検図
製図
日付　H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

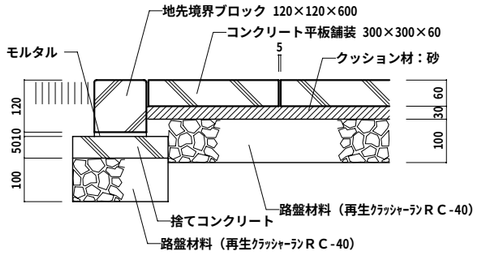
図面内容　（屋外整備工事）
外構平面図・リスト

縮尺　S=1:200

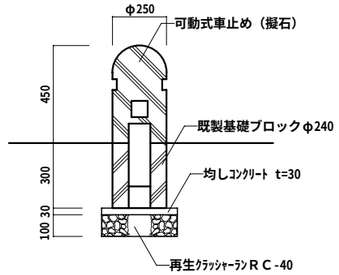
図面番号　G－1
枚ノ内

設計番号

①平板舗装・③縁石詳細図　S=1:10

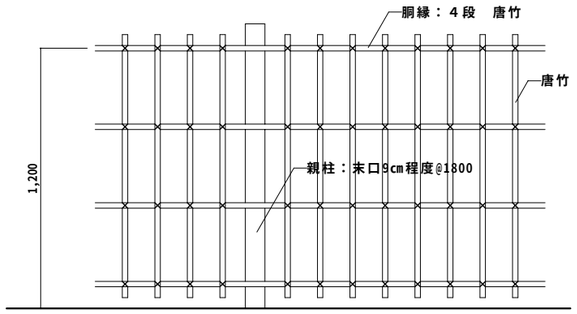


④ 可動式車止め（擬石）詳細図　S=1:20

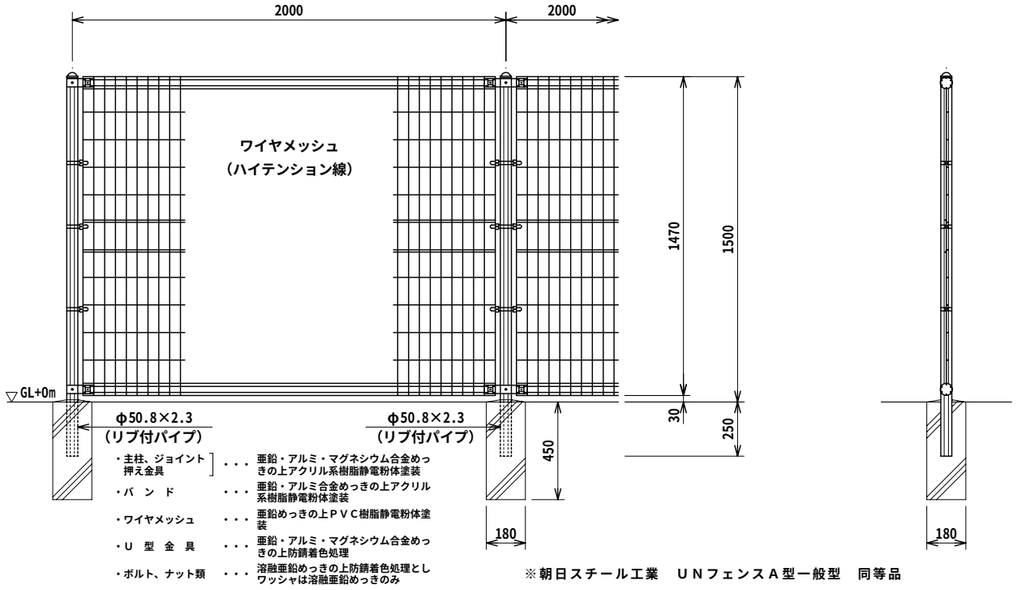


(参考)杉田エース㈱ GK-0061(可動式) 同等品

⑤四つ目垣詳細図　S=1:20



⑥メッシュフェンス、⑪門扉詳細図　S=1:20



・主柱、ジョイント押え金具 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・バ ン ド ・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ワイヤメッシュ ・・・ 亜鉛めっきの上ＰＶＣ樹脂静電粉体塗装
・Ｕ 型 金 具 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット類 ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理としワッシャは溶融亜鉛めっきのみ

※朝日スチール工業　ＵＮフェンスＡ型一般型　同等品

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

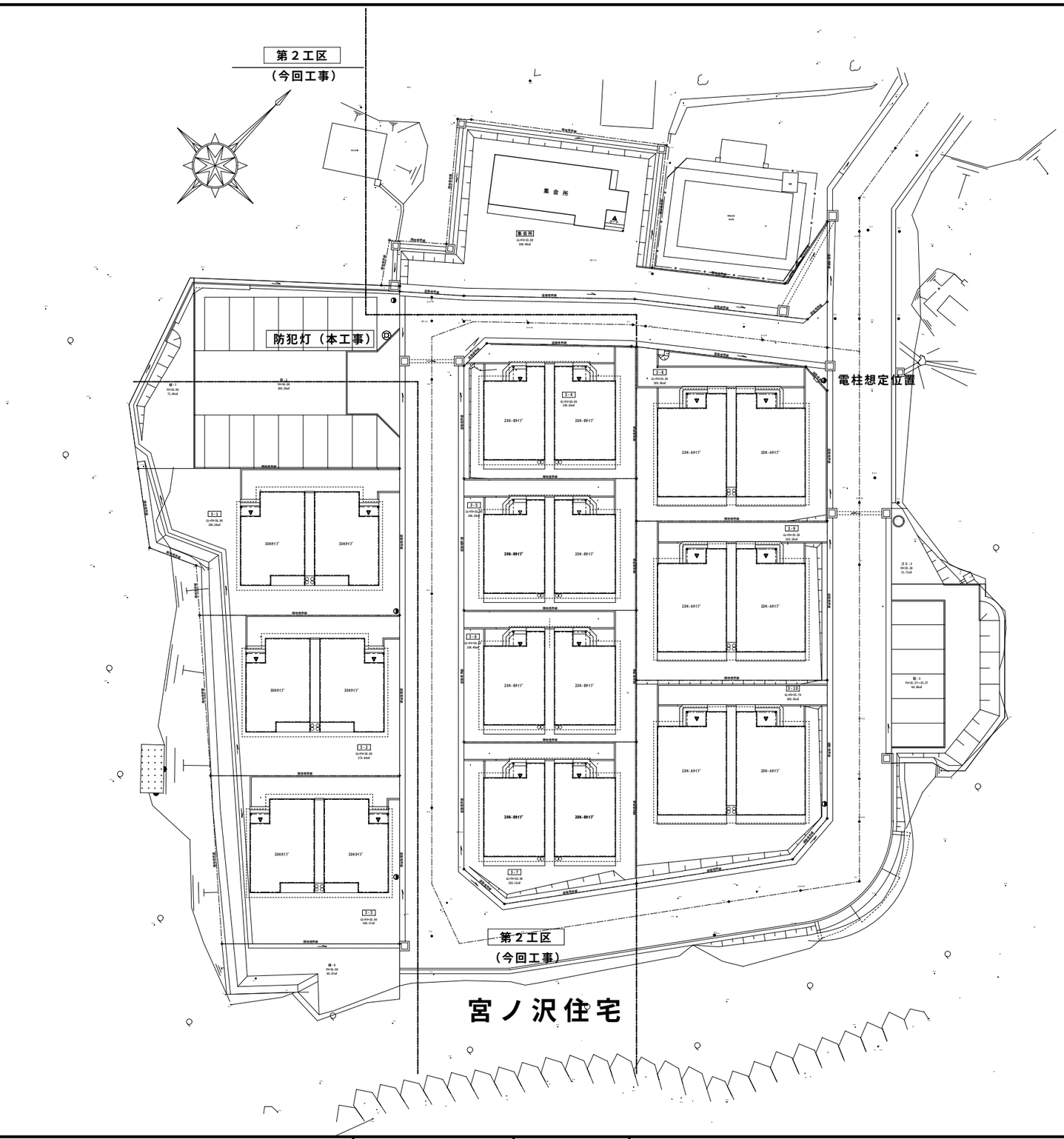
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H23・7・20

工事名称
平成23年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（１工区）

図面内容	（屋外整備工事） 外構詳細図(1)
縮尺	S=1:10・20

図面番号	G — 2 枚ノ内
設計番号	



1か所

防犯灯	HST5A−100M	MF100W

ポールＴ４．０
ポール基礎含む

上方光束比１５％以下
本体：アルミダイカスト（コーヒーブラウン）
グローブ：アクリル
（透明・上半分シルバーメタリック塗装）

単独接地ＥＤを行うこと。ＥＭ−ＩＥ２．０（ＶＥ１６）

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京 谷 国 雄
仙台市太白区山田宇大石42番4
TEL　022-245-2333

検図	
製図	
日付	H24・3・10

工事名称
平成24年度 町営宮ノ沢住宅建替工事（２工区）

図面内容	外灯配置図・姿図	図面番号	ＧＥ — １ 枚ノ内
縮尺	S=1:300	設計番号	